

# 令和6年度 第3回 子ども・子育て会議

1. 日 時 令和6年10月8日（火）午後1時30分から
  2. 場 所 熊取町役場 北館 3階 大会議室
  3. 案 件
    - （1）若者アンケートの結果報告
    - （2）関係団体ヒアリングの結果報告
    - （3）（仮称）熊取町こども計画（案）について
    - （4）部会の開催について
    - （5）その他
-

**「（仮称）熊取町こども計画」  
策定のための若者アンケート調査**

**報告書**

熊取町

令和6年8月

## □ ■ 目 次 ■ □

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査の方法.....	1
3	報告書のみかた.....	1
II	調査結果.....	2
1	あなたについて.....	2
2	今のあなた自身の意識と将来について.....	7
3	あなたの日頃の生活について.....	13
4	若者を取り巻く環境について.....	26

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

「（仮称）熊取町こども計画（令和 7～11 年度）」の策定を進めるにあたり、若者のみなさんのご意見を計画に反映させるため、熊取町在住の 16 歳～39 歳を対象に生活状況などについてのアンケート調査を実施しました。

## 2 調査の方法

○調査対象：熊取町在住の 16 歳～39 歳の方 3000 人（無作為抽出）

○調査期間：令和 6 年 6 月 28 日～令和 6 年 7 月 16 日

○調査方法：WEB 回収

○配布・回収：

配布数	回収数	回収率	有効回答数
3,000 票	681 票	22.7%	649 票

## 3 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

○「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。

○「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。

○百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。

○設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。



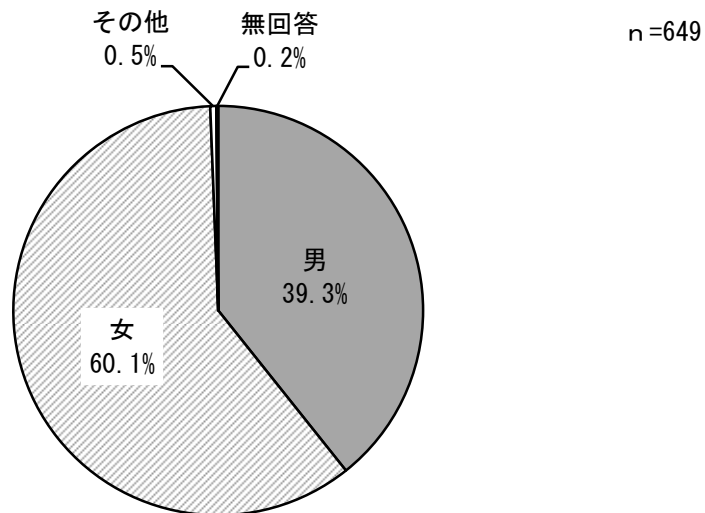
## Ⅱ 調査結果

### 1 あなたについて

#### (1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

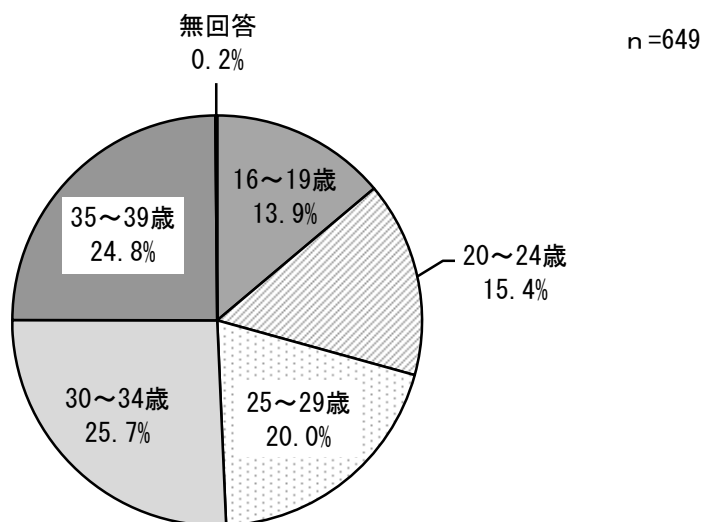
アンケートの性別ごとの回答率については、「女性」が60.1%と多く、「男性」が39.3%、「その他」が0.5%となっています。



## (2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。※令和6年6月1日現在（1つに○）

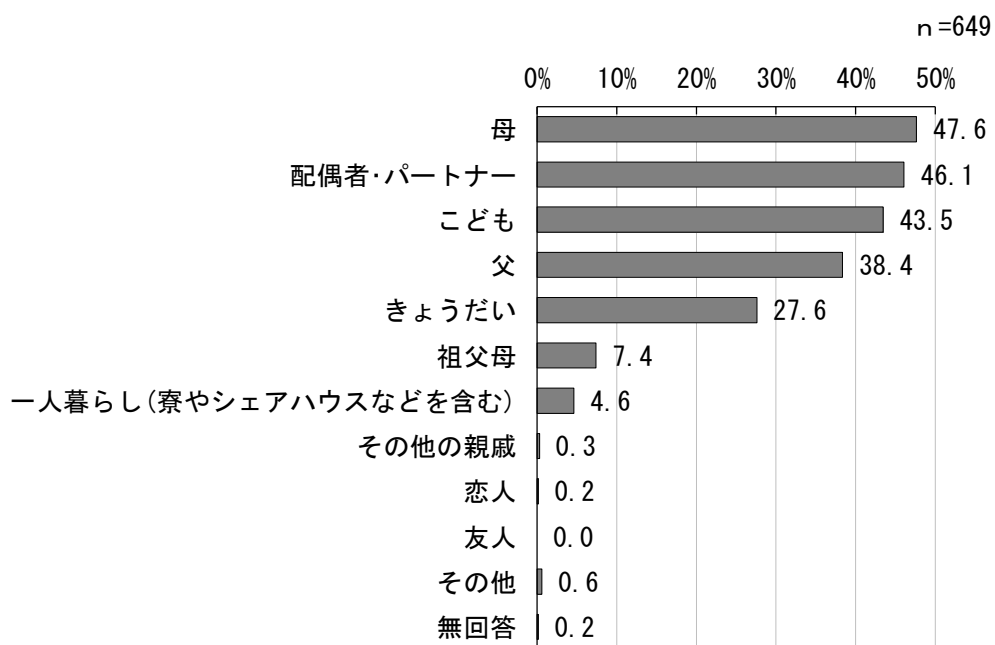
年齢は、「30～34 歳」が 25.7%と最も多く、次いで「35～39 歳」が 24.8%、「25～29 歳」が 20.0%となっています。



### (3) 同居している方

問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。(すべてに○)

同居している方は、「母」が47.6%と最も多く、次いで「配偶者・パートナー」が46.1%、「子ども」が43.5%となっています。



#### 【その他】

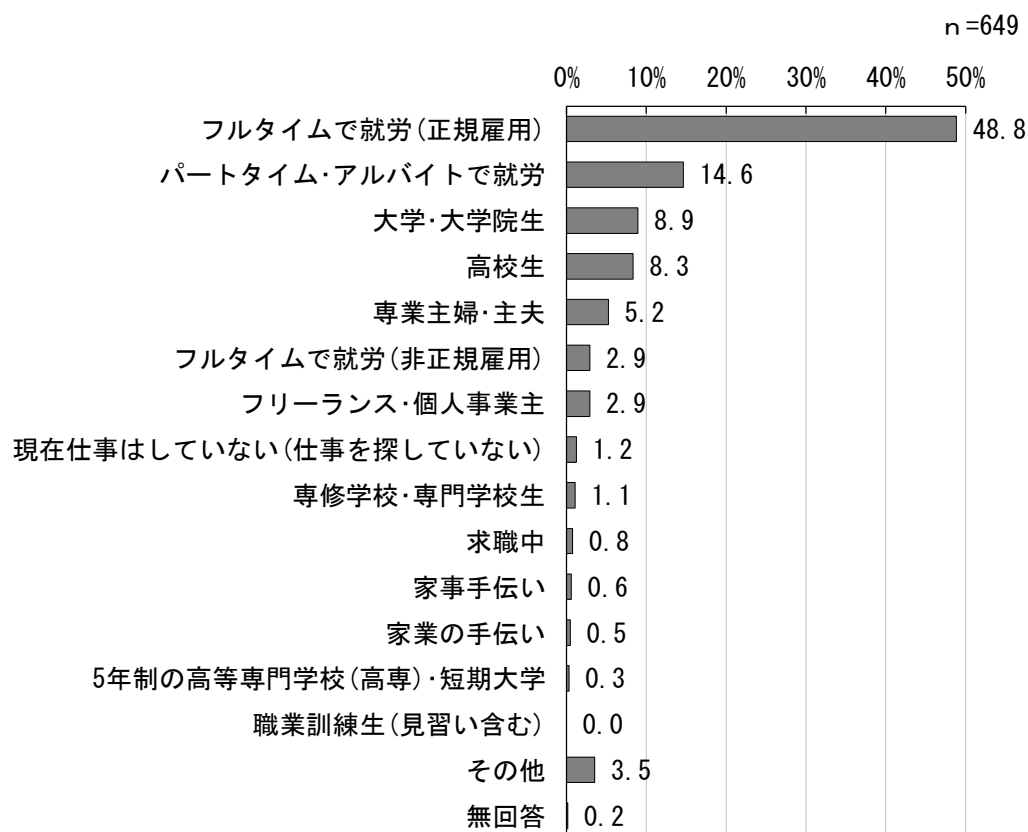
犬／義祖父母と敷地内同居／義父

#### (4) 現在の職業

問4 あなたの現在の職業をお答えください。(1つに○)

※複数ある場合は、1週間のうち最も多くの時間を占めているものを選んでください。

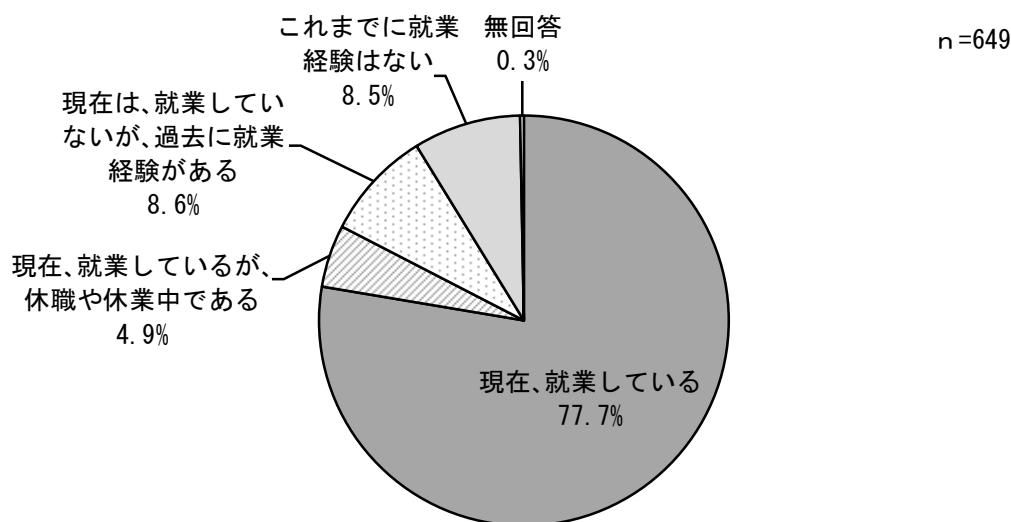
現在の職業は、「フルタイムで就労(正規雇用)」が48.8%と最も多く、次いで「パートタイム・アルバイトで就労」が14.6%、「大学・大学院生」が8.9%となっています。



## (5) 就業経験

問5 あなたの就業経験についてお答えください。(パートタイム・アルバイト等を含む)(1つに○)

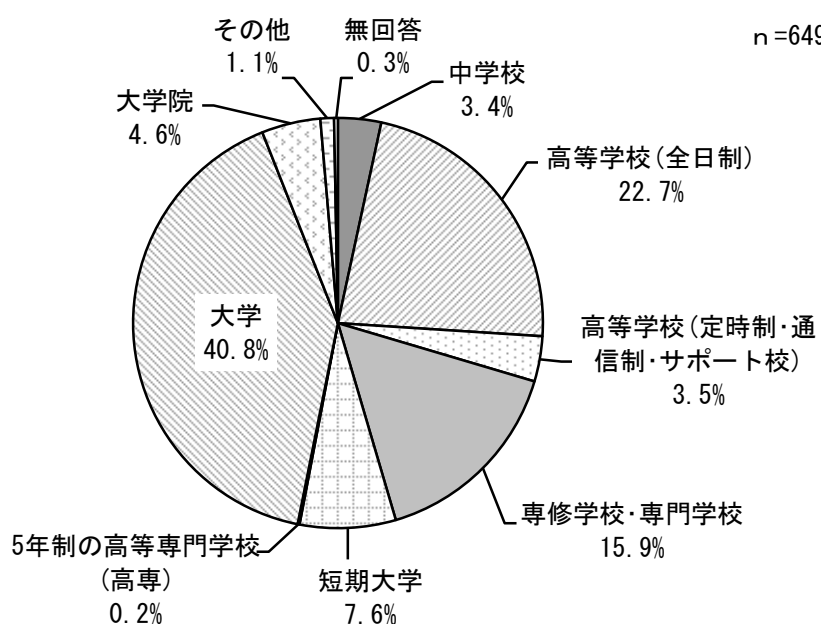
就業経験は、「現在、就業している」が77.7%と最も多く、次いで「現在は、就業していないが、過去に就業経験がある」が8.6%、「これまでに就業経験はない」が8.5%となっています。



## (6) 最後に卒業した学校・通っている学校

問6 あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校をお答えください。  
現在、学校に通っている方は、通っている学校をお答えください。(1つに○)

最後に卒業した学校・通っている学校は、「大学」が40.8%と最も多く、次いで「高等学校(全日制)」が22.7%、「専修学校・専門学校」が15.9%となっています。



## 2 今のあなた自身の意識と将来について

### (1) 自分自身について思っていること

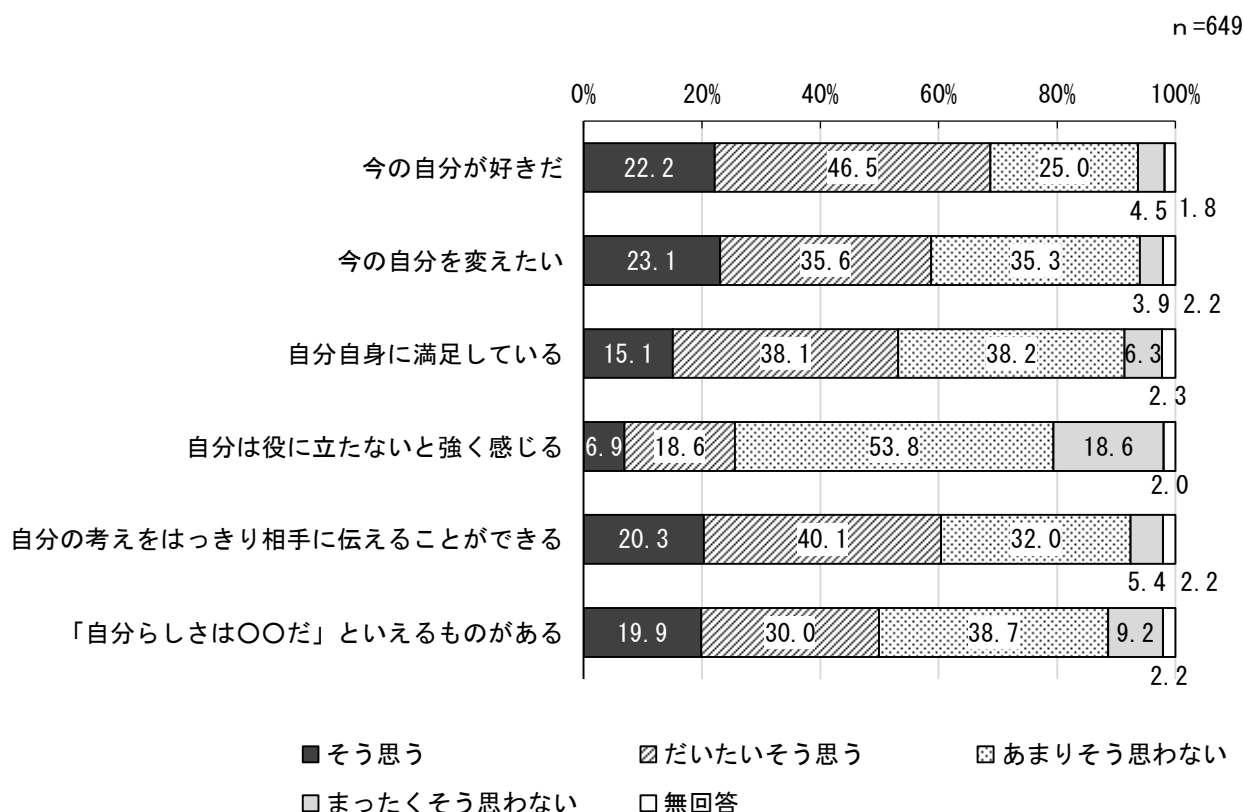
問7 あなたが自分自身について思っていることをお答えください。((1)～(6)について、それぞれ1つに○)

自分自身について思っていることは、「今の自分を変えたい」が23.1%と最も多く、次いで「今の自分が好きだ」が22.2%、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」が20.3%となっています。

だいたいそう思っていることとしては、「今の自分が好きだ」が46.5%と最も多く、次いで「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」が40.1%、「自分自身に満足している」が38.1%となっています。

あまりそう思っていないこととしては、「自分は役に立たないと強く感じる」が53.8%と最も多く、次いで「自分らしさは○○だ」といえるものがある」が38.7%、「自分自身に満足している」が38.2%となっています。

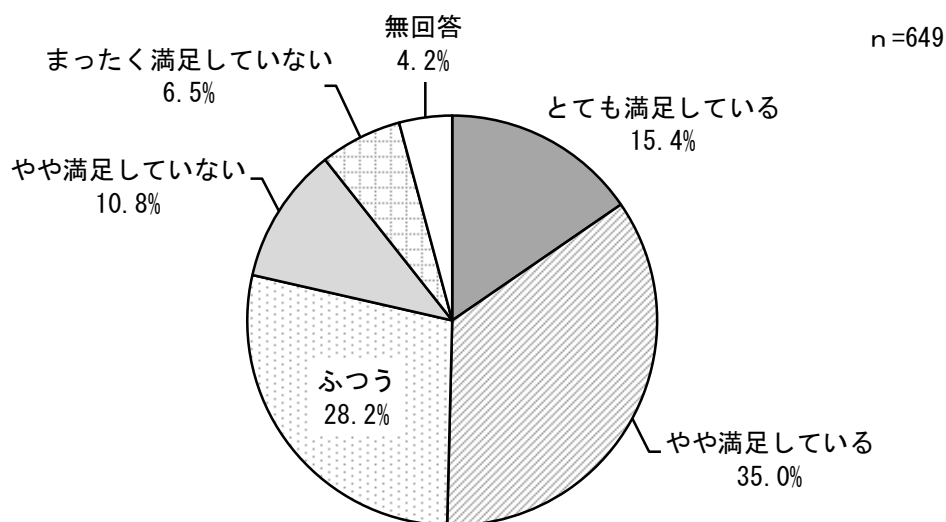
まったくそう思わないこととしては、「自分は役に立たないと強く感じる」が18.6%と最も多く、次いで「自分らしさは○○だ」といえるものがある」が9.2%、「自分自身に満足している」が6.3%となっています。



## (2) 暮らしや生活の満足度

問8 ここ1年のあなたの暮らしや生活を総合的に判断して、どの程度満足しているかお答えください。(1つに○)

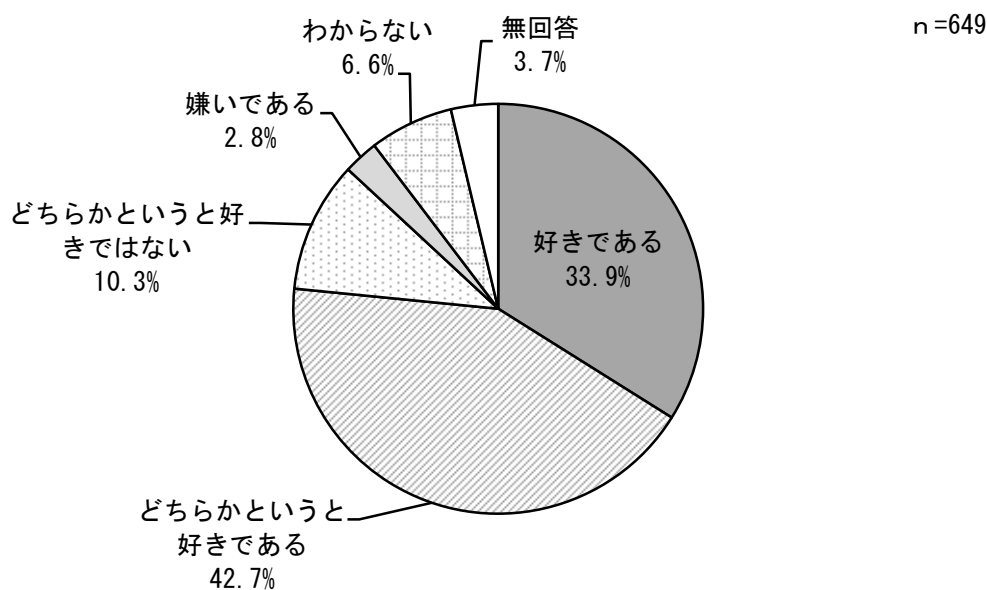
暮らしや生活の満足度は、「やや満足している」が35.0%と最も多く、次いで「ふつう」が28.2%、「とても満足している」が15.4%となっています。



## (3) 現在住んでいるところが好きか

問9 あなたは、現在住んでいるところ（地域）が好きですか。(1つに○)

現在住んでいるところが好きかは、「どちらかという好きである」が42.7%と最も多く、次いで「好きである」が33.9%、「どちらかという好きではない」が10.3%となっています。

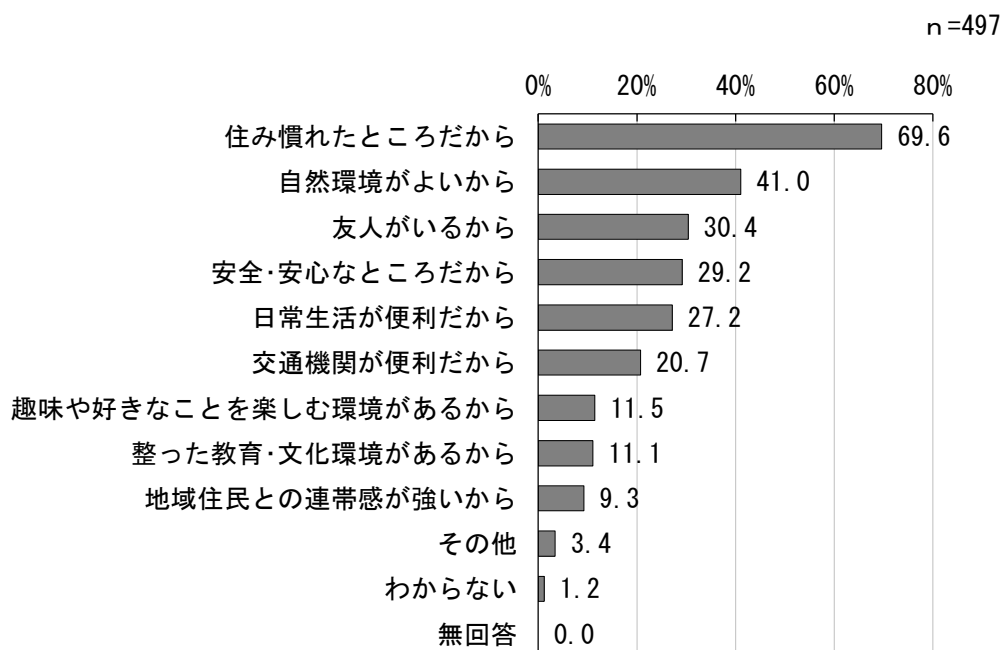


#### (4) 現在住んでいるところの好きな理由

(問9で「1. 好きである 2. どちらかというとき好きである」を選んだ方にお伺いします)

問9-1 その理由は何ですか。(すべてに○)

現在住んでいるところの好きな理由は、「住み慣れたところだから」が69.6%と最も多く、次いで「自然環境がよいから」が41.0%、「友人がいるから」が30.4%となっています。



#### 【その他】

- 職場と実家が近い
- 都会に比べて、生活にゆとりを感じるから
- 祭がある
- 図書館やカルチャーセンター等が充実している。
- 適度な田舎で住みやすい
- 家族が近くにいます
- 子育てに力を入れているから
- 駅から遠くて静かで良い
- 人が少なく、街が混み合っていない。
- 医療機関が多いから、図書館が充実しているから

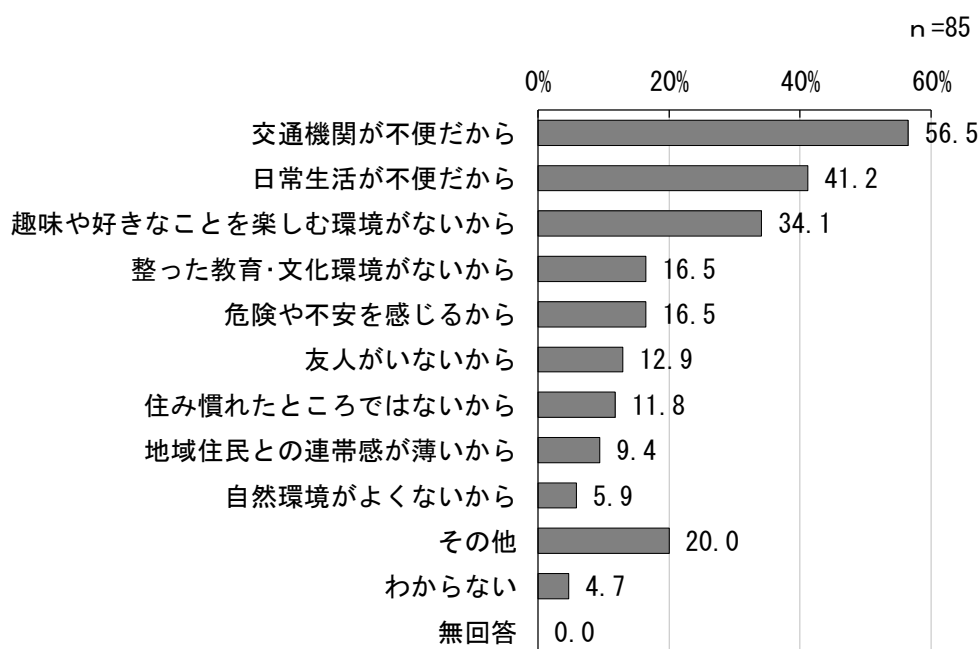


## (5) 現在住んでいるところの嫌いな理由

(問9で「3. どちらかというとき好きではない 4. 嫌いである」を選んだ方にお伺いします)

問9-2 その理由は何ですか。(すべてに○)

現在住んでいるところの嫌いな理由は、「交通機関が不便だから」が56.5%と最も多く、次いで「日常生活が不便だから」が41.2%、「趣味や好きなことを楽しむ環境がないから」が34.1%となっています。



### 【その他】

- 住んでいる人間の人間性が合わないと思わされるから。
- 大学生、専門学生の母子家庭になにもしてくれないから。
- 娯楽が無いから
- 隣の家からの嫌がらせが多いから
- 挨拶しない人が多いから
- 給食費無償化にならないから
- 子育て支援が薄いから
- 大人も子どももガラが悪いから
- 村の行事が多いから
- 現状の町の施策では、将来性に不安がある。また方針や活動自体が合理的ではなく他の自治体で行われている取組の真似事ばかりで、熊取町の状況、人口推移等に則った必要な施策をとっていると感じられず、今後も期待できないと感じるから。

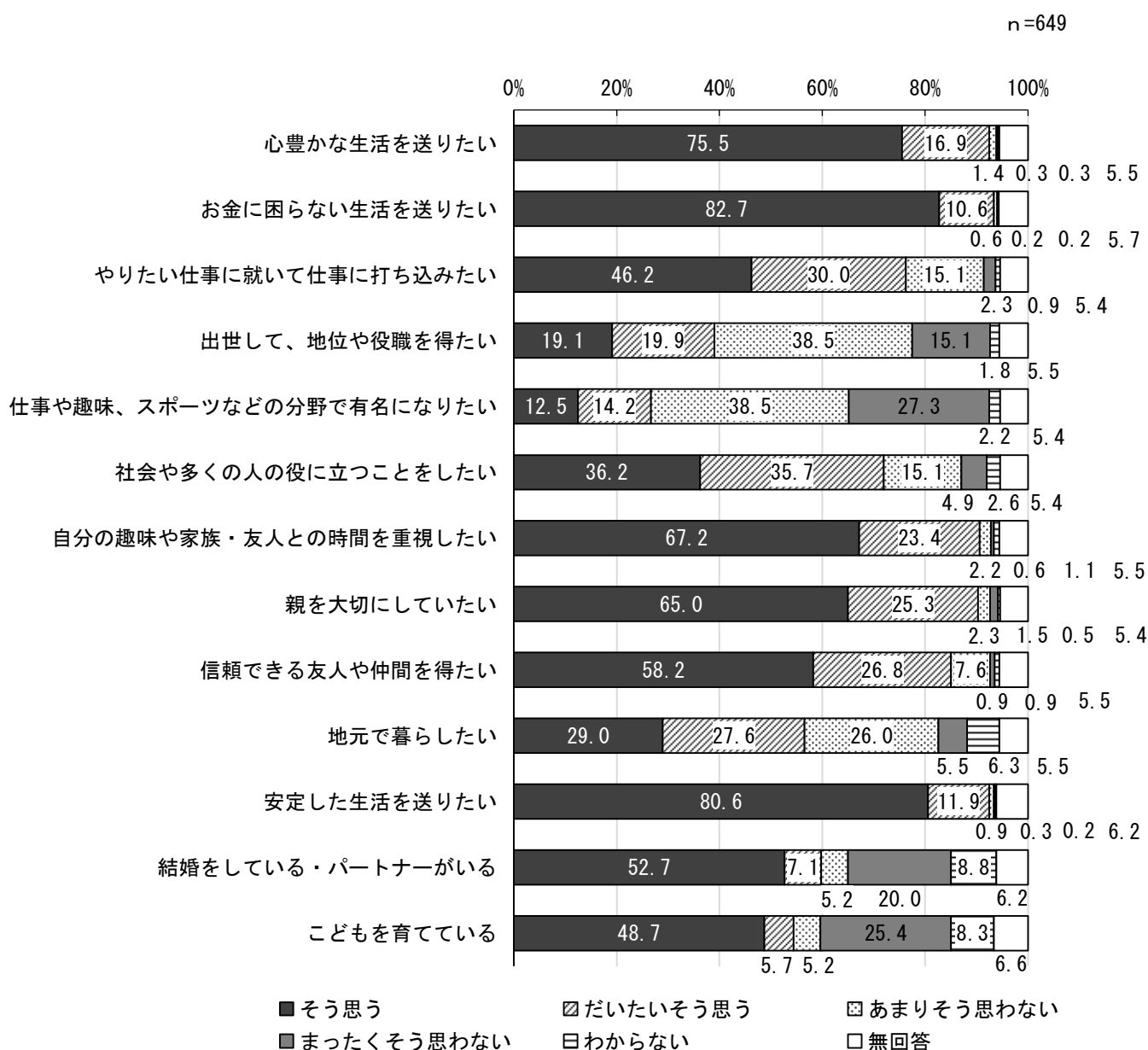
## (6) 今後、どのようになりたいか

問10 あなたは今後、どのようになりたいと思いますか。((1)～(13)について、それぞれ1つに○)

今後、どのようになりたいかについては、「そう思う」と答えた項目では、「お金に困らない生活を送りたい」が82.7%と最も多く、次いで「安定した生活を送りたい」が80.6%、「心豊かな生活を送りたい」が75.5%となっています。

「まったくそう思わない」と答えた項目では、「仕事や趣味、スポーツなどの分野で有名になりたい」が27.3%と最も多く、次いで「子どもを育てている」が25.4%、「結婚をしている・パートナーがいる」が20.0%となっています。

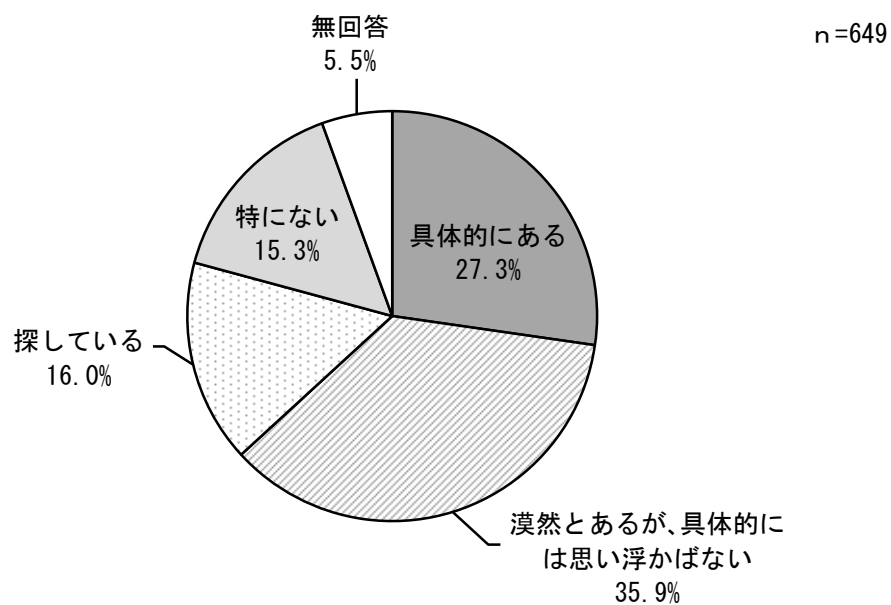
「わからない」と答えた項目では、「安定した生活を送りたい」が11.9%と最も多く、次いで「結婚をしている・パートナーがいる」が8.8%、「子どもを育てている」が8.3%となっています。



## (7) 将来の夢

問 1 1 あなたは将来の夢ややってみたいことがありますか。(1つに○)

将来の夢ややってみたいことは、「漠然とあるが、具体的には思い浮かばない」が35.9%と最も多く、次いで「具体的にある」が27.3%、「探している」が16.0%となっています。

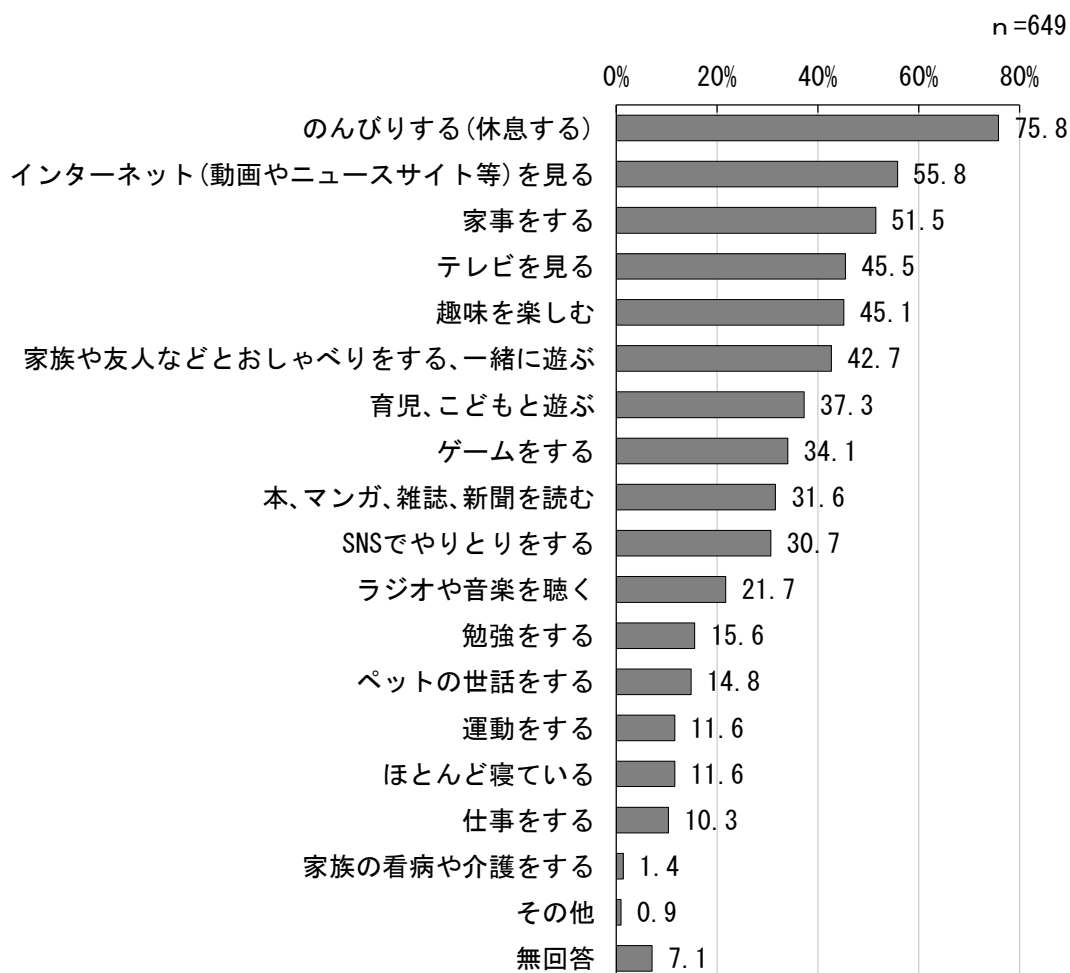


### 3 あなたの日頃の生活について

#### (1) 自宅での過ごし方

問12 あなたは、自宅にいるときには、どのように過ごしていますか。(すべてに○)

自宅での過ごし方は、「のんびりする(休息する)」が75.8%と最も多く、次いで「インターネット(動画やニュースサイト等)を見る」が55.8%、「家事をする」が51.5%となっています。



#### 【その他】

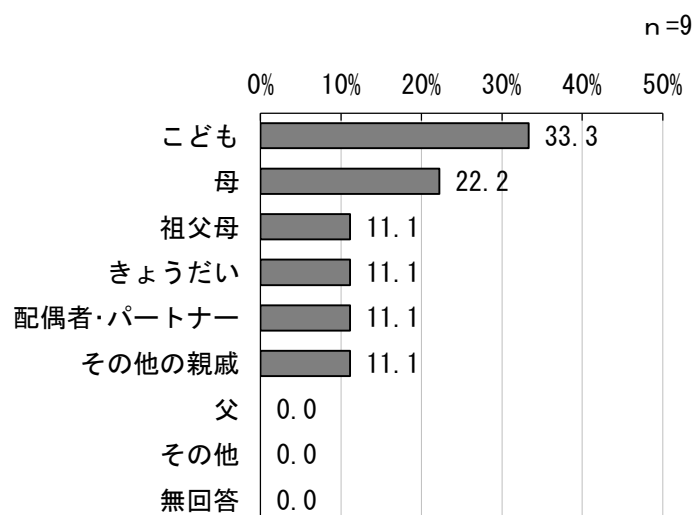
- SNSを見ている
- 映画を観る
- 庭で過ごす(家庭菜園)
- 寝る

## (2) 看病や介護をしている人

(問12で「5. 家族の看病や介護をする」を選んだ方にお伺いします)

問12-1 あなたが看病や介護をしている人はだれですか。(〇はいくつでも)

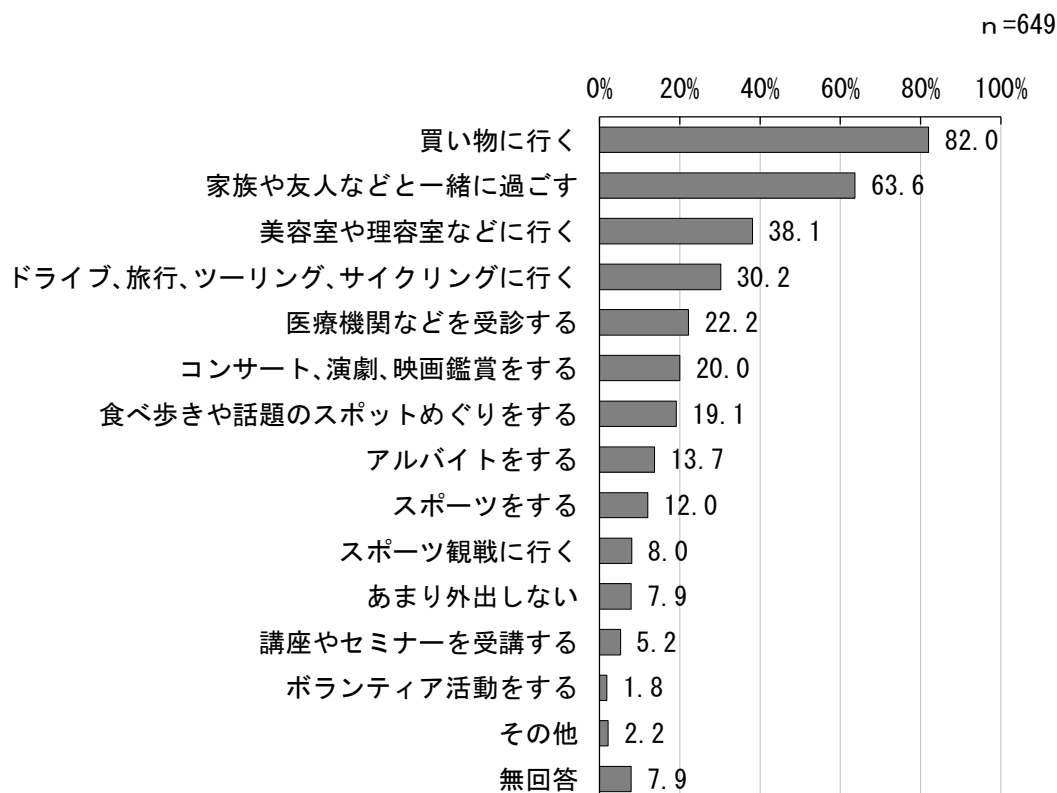
看病や介護をしている人(回答者9人)は、「こども」が33.3%と最も多く、次いで「母」が22.2%、「祖父母」、「きょうだい」、「配偶者・パートナー」、「その他の親戚」がそれぞれ11.1%となっています。



### (3) 仕事や学校以外の過ごし方

問 13 あなたは、仕事や学校以外で、外出する場合はどのように過ごしていますか。(すべてに○)

仕事や学校以外の過ごし方は、「買い物に行く」が82.0%と最も多く、次いで「家族や友人などと一緒に過ごす」が63.6%、「美容室や理容室などに行く」が38.1%となっています。



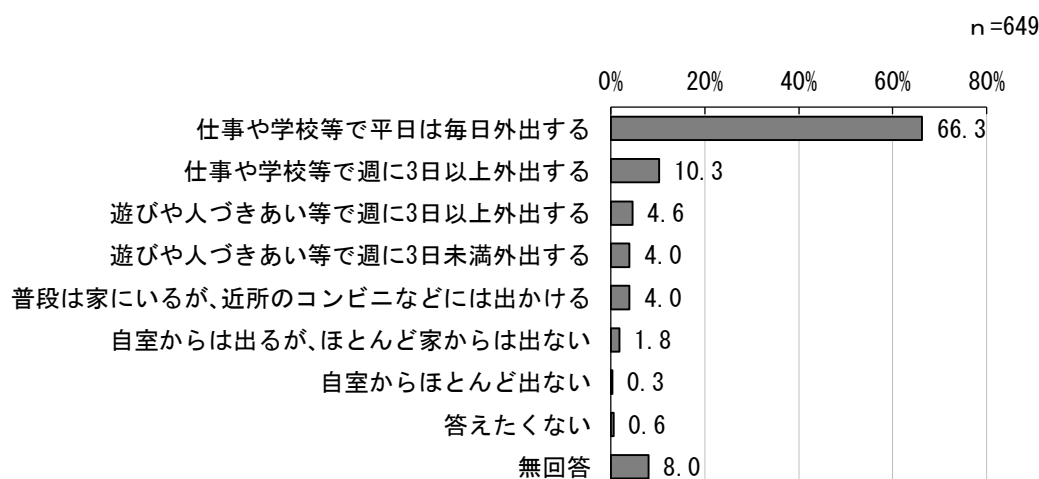
#### 【その他】

- 和歌山バスに乗りに行く
- ジムに行く
- 図書館に行く
- 野外活動
- 散歩する
- キャンプをする
- 熊取町には外出したくなる施設などが無い。

#### (4) 普段の外出頻度

問 1 4 あなたは普段どのくらい外出しますか。(1つに○)

普段の外出頻度は、「仕事や学校等で平日は毎日外出する」が 66.3%と最も多く、次いで「仕事や学校等で週に3日以上外出する」が 10.3%、「遊びや人づきあい等で週に3日以上外出する」が 4.6%となっています。

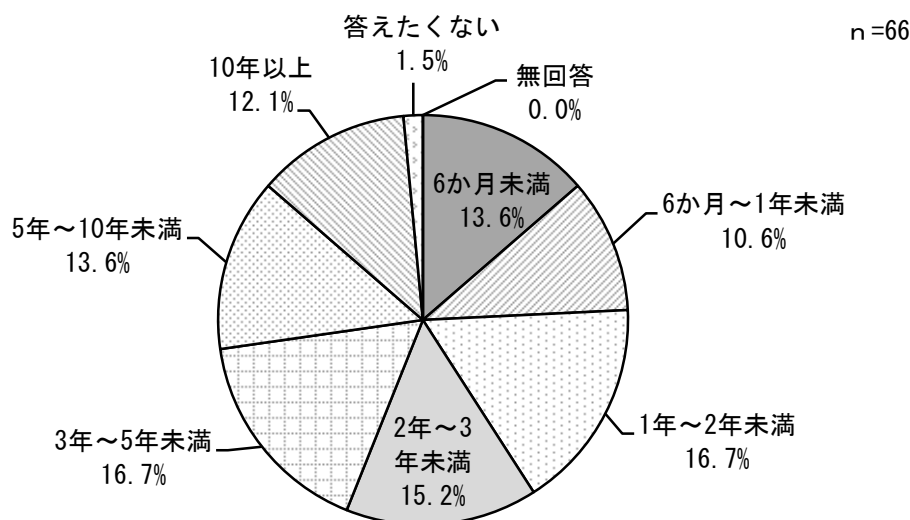


#### (5) 現在の外出状況

(問 1 4 で「4. 遊びや人づきあい等で週に3日未満外出する 5. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける 6. 自室からは出るが、ほとんど家からは出ない 7. 自室からほとんどでない」を選んだ方にお伺いします)

問 1 4 - 1 あなたが現在の外出状況になってどのくらい経ちますか。(1つに○)

現在の外出状況になってどのくらい経つかは、「1年～2年未満」、「3年～5年未満」がそれぞれ 16.7%と最も多く、次いで「2年～3年未満」が 15.2%となっています。

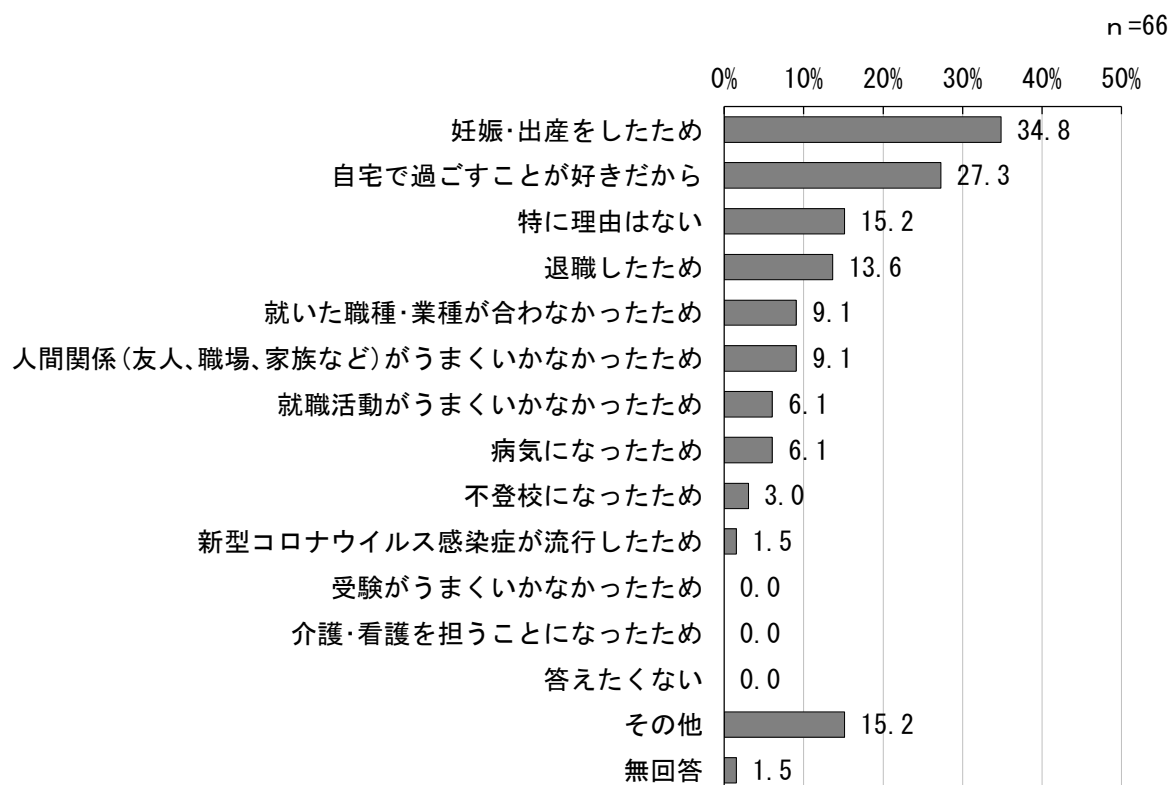


## (6) 現在の外出状況になった理由

(問14で「4. 遊びや人づきあい等で週に3日未満外出する 5. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける 6. 自室からは出るが、ほとんど家からは出ない 7. 自室からほとんどでない」を選んだ方にお伺いします)

問14-2 あなたが現在の外出状況になった主な理由は何ですか。(すべてに○)

現在の外出状況になった主な理由は、「妊娠・出産をしたため」が34.8%と最も多く、次いで「自宅で過ごすことが好きだから」が27.3%、「特に理由はない」、「その他」がそれぞれ15.2%となっています。



### 【その他】

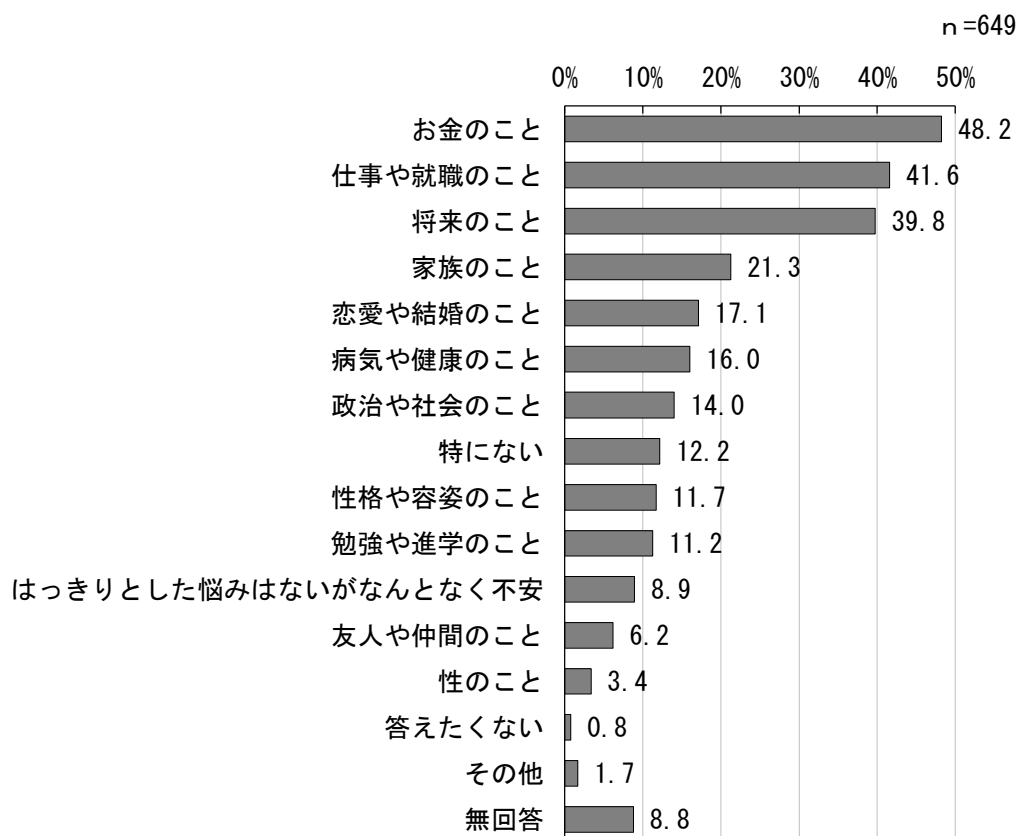
- こどもが重度食物アレルギーで外食ができないから。
- 授業数が減ったから
- 人と会うのは好きだが、頻度が高いと疲れるので、自ら調整しているから。
- 高校生(17)のときから睡眠リズムがおかしくなり、転校した高校もロクに通えず退学して働きたいと思っているが両親との話し合いに折り合いが付かず、決着がつかないままの状態が何年間も続き、引き籠もり気味の自堕落生活になってしまったから。
- 仕事が忙しく、そもそも休みがあまりないから。
- 金銭的な理由
- 熊取町には外出したくなる施設がないから



## (7) 現在困っていることや悩んでいること

問15 あなたは、現在、困っていることや悩んでいることがありますか。(すべてに○)

現在困っていることや悩んでいることは、「お金のこと」が48.2%と最も多く、次いで「仕事や就職のこと」が41.6%、「将来のこと」が39.8%となっています。



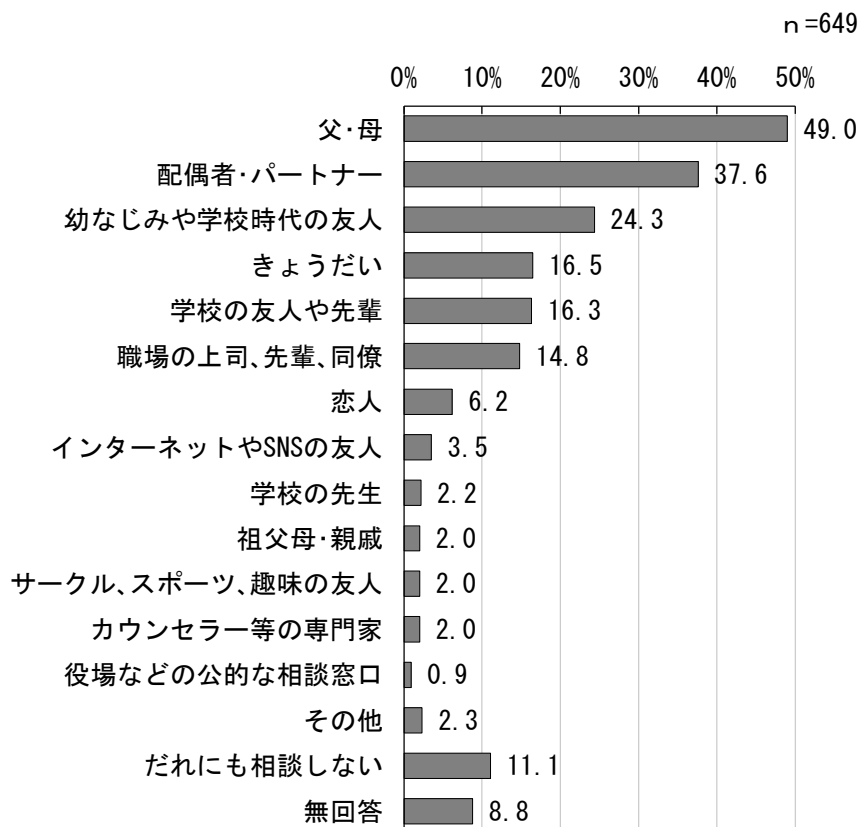
### 【その他】

- アレルギー対応食のある行政サービスや飲食店が町内に全くない。外食に全く頼れなく、全食作らなければいけなく負担がきつい。
- 隣の家からの嫌がらせ
- 近所付き合い
- 仕事に復帰するが町内にこどもを預けるところがない（町外の認可外施設を利用）
- テストもあり、発表もあって忙しいので逃げたくなる時がある。
- こどものこと、小学校の先生の質
- 育児
- 自分のやりたいことと日常生活との折り合い

## (8) 悩みごとや心配ごとがあった際の相談先

問 1 6 あなたは、悩みや心配ごとがあった場合、だれに相談しますか。(すべてに○)

悩みごとや心配ごとがあった際の相談先は、「父・母」が 49.0%と最も多く、次いで「配偶者・パートナー」が 37.6%、「幼なじみや学校時代の友人」が 24.3%となっています。



### 【その他】

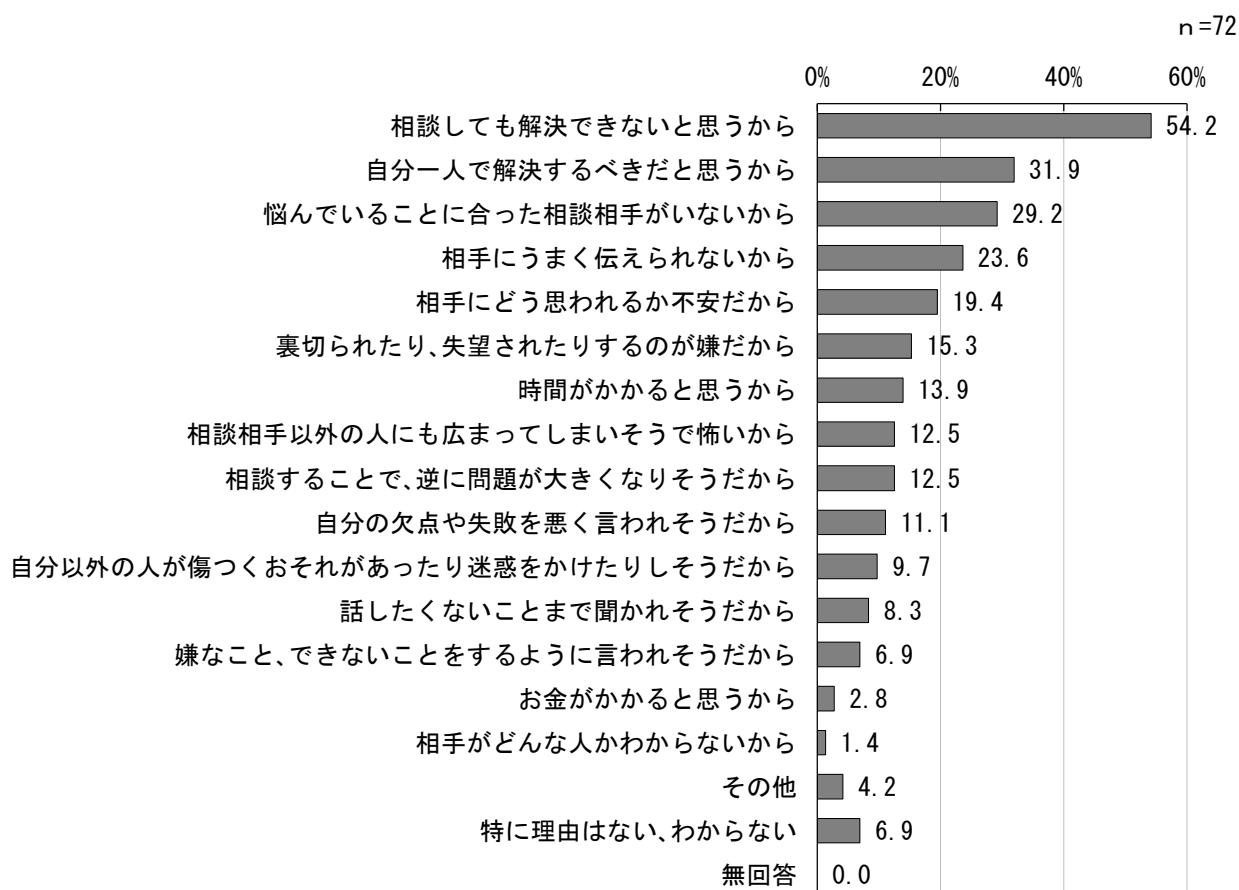
こども／A I／地元の先輩／地元以外の友人／ママ友／本／大人になってできた友達／中学時代からの友人

## (9) 相談しない理由

問16で「15. だれにも相談しない」を選んだ方にお伺いします)

問16-1 だれにも相談しない理由は何ですか。(すべてに○)

相談しない理由は、「相談しても解決できないと思うから」が54.2%と最も多く、次いで「自分一人で解決するべきだと思うから」が31.9%、「悩んでいることに合った相談相手がいらないから」が29.2%となっています。



### 【その他】

- 最終的には自己判断になるから
- 効果的に思える人が近くにいないから
- 面倒だから。

## (10) 家族や親戚とのかかわり

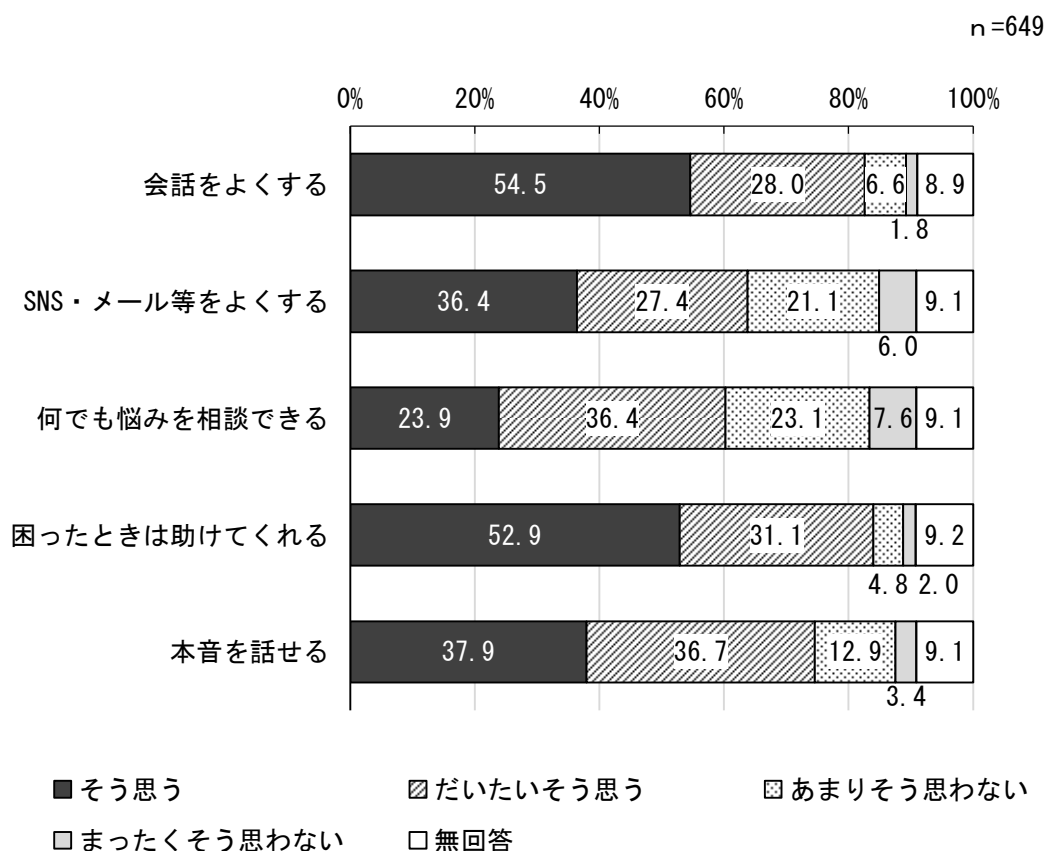
問 17 最近の、家族や親戚とのかかわりは、どのようなものですか。( (1) ~ (5) について、それぞれ1つに○)

家族や親戚とのかかわりとしては、「会話をよくする」が54.5%と最も多く、次いで「困ったときは助けてくれる」が52.9%、「本音を話せる」が37.9%となっています。

だいたいそう思っていることとしては、「本音を話せる」が36.7%と最も多く、次いで「何でも悩みを相談できる」が36.4%、「困ったときは助けてくれる」が31.1%となっています。

あまりそう思っていないこととしては、「何でも悩みを相談できる」が23.1%と最も多く、次いで「SNS・メール等をよくする」が21.1%、「本音を話せる」が12.9%となっています。

まったくそう思わないこととしては、「何でも悩みを相談できる」が7.6%と最も多く、次いで「SNS・メール等をよくする」が6.0%、「本音を話せる」が3.4%となっています。



## (11) 友人や学校、職場の人とのかかわり

問18 最近の、友人や学校、職場の人とのかかわりは、どのようなものですか。  
((1)～(5)について、それぞれ1つに○)

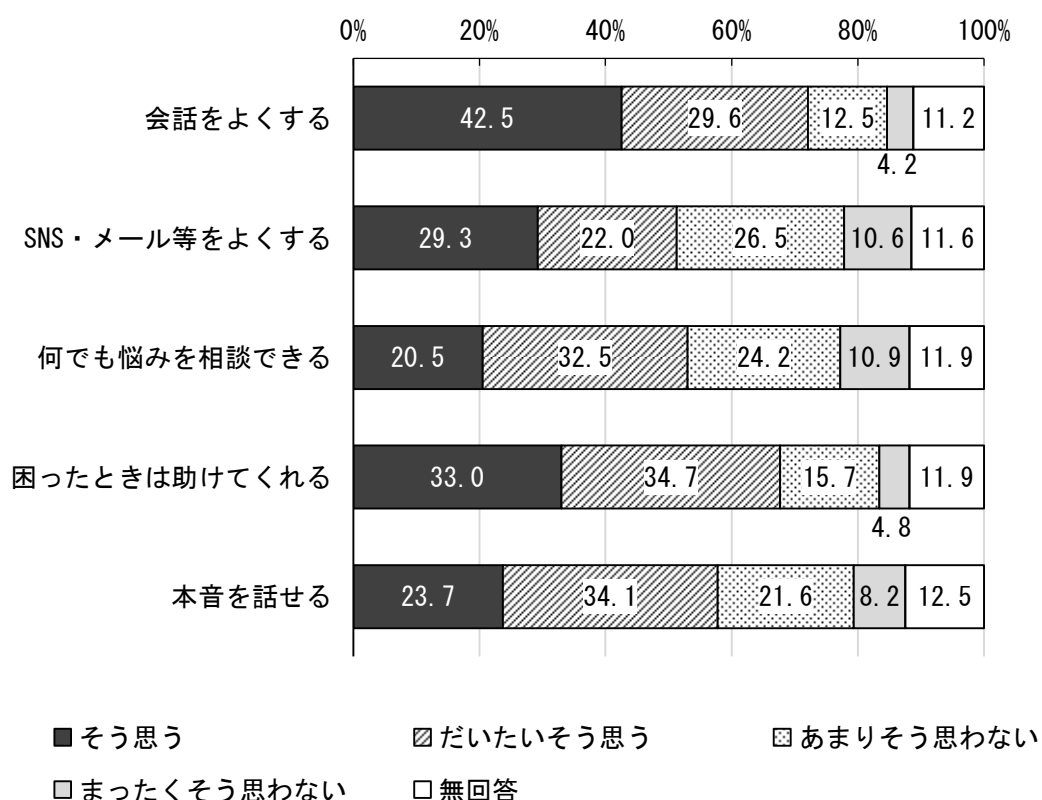
友人や学校、職場の人とのかかわりで「そう思う」こととしては、「会話をよくする」が42.5%と最も多く、次いで「困ったときは助けてくれる」が33.0%、「SNS・メール等をよくする」が29.3%となっています。

「だいたいそう思う」ことは、「困ったときは助けてくれる」が34.7%と最も多く、次いで「本音を話せる」が34.1%、「何でも悩みを相談できる」が32.5%となっています。

「あまりそう思わない」ことは、「SNS・メール等をよくする」が26.5%と最も多く、次いで「何でも悩みを相談できる」が24.2%、「本音を話せる」が21.6%となっています。

「まったくそう思わない」ことは、「何でも悩みを相談できる」が10.9%と最も多く、次いで「SNS・メール等をよくする」が10.6%、「本音を話せる」が8.2%となっています。

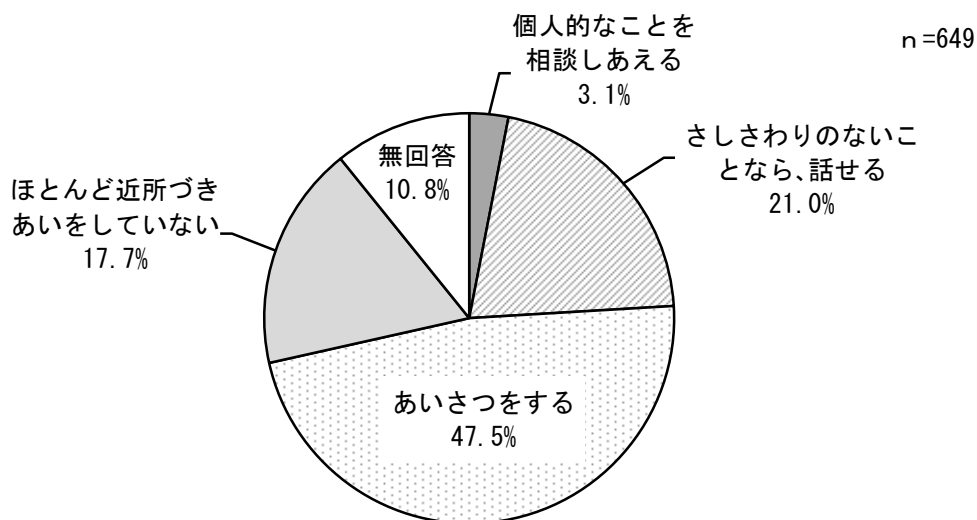
n=649



## (12) 隣近所の人との近所づきあい

問 19 あなたは、隣近所の人と、どの程度近所づきあいをしていますか。(1つに○)

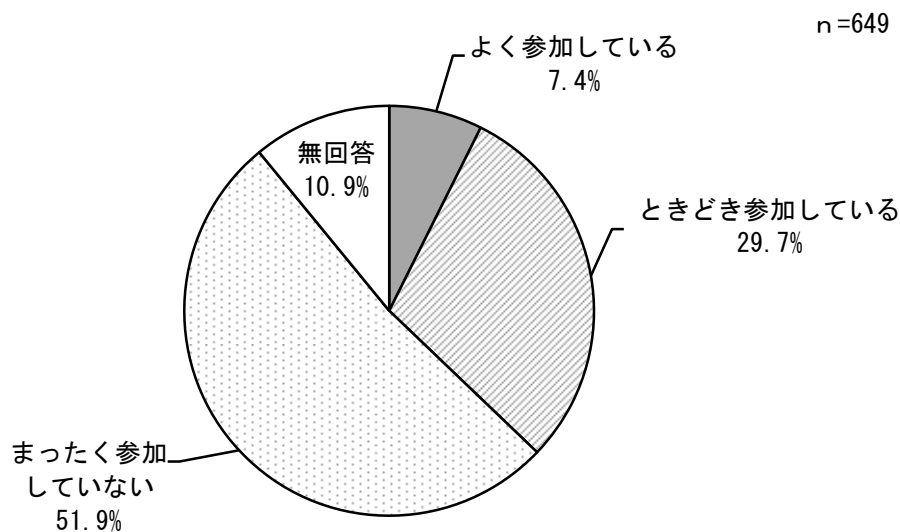
隣近所の人との近所づきあいは、「あいさつをする」が47.5%と最も多く、次いで「さしさわりのないことなら、話せる」が21.0%、「ほとんど近所づきあいをしていない」が17.7%となっています。



## (13) 地域活動や行事への参加の有無

問 20 あなたは、地域の活動や行事にどの程度参加していますか。(1つに○)

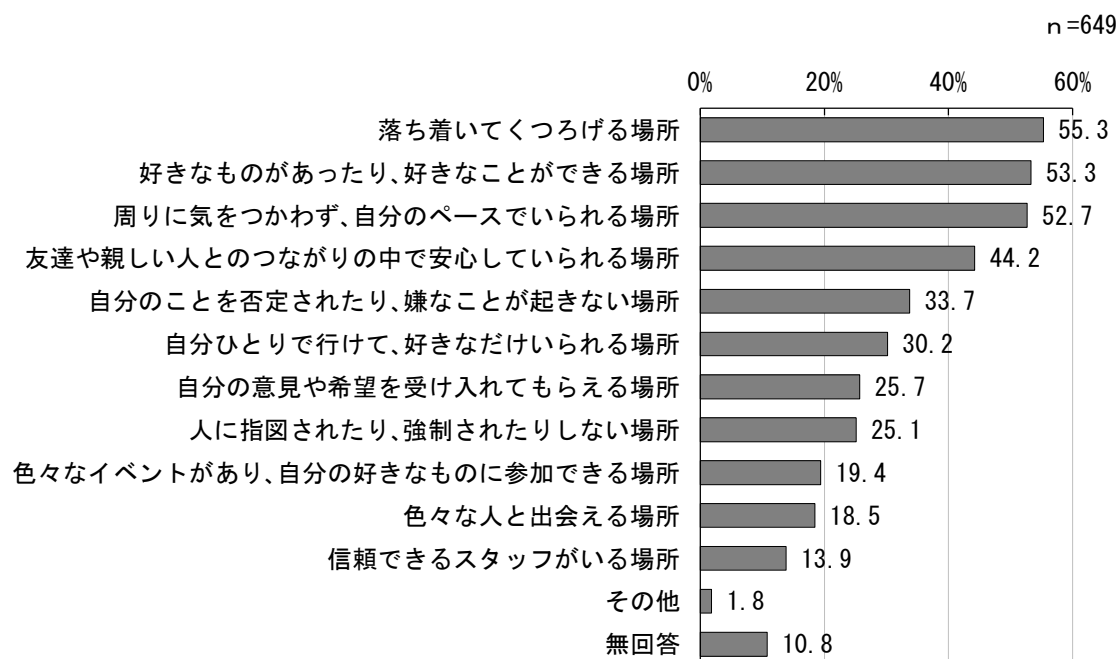
地域活動や行事への参加の有無は、「まったく参加していない」が51.9%と最も多く、次いで「ときどき参加している」が29.7%、「よく参加している」が7.4%となっています。



## (14) 若者にとっての居場所

問 2 1 あなたは、若者にとっての「居場所」とは、どんなところだと思いますか。（すべてに○）

若者にとっての居場所は、「落ち着いてくつろげる場所」が 55.3%と最も多く、次いで「好きなものがあったり、好きなことができる場所」が 53.3%、「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」が 52.7%となっています。



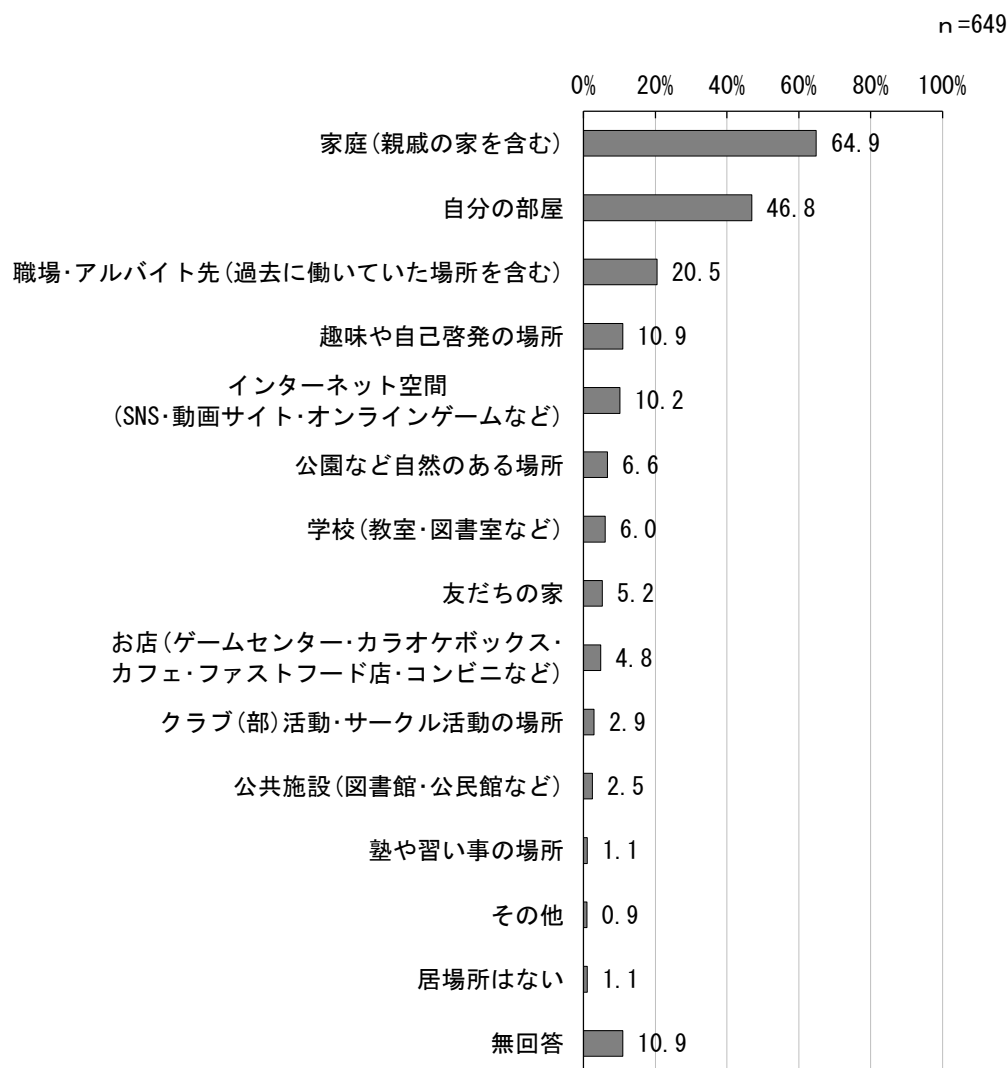
### 【その他】

- 親、兄弟がいる家
- 絵のかける環境
- 不良の溜まり場にならないような場所
- 自分の役割がある場所
- 施設利用者に対して、利用時間規制したりしない所
- 個として認められて受け入れてもらえるような場所

## (15) あなたにとっての居場所

問22 あなたにとっての「居場所」とは、次のうちどこですか。（3つまで○）

あなたにとっての居場所は、「家庭（親戚の家を含む）」が64.9%と最も多く、次いで「自分の部屋」が46.8%、「職場・アルバイト先（過去に働いていた場所を含む）」が20.5%となっています。



### 【その他】

車／美容室／自分のいる空間全てが居場所であり、居場所がないなどはありません／実家／映画館／服屋

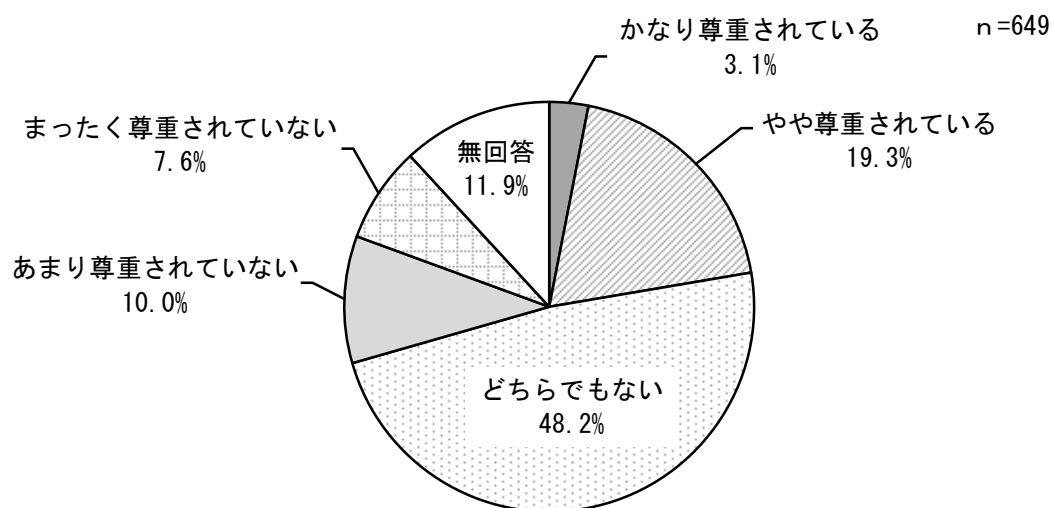


## 4 若者を取り巻く環境について

### (1) 熊取町での若者の権利

問23 あなたは、熊取町では若者の権利が尊重されていると感じますか。(1つに○)

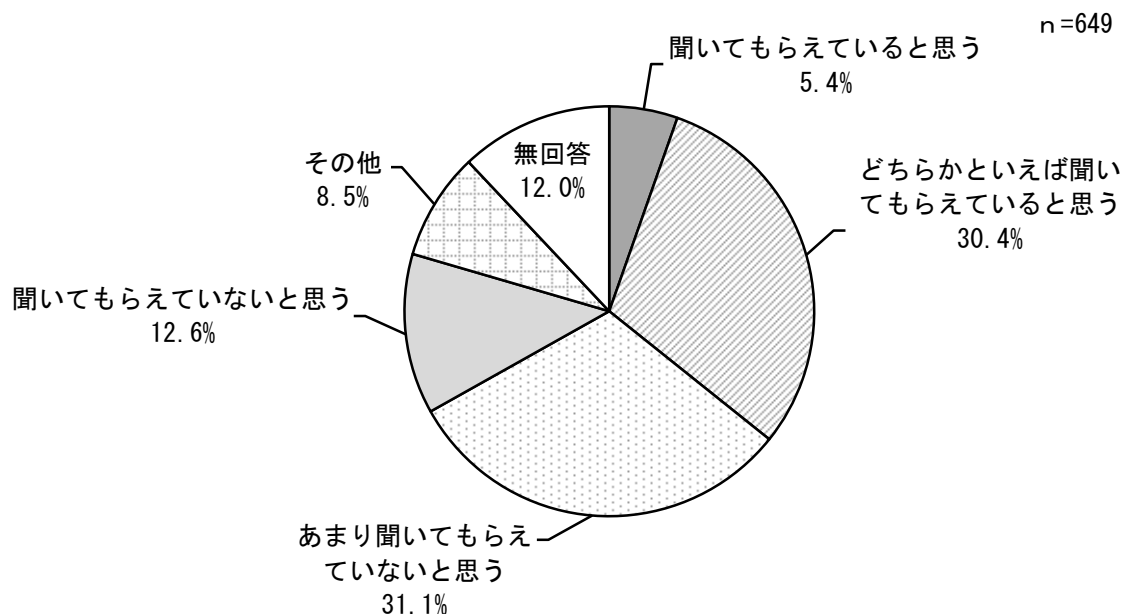
熊取町では若者の権利が尊重されていると感じるかは、「どちらでもない」が48.2%と最も多く、次いで「やや尊重されている」が19.3%、「あまり尊重されていない」が10.0%となっています。



## (2) 熊取町の取組について

問 2 4 あなたは、熊取町の取組において、若者の意見を聞いてもらえると思いますか。(1つに○)

熊取町の取組において、若者の意見を聞いてもらえると思うかは、「あまり聞いてもらえていないと思う」が31.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば聞いてもらえていると思う」が30.4%、「聞いてもらえていないと思う」が12.6%となっています。



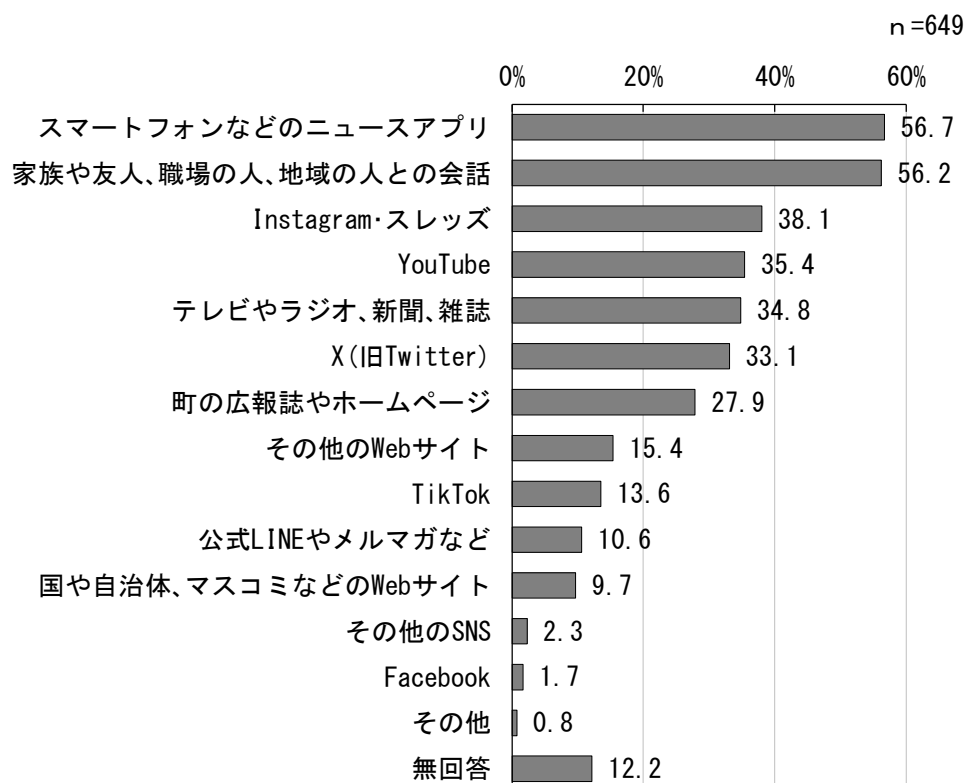
### 【その他】

- 老人に対するものが多いと感じる
- わからない
- どこに意見を伝えたら良いかわからない
- 知らない
- 考えたことがない
- 引き籠もり気味なので、聞いてもらえること自体がよくわからない。
- 若者の意見など聞かなくていい
- 熊取町がなんの取組をしているのかすら知らない
- 我が家は子育て世帯なので、いろんな恩恵を受けられているため子育て世帯には手厚いのかもしれないが、未婚や子なし夫婦の方たちにとっては住みやすいのかはわからない。

### (3) 知りたい情報の入手方法

問25 あなたは普段、どのような方法や手段で知りたい情報を入手していますか。(すべてに○)

知りたい情報の入手方法は、「スマートフォンなどのニュースアプリ」が56.7%と最も多く、次いで「家族や友人、職場の人、地域の人との会話」が56.2%、「Instagram・スレズ」が38.1%となっています。



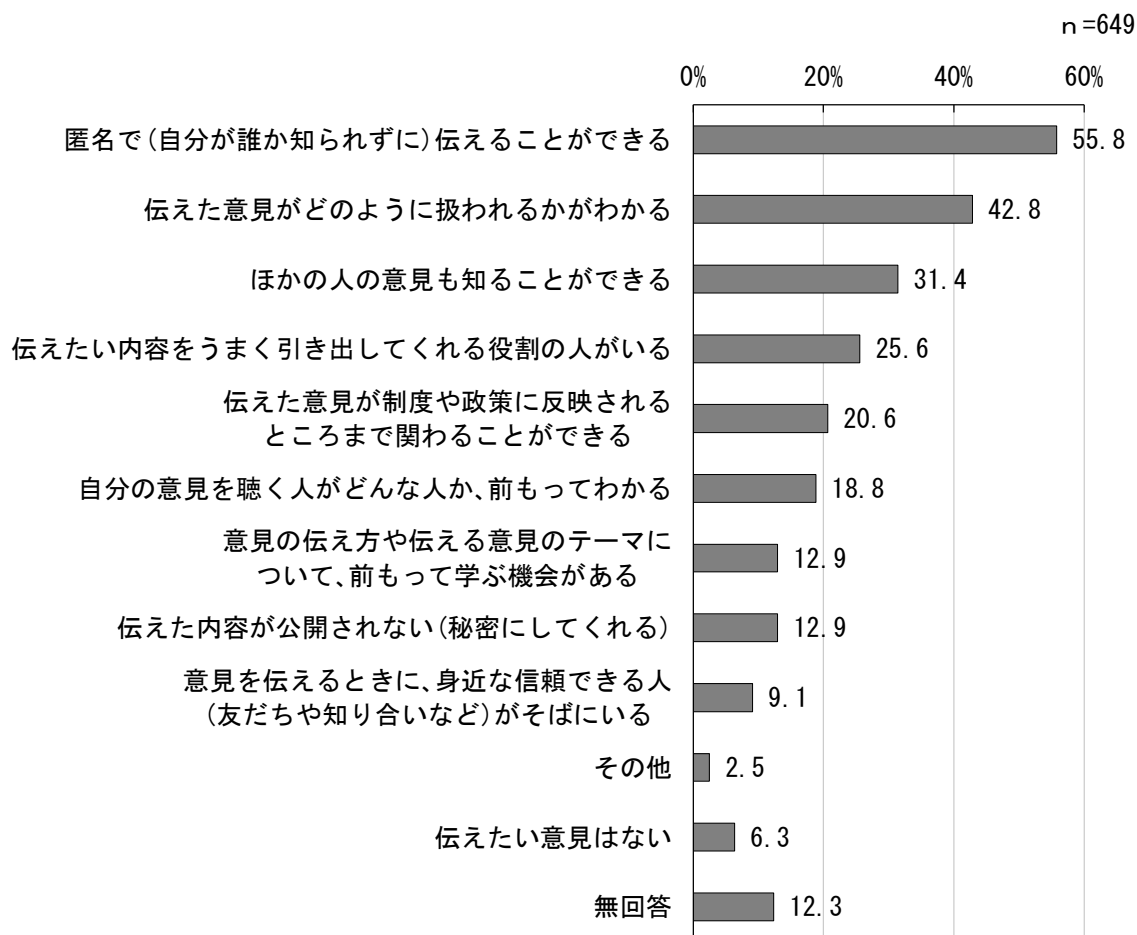
#### 【その他】

- google 先生
- タウンミーティング
- インターネットで情報を検索

#### (4) 意見を伝えやすくするための工夫やルール

問 2 6 あなたは、どんな工夫やルールがあれば、熊取町に対して、自分の意見を伝えやすいと思いますか。(すべてに○)

意見を伝えやすくするための工夫やルールは、「匿名で（自分が誰か知られずに）伝えることができる」が 55.8%と最も多く、次いで「伝えた意見がどのように扱われるかがわかる」が 42.8%、「ほかの人の意見も知ることができる」が 31.4%となっています。



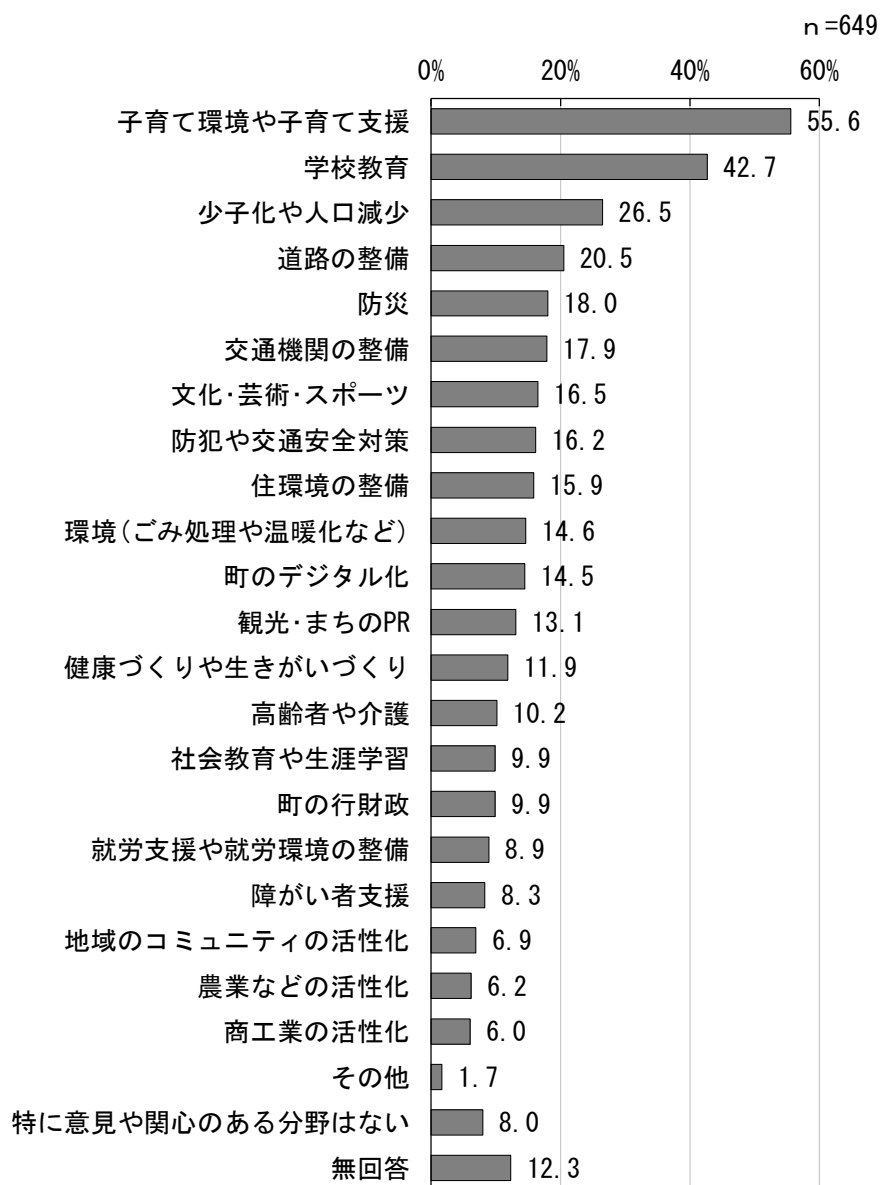
#### 【その他】

- 参与観察を行い若者の考えを政府側が見出す。
- ネット等を使って匿名で募集する機会を設ける。ネットで募集する場合は案内も出さなければ気づかれないため、案内も必要であろう。
- web上に伝えるフォーマットがある。アンケートを配信してもらう。
- 伝えた内容をフィードバックし、伝えた人に「自身の意見が間違っていないんだ」と思ってもらえる仕組み
- 現役世代の投票の義務化および、一定以上の年齢層の投票禁止
- スマホなどで簡単に意見を伝えられるようにしてほしい
- このようなアンケートみたいに（QRコードからのwebアンケートなど）、意見しやすい、参加しやすい手段があれば。また熊取町が抱える課題も同様に伝えてもらえると一緒に考えやすいです。
- LINEやインスタ、Xなどで簡単にできる
- 伝える窓口がインターネット上にあり、いつでも伝えられる。そのフィードバックを広報誌などで見ることができる。

## (5) まちづくりに関する意見や関心

問 2 7 熊取町のまちづくりに関しては、どのような分野に意見や関心を持つことが多いですか。(すべてに○)

まちづくりに関する意見や関心は、「子育て環境や子育て支援」が 55.6%と最も多く、次いで「学校教育」が 42.7%、「少子化や人口減少」が 26.5%となっています。



### 【その他】

公共施設の整備(ひまわりドーム等)／学童保育／経済の仕組み(株式、債券など)教育。制度の活用(給付金等の一覧)／自然保護／原子力研究所が今後与える影響について

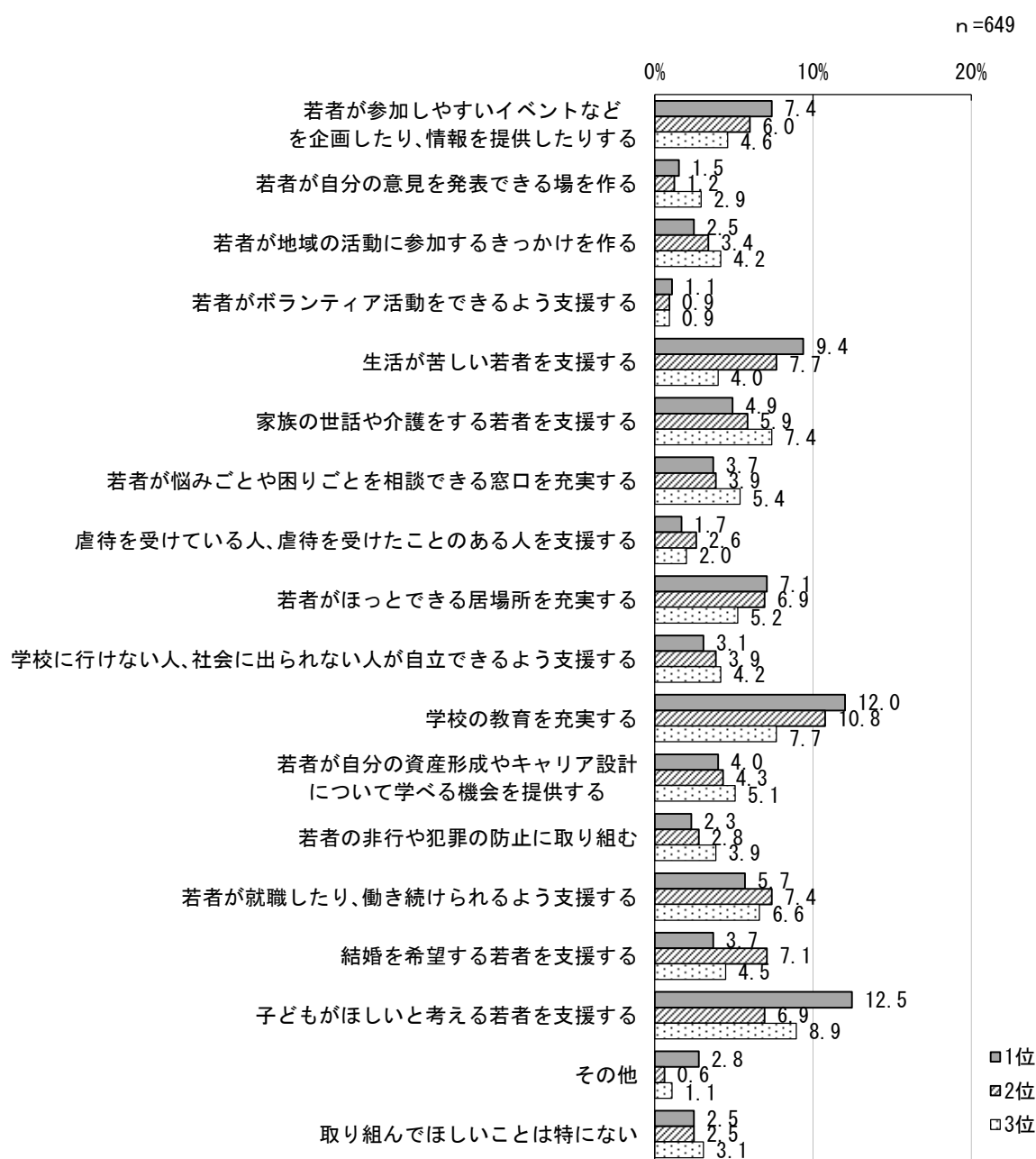
## （６）熊取町に取り組んでほしいこと

問２８ あなたは、若者への支援について、熊取町にどんなことに取り組んでほしいですか。  
（優先度の高いものから順に３つ選んでください）

若者への支援について熊取町に取り組んでほしいことの「１位」としては、「子どもがほしいと考える若者を支援する」が12.5%と最も多く、次いで「学校の教育を充実する」が12.0%、「生活が苦しい若者を支援する」が9.4%となっています。

「２位」としては、「学校の教育を充実する」が10.8%と最も多く、次いで「生活が苦しい若者を支援する」が7.7%、「若者が就職したり、働き続けられるよう支援する」が7.4%となっています。

「３位」としては、「子どもがほしいと考える若者を支援する」が8.9%と最も多く、次いで「学校の教育を充実する」が7.7%、「家族の世話や介護をする若者を支援する」が7.4%となっています。



【その他 1 位】

- 就職に活かせる資格支援〔講座を開く等〕
- 「若者がほっとできる場所」の具体案として、スターバックスの設置などが良いと思います。
- 熊取町内で永住したい人への支援(戸建て購入)
- 町の端まできちんと整備をして欲しい。ずっと住み続けられるように、放置されている土地や荒れた竹林をなんとかしてほしい。
- 今後、この街に定住したいと思える施設、設備、交通機関、道路交通の安全確保
- 若者同士を繋ぐような支援
- 年収 400 万円以上稼げる正規雇用の職を確保すること、保育料無償化、給食費無償化、学用品無償化、高校大学進学費用助成、高校大学通学交通費助成
- 道路、その他町の環境整備。
- ゆりかごから墓場まで、熊取町に住み続けられるようなまちづくり
- 芸能人を呼んでみんなを元気にする

【その他 2 位】

- 子供たちが遊べる公園を増やす
- 住民がボランティアや、バイトを気軽に参加できるように支援する

【その他 3 位】

- 若者に限らず様々な世代が生涯を通して学べる環境を整えて欲しい。高いスクールに通わなくても、町で TOEIC やプログラミング、簿記等の入門から応用まで学べる身につく講座が欲しい。
- 支援をするより税金を減らすよう努力してください、それが一番の支援です。
- 170 号線 道路の拡幅、大阪外環状線 2 車線化
- 若者の生活困難者の給付による支援
- 子育て支援

## (7) 若者への支援に関するご意見

問 2 9 最後に、若者への支援についてご意見がありましたら、自由にご記入ください。(自由記述)

※主な意見を抜粋して、原則原文のまま記載しています。(回答数 115 件)

### 改善希望

#### (若者支援)

- ・若者が参加しやすいフェスなどを開催して、その場で意見の汲み上げなど出来るとよい。
- ・若者が正規雇用で年収 400 万円以上稼げる職場が安定して存在しなければ、自治体としての持続性は無いと思います。
- ・高齢者の支援ばかりで、若者に反映して欲しい。
- ・熊取町でも非行傾向にある若者は少なからずいると思います。
- ・若者がいろいろ興味を持てるよう、市民講座を充実させると良い。
- ・熊取町の若者のための取組内容を知る機会がない

#### (子育てについて)

- ・現在、不妊治療をしています。熊取町では回数制限ありの助成がありますが、青森県のように全額補助して欲しいです。
- ・若い子育て世帯の保育園や幼稚園、小学校の給食費を無償にしてほしいです。
- ・出産時は支援があって良かったが、子育てになると支援が少し足りない
- ・発達障害、引きこもりに対する教育や教師を含めた学校でのサポートを手厚くしてほしい。
- ・今困っていることは熊取に子どもを預ける施設がないところ
- ・小さな子供を連れて遊べる安全な公園もなければ、歩いて移動できる安全な歩道のある道路も少なく、車で移動して他の市町村に行かないと子供を遊ばせることもできない。
- ・子育て支援の拡充(遊び場の増設、公園の整備)
- ・熊取町内にもっと利用しやすい病児保育があったらいいなと思います。
- ・3 年前に子育てしやすい街と知り引っ越してきたが実際はまったくそう感じた事がない。
- ・低所得者ではなく子供のいる家庭に継続的に手厚い支援がほしい。
- ・少数派ではありますが、多胎児を育てる家庭への支援を充実させて欲しいです。
- ・不妊治療や出産時の費用の負担軽減をして欲しい。
- ・子育てするなら熊取町をうたうなら、近隣の市が行っている助成は、同じレベルで行ってほしい。
- ・待機児童はいないはずだが実際には待機児童がいます。

#### (その他 環境面)

- ・熊取町は道が狭く、よく渋滞するのをどうにかしてほしい。子どもの通学も危険だし、仕事に行く際よく渋滞しており不便。早くどうにかしてほしい。
- ・地場産業の活性化。熊取から外に通うではなく、熊取で完結できる環境づくり。
- ・お隣の泉佐野市の取組を参考に熊取町も真新しい取組を考えて欲しいです。
- ・熊取町はデジタル化が遅いです。
- ・気軽に意見が言えるように、ホームページや SNS から伝えられる方法をつくってほしい。
- ・このアンケートの結果をホームページ、広報等で“見える化”していただくようお願いします。



### 願望・依頼

- ・リスクリングが自己費用ではとても出来ないので、町でいくらか支援していただけるとかなり助かります。
- ・若者と政治の距離がもう少し近くなればいいと思います。政治がもっと親しみやすいものだと感じられるようになることが望ましいと思います。
- ・苦しんでいる人を見つけ、行政が気にかける仕組みがあれば孤独感や1人取り残される不安感は少し軽減されるのかと思いました。
- ・市内に働きに出ている子育て世代をどれだけ取り込めるかが、結果若者定着に大事だと思う。
- ・家庭環境に関わらず学びの機会が確保される、意欲のある学生には支援をして、更に地域で活躍してもらう循環があればと思う。
- ・免許を持っていない若者や公共交通機関が遠くにある人はどのようにして出かければよいのでしょうか
- ・今すぐ新築家屋を建てた場合の助成金を行って欲しい。
- ・子育ての街等、若者が住みたい街に生まれ変わってほしい。正直両隣の市や近隣の市に色々魅力は負けている。

### 居場所について

- ・「若者がほっとできる居場所」の具体案として、スターボックスの設置などが良いと思います。
- ・無料で楽しく参加出来るイベントがあると嬉しいです。
- ・学校内で心療内科やメンタルケア等をしてくれる方が1~2人いらっしやればなど、そういう生徒さんの心の拠り所があればいいなと思いました。先生方にも心の拠り所になって欲しいと思います。
- ・今までで1番熊取町にお世話になったのは、図書館の自習スペースです。周りの人が集中しているので1人で勉強するよりも、頑張ろうと思えました。
- ・その子に合った学習を支援できる、放課後に自由に学べる場所作りこそ、町の活性化に繋がると思います。

### 感謝

- ・地域振興券や妊娠出産前後の給付金など熊取町から支援されるものが多くて助かっています。ありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。住みやすい、子育てしやすい、子どもたちも楽しめる街、よろしくお願い致します。
- ・熊取町の商品券等大変助かりました。今後もこの様な子育て支援があるとより安心して生活できると感じました。
- ・地域振興券や第二子からの保育園費用など助かっています、ありがとうございます！！これからも子育て世代に配慮していただきたいです、よろしくお願いします



**「(仮称) 熊取町こども計画」  
策定のための若者アンケート調査 報告書**

発行年月：令和6年8月

編集・発行：熊取町 健康福祉部 子育て支援課

住所：〒590-0495

大阪府泉南郡熊取町野田1丁目1番1号

電話：072-452-6814

問9 あなたは、現在住んでいるところ(地域)が好きですか

		合計	好きである	どちらかという と好きである	どちらか という 好きではない	嫌いである	わからない	無回答
全体		649	33.9%	42.7%	10.3%	2.8%	6.6%	3.7%
年齢	16～19歳	90	37.8%	35.6%	7.8%	2.2%	6.7%	10.0%
	20～24歳	100	32.0%	48.0%	8.0%	3.0%	6.0%	3.0%
	25～29歳	130	40.8%	37.7%	8.5%	2.3%	6.2%	4.6%
	30～34歳	167	31.7%	43.7%	13.2%	1.8%	8.4%	1.2%
	35～39歳	161	29.8%	46.0%	11.8%	4.3%	5.6%	2.5%
同居している方	父	249	34.9%	43.0%	10.0%	2.8%	4.0%	5.2%
	母	309	35.9%	42.1%	9.4%	2.9%	5.5%	4.2%
	祖父母	48	45.8%	31.3%	10.4%	2.1%	4.2%	6.3%
	きょうだい	179	39.7%	40.2%	8.9%	2.8%	3.4%	5.0%
	配偶者・パートナー	299	34.8%	40.5%	11.7%	2.7%	7.4%	3.0%
	恋人	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子ども	282	33.0%	43.3%	11.7%	2.5%	7.4%	2.1%
	その他の親戚	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	16.7%	56.7%	6.7%	3.3%	13.3%	3.3%
	その他	4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問9-1 好きである、どちらかという好きである理由は何ですか

		合計	自然環境 がよいから	交通機関 が便利だから	日常生活 が便利だから	住み慣れたところ だから	整った教育・文化 環境があるから	地域住民 との連帯感 が強いから
全体		497	41.0%	20.7%	27.2%	69.6%	11.1%	9.3%
年齢	16～19歳	66	45.5%	21.2%	12.1%	83.3%	10.6%	13.6%
	20～24歳	80	37.5%	25.0%	17.5%	80.0%	8.8%	5.0%
	25～29歳	102	32.4%	27.5%	28.4%	79.4%	11.8%	6.9%
	30～34歳	126	44.4%	19.0%	36.5%	58.7%	12.7%	10.3%
	35～39歳	122	45.1%	13.9%	31.1%	59.0%	10.7%	10.7%
同居している方	父	194	41.2%	24.2%	20.1%	85.1%	8.2%	7.7%
	母	241	42.3%	24.1%	20.7%	83.0%	10.0%	8.7%
	祖父母	37	35.1%	21.6%	21.6%	91.9%	21.6%	18.9%
	きょうだい	143	43.4%	24.5%	21.0%	87.4%	8.4%	11.9%
	配偶者・パートナー	225	41.8%	16.0%	36.0%	56.4%	12.4%	10.7%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子ども	215	42.8%	14.4%	36.3%	57.2%	13.5%	11.2%
	その他の親戚	2	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	22	36.4%	36.4%	18.2%	54.5%	13.6%	4.5%
	その他	4	50.0%	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
		合計	友人が いるから	趣味や好 きなこと を楽しむ 環境があ るから	安全・安 心なと ころだから	その他	わから ない	無回答
全体		497	30.4%	11.5%	29.2%	3.4%	1.2%	0.0%
年齢	16～19歳	66	56.1%	18.2%	36.4%	0.0%	1.5%	0.0%
	20～24歳	80	47.5%	11.3%	32.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	25～29歳	102	19.6%	8.8%	23.5%	3.9%	2.0%	0.0%
	30～34歳	126	23.0%	11.1%	27.8%	7.1%	0.0%	0.0%
	35～39歳	122	22.1%	10.7%	28.7%	3.3%	2.5%	0.0%
同居している方	父	194	40.7%	11.3%	29.9%	0.5%	0.5%	0.0%
	母	241	39.8%	12.9%	29.9%	1.2%	0.4%	0.0%
	祖父母	37	43.2%	18.9%	27.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	きょうだい	143	49.0%	14.7%	33.6%	1.4%	0.7%	0.0%
	配偶者・パートナー	225	20.9%	9.8%	28.0%	5.3%	1.8%	0.0%
	恋人	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子ども	215	22.3%	8.8%	28.4%	4.7%	2.3%	0.0%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	22	22.7%	9.1%	27.3%	4.5%	0.0%	0.0%
	その他	4	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%

問9-2 嫌いである、どちらかというとき好きではない理由は何ですか

		合計	自然環境 がよくな いから	交通機関 が不便だ から	日常生活 が不便だ から	住み慣れ たところ ではない から	整った教 育・文化 環境がな いから	地域住民 との連帯 感が薄い から	
全体			85	5.9%	56.5%	41.2%	11.8%	16.5%	9.4%
年齢	16～19歳	9	0.0%	44.4%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	
	20～24歳	11	0.0%	45.5%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	
	25～29歳	14	7.1%	71.4%	57.1%	7.1%	21.4%	7.1%	
	30～34歳	25	8.0%	60.0%	52.0%	16.0%	24.0%	16.0%	
	35～39歳	26	7.7%	53.8%	42.3%	15.4%	15.4%	11.5%	
同居している方	父	32	6.3%	59.4%	37.5%	3.1%	12.5%	6.3%	
	母	38	5.3%	60.5%	42.1%	0.0%	10.5%	5.3%	
	祖父母	6	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	
	きょうだい	21	0.0%	57.1%	28.6%	4.8%	14.3%	4.8%	
	配偶者・パートナー	43	4.7%	53.5%	44.2%	18.6%	23.3%	14.0%	
	恋人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	子ども	40	5.0%	50.0%	40.0%	17.5%	22.5%	15.0%	
	その他の親戚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		合計	友人がい ないから	趣味や好 きなこと を楽しむ 環境がな いから	危険や不 安を感じる から	その他	わからな い	無回答	
全体			85	12.9%	34.1%	16.5%	20.0%	4.7%	0.0%
年齢	16～19歳	9	0.0%	44.4%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	
	20～24歳	11	0.0%	0.0%	18.2%	27.3%	9.1%	0.0%	
	25～29歳	14	7.1%	35.7%	35.7%	21.4%	0.0%	0.0%	
	30～34歳	25	36.0%	60.0%	20.0%	8.0%	4.0%	0.0%	
	35～39歳	26	3.8%	19.2%	7.7%	26.9%	3.8%	0.0%	
同居している方	父	32	6.3%	40.6%	12.5%	25.0%	6.3%	0.0%	
	母	38	7.9%	36.8%	13.2%	23.7%	7.9%	0.0%	
	祖父母	6	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	
	きょうだい	21	0.0%	38.1%	14.3%	14.3%	4.8%	0.0%	
	配偶者・パートナー	43	18.6%	32.6%	18.6%	18.6%	2.3%	0.0%	
	恋人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	子ども	40	15.0%	27.5%	20.0%	20.0%	2.5%	0.0%	
	その他の親戚	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	3	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問19 あなたは、隣近所の人と、どの程度近所づきあいをしていますか

		合計	個人的な ことを相 談しあえ る	さしさわ りのない ことな ら、話せ る	あいさつ をする	ほとんど 近所づき あいをし ていない	無回答
全体		649	3.1%	21.0%	47.5%	17.7%	10.8%
年齢	16～19歳	90	2.2%	13.3%	54.4%	16.7%	13.3%
	20～24歳	100	2.0%	11.0%	50.0%	27.0%	10.0%
	25～29歳	130	3.1%	16.2%	44.6%	25.4%	10.8%
	30～34歳	167	2.4%	24.6%	50.3%	12.6%	10.2%
	35～39歳	161	5.0%	31.7%	41.6%	11.2%	10.6%
同居している方	父	249	1.6%	15.7%	47.0%	22.1%	13.7%
	母	309	2.3%	14.2%	48.2%	23.9%	11.3%
	祖父母	48	0.0%	14.6%	45.8%	27.1%	12.5%
	きょうだい	179	2.2%	14.0%	50.8%	21.2%	11.7%
	配偶者・パートナー	299	4.7%	31.1%	47.8%	6.4%	10.0%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	子ども	282	5.0%	33.3%	47.2%	6.4%	8.2%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	0.0%	3.3%	40.0%	50.0%	6.7%
	その他	4	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%

問20 あなたは、地域の活動や行事にどの程度参加していますか

		合計	よく参加 している	ときどき 参加して いる	まったく 参加して いない	無回答
全体		649	7.4%	29.7%	51.9%	10.9%
年齢	16～19歳	90	7.8%	35.6%	43.3%	13.3%
	20～24歳	100	7.0%	22.0%	61.0%	10.0%
	25～29歳	130	7.7%	16.2%	65.4%	10.8%
	30～34歳	167	4.2%	35.3%	50.3%	10.2%
	35～39歳	161	10.6%	36.6%	41.6%	11.2%
同居している方	父	249	6.0%	24.9%	55.4%	13.7%
	母	309	6.8%	25.6%	56.3%	11.3%
	祖父母	48	10.4%	22.9%	54.2%	12.5%
	きょうだい	179	6.7%	28.5%	53.1%	11.7%
	配偶者・パートナー	299	9.4%	38.8%	41.5%	10.4%
	恋人	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	子ども	282	10.3%	41.8%	39.4%	8.5%
	その他の親戚	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	0.0%	0.0%	93.3%	6.7%
	その他	4	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

問23 あなたは、熊取町では若者の権利が尊重されていると感じますか

		合計	かなり尊 重されて いる	やや尊重 されてい る	どちらで もない	あまり尊 重されて いない	まったく 尊重され ていない	無回答
全体		649	3.1%	19.3%	48.2%	10.0%	7.6%	11.9%
年齢	16～19歳	90	8.9%	24.4%	36.7%	11.1%	5.6%	13.3%
	20～24歳	100	4.0%	23.0%	43.0%	10.0%	8.0%	12.0%
	25～29歳	130	3.8%	16.9%	50.8%	8.5%	9.2%	10.8%
	30～34歳	167	1.2%	19.2%	49.1%	10.8%	8.4%	11.4%
	35～39歳	161	0.6%	16.1%	54.7%	9.9%	6.2%	12.4%
同居している方	父	249	3.2%	22.9%	41.0%	10.0%	8.0%	14.9%
	母	309	3.9%	21.4%	46.0%	10.4%	6.5%	12.0%
	祖父母	48	6.3%	18.8%	43.8%	8.3%	10.4%	12.5%
	きょうだい	179	5.0%	25.7%	38.5%	10.6%	7.3%	12.8%
	配偶者・パートナー	299	2.0%	17.7%	50.8%	10.4%	8.0%	11.0%
	恋人	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子ども	282	2.1%	18.8%	51.4%	10.6%	7.8%	9.2%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	6.7%	10.0%	60.0%	6.7%	6.7%	10.0%
	その他	4	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%

問27 熊取町のまちづくりに関しては、どのような分野に意見や関心を持つことが多いですか

		合計	少子化や人口減少	子育て環境や子育て支援	学校教育	社会教育や生涯学習	健康づくりや生きがいづくり	文化・芸術・スポーツ
全体		649	26.5%	55.6%	42.7%	9.9%	11.9%	16.5%
年齢	16～19歳	90	24.4%	26.7%	31.1%	7.8%	7.8%	17.8%
	20～24歳	100	24.0%	44.0%	31.0%	8.0%	9.0%	21.0%
	25～29歳	130	26.2%	55.4%	34.6%	10.0%	10.0%	18.5%
	30～34歳	167	25.7%	69.5%	50.9%	12.0%	16.2%	12.0%
	35～39歳	161	30.4%	65.2%	54.7%	9.9%	13.0%	15.5%
同居している方	父	249	24.1%	38.2%	29.3%	8.4%	10.0%	16.9%
	母	309	24.6%	38.5%	31.7%	9.7%	10.4%	17.8%
	祖父母	48	29.2%	43.8%	25.0%	8.3%	8.3%	20.8%
	きょうだい	179	23.5%	31.3%	28.5%	10.1%	10.1%	19.6%
	配偶者・パートナー	299	30.1%	78.6%	58.9%	10.7%	12.4%	13.0%
	恋人	1	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	子ども	282	29.1%	82.6%	63.5%	11.3%	13.1%	12.8%
	その他の親戚	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	23.3%	26.7%	23.3%	10.0%	16.7%	33.3%
その他		4	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%
		合計	高齢者や介護	障がい者支援	防災	防犯や交通安全対策	環境(ごみ処理や温暖化など)	観光・まちのPR
全体		649	10.2%	8.3%	18.0%	16.2%	14.6%	13.1%
年齢	16～19歳	90	6.7%	4.4%	16.7%	17.8%	20.0%	17.8%
	20～24歳	100	11.0%	11.0%	16.0%	13.0%	10.0%	18.0%
	25～29歳	130	10.0%	6.2%	16.9%	14.6%	14.6%	10.8%
	30～34歳	167	7.8%	11.4%	21.6%	20.4%	11.4%	11.4%
	35～39歳	161	13.7%	6.8%	17.4%	14.3%	18.0%	11.2%
同居している方	父	249	12.0%	8.4%	18.5%	14.5%	13.7%	14.9%
	母	309	11.7%	9.1%	17.8%	14.6%	16.2%	15.2%
	祖父母	48	12.5%	8.3%	8.3%	10.4%	20.8%	16.7%
	きょうだい	179	10.1%	10.6%	17.3%	15.6%	17.3%	16.8%
	配偶者・パートナー	299	9.4%	8.4%	19.1%	17.7%	13.4%	10.4%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	子ども	282	9.9%	9.2%	18.8%	17.0%	12.4%	11.0%
	その他の親戚	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	13.3%	6.7%	10.0%	13.3%	20.0%	23.3%
その他		4	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%
		合計	商工業の活性化	農業などの活性化	就労支援や就労環境の整備	道路の整備	交通機関の整備	住環境の整備
全体		649	6.0%	6.2%	8.9%	20.5%	17.9%	15.9%
年齢	16～19歳	90	3.3%	7.8%	6.7%	20.0%	12.2%	11.1%
	20～24歳	100	5.0%	5.0%	10.0%	17.0%	11.0%	15.0%
	25～29歳	130	6.9%	6.9%	8.5%	19.2%	21.5%	13.1%
	30～34歳	167	6.0%	6.6%	12.0%	22.2%	19.8%	19.2%
	35～39歳	161	7.5%	5.0%	6.2%	22.4%	20.5%	18.0%
同居している方	父	249	5.6%	8.0%	8.8%	20.9%	16.1%	14.1%
	母	309	5.5%	7.8%	9.7%	20.7%	16.5%	13.6%
	祖父母	48	2.1%	8.3%	10.4%	14.6%	12.5%	10.4%
	きょうだい	179	4.5%	7.8%	10.1%	23.5%	16.8%	16.2%
	配偶者・パートナー	299	5.7%	5.0%	7.4%	19.4%	17.7%	17.1%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	子ども	282	5.7%	5.0%	8.9%	19.1%	17.4%	15.6%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	13.3%	10.0%	13.3%	30.0%	23.3%	23.3%
その他		4	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%
		合計	地域のコミュニティの活性化	町のデジタル化	町の行政	その他	特に意見や関心のある分野はない	無回答
全体		649	6.9%	14.5%	9.9%	1.7%	8.0%	12.3%
年齢	16～19歳	90	8.9%	10.0%	12.2%	1.1%	22.2%	13.3%
	20～24歳	100	10.0%	13.0%	10.0%	2.0%	8.0%	12.0%
	25～29歳	130	4.6%	14.6%	5.4%	2.3%	6.9%	11.5%
	30～34歳	167	3.6%	14.4%	10.2%	1.8%	4.8%	12.0%
	35～39歳	161	9.3%	18.0%	11.8%	1.2%	4.3%	13.0%
同居している方	父	249	6.4%	10.8%	10.8%	2.4%	11.2%	15.3%
	母	309	7.1%	13.6%	10.4%	2.6%	14.2%	12.3%
	祖父母	48	6.3%	16.7%	6.3%	2.1%	10.4%	12.5%
	きょうだい	179	7.3%	12.8%	10.6%	1.7%	14.5%	12.8%
	配偶者・パートナー	299	6.0%	13.4%	9.7%	1.0%	1.7%	11.7%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子ども	282	5.7%	14.2%	9.6%	0.4%	1.4%	9.6%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	13.3%	33.3%	13.3%	0.0%	3.3%	10.0%
その他		4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%

問28 1 若者への支援について、熊取町に取り組んでほしいこと 1位

		合計	若者が参 加しやすい イベントなど を企画した り、情報を 提供した りする	若者が自 分の意見を 発表する場 を作る	若者が地 域の活動に 参加する きっかけを 作る	若者がボ ランティア 活動をする よう支援す る	生活が苦 しい若者 を支援する	家族の世 話をする 者や支援 者をする	若者が悩 みややり と困りと 相談で
全体		649	7.4%	1.5%	2.5%	1.1%	9.4%	4.9%	3.7%
年齢	16～19歳	90	4.4%	2.2%	6.7%	3.3%	16.7%	4.4%	3.3%
	20～24歳	100	8.0%	2.0%	3.0%	1.0%	9.0%	4.0%	6.0%
	25～29歳	130	9.2%	1.5%	0.8%	1.5%	7.7%	4.6%	3.1%
	30～34歳	167	4.8%	0.6%	1.2%	0.0%	10.2%	4.8%	4.2%
	35～39歳	161	9.9%	1.9%	2.5%	0.6%	6.2%	6.2%	2.5%
同居している方	父	249	5.6%	1.6%	3.2%	1.6%	10.4%	5.6%	5.2%
	母	309	5.8%	2.3%	2.9%	1.6%	10.7%	6.5%	5.2%
	祖父母	48	2.1%	4.2%	4.2%	2.1%	10.4%	4.2%	8.3%
	きょうだい	179	6.7%	1.7%	5.0%	2.2%	13.4%	5.0%	5.0%
	配偶者・パートナー	299	9.7%	1.0%	2.0%	0.3%	6.4%	4.0%	2.7%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	こども	282	9.9%	0.7%	2.1%	0.4%	8.2%	5.3%	3.2%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	6.7%	0.0%	3.3%	3.3%	10.0%	3.3%	0.0%
	その他	4	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
合計			虐待を受 けている 人、虐待 を受けた ことのある 人を支援 する	若者が ほっとで きる居場 所を充実 する	学校に行 けない人、社会 に出られ ない人が 自立でき るよう支 援する	学校の教 育を充実 する	若者が自 分の資産 形成や キャリア 設計につ いて学べ る機会を 提供する	若者の非 行や犯罪 の防止に 取り組む	若者が就 職したり、 働き続け られるよ
全体		649	1.7%	7.1%	3.1%	12.0%	4.0%	2.3%	5.7%
年齢	16～19歳	90	1.1%	12.2%	1.1%	7.8%	4.4%	2.2%	4.4%
	20～24歳	100	0.0%	12.0%	6.0%	3.0%	1.0%	4.0%	9.0%
	25～29歳	130	0.8%	5.4%	2.3%	8.5%	2.3%	2.3%	6.9%
	30～34歳	167	2.4%	4.8%	2.4%	13.8%	7.2%	1.8%	3.6%
	35～39歳	161	3.1%	5.0%	3.7%	21.1%	3.7%	1.9%	5.0%
同居している方	父	249	1.6%	8.8%	2.8%	6.4%	2.8%	2.4%	8.4%
	母	309	1.9%	9.1%	3.9%	7.8%	3.2%	1.9%	7.4%
	祖父母	48	0.0%	6.3%	6.3%	10.4%	0.0%	4.2%	6.3%
	きょうだい	179	1.7%	10.6%	3.9%	4.5%	2.2%	1.1%	8.4%
	配偶者・パートナー	299	1.3%	4.3%	2.7%	17.4%	3.7%	2.3%	4.0%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	こども	282	1.8%	3.9%	3.5%	19.9%	3.5%	2.1%	4.3%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	3.3%	10.0%	0.0%	10.0%	16.7%	3.3%	6.7%
	その他	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
合計			結婚を希 望する若 者を支援 する	子どもが ほしいと 考える若 者を支援 する	その他	取り組ん でほしい ことは特 にない	無回答		
全体		649	3.7%	12.5%	2.8%	2.5%	12.2%		
年齢	16～19歳	90	2.2%	3.3%	3.3%	3.3%	13.3%		
	20～24歳	100	8.0%	9.0%	2.0%	1.0%	12.0%		
	25～29歳	130	3.8%	21.5%	3.1%	3.1%	11.5%		
	30～34歳	167	3.0%	18.0%	3.6%	2.4%	11.4%		
	35～39歳	161	2.5%	6.8%	1.9%	2.5%	13.0%		
同居している方	父	249	5.6%	8.8%	2.0%	2.0%	14.9%		
	母	309	4.2%	8.1%	1.9%	3.2%	12.3%		
	祖父母	48	4.2%	10.4%	0.0%	4.2%	12.5%		
	きょうだい	179	3.4%	7.3%	1.7%	2.8%	13.4%		
	配偶者・パートナー	299	2.7%	19.1%	3.3%	1.7%	11.4%		
	恋人	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
	こども	282	2.1%	15.6%	2.5%	1.4%	9.6%		
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	3.3%	6.7%	3.3%	0.0%	10.0%		
	その他	4	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%		



問28 2 若者への支援について、熊取町に取り組んでほしいこと 2位

		合計	若者が参加しやすいイベントなどを企画したり、情報を提供したりする	若者が自分の意見を発表できる場を作る	若者が地域の活動に参加するきっかけを作る	若者がボランティア活動ができるよう支援する	生活が苦しい若者を支援する	家族の世話をしたり、話をしたりする	若者が悩みごとや困りごとを相談で
全体		649	6.0%	1.2%	3.4%	0.9%	7.7%	5.9%	3.9%
年齢	16～19歳	90	10.0%	1.1%	2.2%	3.3%	4.4%	3.3%	3.3%
	20～24歳	100	8.0%	0.0%	3.0%	1.0%	9.0%	10.0%	6.0%
	25～29歳	130	3.1%	1.5%	1.5%	0.0%	7.7%	8.5%	3.1%
	30～34歳	167	7.2%	1.2%	4.2%	0.6%	10.2%	4.2%	4.2%
	35～39歳	161	3.7%	1.9%	5.0%	0.6%	6.2%	4.3%	3.1%
同居している方	父	249	6.4%	1.2%	1.6%	2.0%	6.4%	8.4%	4.0%
	母	309	6.8%	1.0%	2.3%	1.6%	7.4%	7.8%	3.9%
	祖父母	48	6.3%	2.1%	0.0%	0.0%	10.4%	6.3%	4.2%
	きょうだい	179	7.8%	1.7%	1.1%	2.2%	5.6%	6.7%	5.6%
	配偶者・パートナー	299	5.4%	1.7%	5.0%	0.3%	8.0%	4.3%	3.3%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子ども	282	5.0%	1.4%	5.0%	0.4%	8.5%	3.9%	3.9%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	6.7%	6.7%
その他		4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%
合計		649	2.6%	6.9%	3.9%	10.8%	4.3%	2.8%	7.4%
年齢	16～19歳	90	4.4%	11.1%	3.3%	8.9%	1.1%	3.3%	6.7%
	20～24歳	100	3.0%	4.0%	3.0%	10.0%	3.0%	1.0%	8.0%
	25～29歳	130	0.8%	8.5%	4.6%	16.9%	3.1%	2.3%	3.1%
	30～34歳	167	3.0%	4.2%	2.4%	10.8%	4.2%	3.6%	11.4%
	35～39歳	161	2.5%	8.1%	5.0%	7.5%	8.1%	3.1%	6.8%
同居している方	父	249	2.0%	7.2%	3.6%	10.0%	3.2%	2.0%	7.2%
	母	309	2.6%	6.8%	3.9%	9.4%	2.9%	2.3%	7.1%
	祖父母	48	0.0%	4.2%	6.3%	4.2%	2.1%	2.1%	10.4%
	きょうだい	179	3.4%	6.7%	5.0%	8.4%	2.2%	1.1%	7.3%
	配偶者・パートナー	299	3.0%	7.0%	3.3%	13.7%	5.0%	2.3%	8.7%
	恋人	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子ども	282	2.5%	6.0%	4.3%	14.2%	5.7%	3.2%	8.9%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	0.0%	16.7%	6.7%	10.0%	3.3%	6.7%	0.0%
その他		4	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計		649	7.1%	6.9%	0.6%	2.5%	15.3%		
年齢	16～19歳	90	2.2%	4.4%	1.1%	6.7%	18.9%		
	20～24歳	100	12.0%	3.0%	1.0%	1.0%	14.0%		
	25～29歳	130	10.0%	9.2%	0.0%	1.5%	14.6%		
	30～34歳	167	4.8%	7.2%	0.0%	2.4%	14.4%		
	35～39歳	161	6.8%	8.7%	1.2%	1.9%	15.5%		
同居している方	父	249	7.2%	6.0%	0.4%	2.8%	18.1%		
	母	309	8.4%	5.5%	1.0%	2.9%	16.5%		
	祖父母	48	10.4%	10.4%	2.1%	2.1%	16.7%		
	きょうだい	179	8.9%	4.5%	1.1%	2.8%	17.9%		
	配偶者・パートナー	299	4.7%	8.7%	0.7%	1.3%	13.4%		
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	子ども	282	5.0%	8.9%	0.7%	1.4%	11.3%		
	その他の親戚	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	16.7%	0.0%	0.0%	6.7%	10.0%		
その他		4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

問28 3 若者への支援について、熊取町に取り組んでほしいこと 3位

		合計	若者が参加しやすいイベントなどを企画したり、情報を提供したりする	若者が自分の意見を発表できる場を作る	若者が地域の活動に参加するきっかけを作る	若者がボランティア活動ができるよう支援する	生活が苦しい若者を支援する	家族の介護や若者への支援をする	世話がやりと困りと相談できる	若者が悩みごとやりと相談できる
全体		649	4.6%	2.9%	4.2%	0.9%	4.0%	7.4%	5.4%	
年齢	16～19歳	90	6.7%	1.1%	5.6%	0.0%	6.7%	8.9%	2.2%	
	20～24歳	100	3.0%	6.0%	3.0%	2.0%	5.0%	7.0%	9.0%	
	25～29歳	130	2.3%	0.8%	7.7%	0.8%	4.6%	7.7%	5.4%	
	30～34歳	167	6.0%	3.6%	2.4%	0.6%	2.4%	6.0%	5.4%	
	35～39歳	161	5.0%	3.1%	3.1%	1.2%	2.5%	8.1%	5.0%	
同居している方	父	249	2.8%	2.0%	4.4%	0.4%	4.0%	8.0%	6.0%	
	母	309	3.2%	2.3%	4.2%	1.0%	4.2%	7.8%	5.5%	
	祖父母	48	6.3%	0.0%	4.2%	2.1%	10.4%	6.3%	6.3%	
	きょうだい	179	3.9%	2.8%	5.6%	1.1%	3.9%	8.9%	5.0%	
	配偶者・パートナー	299	5.7%	3.3%	4.0%	0.7%	3.3%	7.4%	5.7%	
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	こども	282	5.0%	3.2%	4.3%	1.4%	3.2%	8.2%	6.0%	
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	10.0%	6.7%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	6.7%	
	その他	4	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		合計	虐待を受けている人、虐待を受けたことのある人を支援する	若者がほっとできる居場所を充実させる	学校に行けない人、社会に出られない人が自立できるように支援する	学校の教育を充実させる	若者が自分の資産形成やキャリア設計について学べる機会を提供する	若者の非行や犯罪の防止に取り組む	若者が就職したり、働き続けられるように支援する	
全体		649	2.0%	5.2%	4.2%	7.7%	5.1%	3.9%	6.6%	
年齢	16～19歳	90	2.2%	6.7%	2.2%	6.7%	2.2%	4.4%	7.8%	
	20～24歳	100	4.0%	5.0%	2.0%	8.0%	4.0%	0.0%	6.0%	
	25～29歳	130	1.5%	5.4%	4.6%	6.9%	5.4%	2.3%	10.0%	
	30～34歳	167	1.8%	6.0%	5.4%	9.0%	4.8%	6.0%	5.4%	
	35～39歳	161	1.2%	3.7%	5.0%	7.5%	7.5%	5.0%	5.0%	
同居している方	父	249	3.6%	6.8%	4.4%	6.8%	2.4%	2.8%	8.4%	
	母	309	2.6%	6.1%	4.9%	6.1%	3.2%	2.9%	7.8%	
	祖父母	48	2.1%	10.4%	4.2%	6.3%	2.1%	0.0%	8.3%	
	きょうだい	179	1.1%	6.1%	3.4%	7.8%	2.8%	3.9%	7.3%	
	配偶者・パートナー	299	1.3%	5.0%	4.0%	9.0%	6.4%	5.0%	5.7%	
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	こども	282	1.4%	4.6%	4.6%	9.6%	6.4%	5.0%	5.7%	
	その他の親戚	2	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	0.0%	3.3%	3.3%	3.3%	10.0%	6.7%	3.3%	
	その他	4	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	
		合計	結婚を希望する若者を支援する	子どもがほしいと考える若者を支援する	その他	取り組んでほしいことは特にない	無回答			
全体		649	4.5%	8.9%	1.1%	3.1%	18.3%			
年齢	16～19歳	90	2.2%	7.8%	0.0%	1.1%	25.6%			
	20～24歳	100	5.0%	9.0%	3.0%	4.0%	15.0%			
	25～29歳	130	6.2%	7.7%	0.0%	3.8%	16.9%			
	30～34歳	167	4.2%	9.0%	1.8%	3.0%	17.4%			
	35～39歳	161	4.3%	10.6%	0.6%	3.1%	18.6%			
同居している方	父	249	5.2%	7.6%	0.8%	2.0%	21.3%			
	母	309	5.2%	9.4%	1.6%	2.3%	19.7%			
	祖父母	48	2.1%	6.3%	0.0%	4.2%	18.8%			
	きょうだい	179	3.9%	7.8%	1.7%	2.2%	20.7%			
	配偶者・パートナー	299	4.3%	9.4%	0.7%	3.3%	15.7%			
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	こども	282	4.6%	8.9%	0.7%	3.5%	13.8%			
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	6.7%	10.0%	0.0%	6.7%	16.7%			
	その他	4	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%			



問10(1) 今後、どのようになりたいと思いますか 心豊かな生活を送りたい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	75.5%	16.9%	1.4%	0.3%	0.3%	5.5%
年齢	16～19歳	90	71.1%	15.6%	2.2%	0.0%	0.0%	11.1%
	20～24歳	100	78.0%	13.0%	2.0%	1.0%	1.0%	5.0%
	25～29歳	130	73.1%	19.2%	1.5%	0.0%	0.0%	6.2%
	30～34歳	167	77.8%	18.0%	1.2%	0.0%	0.0%	3.0%
	35～39歳	161	75.8%	17.4%	0.6%	0.6%	0.6%	5.0%
職業	学生	121	78.5%	11.6%	2.5%	0.0%	0.0%	7.4%
	学生以外	527	74.8%	18.2%	1.1%	0.4%	0.4%	5.1%

問10(2) 今後、どのようになりたいと思いますか お金に困らない生活を送りたい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	82.7%	10.6%	0.6%	0.2%	0.2%	5.7%
年齢	16～19歳	90	76.7%	11.1%	1.1%	0.0%	0.0%	11.1%
	20～24歳	100	83.0%	11.0%	0.0%	0.0%	1.0%	5.0%
	25～29歳	130	79.2%	11.5%	1.5%	0.0%	0.0%	7.7%
	30～34歳	167	88.6%	7.8%	0.6%	0.0%	0.0%	3.0%
	35～39歳	161	82.6%	12.4%	0.0%	0.6%	0.0%	4.3%
職業	学生	121	77.7%	14.0%	0.8%	0.0%	0.0%	7.4%
	学生以外	527	83.9%	9.9%	0.6%	0.2%	0.2%	5.3%

問10(3) 今後、どのようになりたいと思いますか やりたい仕事に就いて仕事に打ち込みたい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	46.2%	30.0%	15.1%	2.3%	0.9%	5.4%
年齢	16～19歳	90	63.3%	21.1%	3.3%	1.1%	0.0%	11.1%
	20～24歳	100	51.0%	28.0%	15.0%	1.0%	0.0%	5.0%
	25～29歳	130	47.7%	23.8%	19.2%	2.3%	0.8%	6.2%
	30～34歳	167	42.5%	32.3%	18.6%	1.2%	2.4%	3.0%
	35～39歳	161	36.6%	39.1%	14.9%	5.0%	0.0%	4.3%
職業	学生	121	62.8%	20.7%	7.4%	1.7%	0.0%	7.4%
	学生以外	527	42.5%	32.3%	16.9%	2.5%	0.9%	4.9%

問10(4) 今後、どのようになりたいと思いますか 出世して、地位や役職を得たい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	19.1%	19.9%	38.5%	15.1%	1.8%	5.5%
年齢	16～19歳	90	33.3%	24.4%	21.1%	4.4%	4.4%	12.2%
	20～24歳	100	19.0%	26.0%	32.0%	15.0%	3.0%	5.0%
	25～29歳	130	21.5%	20.0%	38.5%	13.1%	0.8%	6.2%
	30～34歳	167	16.2%	14.4%	46.1%	19.8%	0.6%	3.0%
	35～39歳	161	12.4%	19.3%	44.7%	18.0%	1.2%	4.3%
職業	学生	121	30.6%	24.8%	23.1%	9.9%	3.3%	8.3%
	学生以外	527	16.5%	18.8%	42.1%	16.3%	1.3%	4.9%

問10(5) 今後、どのようになりたいと思いますか 仕事や趣味、スポーツなどの分野で有名になりたい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	12.5%	14.2%	38.5%	27.3%	2.2%	5.4%
年齢	16～19歳	90	26.7%	8.9%	33.3%	16.7%	3.3%	11.1%
	20～24歳	100	12.0%	12.0%	39.0%	26.0%	6.0%	5.0%
	25～29歳	130	14.6%	16.9%	36.2%	26.2%	0.0%	6.2%
	30～34歳	167	7.8%	13.8%	43.1%	31.7%	0.6%	3.0%
	35～39歳	161	8.1%	16.8%	38.5%	29.8%	2.5%	4.3%
職業	学生	121	20.7%	12.4%	35.5%	21.5%	2.5%	7.4%
	学生以外	527	10.6%	14.6%	39.3%	28.5%	2.1%	4.9%

問10(6) 今後、どのようになりたいと思いますか 社会や多くの人の役に立つことをしたい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	36.2%	35.7%	15.1%	4.9%	2.6%	5.4%
年齢	16～19歳	90	44.4%	28.9%	6.7%	4.4%	4.4%	11.1%
	20～24歳	100	43.0%	35.0%	9.0%	4.0%	4.0%	5.0%
	25～29歳	130	37.7%	30.8%	19.2%	4.6%	1.5%	6.2%
	30～34歳	167	35.9%	34.7%	21.0%	4.2%	1.2%	3.0%
	35～39歳	161	26.7%	45.3%	14.3%	6.2%	3.1%	4.3%
職業	学生	121	45.5%	33.9%	5.8%	5.0%	2.5%	7.4%
	学生以外	527	34.2%	36.2%	17.3%	4.7%	2.7%	4.9%

問10(7) 今後、どのようになりたいと思いますか 自分の趣味や家族・友人との時間を重視したい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	67.2%	23.4%	2.2%	0.6%	1.1%	5.5%
年齢	16～19歳	90	61.1%	24.4%	1.1%	1.1%	1.1%	11.1%
	20～24歳	100	66.0%	23.0%	3.0%	1.0%	2.0%	5.0%
	25～29歳	130	69.2%	22.3%	1.5%	0.8%	0.0%	6.2%
	30～34歳	167	71.9%	21.0%	3.6%	0.0%	0.6%	3.0%
	35～39歳	161	65.2%	26.7%	1.2%	0.6%	1.2%	5.0%
職業	学生	121	62.8%	27.3%	0.8%	1.7%	0.0%	7.4%
	学生以外	527	68.3%	22.6%	2.5%	0.4%	1.1%	5.1%

問10(8) 今後、どのようになりたいと思いますか 親を大切にしたい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	65.0%	25.3%	2.3%	1.5%	0.5%	5.4%
年齢	16～19歳	90	58.9%	28.9%	0.0%	1.1%	0.0%	11.1%
	20～24歳	100	71.0%	21.0%	0.0%	3.0%	0.0%	5.0%
	25～29歳	130	65.4%	23.8%	3.1%	0.8%	0.8%	6.2%
	30～34歳	167	65.3%	26.9%	3.0%	1.2%	0.6%	3.0%
	35～39歳	161	64.6%	25.5%	3.7%	1.9%	0.0%	4.3%
職業	学生	121	62.0%	27.3%	0.8%	2.5%	0.0%	7.4%
	学生以外	527	65.8%	24.9%	2.7%	1.3%	0.4%	4.9%

問10(9) 今後、どのようになりたいと思いますか 信頼できる友人や仲間を得たい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	58.2%	26.8%	7.6%	0.9%	0.9%	5.5%
年齢	16～19歳	90	60.0%	26.7%	1.1%	1.1%	0.0%	11.1%
	20～24歳	100	63.0%	20.0%	7.0%	2.0%	2.0%	6.0%
	25～29歳	130	59.2%	26.2%	7.7%	0.0%	0.8%	6.2%
	30～34歳	167	60.5%	26.9%	7.2%	1.2%	1.2%	3.0%
	35～39歳	161	51.6%	31.7%	11.8%	0.6%	0.0%	4.3%
職業	学生	121	62.8%	27.3%	1.7%	0.0%	0.0%	8.3%
	学生以外	527	57.3%	26.8%	8.9%	1.1%	0.9%	4.9%

問10(10) 今後、どのようになりたいと思いますか 地元で暮らしたい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	29.0%	27.6%	26.0%	5.5%	6.3%	5.5%
年齢	16～19歳	90	13.3%	22.2%	36.7%	6.7%	10.0%	11.1%
	20～24歳	100	26.0%	27.0%	30.0%	3.0%	9.0%	5.0%
	25～29歳	130	37.7%	26.9%	18.5%	5.4%	4.6%	6.9%
	30～34歳	167	32.9%	30.5%	24.0%	4.8%	4.8%	3.0%
	35～39歳	161	28.0%	28.6%	26.1%	7.5%	5.6%	4.3%
職業	学生	121	15.7%	24.0%	40.5%	4.1%	8.3%	7.4%
	学生以外	527	31.9%	28.5%	22.8%	5.9%	5.9%	5.1%

問10(11) 今後、どのようになりたいと思いますか 安定した生活を送りたい

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	80.6%	11.9%	0.9%	0.3%	0.2%	6.2%
年齢	16～19歳	90	78.9%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
	20～24歳	100	81.0%	11.0%	2.0%	0.0%	1.0%	5.0%
	25～29歳	130	80.8%	12.3%	0.8%	0.0%	0.0%	6.2%
	30～34歳	167	82.0%	12.6%	0.6%	0.0%	0.0%	4.8%
	35～39歳	161	79.5%	12.4%	1.2%	1.2%	0.0%	5.6%
職業	学生	121	78.5%	13.2%	0.8%	0.0%	0.0%	7.4%
	学生以外	527	81.0%	11.6%	0.9%	0.4%	0.2%	5.9%

問10(12) 今後、どのようになりたいと思いますか 結婚をしている・パートナーがいる

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	52.7%	7.1%	5.2%	20.0%	8.8%	6.2%
年齢	16～19歳	90	14.4%	10.0%	11.1%	33.3%	18.9%	12.2%
	20～24歳	100	26.0%	12.0%	8.0%	34.0%	15.0%	5.0%
	25～29歳	130	46.2%	9.2%	7.7%	23.1%	7.7%	6.2%
	30～34歳	167	73.1%	3.0%	2.4%	12.6%	4.8%	4.2%
	35～39歳	161	75.2%	5.0%	1.2%	8.7%	4.3%	5.6%
職業	学生	121	17.4%	9.9%	12.4%	34.7%	17.4%	8.3%
	学生以外	527	60.9%	6.5%	3.6%	16.5%	6.8%	5.7%

問10(13) 今後、どのようになりたいと思いますか こどもを育てている

		合計	そう思う	だいたい そう思う	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	わからな い	無回答
	全体	649	48.7%	5.7%	5.2%	25.4%	8.3%	6.6%
年齢	16～19歳	90	10.0%	8.9%	13.3%	40.0%	15.6%	12.2%
	20～24歳	100	19.0%	9.0%	8.0%	44.0%	15.0%	5.0%
	25～29歳	130	40.0%	8.5%	6.2%	31.5%	6.9%	6.9%
	30～34歳	167	69.5%	1.8%	1.8%	16.2%	6.0%	4.8%
	35～39歳	161	74.5%	3.7%	1.9%	9.9%	3.7%	6.2%
職業	学生	121	11.6%	9.9%	12.4%	42.1%	15.7%	8.3%
	学生以外	527	57.3%	4.7%	3.6%	21.4%	6.6%	6.3%



問14-1 あなたが現在の外出状況になってどのくらい経ちますか

		合計	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満
全体		66	13.6%	10.6%	16.7%	15.2%	16.7%
年齢	16～19歳	3	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	20～24歳	8	25.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%
	25～29歳	13	7.7%	23.1%	23.1%	23.1%	7.7%
	30～34歳	24	8.3%	12.5%	12.5%	16.7%	16.7%
	35～39歳	17	5.9%	5.9%	17.6%	11.8%	29.4%
		合計	5年～10年未満	10年以上	答えたくない	無回答	
全体		66	13.6%	12.1%	1.5%	0.0%	
年齢	16～19歳	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	20～24歳	8	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	
	25～29歳	13	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	
	30～34歳	24	12.5%	16.7%	4.2%	0.0%	
	35～39歳	17	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%	









問15 あなたは、現在、困っていることや悩んでいることがありますか

		合計	勉強や進 学のこと	仕事や就 職のこと	家族のこ と	友人や仲 間のこと	恋愛や結 婚のこと	お金のこ と	政治や社 会のこと	将来のこ と
年齢	全体	649	11.2%	41.6%	21.3%	6.2%	17.1%	48.2%	14.0%	39.8%
	16～19歳	90	45.6%	34.4%	12.2%	17.8%	11.1%	38.9%	11.1%	36.7%
	20～24歳	100	16.0%	46.0%	14.0%	7.0%	30.0%	47.0%	18.0%	44.0%
	25～29歳	130	5.4%	46.9%	17.7%	5.4%	26.9%	48.5%	14.6%	44.6%
	30～34歳	167	2.4%	44.3%	26.9%	1.2%	12.6%	58.7%	12.6%	35.3%
	35～39歳	161	3.1%	36.0%	28.0%	5.0%	9.3%	43.5%	14.3%	39.8%
	父	249	16.9%	44.6%	14.5%	8.0%	28.9%	43.0%	15.7%	37.3%
	母	309	19.1%	46.3%	16.2%	8.4%	28.2%	45.6%	15.2%	41.4%
	祖父母	48	16.7%	33.3%	12.5%	8.3%	20.8%	41.7%	12.5%	31.3%
	きょうだい	179	26.3%	45.8%	12.3%	8.9%	26.3%	43.0%	15.1%	40.2%
同居している方	配偶者・パートナー	299	2.7%	38.1%	27.1%	2.3%	1.0%	49.5%	13.0%	36.8%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子ども	282	2.8%	39.0%	29.8%	2.1%	1.4%	52.1%	11.0%	37.9%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	16.7%	43.3%	26.7%	23.3%	56.7%	60.0%	13.3%	53.3%
	その他	4	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	50.0%	75.0%
	学生	121	44.6%	45.5%	9.1%	15.7%	19.0%	41.3%	14.0%	39.7%
	学生以外	527	3.6%	40.8%	24.1%	4.0%	16.7%	49.9%	14.0%	39.8%
	合計		性のこと	病気や健 康のこと	性格や容 姿のこと	はっきり とした悩 みはない がなんと なく不安	特にない	答えたく ない	その他	無回答
年齢	全体	649	3.4%	16.0%	11.7%	8.9%	12.2%	0.8%	1.7%	8.8%
	16～19歳	90	3.3%	5.6%	18.9%	11.1%	8.9%	1.1%	2.2%	12.2%
	20～24歳	100	5.0%	18.0%	14.0%	12.0%	12.0%	0.0%	1.0%	8.0%
	25～29歳	130	3.8%	18.5%	13.8%	7.7%	12.3%	0.8%	1.5%	9.2%
	30～34歳	167	4.2%	15.6%	7.2%	5.4%	12.0%	0.6%	1.2%	5.4%
	35～39歳	161	1.2%	19.3%	9.3%	10.6%	13.7%	1.2%	2.5%	10.6%
	父	249	3.2%	14.5%	12.9%	10.4%	9.6%	0.8%	0.8%	10.8%
	母	309	4.2%	15.5%	14.6%	10.4%	10.0%	1.3%	1.3%	8.7%
	祖父母	48	4.2%	18.8%	18.8%	10.4%	14.6%	2.1%	0.0%	12.5%
	きょうだい	179	4.5%	14.5%	17.3%	8.9%	9.5%	0.6%	1.7%	9.5%
同居している方	配偶者・パートナー	299	2.7%	14.7%	8.0%	7.0%	15.4%	0.3%	2.3%	8.4%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子ども	282	2.1%	15.2%	8.9%	6.7%	16.0%	0.0%	2.5%	6.7%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	3.3%	30.0%	23.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
	その他	4	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学生	121	4.1%	10.7%	19.8%	10.7%	10.7%	0.8%	1.7%	9.1%
	学生以外	527	3.2%	17.3%	9.9%	8.5%	12.3%	0.8%	1.7%	8.7%
	合計									
職業	全体	649	3.4%	16.0%	11.7%	8.9%	12.2%	0.8%	1.7%	8.8%
	16～19歳	90	3.3%	5.6%	18.9%	11.1%	8.9%	1.1%	2.2%	12.2%
	20～24歳	100	5.0%	18.0%	14.0%	12.0%	12.0%	0.0%	1.0%	8.0%
	25～29歳	130	3.8%	18.5%	13.8%	7.7%	12.3%	0.8%	1.5%	9.2%
	30～34歳	167	4.2%	15.6%	7.2%	5.4%	12.0%	0.6%	1.2%	5.4%
	35～39歳	161	1.2%	19.3%	9.3%	10.6%	13.7%	1.2%	2.5%	10.6%
	父	249	3.2%	14.5%	12.9%	10.4%	9.6%	0.8%	0.8%	10.8%
	母	309	4.2%	15.5%	14.6%	10.4%	10.0%	1.3%	1.3%	8.7%
	祖父母	48	4.2%	18.8%	18.8%	10.4%	14.6%	2.1%	0.0%	12.5%
	きょうだい	179	4.5%	14.5%	17.3%	8.9%	9.5%	0.6%	1.7%	9.5%
同居している方	配偶者・パートナー	299	2.7%	14.7%	8.0%	7.0%	15.4%	0.3%	2.3%	8.4%
	恋人	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	子ども	282	2.1%	15.2%	8.9%	6.7%	16.0%	0.0%	2.5%	6.7%
	その他の親戚	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	友人	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	一人暮らし(寮やシェアハウスなどを含む)	30	3.3%	30.0%	23.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
	その他	4	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学生	121	4.1%	10.7%	19.8%	10.7%	10.7%	0.8%	1.7%	9.1%
	学生以外	527	3.2%	17.3%	9.9%	8.5%	12.3%	0.8%	1.7%	8.7%
	合計									



問16-1 だれにも相談しない理由は何ですか

合計		相談しても解決できないと思うから	自分一人で解決すると思うから	悩んでいること、相談相手がいないから	相手にどう思うかわからない不安だから	相談相手以外の人にも広まってしまいそうだから	相談すること、逆に問題が大きくなりそうだから	自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから	相手がどんな人かわからないから	話したくないことまで聞かれそうだから	
年齢	全体	72	54.2%	31.9%	29.2%	19.4%	12.5%	11.1%	1.4%	8.3%	
	16～19歳	8	62.5%	37.5%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	
	20～24歳	11	63.6%	45.5%	36.4%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%	18.2%	
	25～29歳	16	25.0%	25.0%	6.3%	25.0%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	
	30～34歳	18	72.2%	27.8%	27.8%	11.1%	5.6%	11.1%	0.0%	5.6%	
35～39歳	19	52.6%	31.6%	47.4%	21.1%	26.3%	15.8%	5.3%	10.5%		
合計		嫌なこと、できないことをするようになれそうだから	相手にうまく伝えられないから	裏切られたり、失望されたりするのが嫌だから	自分以外の人が傷つくおそれがある、迷惑をかけたりしそうだから	お金がかかると思うから	時間がかかると思うから	その他	特に理由はない、わからない	無回答	
年齢	全体	72	6.9%	23.6%	15.3%	9.7%	2.8%	13.9%	4.2%	6.9%	0.0%
	16～19歳	8	0.0%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～24歳	11	18.2%	27.3%	18.2%	27.3%	9.1%	27.3%	0.0%	18.2%	0.0%
	25～29歳	16	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%
	30～34歳	18	5.6%	22.2%	5.6%	5.6%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%
35～39歳	19	10.5%	21.1%	15.8%	5.3%	5.3%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%	



「（仮称）熊取町こども計画」に関する  
ヒアリング調査（調査票まとめ）

報告書

熊 取 町  
令和6年9月



## □ ■ 目 次 ■ □

<b>I</b>	<b>ヒアリングの概要と詳細結果</b>	<b>1</b>
1	こどもの様子に関し最近の傾向や気になること	2
2	保護者の様子に関し最近の傾向や気になること	6
3	工夫していること、喜ばれていること	11
4	施設・団体における課題や、改善が必要な点	16
5	今後、拡充や縮小を考えている事業や取り組み	21
6	町の子育て支援について、日頃感じている課題や望むこと	23
<b>II</b>	<b>ヒアリング結果のまとめ</b>	<b>27</b>
1	こどもの様子に関し最近の傾向や気になることについて	27
2	保護者の様子に関し最近の傾向や気になることについて	27
3	工夫していること、喜ばれていることについて	27
4	施設・団体における課題や、改善が必要な点について	28
5	今後、拡充や縮小を考えている事業や取り組みについて	29
6	町の子育て支援について、日頃感じている課題や望むことについて	29

## I ヒアリングの概要と詳細結果

ヒアリング日時 令和6年8月30日（金）

ヒアリング会場 熊取ふれあいセンター3階会議室

### 対象団体

「こども食堂を支援する会」

「Viento Kitchen（子ども食堂）」

「ひなた食堂」

「熊取町社会福祉協議会」

「熊取町民生委員児童委員協議会」（※）

「熊取文庫連絡協議会」

「アトム共同保育園」

「つばさ共同保育園」

「すみれ保育園」

「西保育園」

「フレンド幼稚園」

「さくらこども園」

「熊取みどり幼稚園」（※）

「NPO法人くまとり子育てWA・輪・和」

「特定非営利活動法人 地域支援センター くまとりロンド」

「NPO法人ホームビジット・とんとん」

「NPO熊取こどもとおとなのネットワーク」

※ヒアリング当日欠席の2団体は後日個別にヒアリングを実施。

※次ページからの詳細結果は、各施設・団体から提出されたヒアリングシートから原則原文のまま記載しています。

# 1 こどもの様子に関し最近の傾向や気になること

問2 あなたの施設・団体で預かったり、支援をしているこどもの様子について、最近の傾向として感じる事、気になることがあればご記入ください。（例：基本的な生活習慣、親子（家族）関係、対人関係、心や体の健康状態など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みになり、生活リズムが崩れている子どもがいる。朝、遅くまで寝ていて朝食と昼食が一緒。</li> <li>・母親が仕事な為、スマホゲームばかりしているという子どもが心配。子ども食堂に友達と待ち合わせて、待つのも楽しそうに話をしていたり遊んだり。</li> <li>・若いお母さんも、1時間早く来て、数人で楽しそうに話をしていたり、おしゃべり場となっている。</li> <li>・会食は集会所の雨漏りのために中断しているが、「友達と食べたい。」と大丈夫なところで食べている。（集会所の雨漏り対応はもう少ししかかる見込みである）</li> <li>・会食ができないので弁当を持って帰ってもらっている状況である。</li> <li>・お母さん達はこども食堂で知り合った方々である。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感の低い子どもが多いように感じる。</li> <li>・スマホ、ゲーム等で夜中まで起きている子どもが多く日中の疲労や体調の乱れにつながっている。</li> <li>・放課後に友達と約束をして遊ぶ機会が少ない。</li> <li>・こどもが発信しても、忙しい親が向き合えていないと感じる。</li> <li>・スマホを持つ年代が早まり、YouTube等を夜中まで見ている。</li> <li>・習い事が増え、地域の公園でこどもを見る機会も減っている。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で気になる子どもの様子はなです。子どもだけで来てくれる時などは、出来るだけ話したり、遊んだりしているので、今後気づくこともあるかと思う。</li> <li>・8月は幼稚園のこどもがクラスの友達を連れて来てくれた。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜遅くまで起きている（ゲーム、YouTube）ので、朝起きられない。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・やる前から「無理」「できない」「やらない」と言うことが多く、挑戦しようとしにくい。</li> <li>・親の顔色を伺う、指示待ちが多い。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1冊の本をみんなで共有して楽しむことができない。</li> <li>・じっくり聞くことができる子がいる反面、数人で読んでいるのに、自分のペースでページをめくろうとする子がいて、扱いが難しい。</li> <li>・先生も一緒に楽しんでくれるので、ストーリーテリングも絵本も集中してよく楽しんでいる。</li> <li>・キャラバン中（授業中）フードをかぶったままの児童がいた。</li> <li>・姿勢を保てないお子さんが多い。</li> <li>・年長になっても、「私が私が」と順番を待てない子が一定数いると感じる。</li> <li>・小学生の服装が乱れていると感じる。髪色、髪型、パーマ等昔と比べても気になる子が増えている。（クラスに2名くらいいる。）</li> <li>・おはなしキャラバンではイスに座ってもらっているが、1～2割の子が姿勢を保てないのが気になる。</li> <li>・ロウソクを灯したストーリーテリングのときに、ロウソクに触りに来る子もいて不安。</li> </ul>	NPO・団体

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぐずる子が少ない。</li> <li>・気になる子（例えば言葉が遅いなど）が増えた様を感じる。</li> <li>・満3入園が増えたことにより3～4歳児の利用が減った。</li> <li>・生活習慣→動画の見せ方。YouTube等。（親と子供が別々の端末で別々の動画を見ている）</li> <li>・核家族が主流</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月齢の低いこどもの利用が増えている。</li> <li>・習慣的にYouTubeや携帯電話のSNSを見ている。</li> <li>・噛んだり、叩いたりする子が以前より少ないように感じる。</li> <li>・ストローからではなくコップで直飲みしている子を見かける。お母さんに聞くとその方が良いと聞いたからと答える。</li> <li>・スマホ・タブレットに慣れているのか、おもちゃを使いなれていて、人差し指でスクロールするようなしぐさを散見するようになった。</li> <li>・スタッフからの遊びの提案が無ければ遊べない子が増えた。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児が主な対象で、家庭で親と過ごしている状況が多い。</li> <li>・コロナ禍以降家で過ごす時間が長く、家族以外の人との関わりが減っている（もしくはほとんどない）状況が、子ども達にどんな影響を与えているのか（恐れがあるのか）今後与える可能性があるのか気になっている。</li> <li>・自分たちの活動の中だけでは分からない事も多いと感じている。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4ヵ月健診後の入会が多い（保健師から勧められて）。</li> <li>・第2子以降の出産に伴う入会も多い。</li> <li>・小さい頃からぶらっつ等のつどいの広場を利用しているこどもが増えている。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年以上のコロナ禍で子どもたちは、集団生活のなかでの活動や経験、人とのかわりを制限された生活を強いられた。そのことで身体と心・対人関係に少なからず影響が出ていると感じる。</li> <li>○低学年(1～3年生)の身体 <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食をしっかりと食べている子どもが少ない。</li> <li>・体力低下、体幹や反射神経が育っていないことから、大けがにつながっている。</li> <li>・自分の体を守る術に弱く、単独のケガが増えている。</li> <li>・先を見通す力が弱く「こうしたらどうなるか」が考えられない。</li> <li>・身のこなし方や力加減が身についていない。</li> </ul> </li> <li>○対人関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラブルやケンカが生じた時、0か100か、どちらがわるいかに終始し、お互い(相手)の気持ちや行き違い、原因に気付き理解することが難しく、関係を修復していく力が弱い。</li> <li>・特に高学年は、トラブルやケンカが生じた時関係が変わることを拒み、自分が最小限の傷つきですむように感情にフタをする。(高学年になってくると、一見仲がよいのだが、友達と違う意見を言うことを気にしている、自分の気持ちと違うことを発言することが怖い、友達の意見に合わせる、といった子が増えている。)また、自分の心を守るために、防御として相手を攻撃する。</li> </ul> </li> <li>○心や体の健康状態 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に高学年の関係が複雑になってきていて、SNS上のやりとりからのいきちがいやトラブルも生じ、心と言葉の乖離やうわべのつきあいでの場をしのぐ脆い関係性のなかで生きている。</li> </ul> </li> </ul>	NPO・団体

<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のトラブルから学校に行けなくなる、休むことを選ぶ子どももいる。</li> <li>・発達の過程で、こども達はグループ化するのだが、グループの中には皆明日は我が身という気持ちでドキドキしている。良いことも悪いことも言い合える関係を作れるよう、支援員が話を聞いてあげたりしながら気持ちをつかんでいる。</li> <li>・コロナ禍でコミュニケーションが減ったことも影響して深刻化している。</li> </ul>	
<p>○食への意欲の乏しさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌いが多いだけでなく、離乳食時期にも手を出さないなど、食への意欲そのものの低下を感じる。</li> <li>・1歳児を過ぎてても、離乳食が進んでいなかったりする子ども多いが、親自身も自分の食事をお菓子で済ますなどで、食に無頓着だったりもする、家庭での食の経験不足も感じる。</li> </ul> <p>○話がきけない子の多さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達に気がかりがある子が増えている。その中でも特に、全体での指示では理解が難しい子、複数の指示が重なると、聞き洩らしがある子がとても多い。YouTubeなどでの情報の垂れ流し等もその一因といえるのかもしれない。</li> </ul> <p>○思い通りにならないと癇癪をおこす子多い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思い通りにならないと癇癪をおこして、思い通りに（大人）を動かそうとする。泣いて騒いだら、思い通りになるという誤学習があるのだと思う。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食の進みが遅い。ベビーフードの利用が多く、月齢に合わせていると本来の形状よりは柔らかいものしか食べていないことが多い。</li> <li>・早い時期から濃い味付けに慣れていたり、ミルクの時期が延びるので、吸い食べや咀嚼の弱さなどにも影響している。</li> <li>・就寝時間が遅い。低年齢児でも23時を過ぎる家庭も増えている。</li> <li>・感染症が流行しやすい。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ごはんを食べずに来ている子が多い。</li> <li>・紙パンツの中に便をすでにして登園して来たり、いつ交換したのかわからない紙パンツでゼリーがもれている状態に来る。</li> <li>・嫌な事、したくない事等寝ころんだり、部屋から出て行ったりと加配の職員の行動をためしたりする。</li> <li>・自分の思いが上手に伝わらなかったり、手あたりしだい物を投げたり、友達をたたいたりと対人関係が上手に出来ない傾向。</li> <li>・保護者が迎えに来るとよりいっそうエスカレートしてハイテンションになってしまう子が多く、家でどう子どもと向きあっているのかが心配。</li> <li>・朝いつも人形やぬいぐるみを持って来て、保護者に返す時が大変。こだわりのある子が多い。</li> <li>・多動な子が多くじっと座ったり話が聞けなかったり、1対1の関わりが必要な子が多く、いろいろな支援の中でもじっくりゆっくりの関わりが必要な子が目立つ。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<p>○親子関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が子どもに対してどう接していけばいいのか、悩みながら子育てをしている。</li> <li>・仕事が忙しく子どもと関わったり見守ったりすることができず、服が汚れたままだったり、手足にマジックで落書きしたままの登園。保護者は全く気づいていない。</li> <li>・基本的な生活習慣、例えば、早寝、早起き、朝ごはん、寝たまま登園、起きている時、朝ごはんはコンビニ、夜寝るのが深夜（いつ寝たかは母は知らない）というケースもある。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが保護者より「上」、子どもに寄り添うよう心掛けてはいるが、うまく関係を作れていない。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・何でも（小さい事でも）先生に「先生～」と言ってくる子どもが多い（自分でまず考えてみようとする子が少ない気がする。対人関係の事でも・・・）</li> <li>・SNSの情報を子どもが得る機会が多く、知識と子どもの中身のギャップを感じる子がいる。</li> <li>・排泄（便）を拭けない子が多い。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年前と比べると全体的にこどもの身体的発達も精神的発達も緩やかに遅くなっている。</li> <li>・乳児は咀嚼力も弱くなり離乳食から完了食への移行も遅くなっている傾向にある。</li> <li>・咀嚼力をつけるために提供していたメニュー（おやつ昆布やじゃこなど）も食べられずに口にためる子が増えており、誤嚥を防ぐため、1、2歳児への提供を中止した。</li> <li>・新型コロナや小さい頃から自宅でも異年齢と関わる機会が減ったことにより、自分よりも若い年齢のこどもたちへの関わり方や気遣いが苦手な子が増えている。（小さい子が遊んでいるおもちゃを取ってしまう、順番を抜かすなど。）</li> <li>・YouTubeやゲームなどの外部的な影響か、お友だちに乱暴な言葉や行動をしてしまう子がいる。（意味を理解していない子や意味を理解していて悪いと思っけていてもやってしまう子もいる。）</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での清潔意識の高まりや、外遊びの機会が減ったことにより、泥遊びやのり、絵の具等で、手指・足が汚れる事を嫌がる子が増えた。</li> <li>・入園時（3年保育）、字やアルファベットが読める子が増えた。</li> <li>・その反面、出来る事と出来ない事の差がある印象。衣服の着脱などに慣れていない子、自分でやろうとするより、やってもらうのを待っている子も多い。「自分でやろうとせず、親や先生に頼る子」が多い。</li> <li>・挨拶・返事の習慣が身についていない。（基本的な生活習慣より先に、知育教育が身についている印象）</li> <li>・動画等の普及で、興味のある事に対して知識の幅が広がっている。</li> <li>・ユーチューブ、配信アニメの話が話題に出てくる。（深夜のアニメ等、暴力的な言動や遊び等、年齢にそぐわない物も見受けられる。）</li> <li>・体力が落ちている。少しの運動でも疲れやすい。</li> <li>・特に、外遊びの時間が短くなりがちで、暑さに弱い傾向が見られる。</li> <li>・姿勢を保つことが難しい子どもが増えており、座っているときに姿勢が崩れる、立っているときに手をついてしまう子が増えている。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近誤嚥が増えており、硬いものを食べさせないよう国から言われているのが悩みである。発達過程から考えるとアンバランスに感じる。</li> <li>・食の体験をしたことがないまま、成長することも危険だと感じる。園が担う必要があると感じる。最近はそもそも家庭で食べていないものが多く、保育園で体験する必要性もある。</li> <li>・仕事の領域が以前より多くなっている。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園

## 2 保護者の様子に関し最近の傾向や気になること

問3 あなたの施設・団体で預かったり、支援をしているこどもの保護者について、最近の傾向として感じる事、気になることがあればご記入ください。(例：生活習慣、こどもの養育、親子(家族)関係、就労、経済(家計)、対人関係、心や体の健康状態など)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加が100名を超える事の一つとして、母親が仕事疲れて「子ども食堂」のある日は、ほっとできる日となっているようである。「お弁当を持って帰って、ゆっくりと子どもと食べています。」と言っている。</li> <li>・こどもと向き合う時間を取ることができている、という親御さんの声をいただいている。</li> <li>・夏休み1人で家にいるという子どももたくさんいる。集会所で、遊んだり、勉強したりできたらよい。</li> <li>・こども達の勉強を見る時間に取り組んだ。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大半が共働き世帯、ひとり親世帯が多い。</li> <li>・ひとり親家庭でフルタイムの場合、保護者とのコミュニケーションがほとんど取れず家庭連携が取りにくい。</li> <li>・近所に子育てを手伝ってくれる親族がおらずまた、同地域で子育ての相談ができる関係づくりができている方も少ない。</li> <li>・親が夜勤だと、放課後家に帰ってから親が出勤前の限られた時間しかコミュニケーションが取れない。祖父母が夜間は見ているケースがある。</li> <li>・近くに祖父母がいない家庭が多い。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・8～9割は親御さんも一緒に参加している。</li> <li>・家庭ごとに一緒に食事をとっており親子間の仲もよさそうに感じる。</li> <li>・事業をスタートして間もないが、情報感度の高い方は来てくれている。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが遅くまで起きているので親も起きており、親が寝不足。</li> <li>・生活リズムが夜型になっていると感じる。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かするときに、親の用事が優先されて子どもの思いは二の次になることが多いように思われる。</li> <li>・共働きが多く、休みの日に子どものお稽古事が1日に2つも入っている子どもも多く、保護者、子どもともに忙しいため、イベントへの参加が難しくなることが多い。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と直接接することがないのでわからない。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠時からコロナ禍で、家族以外の人との交流がなく子育てをしている家庭が多い。ママ同士の繋がりをもちにくい様に思える。</li> <li>・育休中(復帰予定)の母が多く、一歳で保育所や子ども園へ入所する子が多くなった。</li> <li>・就職希望のママも多く、休職中での保育所入所活動に関する不安の声が多い。</li> <li>・仕事と子育てを考えて実家の近くに転居(してきた・する)という家庭が多い。</li> <li>・育休を取得する父が増えたので、お父さんの利用も多くなった。</li> <li>・主人が育児に熱心に関わって助けてくれるという家庭も増えてきている。</li> <li>・子育ての情報が多く(ネットなど)、かえって不安に陥ることが多い。</li> </ul>	NPO・団体

<ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食期の不安(食べない・1人で食べられないなど)から、ストレスを感じる保護者が多い。</li> <li>・幼少期からの習い事が増えた。</li> <li>・携帯をぶら下げているママが多い。</li> <li>・アプリで離乳食管理している。</li> <li>・車がなくバス等を利用して来てくれる方が増えた。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士で情報交換をするなどコミュニケーションをよくとっている。</li> <li>・インスタグラムなどを活用して、さまざまなイベントに積極的に参加されている。</li> <li>・その一方で、子どもが集まる場所に行ったことがない方もいる。</li> <li>・子どもをスタッフに任して、親子で一緒に遊ぶことが少ない保護者もいる。</li> <li>・この4～5年の間で、産後すぐ職場復帰する方が増えた。</li> <li>・働いていない母も年少を待たずにすぐにでも保育園、子ども園満3歳児保育へ預けたいという声をよく聞く。</li> <li>・父が育休を取得し、来てくれることが増えた。</li> <li>・リモートワークで仕事の合間に母が家にいて、父がつれてくることもある。</li> <li>・一時預かり、通院やリフレッシュのためにもっと気軽に利用できる場所が増えるといいなという声をよく聞く。</li> <li>・子ども同士の玩具の取り合いになると、すぐに自分の子どもに謝らせようとする。親同士も話し合いが出来るようになると思う。</li> <li>・年々夏が暑くなってきており、子どもと出かける場所を探して悩んでいる親が多い。</li> <li>・広場に来ることでお母さん自身の元気を取り戻していると実感している。</li> <li>・周りに頼れる大人が少なくなっている。</li> <li>・我が子の成長をネットで調べていることが多く、発達が遅いと不安になっている。</li> <li>・こどもと一緒に遊ぶ保護者が減っている。</li> <li>・しつけ面の養育を気にされている保護者が増えている。</li> <li>・一時預かり場所について、ファミサポより安心して預けられる、という声もある。</li> <li>・普段からひろばを利用している方であれば、預かり対応は可能になると思う。</li> <li>・つどいの広場、ファミサポ等複合的に行っている他市町村もある。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外へ出にくい。外で話したり、遊んだりしないのでリアルな情報に触れる機会が少なく知らない事も多かったりする。</li> <li>・近所付き合いをあまりしない。(家族だけで固まって解決する。)</li> <li>・子どもを通じた友人はあまりいないと思っている。</li> <li>・他の子どもの成長を知らない/見てない。みんな違う事を知らない。</li> <li>・他の子どもとの関わりが少ないので、発達の目安が分かりにくい。</li> <li>・車に乗らないので外出しにくい。</li> <li>・双子ちゃんの家は、本当に大変、物理的にも心理的にもギリギリな感じ。</li> <li>・親はすごく生真面目な方が多い。一所懸命で、初めての子育てでちょっと融通が利きにくい。</li> <li>・すごく頑張っている。</li> <li>・子育てアプリ等にきっちりデータ入力して活用する方も多い。</li> <li>・臨機応変な対応が苦手。</li> <li>・失敗もいや。</li> <li>・情報はたくさん見ているけれど、あり過ぎて分からない。</li> </ul>	NPO・団体



<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際/リアルが分からないから動きにくい、動けない。</li> <li>・周りの人に聞かない/聞けない。</li> <li>・少子化の影響か、リアルな子どもの姿を実感する機会が少なく実経験が少ない。</li> <li>・よく泣く赤ちゃんの声がうるさくてしんどい。</li> <li>・育休を取得する父親が増えている。</li> <li>・母と父が協力して子育てのスタートしている家庭もある一方で、“なんちゃって育休”で母の負担増・モヤモヤが増えただけという家庭もあり差を感じる。</li> <li>・育休中の父への支援も必要と思う。</li> <li>・父母の力関係/コミュニケーション難しい。(母から見てやってほしいことが伝わらない。)</li> <li>・ダブルケア：親の「介護/看取り」と子育てが重なった家庭があった。親族等の応援もあったが、母の負担は大きかった。</li> <li>・今後晩婚化の影響でダブルケアの家庭も増えるかも。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入会してくる依頼会員の大半が熊取町外からの転入で、周りに助けてくれる親族がいない状況。</li> <li>・両親ともに就労が増え、保育所の利用時間で対応できていた早朝（7時～）夜間（19時～）のこどもの小学校や学童への送迎に困る家庭が増えている。そのため小学校への入学を機に入会が多い。</li> <li>・介護と子育てのダブルケア家庭の増加。</li> <li>・こどもを預けることを心配する人が増えている。母親だけでなく父親も一緒。 例：預かってくれる人はどんな人か？大丈夫か？ こどもに対しても、泣いて相手の方に迷惑をかけないか？</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年以上のコロナ禍で保護者たちは、活動や経験、人とのかかわりを制限された生活を過ごし、家族や親族との対人関係が主となり、子育ての共同・協同に出会う機会がなく、保護者同士の関係や支援員との信頼関係づくりに少なからず影響が出ていると感じる。</li> <li>・トラブルやケンカが生じた時、子どもの話をうのみにし被害者意識が先にくる。</li> <li>・相手や支援員に対し、いきなり攻撃的に責任追及をする傾向がある。</li> <li>・事実の確認や学童保育所と相談をして一緒に考えようという関係がつかれない、またはつくりにくい。</li> <li>・自分の要求が通らないとき、その結論の出し方がとても極端になる。 (訴える、退所する、保育料・おやつ代の返還を求める、支援員の交替を求める)</li> <li>・保護者同士の関係が希薄で、わが子もほかの子も、子どもたちが学童保育で一緒に育っていくという意識が脆弱、または無い。</li> <li>・支援員と保護者が、子育てのパートナーとして信頼関係を築くことが困難になっている。</li> </ul>	NPO・団体
<p>○子育てについて相談する相手が YouTube</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食の進め方などを学ぶ相手は、ネットの中にいる。ますます、人間関係が希薄になっているのだと思う。</li> </ul> <p>○子育てに正解を求めがち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑誌やネットの中に切り取られた子育ての情報と自分の子育てを比較し、落ち込んだり「これで、あっているのか？」を気にする。子育てへの不安、評価を気にする。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園

<ul style="list-style-type: none"> <li>・叱らない子育てや牛乳を飲ませたくない、土遊びをたくさんさせてほしい等、一部の情報をうのみにして育児の仕方にこだわりを持つ保護者が多い。</li> <li>・経済的に豊かな家庭と貧しい家庭の二極化が激しい。</li> <li>・外国籍の家庭が増えている。</li> <li>・精神面のしんどさを抱えた保護者が増えていると感じる。</li> <li>・対人トラブルを極端に避け、一度トラブルになると修復できない。</li> <li>・子どものわがままに振り回される親が多い。周りにどうみられるかが気になる。人前で叱れない。</li> <li>・DV相談や虐待の相談が多い。</li> <li>・身近に子育てのモデルが少ない。半面 SNS などできれいに整った部分の情報だけが入る。</li> <li>・どの親もゆとりや余裕がない。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣として排泄面においては保育園任せになりお家での協力が求めきれない。(保育園ではトレーニングパンツや布パンツにしているもお家では大変だからと紙パンツで過ごしている。)</li> <li>・家に帰るとおとなしく過ごしてくれるようにタブレットや携帯を持たせ、YouTube や TikTok を見せている家族が多い。</li> <li>・親子関係においても今の子どもの成長や関わりを十分に大切に今何をしてあげたらいいのかより、母の思いが強くなり過ぎている。一緒に子どもと関わって遊ぶより、習い事をさせ何とか出来ないか？と考える保護者が多い。</li> <li>・保護者の思いが強すぎるのか、また、プライドや体裁を考えるのか、子どもの成長へとつなげる方向性に目を向けようとせず母や父の思いを優先しているように感じる。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<p>○生活習慣の乱れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝時間に余裕がないなかで、夜寝たままの服で登園する。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の方の子離れが難しく登園してきた時など、いつまでも子どもと離れられない保護者が増えている。</li> <li>・長時間働く母親の割合が増えてきている。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の取り組みや行事に対して協力的で理解がある。</li> <li>・仕事より私生活を重視するようになったせいか頻繁に家族旅行やレジャーに出かける。</li> <li>・SNS の情報を活用して育児をしている(祖父母や友だちに頼らない/頼れない)。</li> <li>・核家族化により祖父母の協力が得られない/頼らない。</li> <li>・子育ても大事と思っているが、自分自身の時間も大事と思っている保護者がいるため、仕事が休みでもこどもを長時間預ける。</li> <li>・基本的な生活習慣(排泄、食事、睡眠、着替えなど)の自立のための行程を園任せにしている。</li> <li>・両親共に正職で働く家庭が減り、母親はパートや自営など自分の働きやすい環境で勤める。</li> <li>・幼児期から習い事(英会話、ダンス、スイミングなど)に積極的。</li> <li>・要因は様々であるが親に精神的な疾患がある家庭もある。</li> <li>・また長年大きく変わらないことが、育児・家事の大半が母親中心であること。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園

<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康面に気を付けている保護者が増えた。(食物等、口に入れる物等気をつけている印象。) 食べ物や飲み物に対するこだわりが強い。</li> <li>・アレルギーでないにもかかわらず、小麦製品を避けるケースもあり、園側としても対応が求められている。</li> <li>・トイレトレーニングがうまくいかず、3年保育の入園時にオムツがとれていない子が増えている。(パンツにかえてもらしたら、子どもがかわいそう、パンツをはくのを嫌がっている、等。)</li> <li>・園でタイトレをはじめても、バス等でもらしたら申し訳ないと思い、オムツ登園をさせる保護者もいた。</li> <li>・SNSの発達で保護者同士の繋がりが広がっている。一方で、SNS(LINEやインスタグラム)を通じて保護者同士のトラブルや噂話が広まりやすくなっている。</li> <li>・就労している保護者の利用によるホームクラスの数も増えている。</li> <li>・子どもの先回りをしてしまう保護者が増えた。結果として、園でも子どもが自ら行動するよりも、誰かに頼る傾向が強まっている。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険料の負担が増え、経済的な負担が増えている。</li> <li>・自分の時間を大切にしたいため長時間預けになること等もわかるが、そのような思いを保育士が感じてしまいミスマッチが生じ、良い支援ができない。</li> <li>・親が精神疾患を抱えている状況が増えているようで、家庭にも影響を与えるので支援が必要となる。</li> <li>・園に朝7時より前に来てしまう、帰りも18時19時になる等対応方法に悩む。毎日のことなので朝早く入れてしまうわけにもいかない。</li> <li>・おむつをいつ替えたのか等気になることもある。</li> <li>・保護者にどこまで話をし、理解を求めるのか悩んでいる。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>

### 3 工夫していること、喜ばれていること

問4 あなたの施設・団体で、こどもやこどもの保護者への取り組みで特に工夫されていること、またこどもやこどもの保護者から喜ばれていることがありましたら、ご記入ください。

・地域でいただいたジャガイモやキャベツといった野菜等、保護者に分けている。	NPO・団体
・食事の無料提供。 ・子ども達の遊び道具や空間を作ること子ども同士のコミュニケーションから親のコミュニケーションに繋げる。 ・他家族との相席を了承いただいてコミュニケーションを図っている。 ・部屋の広さの関係で、物理的に詰めてもらうことで結果的に子ども同士・保護者同士がつながり、コミュニケーションにつながることもある。	NPO・団体
・テーブルで、できるゲームをみんなでしたり、景品でお菓子をプレゼントしたり、学習支援もやっている。 ・ボードゲームや射的、お菓子を団体主催者の友人が提供してくれて実施。今後駄菓子は自分たちで用意しようかと考えている。 ・学習支援について、待っている間や暇なときにできそうなプリントを用意している。夏休み中は宿題を持って来る子もいた。 ・Instagramのみ告知に関わらず、夏休みの宿題（絵描き）に関し小学生15名くらいが来てくれた。「ここでやってくれて助かった」、という声もいただいた。	NPO・団体
・社会福祉協議会の言葉を知らない方も少なくないので知名度をあげられる講座等を実施している。 ・バルーンアートや大阪体育大学の教員を目指す学生によるイベントも社協広報だけで参加される人が増えてきているのはうれしい現象である。 ・バルーンアートはこどもが興味を示してくれた。 ・社協便りを見て親子連れで参加してくれたのは嬉しい。	NPO・団体
・朝のあいさつ運動、下校の見守り、「おはよう！」「おかえり！」に一言くわえて笑顔での声がけすることを心がけている。 ・こどもたちの様子を観察し、体調や気持ちに気づくことを心がけている。	NPO・団体
○喜ばれていること： ・本の貸し出し（図書館に行かなくても、子どもが借りてきた本を家で読める。） ・子どもが自分で選んだ本をその場で読むこと。 ・（なな文庫）子育てひろばに来た親子向けに、わらべうたや絵本の読み聞かせをしているが、広いおゆうぎ室のため、初めのうち子どもは走り回っているが、じっくり見守っているうちに落ち着いて絵本やわらべうたを楽しめるようになってくる。そのような子どもの姿を一緒に見守って、子どもの育ちを一緒に喜ぶことで、お母さんたちも嬉しそうな表情を見せてくれる。 ・（アトム文庫）：おたのしみ会（科学あそび 年1回4・5歳児対象） ・ろうそくを灯してのストーリーテリング ・先生とは違うおばちゃんが絵本を読むのを子どもたちは楽しんでくれる。 ○工夫していること： ・各文庫、本（なな文庫：約1,500冊、アトム文庫：約1,300冊、つばさ文庫：約1,300冊）を常設して、子どもがいつでも手に取れるようにしている。	NPO・団体

<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節や行事、子どもや先生のリクエストに応じて本を用意、入れ替えをしている。</li> <li>・傷んだ本の修理。</li> <li>・年間を通して同じスタッフが行くので、子どもたちや先生との信頼関係を築ける。</li> <li>・全てではないが、子どもたちや先生の本のリクエストに応える。</li> <li>・先生や図書館司書が選ぶのものとは違った本を読んだり紹介したりする。</li> <li>・おたのしみ会は、テーマを決めて実施している。科学文庫等の本につなげるきっかけになるように行っている。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔で迎えて、「またね」と送る。こどもと保護者にとって、いつでも「安心・安全」な場所であること。</li> <li>・目の前の保護者に寄り添い、たわいない愚痴や些細な悩みを気軽に話せるような関係作りに努めている。</li> <li>・色々な悩みなど共感し合えるような、ママ同士の繋がりづくりをサポートする。</li> <li>・育児の悩みなど相談しやすい雰囲気作り。息抜きできる場所にする。</li> <li>・実際に通う先輩ママたちやスタッフから地域の園の情報を教えてもらえることが嬉しいという声がある。</li> <li>・毎月のおもちゃ作りやイベント、季節ごとの室内壁面などは、いつも好評で楽しみにしている方が多い。</li> <li>・“ぷらっつ文庫”の開設と貸出し制度。</li> <li>・夏の水遊び、外ぷらっつ（父親・祖父母等に成長の姿を見てもらう）やクリスマス会等のイベント。</li> <li>・他の子育て広場や、役場での教室、熊取町で利用できる子育てに関するサポート（ホームスタートやファミリー・サポート・センター等）、保育所や幼稚園等、子育てに関係する情報の提供。</li> <li>・保健師さんとの交流、歯の講座など気楽に専門の先生に相談できる。</li> <li>・園庭開放や幼保の情報提供。</li> <li>・各種情報（イベント・役場各部門の事業情報伝達と担当者の紹介）伝達。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の子育て支援策にどのようなものがあるか情報提供している。</li> <li>・季節や月に応じてさまざまなイベントをし、普段経験ができないことが出来たと喜んでいただいている。</li> <li>・子どもと親の気持ちを大切に、丁寧に接するよう心がけている。</li> <li>・産後ヘルパーを利用している方は、はっきりした目的を持って利用している。物理的な面で助かっているのではないかな。</li> <li>・水遊びは小さい月齢のこどもでも危なくないように工夫している。プールデビューでき、家でもやってみます等の言葉をかけてもらった。</li> <li>・毎月の製作は小さい月齢のこどもでも保護者と一緒に作れるようにシールを貼ったり、一緒に絵を描いたりできるように作成するなど工夫している。</li> <li>・親子遊びは殻を使った遊びやリトミック、伝承遊びなど楽しめる様に工夫している。</li> <li>・子どもの成長やできるようになったことなど保護者に伝え一緒に喜ぶ。（アタッチメントを高める。）</li> <li>・スタッフが接しやすく、雰囲気がいいと保護者の方に言っている。</li> <li>・来られる方、すべての方に目を配り、声掛けをするようにしている。</li> </ul>	NPO・団体

<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんから年長さんまで幅広く遊べように大型トランポリンやパラバルーンなどを使って室内でも身体を使って遊べるように工夫している。</li> <li>・保護者同士が繋がれるように工夫している。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に否定せず話をしっかり聴く。</li> <li>・指導や指示ではなく一緒に考えてやってみる。うまくいかなくてもOKで、また一緒に考える。</li> <li>・出来るだけ良いところをみつけて伝える。</li> <li>・無料で利用できる。</li> <li>・子どもとの遊び方が分からなかったのと一緒に遊んでもらったり絵本を読んだりして楽しく過ごせた。</li> <li>・訪問ボランティアが、自分たちのために笑顔で来てくれる。</li> <li>・褒められる事なんてなかったのに、沢山褒めてもらって自信がついた。</li> <li>・訪問ボランティアのいろいろな経験（失敗も含めて）を聞いてほっとした。</li> <li>・上手い出来ないのは自分のせいだって思っていたけれど、話を聴いてもらってほっとした。</li> <li>・離乳食にすごく不安を感じていたけれど一緒に作ってみたり食べさせたり、話を聴いて安心できた。</li> <li>・子どもが訪問を楽しみにしていて玄関で待っている。</li> <li>・一緒に広場などへ行ってもらい一人でできる自信がついた。</li> <li>・安心安全の仕組みとして、オーガナイザーが、利用者と訪問ボランティアの間に調整やサポートをする。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力会員向けに養成講座に空きがあれば依頼会員の参加も受け入れている。</li> <li>・保育の受け入れもしているため、初めての母子分離の機会として利用して良かったと感想をいただいている。</li> <li>・講座内容は子育ての参考になると好評を得ている。 2023年度は11回の講座開催で延べ11名の依頼会員の参加があった。</li> <li>・夫婦ともに地方出身で自分たちだけで子育てをすることに不安があり、入会することで必要な時には助けてもらえるところがあると心強い。</li> <li>・ファミサポを利用して子どもと離れる時間をもつことで、より子どもをかわいく思える。</li> <li>・自分の時間のゆとりができた。</li> <li>・協力会員さんに子育ての大変さを共感してもらえる。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育所の役割である、保護者の就労保障と子どもの発達保障を担う、豊かな放課後の生活づくりを引き続きめざす。</li> <li>・子どもたちの心と身体の成長・発達の過程を学び、活動や必要とする経験の取り戻しと、再生、作りなおしが必要と考える。</li> <li>・所外保育や、食事作り、高学年活動などは、子どもの感情をゆさぶる生きた経験・体験として喜ばれている。</li> <li>・親子関係をつなぎ、おとなが子どもを一人の人格として尊重していけるような発信と、保護者とのかかわりをつくっていききたい。</li> </ul>	NPO・団体
<p>○クラス懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間7～10回、親同士が本音で語り合う場の提供 共感する仲間をつくる。</li> </ul> <p>○発達に気がかりがある子を持つ親の懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ悩みを持つ親が語れる場。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園

○5歳児までの日報（連絡帳）でのやりとり。交換日記のように子育てのこと、仕事の悩み、夫婦の悩みなどを書いてくる日報。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの家庭とも丁寧に話をすること。</li> <li>・担任や職員が家庭の状況をよくつかんでいること。</li> <li>・懇談会など、語り合いの場が充実している。</li> <li>・給食や食育への取り組み。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お家での悩みや園で困っている事など保護者と共有し話し合いを持ったり、その都度懇談したりして子どもへの成長につなげるお互いの工夫をしている。</li> <li>・その子に合った保育や関わりをする事で保護者より喜ばれたりするが、一人一人を大切にすることがゆえに次へのステップ等につなごうとすると、「今もこんなによくしてもらっているのに」と言われる。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室のボードに誕生児の名前を記載し、その園児や保護者にあったら「お誕生日おめでとう」と言葉がけしています。</li> <li>・玄関でほぼ全員の園児・保護者に朝の挨拶など声をかけていること。</li> <li>・夏祭りをコロナ以来初めて行って見たが、保護者から「楽しかったです」「親子で参加できてよかった」と喜んでいただいた。</li> <li>・園児が育てる野菜作り、作った野菜でピザづくり。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週月曜日に行っている子育てひろば。</li> <li>・より子どもの普段の様子を見てもらう為、保育参観を保護者の保育参加に変更した事。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、お友だちとの関わりや思い出作り、日本の四季を感じてもらえる行事を取り入れている。</li> <li>・こどもたちが園庭以外で、のびのび遊べるように園バスで近くの公園に出かけている。</li> <li>・園外行事では、お出かけした先でのルールやマナーなども学べるようにしている。</li> <li>・暖かくて栄養のあるおいしい食事を提供している。</li> <li>・旬の食材・国産を中心とした食材の提供や苦手な食材でも食べやすく調理して提供している。保護者からは家では嫌がって食べない食材も園では食べてくれるので、ありがたいという言葉を多数いただくことがある。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagramやホームページでの子どもたちの日々の様子の発信。</li> <li>・カウンセリング（外部のカウンセラーが定期的に訪れている。保護者がカウンセリングに抵抗を感じるケースもあるが、園から積極的に働きかけ、必要な支援を受けられるよう促している。）</li> <li>・外部講師を招いて音楽や習字、スポーツ（テニス）などの課外活動・クラブ活動（希望者のみ）</li> <li>・保護者を招いてのお誕生日会</li> <li>・ホームクラス</li> <li>・園庭開放・園見学</li> <li>・タブレットを導入し、出欠管理やバスの乗降管理、ホームクラスの出席状況などをデジタルで処理できるようにする計画が進行中。これにより、少ない人手でも業務の生産性を上げることを目指している。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 ～ 3 時間の保育参観を通じて保護者の方に、他のお子さん、保育士さん、園の理念等について知ってもらう機会としている。ライブ配信等も検討している。</li> <li>・ 保育士 1 日ボランティア体験を行っている。夏休みには小中高生によるボランティア体験として 1 クラス 1 名、保育参加をしてもらっている。</li> <li>・ 職員会議や研修もオープンにしている。</li> <li>・ 祖父母参観を行っている。9 月に民生委員に来てもらって昔遊び体験（お手玉、輪投げ等）の行事も行う。</li> <li>・ 園の横のつながりとして、2 か月に 1 回の定例会を行っている。グループラインもある。町には 6 ～ 7 園程度、公立を含めても 10 園程度なので、顔を見て関係性を築きやすい。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
--	-----------------------



## 4 施設・団体における課題や、改善が必要な点

問5 あなたの施設・団体における課題や、改善が必要な点などがあればご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理場のボランティアの高齢化（平均年齢 70 歳くらい）。</li> <li>・図書館にビラを置いたり、団地内にビラを貼っていただいたりしている。</li> <li>・弁当詰め合わせは学生（熊取の学生とは限らない）が行っている。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営スタッフ・ボランティアの安定確保。</li> <li>・駐車場の台数が少ない。</li> <li>・食事場所でスペースが埋まっているので子どもたちが遊べるスペースが狭い。</li> <li>・熊取の学生に声掛けをして来てもらっているが、まだまだ人手が足りていない。</li> <li>・駐車場は現状足りているが、天候の関係で足りないと感じることもある。役場の駐車場は少し遠いと感じる。</li> <li>・屋内スペースが十分でない。体を動かして遊べるスペースがあると良い。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ認知されていないのでこれからどのように広めていくか。</li> <li>・学習支援や交流の場にしたいので、食べて帰るだけでなく、子ども達目線で、一緒に楽しんだり、悩んだり、学んでいきたい。</li> <li>・学校にチラシ等を貼ってもらってもまだまだ認知してもらえていないと感じる。</li> <li>・現状、参加を楽しんでもらっていると感じる。親は見守っている、という状況で、親同士が仲良くコミュニケーションを取っている、という感じではない。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会所利用ということもあり、地域の協力・理解・認知がある。こども食堂は大事だ、と認識してもらえるまで8年かかった。</li> <li>・こども食堂の取り組みは当初「こどもの貧困の対策」と言われている方もいた。そうではなく、皆が集まれる憩いの場、ということ伝えてきた。</li> <li>・貧困化、とテレビ等で言われるが、お金の貧困ではなく心の貧困、にもつながってしまう。こういうことを話していく場が大事。</li> <li>・こども食堂は、役場との協働事業であり、随時相談していきたい。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区・校区福祉委員の方々は、常に後継者がいない事を課題とされている。</li> <li>・担い手を育てられる活動（後継者の確保・育成）</li> <li>・次に続いてくれるような橋渡しの取り組み、心掛け、運営が今後必要だと感じる。</li> <li>・子育て・若者世代の取り込み。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童委員と主任児童委員の違いも理解してもらえていないことが多く、民生委員・児童委員の認知度向上を図るとともに、担い手確保のため、委員活動を“見える化”し、活動の魅力とやりがいを伝える広報・PR活動を推進する。</li> <li>・昨今、1期3年で退任される方が多く、引継ぎが希薄になっている点の改善が必要。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働きの家庭が増えており、平日の日中の運営に参加できるボランティアスタッフの確保が今後更に難しくなる。</li> <li>・支援の必要な子どもへの対応を先生に任せてしまいがちになる。普段接していないので、どう対応したらよいかわからない。</li> <li>・地域の方の利用について、コロナ禍では地域の方の受け入れを止めていたが、受け入れを再開してから利用者が全くいない、または少ない状態が続いている。</li> </ul>	NPO・団体

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を周知し、利用してもらえるようにしていきたい。つばさ文庫はつばさが丘地区の回覧板に文庫案内を入れて貰う。</li> <li>・以前は、幼稚園に入園される前のお子さんのいる保護者の方の利用があったが、最近もっと早い時期から仕事を再開または始めるお母さんが増えていることも利用者減少の一因であると考えられる。</li> <li>・訓練されたスタッフ不足：子どもたちの保育・教育現場に出向いていくので、誰でもできるわけではない。そうした中で、新たなスタッフを育てるのが難しい。ボランティア活動全般にいえることかもしれないが、日ごろからの研修が大切なので、スタッフを育てる難しさを感じる。</li> <li>・養成講座を開催しても、その参加者が就職他何らかの事情で実際の活動にまで至らない。</li> <li>・先生方とのコミュニケーションの取り方が難しい。団体からのお願い事項が先生方に伝わっておらず、先生方が実行してくれていない場合がある。</li> <li>・以前は1学期に1回行っていたが、コロナもあり現在は1年間に4学年（1～4年生）への実施に縮小している。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの雇用問題。スタッフ確保のための募集方法にInstagramくらいしか使っていないので、チラシのまき方、ルート等を役場に相談したい。</li> <li>・役場との連携強化。</li> <li>・団体の存在を知らない人がまだいるので、もっとみんなが遊びに来れる様に周知したい。</li> <li>・各スタッフの考え方の統一化（対子ども、対保護者、関係部門等との対応等に関し、スタッフ間の経験年数などによるギャップが生じてしまう）</li> <li>・つどいの広場の“安心安全”の保証（耐震対策ができていない建物であっても、台風・火事の時等にガラス張り建物は危ない・怖いと感じる。）</li> <li>・おもちゃ、備品類等の安全性確認。</li> <li>・関連団体との協働研修と情報共有。</li> <li>・施設の前にひまわりバスが停まって欲しい。</li> <li>・外の水道設備を使用できるようにしてもらいたい。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が限られているので満車になることがある。天気のいい日や近い方は自転車で来てもらう等の工夫もしている。</li> <li>・すべての人が満足してもらえるような、何度も来たくなるような団体になれるよう、さらに努力し続けることが課題だと思う。</li> <li>・施設の老朽化対策</li> <li>・防災対策の充実</li> <li>・過密にならないように工夫が必要（まだ、感染症が継続している。）</li> <li>・戸外で遊べる環境が欲しい。</li> <li>・子どもの成長・発達等について知識向上のための研修。</li> <li>・バス停が遠く使いにくい。</li> <li>・施設に関し窓からの雨漏りがある。</li> <li>・地震対策の充実として、防災頭巾を自分たちで作っている。</li> <li>・夏にプール遊びはできるが、五月ヶ丘に公園がない。</li> </ul>	NPO・団体

<p>○気軽に相談出来る場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にホームスタートを利用するか、他の支援につなげる方が良いか、その他いろいろ気軽に相談出来る場が日常的にあるといいと思う。</li> </ul> <p>○妊娠期の利用充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目のない支援を目指して妊娠期からの訪問を実施しているが利用周知が進まない。</li> <li>・マタニティサロン等は妊娠期でも使えるということの周知として、小児科・産婦人科等にチラシを置いてもらうといった連携をする。</li> </ul> <p>○父親支援（育休中のパパが産後うつになる事例もあり、支援が必要。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問ボランティアの確保</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数は開設時の2010年113名（依頼41・両方23・協力49）から2024年8月3日86名（依頼214・両方32・協力140）に増加しているが、開設より14年経過し協力会員の高齢化を迎えている。</li> <li>・50～60代の協力会員でも就労している人が増えており、平日昼間自宅で預かりサポート活動できるような協力会員の拡大が課題である。</li> <li>・新しい協力会員に男性の方も増えており、70歳を超えた方もおられる。一方で、現在は高齢者も働いている方が増えていて、平日昼間短時間預かりができる方が少ない。</li> <li>・体育大学に幼児教育コースができたため、今後大学3～4年生のゼミ生等と連携を検討する。</li> <li>・こども誰でも通園制度が令和8年度より始まると、ファミサポはそれにより影響を受け、内容が変わってくると思われる。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤の支援員（準職員）不足や、経験の浅い支援員の増加により、正規職員の負担が増加。（支援員も、常勤の職員も足りない状況が2～3年続いている。経験のある職員を育てても辞められてしまう。）</li> <li>・職員の処遇改善や有給休暇の適切な消化</li> <li>・長期休業期間（夏休み）限定利用学童保育所については、需要を満たしていないが、支援員不足により現状の開設数が限界であり、職員の休職等によりこの時期はより厳しい運営が続いている。</li> <li>・NPO法人事務局の高齢化</li> <li>・NPO法人理事の現役学童保育保護者の成り手不足</li> <li>・現役の保護者の意見を取り入れる運営方法をとってきたが、現在は募集しても現役の保護者がなかなか確保できない。</li> <li>・保護者会とのつながり、保護者会での声掛け、等もコロナで出来なくなっている。仕事で忙しい親も多い。</li> <li>・指定管理者になってからは、保護者会開催の強制はできなくなり自主運営、となったこともあり、平日の夜に何のために集まるのか、という声がある。</li> <li>・ともに子育てを行う、という方向から、サービス提供者側・サービスを受ける側という関係性が変わってきた。</li> <li>・同じ利用者としてNPO側の立場で語れる保護者が減っている。</li> </ul>	NPO・団体

<p>○世代交代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長交代も含めた次の世代への世代交代、組織再編</li> </ul> <p>○休日保育・延長保育等特別保育の担い手不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的ニーズがある事業ではあるが、その担い手不足、事業継続の難しさに岐路を迎えている。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保</li> <li>・現状の業務を広げていく人員と余力が持てない。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士皆仲が良いのはいいが上下関係が若い職員の中では薄く、友達のようになっている所があるので、もう少しけじめをつけていかなければいけない。</li> <li>・職員に指導や注意をすると今の職員はすぐ、悪い方に解釈してしまい、どうしても教えてもらっているととらえないので、今後園内研修も含めもっと勉強していきたい。</li> <li>・正職が若く、パートの職員が経験のある年配者が多いということで、もっとパートの職員の意見や言っている事にも目を向け耳を傾けていけるよう指導改善していきたい。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設とは違いますが、送迎時に起こる車の脱輪が年に数回ある。</li> <li>・玄関周りの木が多いことはいいのですが、雑草も多い、地面が多い、環境整備としてしないといけないことですが、保育者不足を感じるので募集を進め採用して行きたい。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との連携をもっと行いたい。</li> <li>・教育要領が変わった事による保育内容の変更。(教育要領の変更により、こども達の主体性・自主性を強化していかないといけない。)</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達に課題があるこどもが増えている状況であるが、産休育休、保育士不足、人件費などの要因により国の配置基準以上の職員確保が十分にできていない。</li> <li>・今後の国の配置基準見直しも考慮し、国基準以上の職員を配置しなくてはならない。</li> <li>・障がい児に関する専門知識のある職員が少ないため、研修などを通じて専門性を高める必要がある。</li> <li>・人材確保、職員の質の向上、職員の働きやすい環境の構築（就業規則の見直し、保育環境の整備など）、保育関係書類の見直しやICTシステム導入による事務作業の効率化、職員の処遇改善、BCP対策などの改善も必要と考える。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園児対象の1号認定の子どもの減少。</li> <li>・幼稚園教諭の不足により保育の質の維持向上。</li> <li>・特に新規採用が難しい。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・財源の問題と人材確保に課題がある。休日保育対応では人を確保しても1～2名の利用の時もあり継続は難しい。</li> <li>・土日休みを求める若い職員への対応や手当付与等も課題がある。</li> <li>・少子化は止まらないので連携が必要。園による役割分担や特化が大事。</li> <li>・休日保育は協力したいところだができない現状がある。</li> <li>・来年から1才児の職員配置基準が5対1になる見込だが、定員が減る状況の反面人材不足の状況がある。人材紹介会社を使っても紹介金が高額で苦しい。</li> <li>・保育士資格を持つ方は少なくないので、いかに活用できるか。</li> <li>・定員の変更ができると単価が変わり、人材確保もしやすくなる。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日保育と延長保育が赤字であるが、通常保育で黒字を確保できている状況がある。定員を減らし、時間を1時間ずらせれば改善する。</li> <li>・柔軟に定員変更・見直しができるの良い。</li> <li>・定員の見通しが立たないと、職員の確保ができない。</li> <li>・道路に関し、地域からマナーについて苦情が入っている。</li> <li>・二重窓にしても、マーチングの音や園庭での遊びへの苦情がある。ホースで水をかける近くの住民もいる。</li> <li>・導入しているICTのシステムが使いづらい。ICTに限らず、国の補助を活用できていない。</li> </ul>	
---	--

## 5 今後、拡充や縮小を考えている事業や取り組み

問6 あなたの施設・団体が今後、拡充や縮小を考えている事業や取り組みがあれば、ご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協（福祉委員会）は高齢者向け活動が主となっている。</li> <li>・子育て、若者世代も取り込める事業も模索している。</li> <li>・高齢化が進む中、自主的な運営について話をしている。地域の高齢者との昔遊びの取り組みもある。</li> <li>・町全体を見渡し、社協として力を発揮できることを模索している。</li> <li>・「こどもレストラン」に助成金等の情報提供をしているし、こども食堂の新しい団体も見に行っている。うまく連携できるといいのではないかな。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童委員であることを改めて意識し、子どもの貧困問題、子ども・子育てをめぐる課題にし、児童委員・主任児童委員として期待される役割に応える取り組みを推進する。</li> <li>・加えて、主任児童委員制度創設 30 年の節目にあたり、これからの児童委員・主任児童委員活動を特に、子育て支援に重点をおき、「地域の子育て応援団」であることを PR し、学校との連携・強化に努める。</li> <li>・子育て支援として、「てづくり楽器コンサート」を開催する。</li> <li>・参加者が少なくなっている各地区ならではの子育てサロンの開催、子どもレストラン・子ども食堂のお手伝い等にも協力できればと考えている。</li> <li>・守秘義務、傾聴等の定期的な研修に取り組む。</li> <li>・団体間の横の連携を深めることが大事で、他団体との交流や協力が重要。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ままぷらっつ」の活動充実。ぷらっつを卒業したママだけでなくこれから利用を考えているプレママ・プレパパたちも集まれる場所としていきたい。</li> <li>・他の子育て支援団体との連携(toco toco など)</li> <li>・関連団体との協働研修や情報共有の拡充。</li> <li>・“Instagram”による情報の早急な発信。</li> </ul>	NPO・団体
<p>【こども誰でも通園制度の導入に向けての調査・研究について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども誰でも通園制度が令和 8 年度から実施される。令和 6 年度からの先行モデル事業では、月 10 時間程度の一時預かりが実施されている自治体もある。当法人のスタッフにも、「母親・父親から一時預かりの希望」が多く寄せられている。</li> <li>・一方で、ただ、預かればいいだけではないと杞憂している。子どもにとってどうか？昨今の保育所で生じている「虐待問題」に代表されるような保育の質であってはいけないと思っている。一時預かり制度を通じて、子どもの保育のありようを検討していく必要があるのではないかな。</li> <li>・幸い、当法人でお世話になっている京都光華女子大学（和田）教授がそういった保育政策として、欧州ハンガリーの保育施策（一時預かり制度におけるレスパイト）の研究をされており、その研究会に参画して、共同研究を実施する予定をしている。具体的には、子育てひろばに通所している 0 歳児～2 歳児一時預かりの実験的試行、及び、ロンドを利用後に満 3 歳入園した児童の追跡調査など検討している。今後さらに検討していく必要がある。</li> </ul>	NPO・団体

<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に身近に集まって話せる場</li> <li>・車がなくても行ける居場所作り</li> <li>・マタニティサロンの実施</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところ特に今後拡充や縮小を考えていることはない。今後は利用者のニーズをみながら検討していく。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状行っている事業や活動について、今のところ特に今後拡充や縮小を考えていることはない。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域と共につくる事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を経て、地域の活動がいくつもなくなり、子育て世代の孤独さも深まっている。地域の課題を探り、地域に向かう活動を地域住民と共につくる。</li> <li>・これまでやってきた蓄積を地域に還元していくべく、地域の課題（不登校、障がい、高齢化、こども会が消滅している、等）を3年かけて地区の方々と対話していきたい。</li> </ul> </li> <li>○子育て支援活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭保育の子どもへの支援</li> <li>・子育てひろばなどの充実</li> <li>・一時保育の拡充など</li> </ul> </li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>○拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との協同</li> <li>・家庭育児の親子の居場所づくり</li> </ul> </li> <li>○縮小 <ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育の短縮 19 時まで。</li> </ul> </li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度より保育園から子ども園への移行を考え、申請書類に取り組み1号、2号、3号認定を充実させ、より豊かな事業計画へと今後すすめていきたい。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども園化</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の充実・拡充</li> <li>・地域との交流の充実</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育事業は、現在 20 時までとなっているが、7 年間は 19 時を超えて園児が残ることがない。その状態でも 20 時まで 2 名分の人件費を支払いしている。現状を鑑み閉園時間を現在に合わせて 19 時に変更することを検討していきたい。</li> <li>・熊取町も来年度から少子化（2023 年度の出生数約 73 万人）の影響を受けることが予想されるため、保育事業を実園児数に合わせた利用定員の見直しを検討したい。利用定員を見直しすることで、運営の安定や適正な職員配置に繋がる。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校にスムーズに入学できるよう小学校との連携</li> <li>・ICT 化</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園

## 6 町の子育て支援について、日頃感じている課題や望むこと

問7 町が取り組んでいる子育て支援について、日頃感じている課題や望むことなどがご意見などありましたら、ご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく声をかけてくださり励まされている。</li> <li>・ピラを持ち込んで役場の方とその都度コミュニケーションをとっている。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状は自分たちで実施できている、と感じる。</li> <li>・「こういうことをしたい」、という場合には役場に相談したい。</li> <li>・子育ては親育てである。力を入れて施策に活かすことが大事。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんにちは赤ちゃん訪問の協力(様々な形ではあるが…)をしている他市町民児協も多く、以前にも提案として上げましたが協力させていただければと思っている。</li> <li>・こんにちは赤ちゃん訪問活動について、保健師と一緒に訪問する等地域ごとにあった取り組みを行う。</li> <li>・活動の分担や協力が今後必要である。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館が直営で感謝している。</li> <li>・図書費の予算増加（副本を確保したい、季節ごとの本等、色々な本を集めたい。本を修理して使っている。）</li> <li>・図書館司書の待遇（時給）向上や雇用安定化を図ってほしい。</li> <li>・信頼できる司書との連携。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子教室などの支援の取り組みについて、保護者との間に壁を感じる。（参加の声を掛けられた親が、参加を敬遠してしまう。）</li> <li>・健診に対する保護者のプレッシャーが大きい。 「できなかった」の項目は子育てを否定されたような気持ちになり、書き込むのが大変という声がある。</li> <li>・健診の時間がお昼寝と重なる為こどもがグズってしまうそうで、健診が午前中なら良いのに、という声が聞かれます。</li> <li>・健診の問診がアプリになって「大変」という声が利用者から聞かれた。</li> <li>・保育所の入所問題についての不満が多い。</li> <li>・バスを利用してひろばを利用する方もおられるので教育・子どもセンター前にバス停があればいいです。</li> <li>・教育・子どもセンターの敷地に自動販売機の設置を求める声が多い。</li> <li>・利用者支援事業・予防型プログラム等の事業は町が手掛けていると言う事であったが、私達が補助出来る事はないのか。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援サービスを知らない方、利用されていない方に子育て支援サービスを届けることができるのか。</li> <li>・買い物や友達と会うための少しの時間の一時預かり、通院やレスパイトのためにもっと気軽にこどもを預かってくれる場所が増えるといいなという声を、ひろばを利用している母からよく聞く。</li> <li>・キターネホール／かむかむプラザには、こどもが遊ぶ場所がなく利用しづらい。</li> <li>・育休が終わるのに入所できる保育園が無く困っている。</li> <li>・仕事をしたいが、保育所に入所できない。</li> <li>・4ヶ月健診等で資料を配っても見ていない方もいて、情報が伝わっていない。</li> </ul>	NPO・団体



<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスで公共施設、特に子育て支援施設を循環してほしい。子育て関係施設</li> <li>・バギーや荷物の積み下ろしなど手伝ってくれるスタッフがほしい。</li> <li>・子育て乗り合いタクシー（ライドシェア）</li> <li>・母子手帳：妊娠期からの健康管理面などもあると思うが、母が中心に担うべきという感じがある。「子育て手帳」という名称にしてはどうか。</li> <li>・「母子モ」その他子育てアプリがたくさんある。母親は母子モ等のアプリが拠り所となり、それを使って記録したデータや情報が正しい、という認識がある。</li> <li>・子育てコンシェルジュは気軽さがいい。保育所コンシェルジュを育てて家に来て相談に乗ってくれる体制を整える。（しゃべりやすい、言いやすい、聞いてもらえる、というのが大事。）</li> <li>・子育てガイド：産後すぐは大変過ぎて、サービスに気づかないこともある。</li> <li>・多胎支援の充実には母子保健、子育て支援、地域の支援が重要</li> <li>・出産直後からチームで丁寧な支援が出来る仕組みづくり。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在利用料の減免は住民税非課税世帯・生活保護世帯のみであるが、他の自治体で一人親家庭減免事例があるため、ひとり親減免も実施を望む。（2023 年度ひとり親家庭で減免対象世帯でない利用は 171 回／年）</li> <li>・依頼会員の中には交通手段が公的機関のみの人もおり、入会やペアリングとこども（乳幼児）を連れて教育・子どもセンターに来るのに苦労している。</li> <li>・ひまわりバスを利用しても最寄り役場になるので、雨天時や炎天下の時は歩いてくるにはあきらめざるを得ない。利用しやすいように、ぜひ、ひまわりバスのバス停を教育・子どもセンター前に設置してほしい。</li> <li>・ひとり親や早朝仕事の方、祖母は保育園まで連れていけないのでファミサポを使用している、という事例がある。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育の「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」が制定されて今年 12 月で 10 年になるが、未だ「1 クラブ概ね 40 人以下」の基準を満たしていないクラブが少なからずある。基準を満たしていないクラブは 12 クラブあり、子どもたちのトラブルも多く、支援員の精神的・肉体的負担が大きくなり、休職・退職につながることもある。</li> <li>・学童保育の施設について基準を満たすよう、早急に目標年度やスケジュールを作成し、指導の方向、やり方等をしっかり示すことを求めたい。</li> <li>・学童保育の施設整備は小学校区単位で考えるべきであり、他校区への送迎等は子どもと保護者に、また運営上も大きな負担であり早急な改善を求めたい。縦割りではなく、「1 人のこども」のことを考えて施策を検討していかないと前に進まない。</li> <li>・子どもの発達保障と保護者の就労保障をめざし、保育の安定性と子ども集団の継続性を維持できるように、施設整備を求めたい。</li> <li>・深刻な支援員不足であり常時 7 ～ 8 人の常勤職員(準職員)が不足している。</li> <li>・支援員の処遇改善や採用にあたり、国の常勤職員複数配置の補助金を活用し、支援員の確保方策等を望むところである。1 クラブに常勤 2 名がいることが安定的運営につながる。</li> </ul>	NPO・団体
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達相談の結果の保護者との共有について改善を望みたい。</li> <li>・保護者と客観的、専門的視点での見解をどう共有するのか。その後のフォローをどう考えていくのか。現状では、不十分だと思っている。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園

<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子相談の予約が取れない。半年後では相談したい内容がタイムリーではない。相談員が町の職員ではない状況も問題。</li> <li>・保護者に結果の詳細が知らされない。数値や所見も人づてに聞くだけ。</li> <li>・保育課、支援課、障害福祉課と、一人の子に関わることで課をいくつも渡り、内部で情報も共有されないので利用者も複雑でわかりづらい。保育所入所もミスマッチが多い。定員の関係もあり、兄弟で異なる保育園に通う家庭が多い。</li> <li>・丁寧に町内の家庭を支えるには相談員も保健師も人員が足りない。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と子育て支援課の連携をもっと密にして頂き、保育園にも支援の必要な子には色々情報をもっと提供して欲しい。</li> <li>・子どもの情報だけではなく家庭の様子、親子関係等知らせて下さると嬉しいです。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から相談に乗っていただいたり、細かなことでも教えていただいている。</li> <li>・加配が必要なお子さんや保護者への対応の難しさも感じながらも、親子相談に入る方が多いので、かなり時間がかかってしまう。ですので、もう少し早い時期に進めることができたと思う。</li> <li>・親御さんの仕事の影響もあり、親子相談の日程調整が難しい。前倒しできないか。</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との連携強化</li> <li>・公立保育所と情報共有</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近い未来に必ず訪れる少子化を熊取町は、どのように考えているか聞かせていただきたい。</li> <li>・入所等に関する基準（点数の基準など）を今後、見直しする予定はあるでしょうか。書類上と実態が、一致していない家庭が増えている。</li> <li>・保護者に対する子育て支援は、ある程度、充実していると思うが、それを支える職員への支援が不足していると感じる。（現在働いている職員への処遇改善、家賃補助、永年勤続表彰、人材確保、保育士を目指す人への資格取得支援、国庫補助の有効活用など）</li> <li>・親子相談について以下のことを要望したい。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 受けた時に受けられる体制の構築。現状、約半年、待つことが多い。特に就学前の場合は、支援学級の調整が早いので、親子相談を受けてから入級の検討を始める家庭とタイミングが合わない。</li> <li>② 親子相談を終了にする時は、園の意見や状況を把握してから終了にしてほしい。知能面では問題なくても、集団生活の中で困るこども（座れない、落ち着きがない、友だちの邪魔をしてしまうなど）が終了になることがある。</li> </ol> </li> <li>・2026年度から本格実施予定の「こども誰でも通園制度（仮称）」について、熊取町は現在、どのような検討段階でしょうか。また今後、どのようなスケジュールで検討をはじめるとでしょうか。</li> <li>・大阪体育大学の「幼児教育コース」の学生を、卒業後に熊取町内の保育施設などで働いてもらうための取り組みを、熊取町と民間園で検討していきたい。</li> <li>・課の横の繋がりがあり園児や家庭に対して情報提供していただける内容が増えてきたことは本当にありがたいことである。これからも様々な家族形態や発達に課題のある園児などが増えることが予想されるため、より早い段階から情報提供いただける仕組みを検討していきたい。（特に要保護、要支援、発達に課題のある家庭、他県や他市町村からの入園・転園の園児の情報など）</li> </ul>	<p>保育園・認定こども園・幼稚園</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の給食費の無償化（投資として）</li> <li>・保育単価の増額（保育の質の向上）</li> <li>・人材採用に関する支援金が使えるようにしてほしい。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ検査を受けても、医師から所見の記載をいただいても、得られる情報が全然違ってしまふのが気になる。</li> <li>・検査数値の上がり下がりで一喜一憂することも違う。数値を知りたい親もいれば、親が何を理解できたかをずっと共有していくことが大事。</li> <li>・発達の状況をきちんと理解しているか、を確認することが大事。</li> <li>・誰が相談にのり面倒を見ていくのか。町の人材の在り方を考えてほしい。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育課と子育て支援課の連携をさらに改善してほしい。</li> <li>・園に足を運んでいただいて連携する等のフットワークの軽さがほしい。</li> <li>・加配が必要、と年度途中で言われても人員が足りない。</li> <li>・数値上は問題ないと言われても、集団生活が難しい子等もいる。集団生活であるというところを見て相談にのってほしい。</li> <li>・支援学校ではなく小学校で良いと言ってもらえると親は安心する。</li> <li>・若い職員への接し方について、若い職員のためになっていないと感じた際には、職員一人一人に個別に話をしている。1日1個褒めている。</li> <li>・チームで得意不得意を補い合える環境づくりをやっている。</li> <li>・60代の方は定年再雇用で働いてもらっている。</li> <li>・短時間勤務等も検討している。</li> <li>・体育大学に幼児教育コースができたので学生を逃さないようにしたい。</li> <li>・骨太の方針に処遇改善や配置基準改善等記載があるため、こども計画にも盛り込んでほしい。</li> </ul>	保育園・認定こども園・幼稚園

## Ⅱ ヒアリング結果のまとめ

ヒアリング結果をもとに、この章では、各施設・団体から寄せられた意見の概要をまとめました。

### 1 こどもの様子に関し最近の傾向や気になることについて

---

- 幼児期の基本的な生活習慣（あいさつ、朝ごはん、衣服の着脱、排泄）が身につけていない。
- 夜遅くまで起きているので、朝起きられず、日中の疲労や体調の乱れにつながっている。
- 偏食、咀嚼力の低下、自分で食事をとらないなど、食への意欲の低下を感じる。
- 体力が低下している。体幹や反射神経が育っていないことでケガにつながっている。
- スマートフォンを持つ年代が早まっている。YouTubeなどを夜遅くまで見ている。
- 全体的にこどもの身体的発達も精神的発達も緩やかに遅くなっている。
- 親の顔色を伺う。自分で考えてみようとする子が少ない。指示待ちが多い。
- やる前から「無理」「できない」「やらない」と言うことが多く、挑戦しようとしにくい。
- 自己肯定感が低い子どもが多いように感じる。
- 家族以外の人との関わりが減っている。
- 対人関係が上手くできない。（言葉遣いが乱暴、順番を待てない、話が聞けない、思い通りにならないと癇癪を起こすなど）

### 2 保護者の様子に関し最近の傾向や気になることについて

---

- 核家族化が進行している。祖父母や親族に頼らない、頼れない。
- 共働き家庭やひとり親が多い。
- 忙しく、ゆとりや余裕がない親が多い。精神面でしんどさを抱えた保護者が増えている。
- 晩婚化で、育児と介護が重なる家庭が増えている。
- 外国籍の家庭が増えている。
- 経済的に豊かな家とそうでない家の二極化がすすんでいる。
- 自分の時間を大切にしたい保護者が増えた。
- 育休を取得する父や育児に熱心に関わる父が増えた。
- 育児・家事の大半が母親中心である。
- 家庭で、基本的な生活習慣を身につけてさせず、保育所（園）まかせにしている。
- 母の職場復帰が早まり、保育所や子ども園へ入所、入園が早くなった。
- 通院やリフレッシュのために気軽に利用できる場所が増えてほしいという声をよく聞く。
- インターネット上で多くの子育て情報を得ているが、ネットの情報と子どもの発達や自分の子育てを比較して、不安になっている。
- SNSの発達で保護者同士がつながっている一方でSNSを通じて保護者同士のトラブルとなる場合がある。

### 3工夫していること、喜ばれていることについて

---

- 各文庫では、季節や行事、子どもや先生のリクエストに応じて常設している本の入れ替えをし、子どもがいつでも手に取れるようにしている。

- 保育園のクラス懇談会を年間7～10回開催し、共感する仲間を作っていただくため親同士が本音で語り合う場の提供を行っている。また、発達に気がかりがある子を持つ親の懇談会を開催し、同じ悩みを持つ親が語れる場の提供を行っている。
- 保育園では、子育てのこと、仕事の悩み、夫婦の悩みなどを交換日記のように書いてくる日報を実施している。
- 幼稚園で保護者にこどもの普段の様子を見てもらうため、保育参観を保護者の保育参加に変更した。
- 保育士1日ボランティア体験を行っている。夏休みには小中高生によるボランティア体験として、保育参加をしてもらっている。
- 子ども食堂開催時に、こども達の遊び道具や空間を作ることで、こども同士のコミュニケーションから親同士のコミュニケーションに繋げている。また、他家族との相席を了承いただいて相互のコミュニケーションを図っている。
- 子ども食堂開催時に、テーブルゲームやお菓子の提供を行っている。また、学習プリントの用意や宿題をする場の提供等、学習支援も行っている。
- 子ども食堂開催時に、地域でいただいた野菜等を保護者に分けている。
- つどいの広場のおもちゃ作りやイベント、季節ごとの室内壁面などがいつも好評で、楽しみにされている方が多い。
- 旬、国産を中心とした食材の提供や苦手な子が多い食材でも食べやすく調理して提供を行っている。保護者からは家では嫌がって食べない食材も園では食べてくれるので、ありがたいという言葉を多数いただくことがある。
- 町の子育て支援に関する情報や保育所や幼稚園の情報提供、保健師や専門の先生への相談の機会を持てることが喜ばれている。
- 季節のイベントやこどもの感情をゆさぶる体験、保育事業の利用で初めての母子分離等、普段できない経験が喜ばれている。
- こどもの育ちと一緒に喜ぶことで、親も嬉しそうな表情を見せてくれる。

#### **4 施設・団体における課題や、改善が必要な点について**

---

- スタッフの質、専門性の向上が課題。
- 特別保育（休日保育・延長保育等）の担い手が不足している。社会的ニーズがある事業ではあるが、安定的な事業運営が難しい。
- 発達に課題があるこどもが増えている状況であるが、産前産後休暇・育児休暇取得の増加、保育士不足、人件費の増加などの要因により国の配置基準以上の職員確保が十分にできていない。
- 柔軟に定員変更・見直しできないことが課題。
- 導入しているICTのシステムが使いづらい。ICTに限らず、国の補助を活用できていない。
- 事務局やボランティアの高齢化が課題であり、子育て・若者世代の取り込みが必要である。
- 次世代への交代、後継者の確保、育成、成り手不足が課題である。組織再編や担い手を育てる活動が必要。
- 50～60代で就労している人や共働きの家庭が増えており、平日の日中の運営に参加できるボランティアスタッフの確保が難しい。
- 屋内スペースが十分でない。体を動かして遊べるスペースがあると良い。
- 施設の老朽化対策、防災対策が課題。
- 駐車場等の設備を整えることや交通の便を改善することが課題である。
- 父親支援が必要である。

- 子育て支援団体や事業の認知度が低い。認知度向上、担い手確保のため、活動を“見える化”し、魅力とやりがいを伝えるPR活動の推進が必要。
- 役場との連携を図ることが必要である。

## **5 今後、拡充や縮小を考えている事業や取り組みについて**

---

- 一時預かりの拡充、保育の質の見直しを予定している。
- 延長保育事業について、遅い時間帯のニーズが減少しているので、開園時間について検討していきたい。
- 保育事業について、運営の安定や適正な職員配置に繋げるため、少子化の影響も踏まえた実園児数に合わせた利用定員の見直しを検討したい。
- 保育園から認定こども園への移行を考えている。
- ICT化をさらに進めていく。
- 子育て、若者世代も取り込める事業を模索している。
- 他の子育て支援団体との協働研修の開催、情報共有の拡充。
- 就園児がスムーズに進学できるよう小学校との連携を図る。
- 車がなくても行ける居場所づくり。

## **6 町の子育て支援について、日頃感じている課題や望むことについて**

---

- 保育の質を向上させるため、職員の処遇改善や施設整備などを「骨太の方針」に基づき、町のこども計画に反映させていくことが必要である。
- 少子化問題に対する対応策、入所基準や点数基準の見直しを考える必要がある。
- 給食費の無償化や保育単価の増額、人材採用支援金の活用など、子育て支援のための施策を進めることが求められる。
- 2026年度からの「こども誰でも通園制度」に向けた熊取町の準備や検討が求められている。
- 学童保育の施設基準（1クラブ40人以下）が満たされておらず、12クラブで基準未達成である。支援員の負担が大きく、離職者が出ている。国の補助金を活用し、支援員の配置基準や施設整備を、具体的な目標とスケジュールで進めることが必要である。
- 学童保育の施設整備について、小学校区単位での改善が求められている。
- 支援員や保育士の家賃補助、永年勤続表彰、資格取得支援などが求められている。
- 図書館司書や保育士の待遇改善、雇用の安定化が望まれている。
- 大阪体育大学の幼児教育コースの学生に、卒業後に町内の保育施設で働いてもらえる取り組みが求められている。
- 保護者の不安に寄り添った健診スタッフの対応が必要だ。また、健診時間の問題や保育所入所の困難さがある。
- 発達相談や親子相談の待ち時間が長く、タイムリーな対応が難しい。特に就学前支援では早期の相談が求められる。
- 保護者との発達相談の結果の共有が不十分で、改善が必要である。
- 一人の子に関わることで役場内の課がいくつも関係し、利用者にとっては複雑でわかりにくい。情報が役場の関係課で共有されていないことがある。
- 子育て支援サービスを知らない、もしくは利用していない保護者への情報提供。

**「(仮称)熊取町こども計画」に関する  
ヒアリング調査(調査票まとめ) 報告書**

発行年月：令和6年9月

編集・発行：熊取町 健康福祉部 子育て支援課

住所：〒590-0495

大阪府泉南郡熊取町野田1丁目1番1号

電話：072-452-6814

# **（仮称）熊取町こども計画 （案）**

令和7年3月

熊 取 町



はじめに

町長挨拶

町長写真

令和7年3月

〇〇〇〇

## 目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の背景	1
2 計画策定の考え方	2
3 関連計画との位置づけ	3
4 計画の期間	3
5 計画の策定体制	4
第2章 こどもと子育てを取り巻く状況	5
1 人口・世帯の状況	5
2 少子化の状況	10
3 女性の就労状況	12
4 人口推計	13
5 熊取町のこどもと子育てを取り巻く現状	15
第3章 教育・保育事業、子育て支援サービスなどの状況	16
1 幼児教育・保育サービスの状況	16
2 地域子ども・子育て支援事業などの状況	18
3 小学生児童への支援サービスの状況	19
4 小中学校の状況	20
5 相談事業の状況	20
6 経済的支援の状況	21
第4章 ニーズ調査等の結果と第2期計画の評価・課題	22
1 調査概要	22
2 ニーズ調査結果概要(就学前児童及び小学生の保護者)	23
3 アンケート調査結果概要(小学校5年生、中学校2年生)	31
4 若者調査結果概要(16歳から39歳の若者)	38
5 ニーズ調査等の結果からみえる課題	39
6 第2期計画の評価・課題	43
第5章 基本理念と施策体系	49
1 基本理念	49
2 計画の体系	50
3 基本理念を実現するための4つの視点	51

第6章 基本理念を実現する施策の展開	52
1 健やかな成長を支える教育環境の整備	52
2 配慮が必要なこども・若者への支援	55
3 こども・若者の社会参画・自立のための支援	57
4 安心して生み育て、こどもが健やかに育つための支援	58
5 多様な保育サービスの充実	65
6 支援を必要とする家庭への援助	67
7 地域における子育て支援	69
8 安全・安心なまちづくり	72
第7章 量の見込みと確保方策	74
1 教育・保育提供区域の設定	74
2 就学前児童への教育・保育事業の量の見込みと確保方策	74
3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	78
第8章 計画の推進体制	89
資 料	90

# 第1章 計画の策定にあたって

## 1 計画策定の背景

わが国では、急速な少子高齢化の進行に伴い、労働力人口の減少や社会保障負担の増加、地域社会の活力低下など将来的に社会・経済への深刻な影響を与える懸念のある課題が深刻になっています。国の合計特殊出生率（ひとりの女性が一生の間に産む子どもの数）は、令和5年は、1947年に統計を取り始めて以降最も低い1.20となり、出生数も72万7,277人と過去最少になりました。その要因としては、未婚や共働き世帯の増加、また仕事と子育てとの両立に対する負担感や子育てに関する不安感、経済的負担などが指摘されています。

国では、このような子ども・子育てを取り巻く社会情勢の変化を受け、こども基本法を令和4年6月に公布、令和5年4月に施行し、法に掲げられたこども施策の立案、実施を担う行政機関としてこども家庭庁が発足、令和5年12月には、「こども大綱」が策定されました。

本町では、平成17年3月に次世代育成対策推進法に基づく、「熊取町次世代育成支援行動計画」を策定し、平成21年度までを前期期間、平成26年度までを後期期間として、こどもを生き育てやすいまちづくりを目指して、次世代育成支援を推進してきました。

さらに、平成27年3月には、質の高い幼児期の教育・保育の統合的な提供や、待機児童の解消、地域での子ども・子育て支援の充実を図ることを目的とした「子ども・子育て支援新制度」に対応する「子ども・子育て支援計画」を策定、令和2年3月には、前計画の理念を継承した「第2期子ども・子育て支援計画」を策定し、「多様な『子どもの育ち』や『暮らし』を認め合い、支え合う、対話的まちづくり」を基本理念として、子育てに関する施策を推進してきました。

令和6年度に「第2期子ども・子育て支援計画」の最終年度を迎えることにより、社会環境の変化や熊取町の子どもや子育てを取り巻く現状、これまでの計画の進捗状況等を踏まえ、子ども・子育て支援に向けた取り組みをさらに効果的かつ総合的に推進するため、「第3期子ども・子育て支援計画」を核に、こどもの貧困や若者支援に関わる計画も包含する「（仮称）熊取町こども計画」（以下、「本計画」と言う。）を策定します。

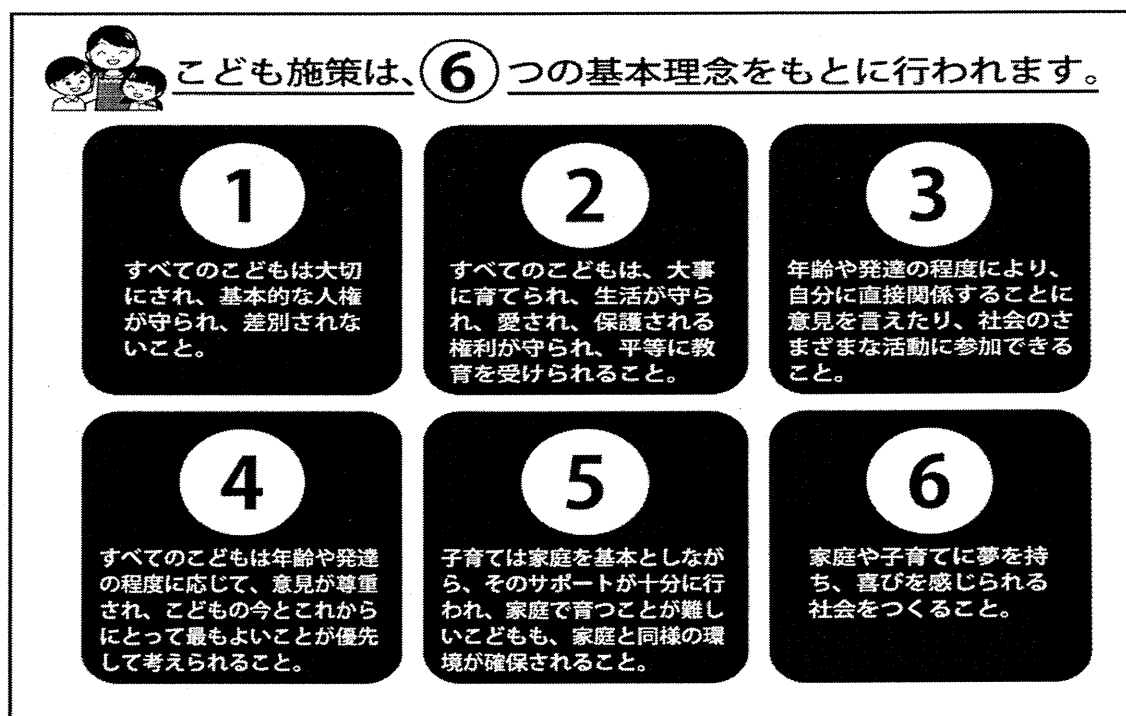
## 2 計画策定の考え方

市町村のこども計画は、こども基本法第10条に基づき、国の「こども大綱」及び都道府県こども計画を勘案して作成するよう努めるものとされています。また、既存の各法令に基づく市町村計画と一体のものとして作成できるとされています。

本計画は、各部署のこども・若者施策について整理し、住民にとって分かりやすい施策の展開とするため、子ども・子育て支援法第61条に基づく「子ども・子育て支援事業計画」（策定義務）、次世代育成支援対策推進法第8条に基づく「次世代育成支援行動計画」（任意計画）、こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律第10条に基づく「こどもの貧困対策計画」（任意計画）、子ども・若者育成支援推進法第9条に基づく、「子ども・若者計画」（任意計画）を一体的に策定します。

そのため、本計画では、「子ども・子育て支援」については、生まれる前から乳幼児期を経て18歳までのこどもとその家庭、地域、事業所、行政および子育てに関する団体等町内のこどもと子育てを支える地域全体を対象とし、「若者支援」については、おおむね15歳～40歳未満の方を対象とします。

### ■こども基本法に定められた6つの基本理念

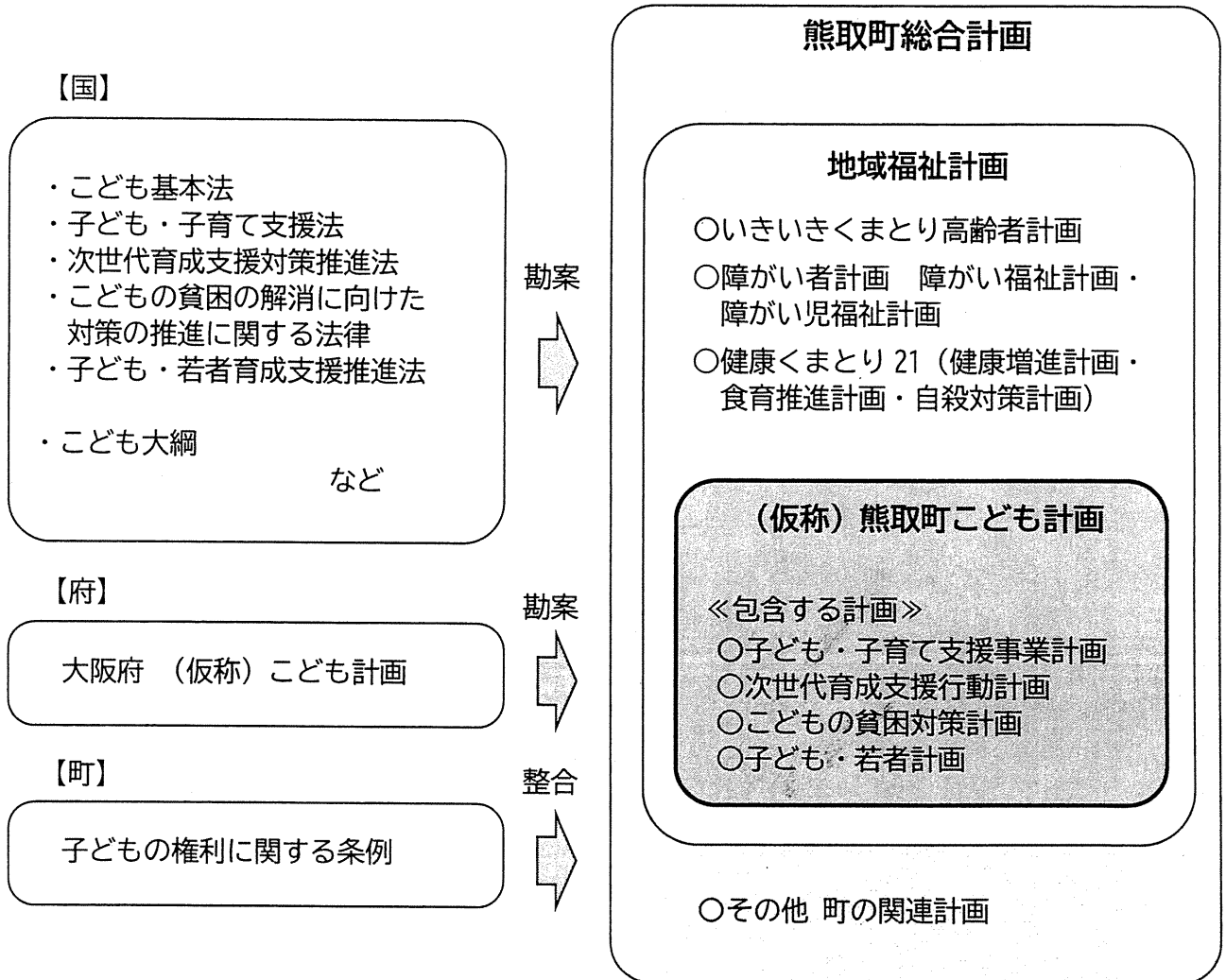


### ■こども大綱 こども施策に関する基本的な方針 の 図 を入れる

- ①こども・若者を権利の主体として認識し、その多様な人格・個性を尊重し、権利を保障し、こども・若者の今とこれからの最善の利益を図る
- ②こどもや若者、子育て当事者の視点を尊重し、その意見を聴き、対話しながら、ともに進めていく
- ③こどもや若者、子育て当事者のライフステージに応じて切れ目なく対応し、十分に支援する
- ④良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、すべてのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする
- ⑤若い世代の生活の基盤の安定を図るとともに、多様な価値観・考え方を大前提として若い世代の視点に立って結婚、子育てに関する希望の形成と実現を阻む隘路（あいろ）の打破に取り組む
- ⑥施策の総合性を確保するとともに、関係省庁、地方公共団体、民間団体等との連携を重視する

### 3 関連計画との位置づけ

本計画は「熊取町総合計画」を最上位計画とし、こども・子育て分野の個別計画として位置づけます。また、関連する福祉関係計画等と整合を図ります。



### 4 計画の期間

本計画の期間は、令和7年度から令和11年度までの5か年計画とします。なお、状況の変化により、必要に応じ見直しを行うこととします。

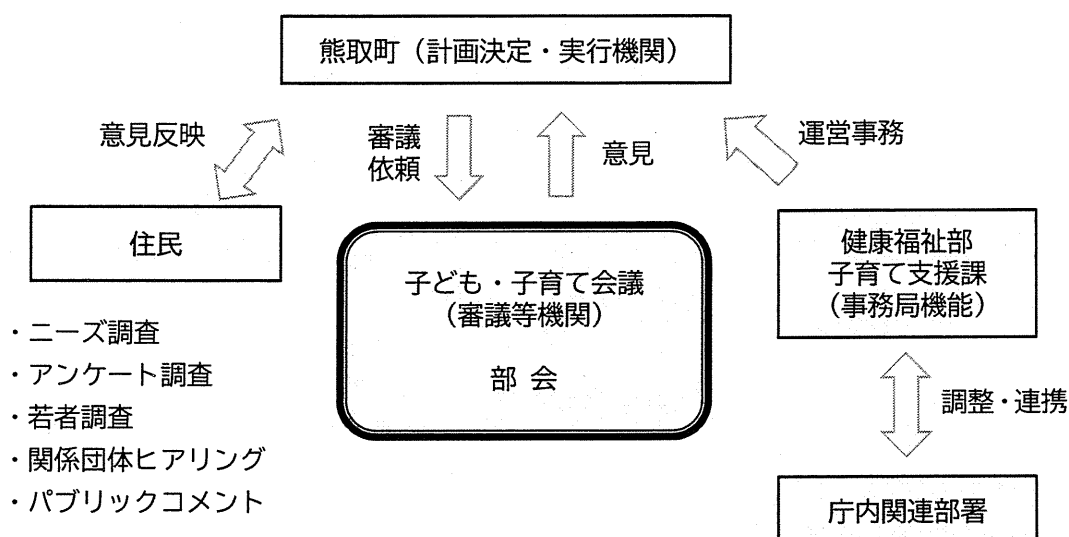
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
第2期熊取町子ども・子育て支援計画					（仮称）熊取町こども計画				

## 5 計画の策定体制

### (1) 子ども・子育て会議

本計画の策定にあたっては、こどもや子育て支援に関する関係機関・団体の代表者、学識経験者などからなる「子ども・子育て会議」を設置し、本計画策定に関する協議・検討を行いました。

#### ■策定体制のイメージ図



### (2) こども計画策定のためのニーズ調査等

本計画を策定するために必要な基礎データの収集を目的として、就学前児童及び小学生の保護者を対象とした「ニーズ調査」、小学校5年生及び中学校2年生を対象とした「アンケート調査」、16歳から39歳の若者を対象とした「若者調査」をそれぞれ実施しました。

### (3) パブリックコメント（住民からの意見の公募）

本計画の素案を町のホームページなどで公開し、広く住民の方々から意見を募りました。

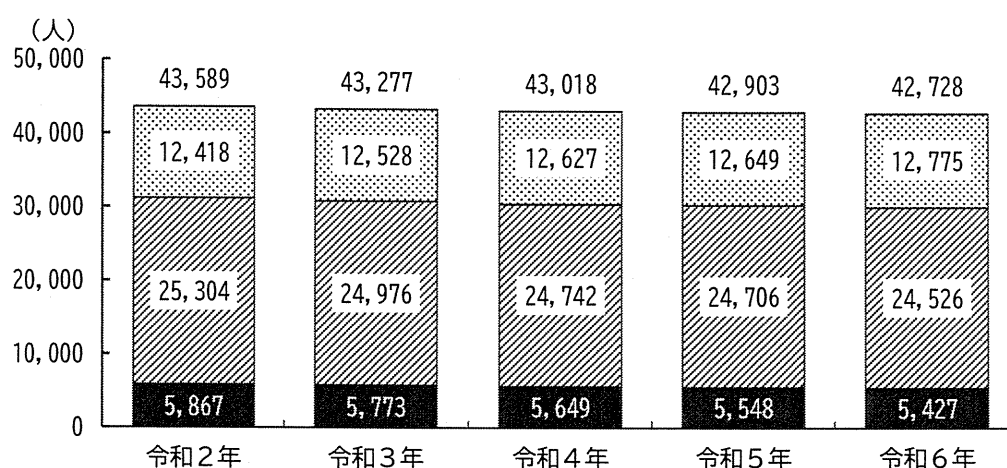
## 第2章 こどもと子育てを取り巻く状況

### 1 人口・世帯の状況

#### (1) 人口の推移

総人口及び年齢3区分別の人口及び構成割合の推移をみると、総人口は減少が続いており、令和6年は42,728人となっています。年齢3区分別では、年少人口は減少が続き、生産年齢人口も減少傾向となっている一方で、老年人口は増加が続いています。

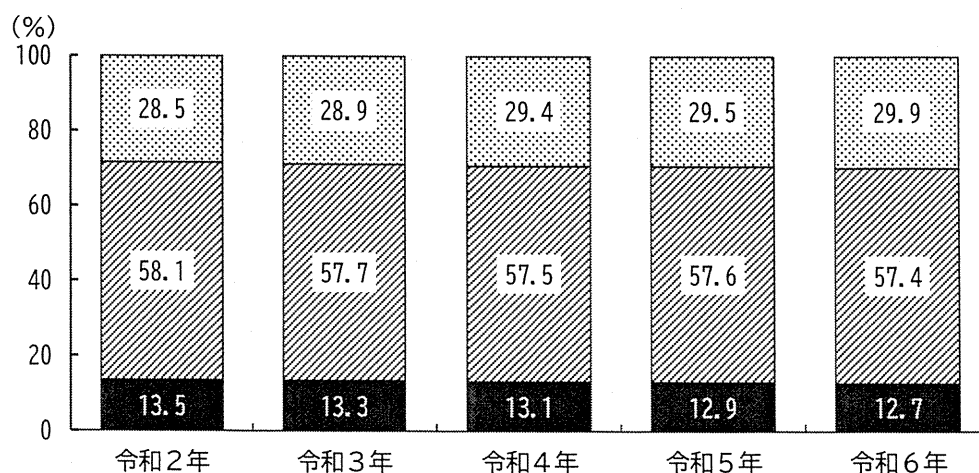
■総人口及び年齢3区分別人口の推移



■ 年少人口 (0~14歳)    ▨ 生産年齢人口 (15~64歳)    ▩ 老年人口 (65歳以上)

資料：住民基本台帳人口（各年4月1日現在）

■年齢3区分別人口の構成割合の推移



■ 年少人口 (0~14歳)    ▨ 生産年齢人口 (15~64歳)    ▩ 老年人口 (65歳以上)

資料：住民基本台帳人口（各年4月1日現在）

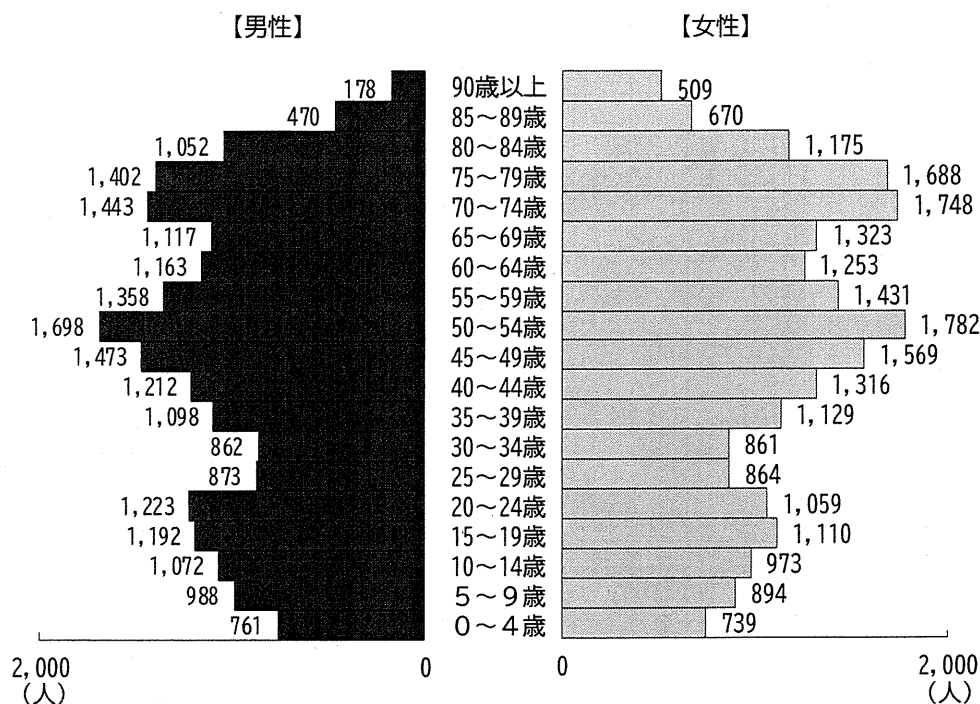


## (2) 人口構造

人口ピラミッド（5歳階級別）をみると、男性、女性ともに団塊世代を含む70～79歳、団塊ジュニア世代を含む45～59歳が多くなっています。逆に、25～34歳はその前後に比べて少なくなっています。

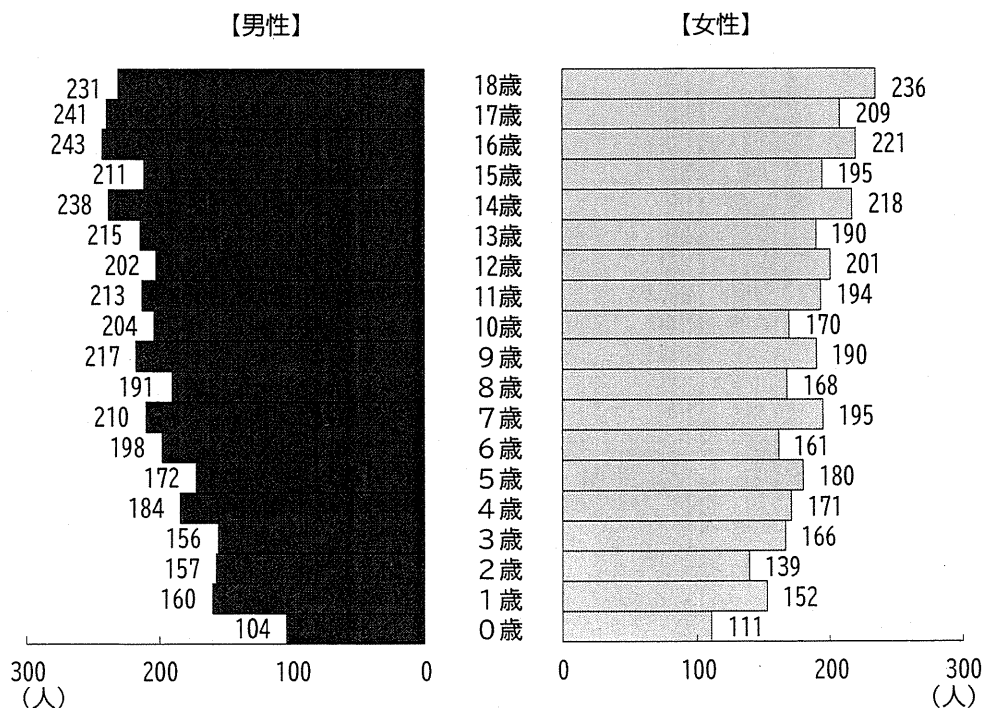
人口ピラミッド（18歳以下の1歳階級別）をみると、男性、女性ともに、おおむね年齢が下がるにつれて、人口が減少する傾向がみられます。

■人口ピラミッド（5歳階級別）



資料：住民基本台帳人口（令和6年4月1日現在）

■人口ピラミッド（18歳以下の1歳階級別）



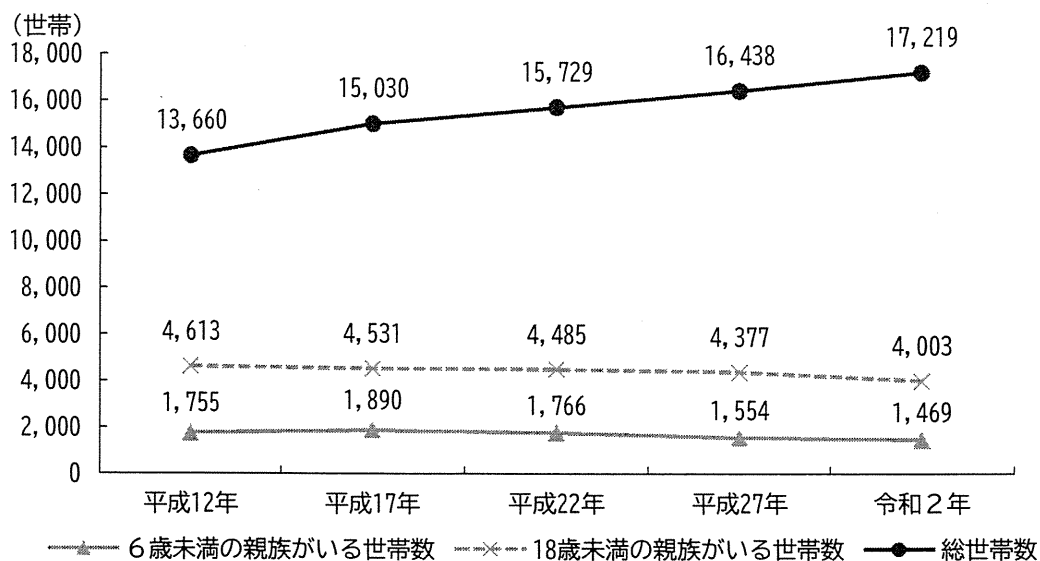
資料：住民基本台帳人口（令和6年4月1日現在）

### (3) こどものいる世帯の状況

単身世帯の増加により総世帯数も増加が続いていますが、こどものいる世帯数は減少しています。

ひとり親家庭数をみると、母子世帯数は増加が続いていましたが、令和2年は減少し236世帯となっており、父子世帯数は平成17年以降26～29世帯で、ほぼ横ばいで推移しています。

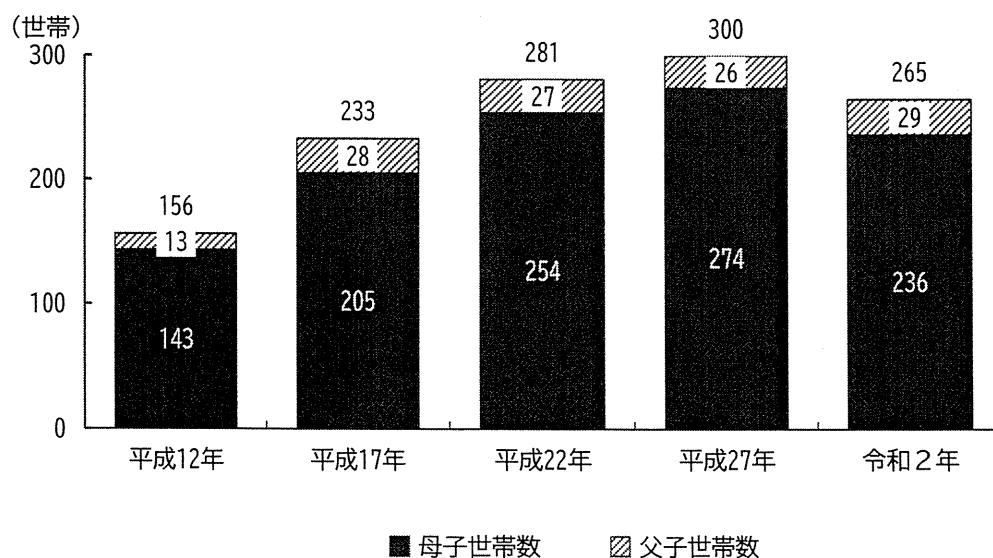
#### ■こどものいる世帯数



※参考：住民基本台帳による総世帯数は、18,239世帯（令和2年10月1日）

資料：国勢調査（各年10月1日現在）

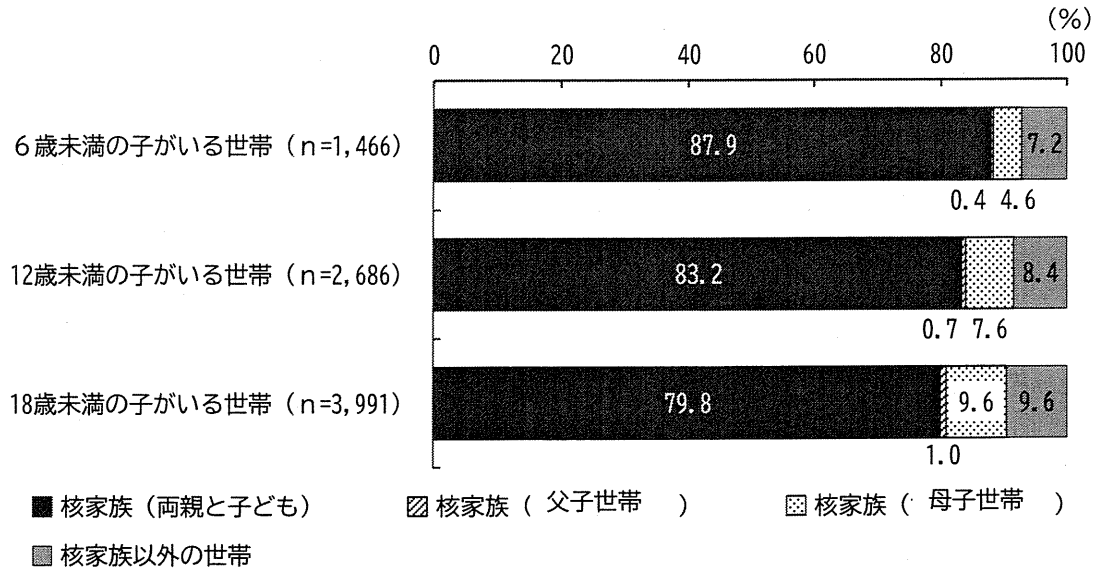
#### ■ひとり親家庭数



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

こどものいる世帯の家族形態をみると、こどもの年齢が上がるにつれて、核家族（両親と子ども）の割合が低下し、ひとり親家庭の割合が上昇しています。6歳未満の子がいる世帯ではひとり親家庭は5.0%ですが、18歳未満の子がいる世帯では10.6%となっています。

■こどものいる世帯の家族形態



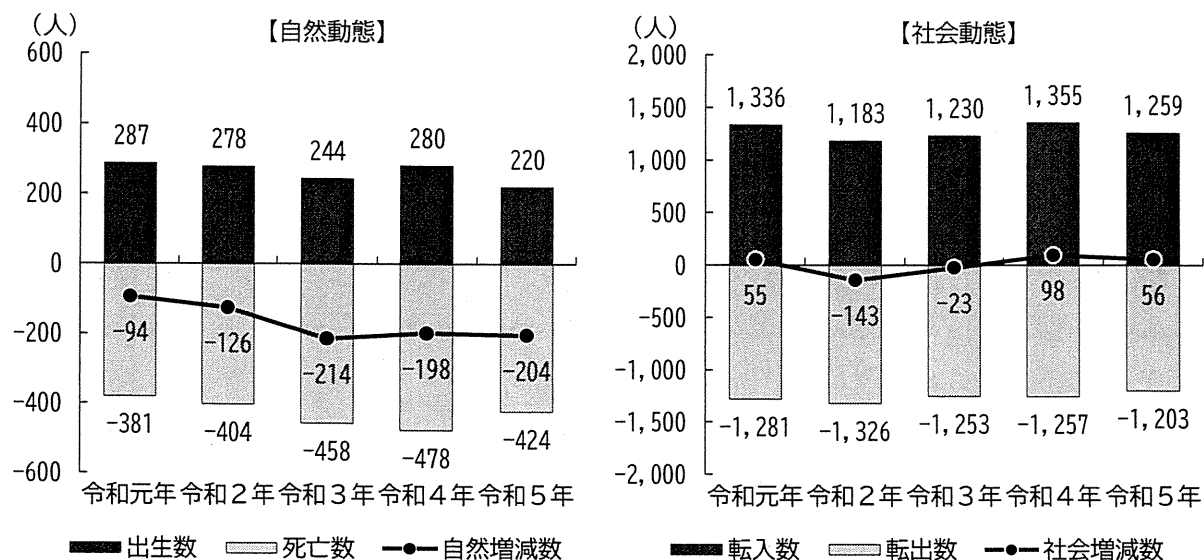
資料：国勢調査（令和2年）

#### (4) 自然動態と社会動態

自然動態（出生数と死亡数の差）は自然減（出生数＜死亡数）が続き、社会動態（転入数と転出数の差）は令和4年、令和5年と社会増（転入数＞転出数）となっています。

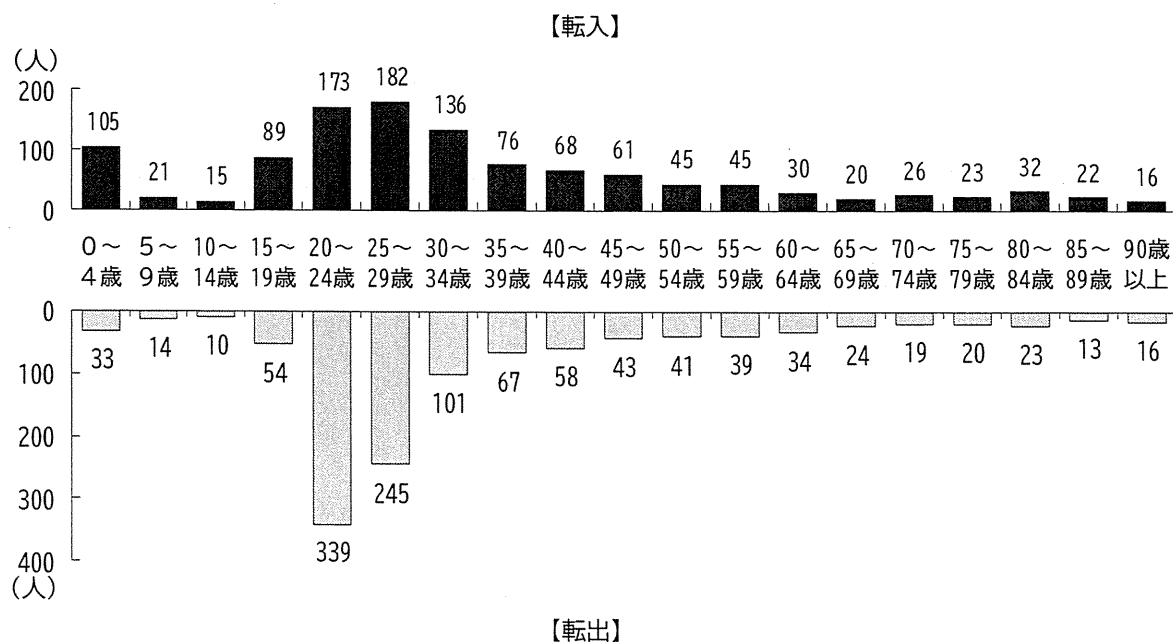
また、5歳階級別の転入と転出をみると、0～4歳、15～19歳及び30～34歳で転入が多くなっており、20歳代で転出が多くなっています。

##### ■自然動態と社会動態



資料：住民基本台帳

##### ■転入と転出の比較（5歳階級別）



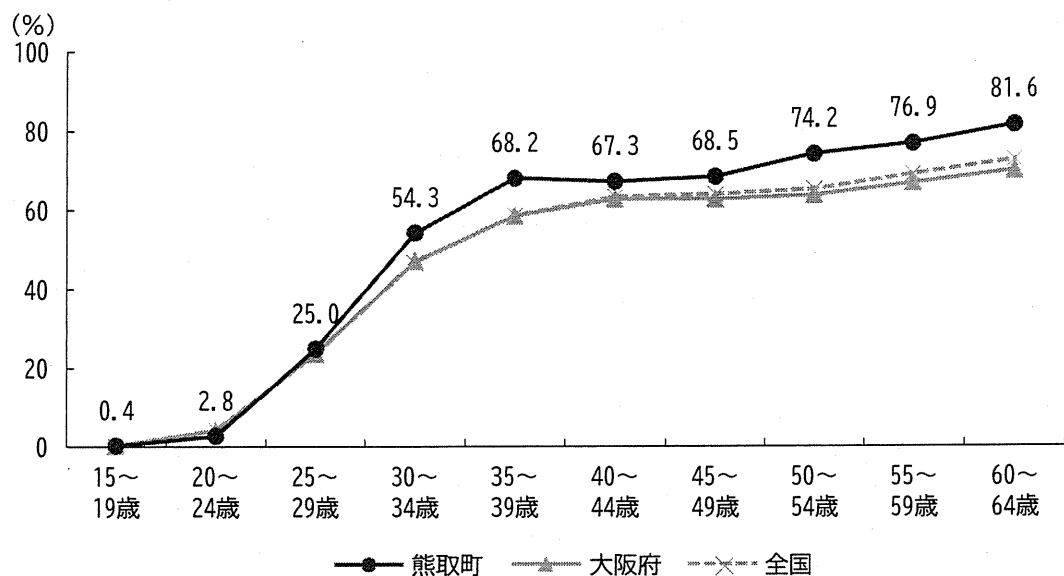
資料：住民基本台帳人口移動報告（令和5年）

## 2 少子化の状況

### (1) 婚姻の状況

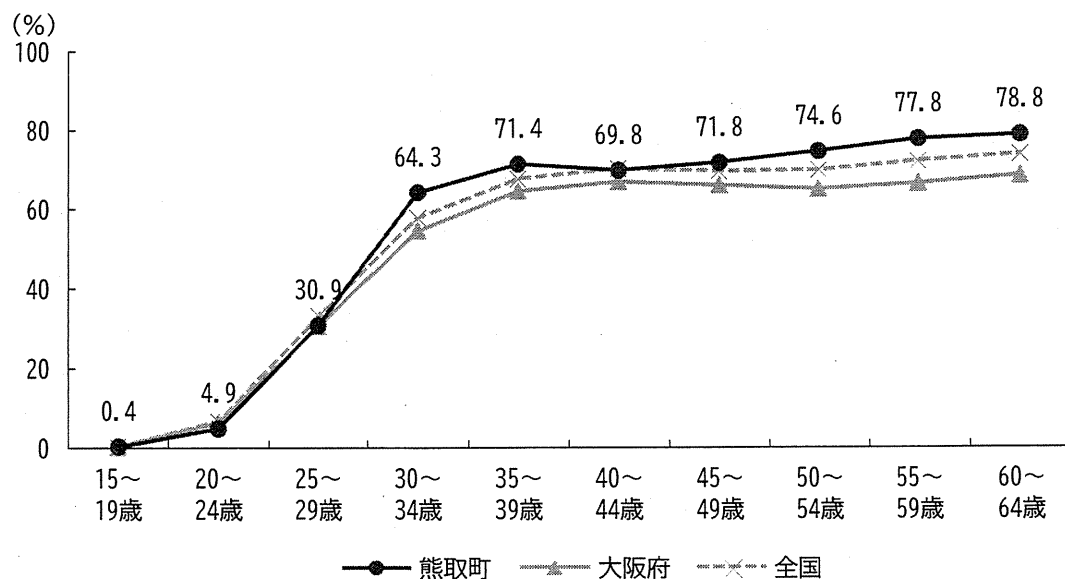
有配偶率をみると、男性、女性ともに、29歳までは全国及び大阪府平均と同様ですが、30歳以上ではおおむね高くなっています。

#### ■有配偶率（男性）の状況



資料：国勢調査（令和2年）

#### ■有配偶率（女性）の状況

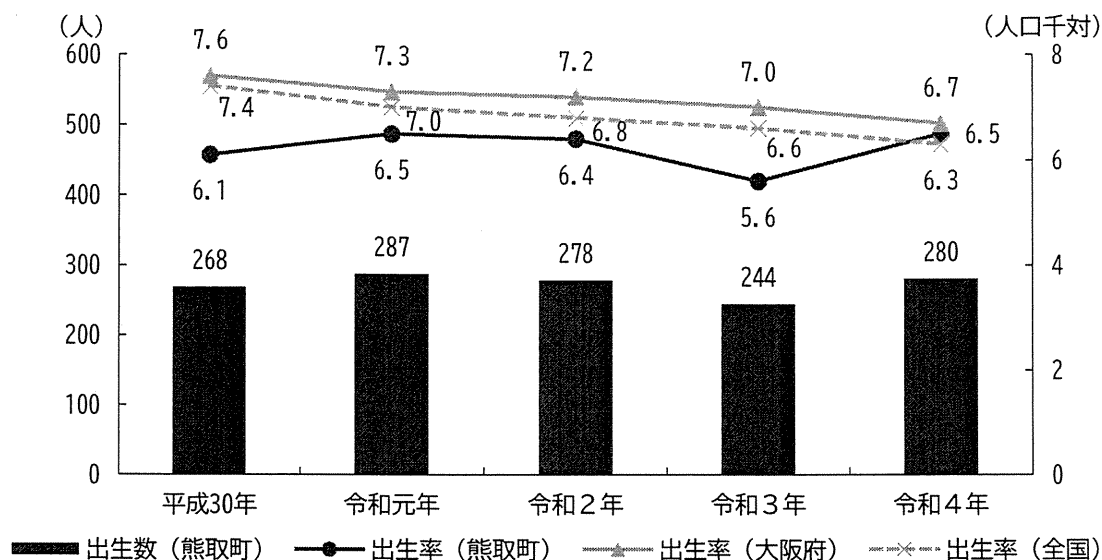


資料：国勢調査（令和2年）

## (2) 出生数・出生率の状況

出生数をみると、年による増減はあるものの、おおむね200人台で推移しています。また、出生率（人口千人当たりの出生数）は、全国及び大阪府平均より低くなっていましたが、令和4年は全国平均を上回っています。

### ■出生数と出生率

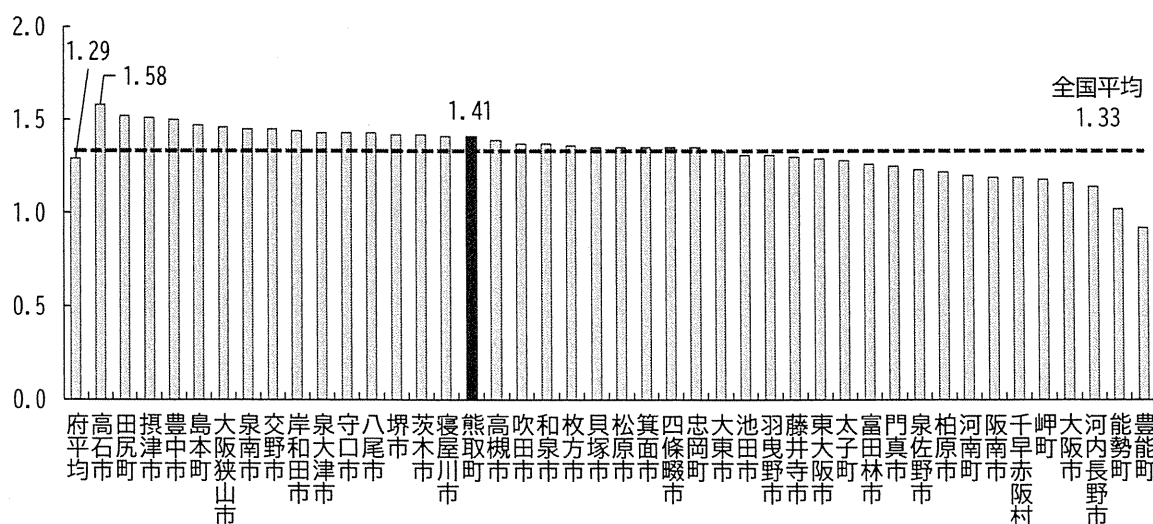


資料：住民基本台帳（熊取町）、人口動態総覧（大阪府、全国）

## (3) 合計特殊出生率の状況

合計特殊出生率（1人の女性が15歳から49歳までに産むこどもの数の平均）は、全国及び大阪府平均ともに上回っており、大阪府内市町村では16番目に高くなっています。

### ■出生数と出生率



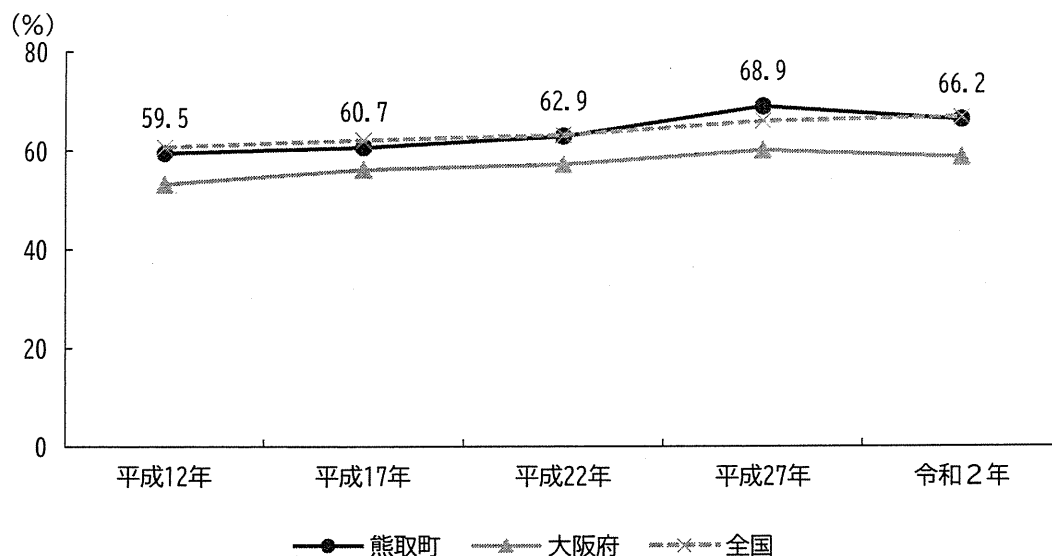
資料：人口動態統計特殊報告（H30～R4の値）

### 3 女性の就労状況

#### (1) (25～44 歳) 就業率の推移

年々上昇が続いていた女性の25～44歳の就業率は、令和2年は低下しましたが、全国平均と同程度で推移しています。

■女性の就業率（25～44 歳）の推移

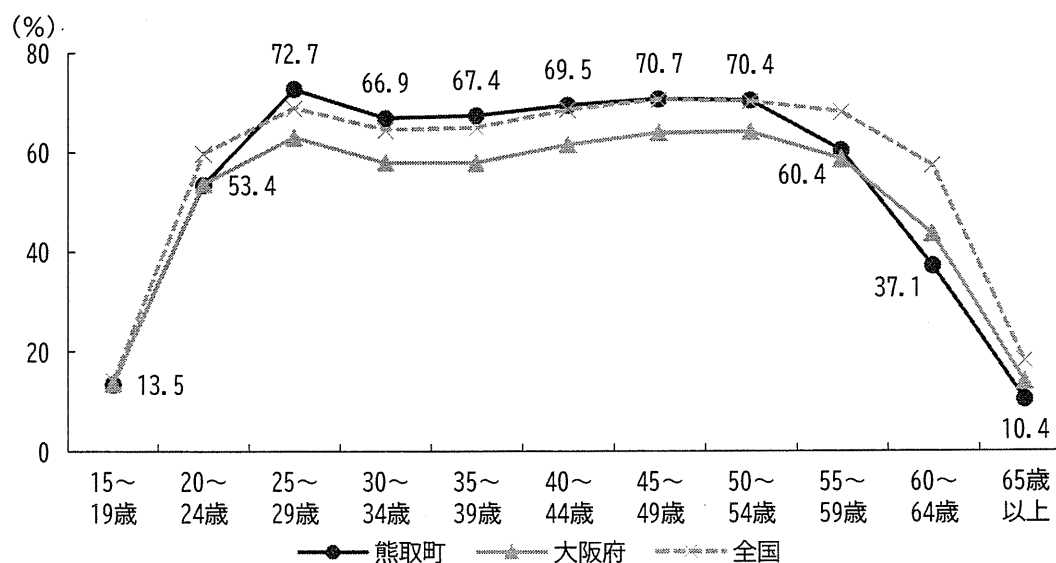


資料：国勢調査（各年10月1日現在）

#### (2) (5 歳階級別) 就業率の推移

女性の年齢5歳階級別就業率をみると、30歳代はその前後と比較して低くなっており、出産や育児に伴う離職などにより就業率が下がる、いわゆる「M字カーブ」がみられます。

■女性の年齢5歳階級別就業率



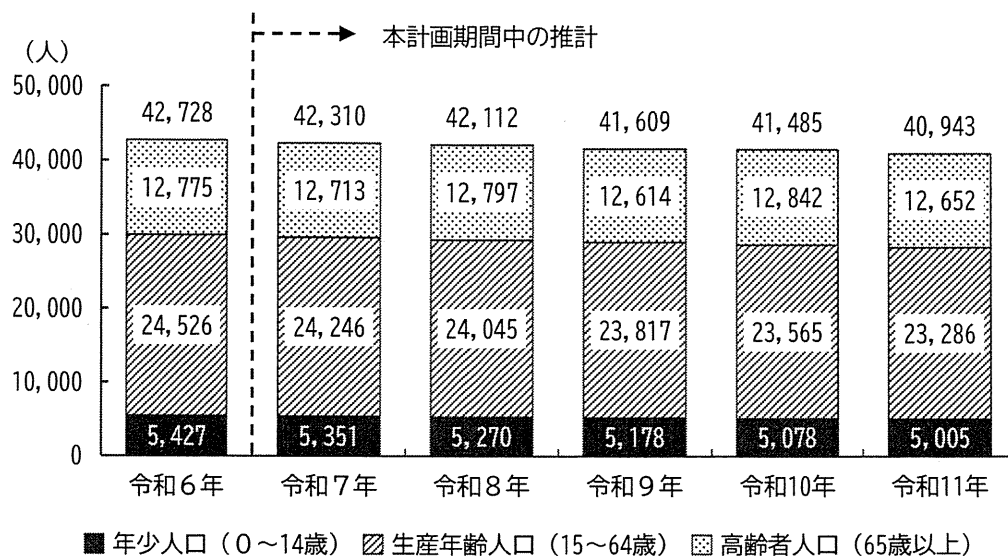
資料：国勢調査（令和2年）

## 4 人口推計

### (1) 人口の推計

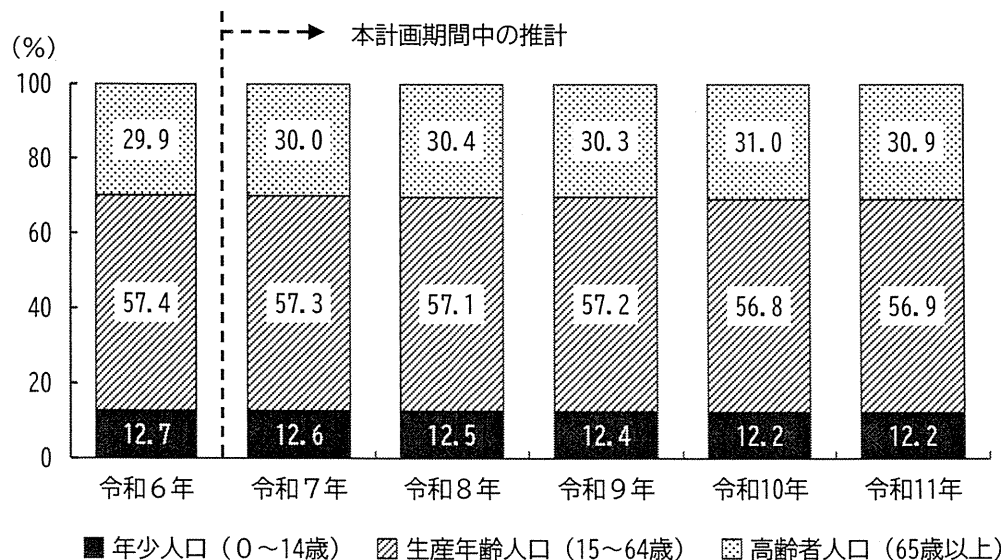
本計画期間中の人口推計をみると、総人口は減少が続くとともに、年少人口、生産年齢人口ともに減少が続くものと見込まれます。また、年齢3区分別人口の割合では、年少人口は僅かずつですが低下していくものと見込まれます。

#### ■人口の推移（推計）



資料：住民基本台帳人口（令和2～6年の各年4月1時点）をもとに推計（コーホート変化率法）

#### ■年齢3区分別人口の割合（推計）



資料：住民基本台帳人口（令和2～6年の各年4月1時点）をもとに推計（コーホート変化率法）



## (2) 18歳未満の人口推計

本計画期間中の18歳未満の人口推計をみると、いずれも人口減少が続くものと見込まれます。

### ■ 18歳未満の人口推計

単位：人

	実績	本計画期間中の推計				
	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
0歳	215	251	247	242	239	235
1歳	312	280	273	269	264	261
2歳	296	327	295	288	284	279
3歳	322	299	338	305	298	294
4歳	355	334	303	342	309	302
5歳	352	355	339	308	347	314
就学前児童 計	1,852	1,846	1,795	1,754	1,741	1,685
6歳	359	360	361	345	313	352
7歳	405	364	360	361	345	313
8歳	359	408	367	363	364	348
9歳	407	365	409	368	364	365
10歳	374	411	369	413	372	368
11歳	407	377	411	369	413	372
小学生児童 計	2,311	2,285	2,277	2,219	2,171	2,118
12歳	403	411	380	414	372	416
13歳	405	407	411	380	414	372
14歳	456	402	407	411	380	414
中学生 計	1,264	1,220	1,198	1,205	1,166	1,202
15歳	406	457	402	407	411	380
16歳	464	399	454	399	404	408
17歳	450	461	399	454	399	404
15～17歳 計	1,320	1,317	1,255	1,260	1,214	1,192
合計	6,747	6,668	6,525	6,438	6,292	6,197

資料：住民基本台帳人口（令和2～6年の各年4月1時点）をもとに推計（コーホート変化率法）

## 5 熊取町のこどもと子育てを取り巻く現状

### ◆人口の推移や構造、自然動態・社会動態による視点

総人口の減少、特に年少人口や生産年齢人口の減少は、今後、様々な産業において必要な人材を確保することが難しくなり、労働力不足になることが想定されます。また、こうした若い世代の減少により、消費や生産活動の低下だけでなく、地域の活力が低下していくことも懸念されます。このため、地域への愛着を深めるとともに、こどもや子育て世帯への切れ目のない支援などにより、子育てのしやすい環境を整備し、本町で生まれ育った人たちが成長しても住み続けられるまちづくりを進め、若い世代が定住しやすい環境づくりを行っていく必要があります。

### ◆家族構成による視点

総世帯数の増加に対して、こどものいる世帯数の減少が続いており、出生率の低下などによる少子化が進行している状況にあります。これは今後の労働力不足や高齢化社会の進展につながり、社会保障制度の負担増加や地域社会の衰退などへの様々な影響が懸念されます。また、子育て世帯が無理なく子育てが出来るよう、経済的・社会的支援を進めるとともに、特に支援が必要な世帯に対しては、今後も引き続き効果的な支援を行っていく必要があります。

### ◆婚姻や女性の就労状況からの視点

本町の子育て世代（25～44歳）の有配偶率をみると、男性・女性ともに29歳以下は全国及び大阪府と同程度、30歳以上は全国や大阪府をおおむね上回っており、特に30～34歳以降の男性は全国や大阪府を大きく上回っていることから、子育て世代の結婚している割合は、全国の中でも低くはないことがうかがえます。また、本町の25～44歳女性の就業率は、令和2年は平成27年よりも低下し66.2%となったものの、大阪府を上回り、全国と同程度で推移していることから、結婚や出産の後も就業している共働き世帯が多いものと想定されます。このため、こうした共働き世帯においても仕事と家庭を両立できるよう、多様な保育ニーズに応じた受入体制の整備を進めていく必要があります。

### ◆人口推計からの視点

町全体として、人口減少・少子高齢化の傾向は続くものと見込まれており、18歳未満の人口についても令和6年と本計画終了期間の令和11年を比較すると、8%以上の減少が見込まれています。

こどもや子育て世帯がまちづくりや支援にどのようなことを必要としているのかを把握し、こどもを生み育てやすい環境づくりにより一層取り組んでいくことが求められます。

## 第3章 教育・保育事業、子育て支援サービスなどの状況

### 1 幼児教育・保育サービスの状況

■保育所・認定こども園・幼稚園一覧（令和6年4月1日時点）

名称	定員 (うち保育 認定者数)	入所児童	開所時間 (月～土曜) ※18:00～は 延長保育時間	病児保育	一時預かり 対応	休日 保育 対応
中央保育所	120人	生後57日～ 5歳児	7:00～19:00	体調不良児 対応型	—	—
東保育所	180人	生後57日～ 5歳児	7:00～19:00	体調不良児 対応型	—	—
北保育所	108人	生後57日～ 5歳児	7:00～19:00	体調不良児 対応型	—	—
アトム共同保育園	160人	生後57日～ 5歳児	7:00～22:00	体調不良児 対応型	あり	あり
つばさ共同保育園	90人	生後57日～ 5歳児	7:00～20:00	体調不良児 対応型	あり	—
すみれ保育園	90人	生後57日～ 5歳児	7:00～22:00	体調不良児 対応型	あり	あり
西保育園	150人	生後57日～ 5歳児	7:00～20:00	体調不良児 対応型	あり	—
さくらこども園	150人 (135人)	生後57日～ 5歳児	7:00～20:00	体調不良児 対応型	あり	—
フレンド幼稚園	464人 (284人)	生後180日 ～ 5歳児	7:30～19:00 ※18:30～ 延長保育時間	体調不良児 対応型	あり (在園児対 象)	—
熊取みどり幼稚園	180人	満3歳～ 5歳児	7:00～18:00 (月～金曜) ※7:00～10:00 14:00～ 延長保育時間	—	あり (在園児対 象)	—

※保育提供区域は町全体を1区域とする

■保育所・認定こども園（4月1日時点）・幼稚園（5月1日時点）の利用状況

単位：人

名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
中央保育所	140	144	154	141	136
東保育所	149	133	123	110	111
北保育所	120	116	107	100	93
西保育所	131	128	R4.4.1から民営化に伴い、西保育園に名称変更		
西保育園	—	—	132	120	128
アトム共同保育園	146	142	141	139	141
つばさ共同保育園	112	89	95	87	90
すみれ保育園	94	108	101	105	107
さくらこども園	133	129	136	122	129
フレンド幼稚園	328	330	344	348	355
熊取みどり幼稚園	165	152	142	133	124
合計	1,518	1,471	1,475	1,405	1,414

## 2 地域子ども・子育て支援事業などの状況

### ■地域子ども・子育て支援事業の利用状況

事業名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込量)
利用者支援事業（母子保健型）	か所	1	1	1	1	1
地域子育て支援拠点事業	延利用者数	2,565	2,983	3,896	4,926	4,900
妊婦健康診査	健診回数	3,453	3,034	3,403	2,544	2,500
乳児家庭全戸訪問事業	人	225	212	261	231	230
養育支援訪問事業	人	125	99	139	79	110
子育て短期支援事業 （ショートステイ）	延利用者数	0	8	0	7	7
子育て短期支援事業 （トワイライトステイ）	延利用者数	0	0	0	0	0
ファミリー・サポート・センター事業 （就学児対象）	延利用者数	321	283	116	116	115
一時預かり事業 （幼稚園における在園児対象）	延利用者数	5,993	5,633	5,135	4,999	4,200
一時預かり事業 （「幼稚園における在園児対象」以外）	延利用者数	7,291	29,098	29,309	21,750	24,849
延長保育事業	人	395	646	555	620	622
病児・病後児保育事業 （体調不良児対応型）	延利用者数	1,048	1,989	1,889	3,135	3,219
放課後児童健全育成事業 （学童保育所）	人	587	591	598	644	663

### ■町の特色ある子育て支援の取組

事業名	内容
ホームスタート事業	熊取町から委託を受けたNPO法人に所属するボランティアが、就学前の乳幼児のいる家庭や妊産婦の方を訪問し、支援を「届ける」ことで孤立を予防し、虐待など深刻な問題の発生を未然に防ぐとともに、地域へ一歩踏み出すきっかけづくりを行います。
初めての赤ちゃんプログラム	初めて赤ちゃんを育てている母親と赤ちゃん（開催時に2～5か月の子ども対象）に、仲間づくりや子育てに関する学習の機会を提供します。
助産師による、こんにちは赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問事業）	熊取町から委託を受けた助産師が、出生届を提出された生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問します。
ファミリー・サポート・センターの利用料減免	生活保護世帯、住民税非課税世帯については、利用料の減免を実施しています。
産前・産後ヘルパー派遣事業	妊娠中又は産後1歳未満で体調不良等のため、支援が必要な家庭にヘルパーを派遣します。
助産師による8か月児訪問	町の助産師が産後8か月頃の乳児のいる家庭を訪問します。

### 3 小学生児童への支援サービスの状況

#### ■学童保育所の設置状況（令和6年4月1日時点）

単位：人

名称	クラブ名	受入可能人数	校区別受入可能 人数合計
中央学童保育所	にこにこ	50	150
	げんき	55	
	なかよし	45	
東学童保育所	スター	47	124
	くれよん	65	
	大宮ルーム	12	
西学童保育所	ともだち	50	198
	なないろ	45	
	みらくる	39	
	サニー	32	
	ナイス	32	
南学童保育所	たけのこ	52	90
	ともかぜ	38	
北学童保育所	だるま	47	179
	あおぞら	47	
	ペンギン	42	
	しいのき	43	

#### ■学童保育所の利用状況（各年度5月1日時点）

単位：人

名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
中央学童保育所	110	114	117	131	150
東学童保育所	104	89	89	112	113
西学童保育所	151	175	184	190	197
南学童保育所	78	78	70	67	65
北学童保育所	144	135	138	144	138
合計	587	591	598	644	663

#### ■放課後子ども教室（元気ひろば）の利用状況

単位：人

名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
中央小学校（わんぱく広場）	172	89	251	226
西小学校（わいわい広場）	136	96	165	161
北小学校（のほほん広場）	0	146	471	446
南小学校・東小学校（わくわく広場）	57	84	192	341
小計	365	415	1,079	1,174
こども自習室（煉瓦館、夏休み・冬休み）	0	0	41	193
合計	365	415	1,120	1,367

## 4 小中学校の状況

### ■小学校の状況（各年度5月1日時点）

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1年	343	369	335	375	326
2年	373	339	367	334	372
3年	375	370	341	368	330
4年	373	379	368	338	371
5年	420	371	377	372	336
6年	381	424	371	376	371
支援学級児童数	119	134	150	155	162
合計	2,384	2,386	2,309	2,318	2,268

### ■中学校の状況（各年度5月1日時点）

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1年	411	360	395	341	340
2年	405	411	357	397	342
3年	420	408	410	356	397
支援学級生徒数	43	39	41	42	44
合計	1,279	1,218	1,203	1,136	1,123

## 5 相談事業の状況

### ■相談事業の状況

単位：件

相談種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
健康相談	すくすく		117	100	138	184
子どもの 育ち相談	子育て・健康		3,061	2,167	2,859	3,697
	総合相談	子ども・家庭	4,976	5,700	6,469	8,520
	専門相談	経過観察健診	49	55	57	50
		発達（おやこ）	616	566	643	655
		ことば	47	47	46	50
		運動機能	41	25	56	56
		こころ	289	263	243	298

(参考)

単位：%

乳幼児健診における発達面フォロー率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1歳7か月児健診	46.1	43.0	44.1	53.3
3歳6か月児健診	33.6	34.8	37.3	36.3

## 6 経済的支援の状況

### ■各種手当及び助成の状況

経済的支援		単位	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度 9月末
各種手当 受給者数	児童手当	人	3,147	3,065	2,927	2,826	
	児童扶養手当※ <sup>1</sup>	人	325	346	317	319	
	特別児童扶養手当※ <sup>1</sup>	人	103	106	106	105	
	遺児福祉年金	人	69	53	56	44	
	就学経費等助成金	人	56	70	81	69	
	就学援助	人	880	828	781	722	
	特別支援教育 就学奨励費	人	46	46	41	49	
	生活保護※ <sup>2</sup>	世帯	32	30	22	17	
医療費 延助成件数	子ども医療費	件	54,780	64,341	76,190	93,860	
	ひとり親家庭医療費	件	9,718	10,917	10,995	11,679	

※1 認定は大阪府。全部停止者を除いた保護者数。

※2 認定は大阪府。こどものいる世帯数。



## 第4章 ニーズ調査等の結果と第2期計画の評価・課題

### 1 調査概要

こども・子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用希望、小学生・中学生の学校や家での生活の様子、若者の意見などを把握するとともに、本計画を策定するために必要な基礎データの収集を目的としてニーズ調査等を実施しました。

#### ■ニーズ調査等の概要

調査の種類	ニーズ調査		アンケート調査	
調査対象	就学前児童の保護者	小学生の保護者	小学校5年生	中学校2年生
調査期間	令和6年2月19日～令和6年3月12日			
調査方法	WEB回答			
配布数 ( )内は 調査の対象者数※	1,000票	1,000票	406票 (410人)	439票 (458人)
回収数	461票	408票	403票	361票
回収率	46.1%	40.8%	99.3%	82.2%
有効回答数	388票	350票	378票	343票

※小学校5年生及び中学校2年生を対象とした調査では、町立以外の学校に在籍している児童・生徒は、保護者の同意が得られた方に配布しました。

調査の種類	若者調査
調査対象	16歳から39歳の若者
調査期間	令和6年6月28日～令和6年7月16日
調査方法	WEB回答
配布数	3,000票
回収数	681票
回収率	22.7%
有効回答数	649票

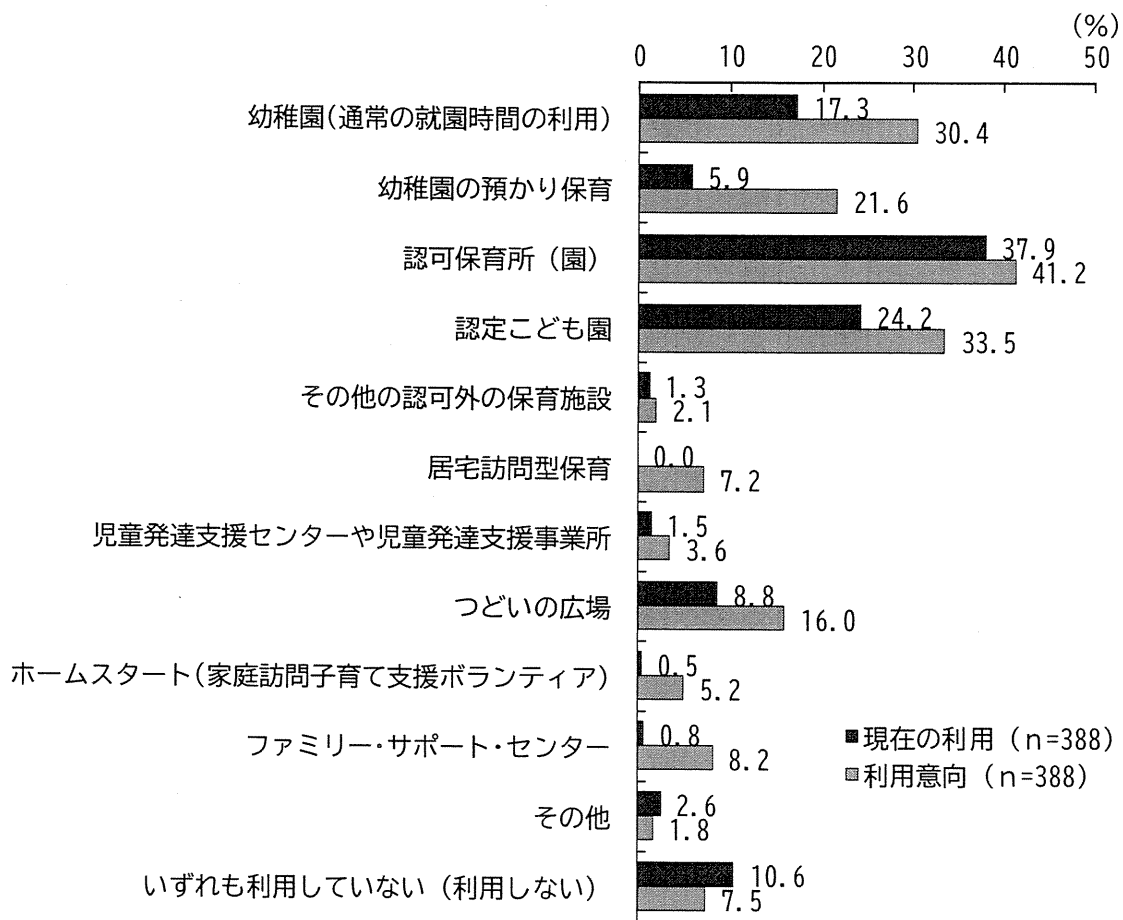
## 2 ニーズ調査結果概要（就学前児童及び小学生の保護者）

### ①施設等の現在の利用及び今後の利用意向【就学前】

利用している施設やサービスは、「認可保育所（園）」が37.9%と最も高く、次いで「認定こども園」が24.2%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が17.3%となっています。

平日「定期的」に利用したいと考える施設やサービスは、「認可保育所（園）」が41.2%と最も高く、次いで「認定こども園」が33.5%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が30.4%となっています。

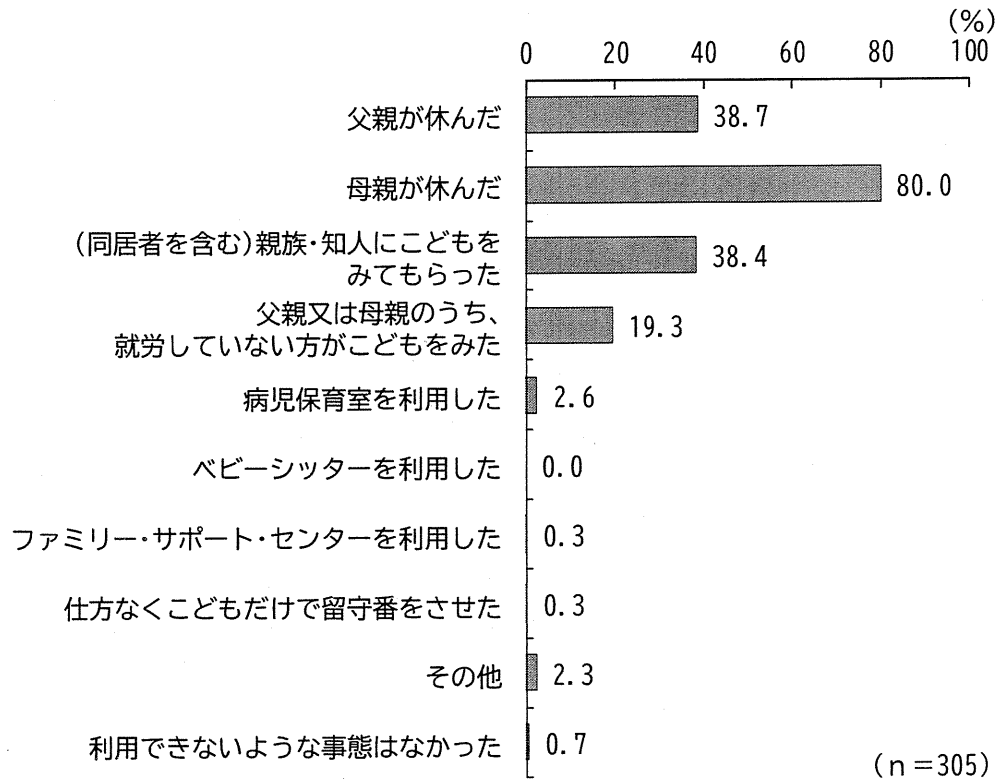
#### ■施設等の現在の利用及び今後の利用意向【就学前】（複数回答）



## ②こどもが病気やけがをした際の対処方法【就学前】

こどもが病気やけがで通常の幼稚園、保育所や認定こども園等を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が80.0%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が38.7%、「(同居者を含む)親族・知人にこどもをみてもらった」が38.4%となっています。

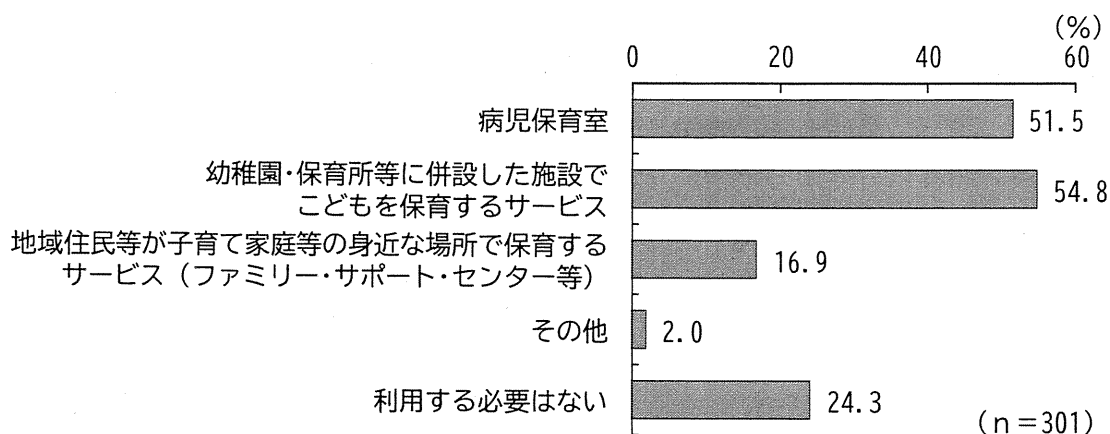
## ■こどもが病気やけがをした際の対処方法【就学前】（複数回答）



## ③こどもが病気やけがをした際のサービスの利用意向【就学前】

こどもが病気やけがをした際のサービスの利用意向は、「幼稚園・保育所等に併設した施設でこどもを保育するサービス」が54.8%と最も高く、次いで「病児保育室」が51.5%となっており、「利用する必要はない」は24.3%となっています。

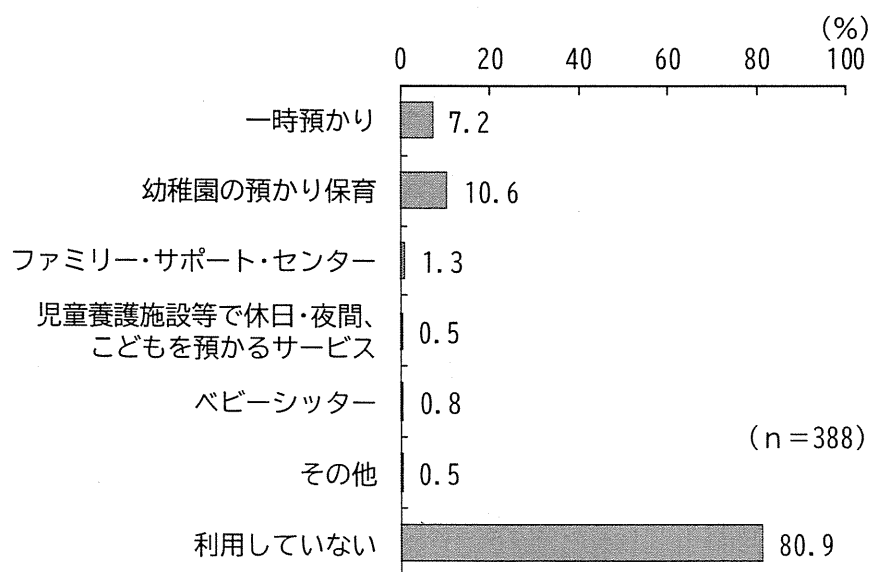
## ■こどもが病気やけがをした際のサービスの利用意向【就学前】（複数回答）



## ④「不定期」に利用しているサービスの有無【就学前】

「不定期」に利用しているサービスは、「幼稚園の預かり保育」が10.6%と最も高く、次いで「一時預かり」が7.2%となっており、「利用していない」は80.9%となっています。

## ■「不定期」に利用しているサービスの有無【就学前】（複数回答）

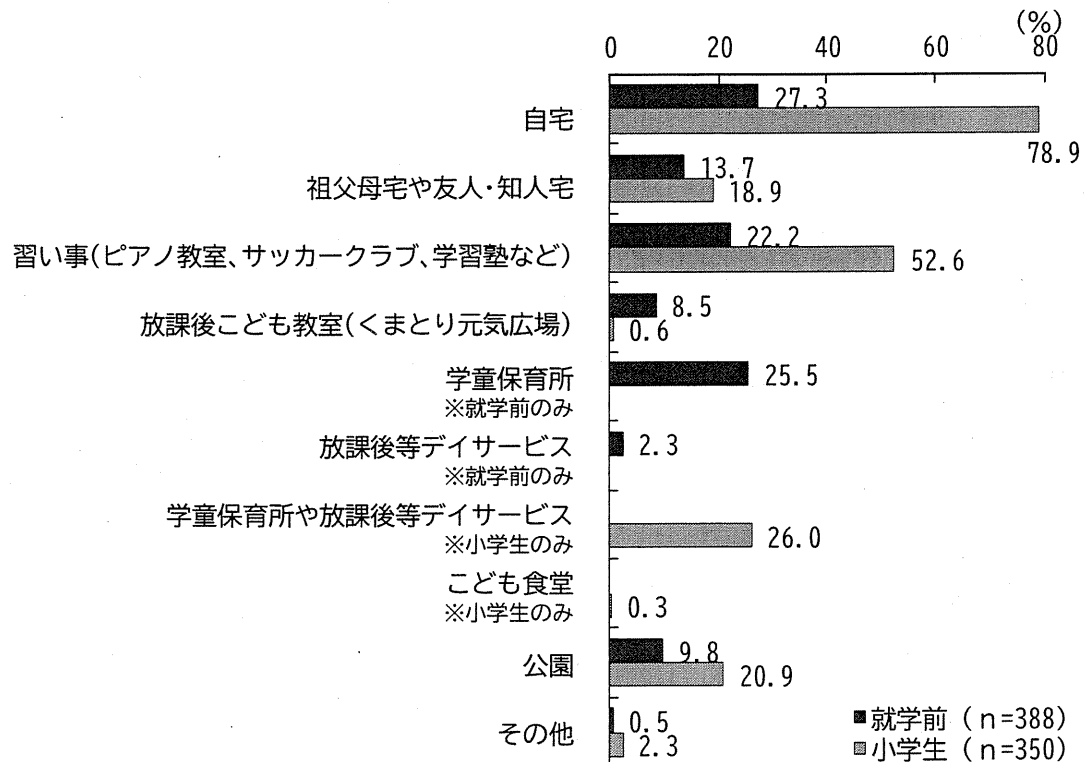


## ⑤放課後の居場所

就学前児童の保護者が、小学校就学後に放課後の時間を過ごさせたい場所として、小学校低学年（1～3年生）の間は「自宅」が27.3%と最も高く、次いで「学童保育所」が25.5%、「習い事」が22.2%となっています。また、小学校高学年（4～6年生）になると「自宅」が29.9%と最も高く、次いで「習い事」が25.3%、「学童保育所」が16.2%となっています。

小学生の保護者に尋ねた、放課後の時間を過ごしている場所は、「自宅」が78.9%と最も高く、次いで「習い事」が52.6%、「学童保育所や放課後等デイサービス」が26.0%となっています。

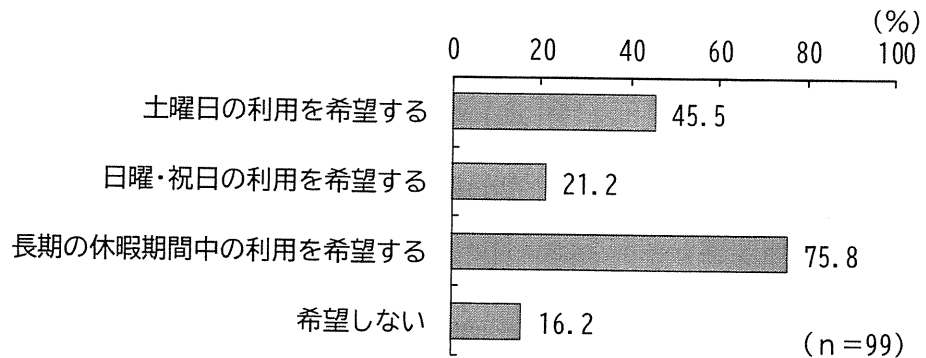
■放課後過ごさせたい場所【就学前児童の保護者：小学校低学年の時期】（複数回答）  
 放課後過ごしている場所【小学生】（複数回答）



### ⑥休日における学童保育所の利用希望

放課後の時間を過ごさせたい場所として「学童保育所」を選んだ就学前児童の保護者に尋ねた、休日における学童保育所の利用希望は、小学校低学年の間は「長期の休暇期間中」が75.8%と最も高く、次いで「土曜日」が45.5%、「日曜・祝日」が21.2%となっています。また、小学校高学年になると「長期の休暇期間中」が66.7%と最も高く、次いで「土曜日」が38.1%、「日曜・祝日」が23.8%となっています。

#### ■休日における学童保育所の利用希望【就学前児童の保護者：小学校低学年の時期】（複数回答）



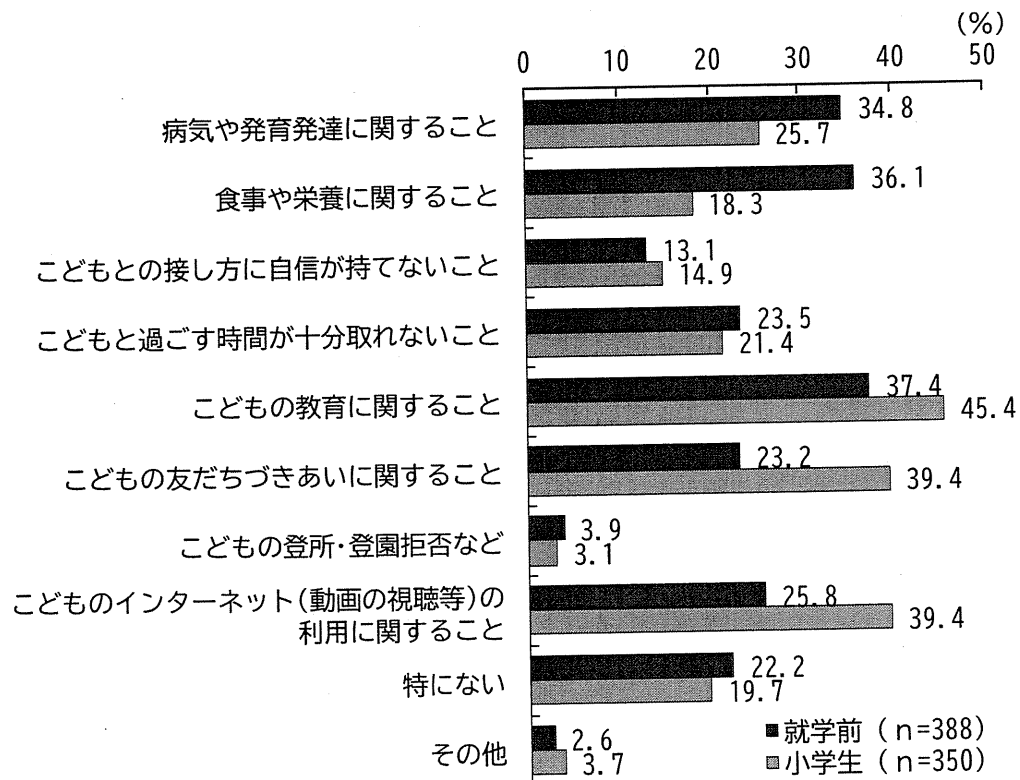
## ⑦子育てに関して日常悩んでいること・気になること

## 【こどもに関すること】

就学前児童の子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「こどもの教育に関すること」が37.4%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」が36.1%、「病気や発育発達に関すること」が34.8%となっており、「特にない」は22.2%となっています。

小学生の子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「こどもの教育に関すること」が45.4%と最も高く、次いで「こどもの友だちづきあいに関すること」、「こどものインターネット（動画の視聴等）の利用に関すること」がそれぞれ39.4%となっており、「特にない」は19.7%となっています。

■子育てに関して日常悩んでいること・気になること【就学前・小学生：こどもに関すること】（複数回答）

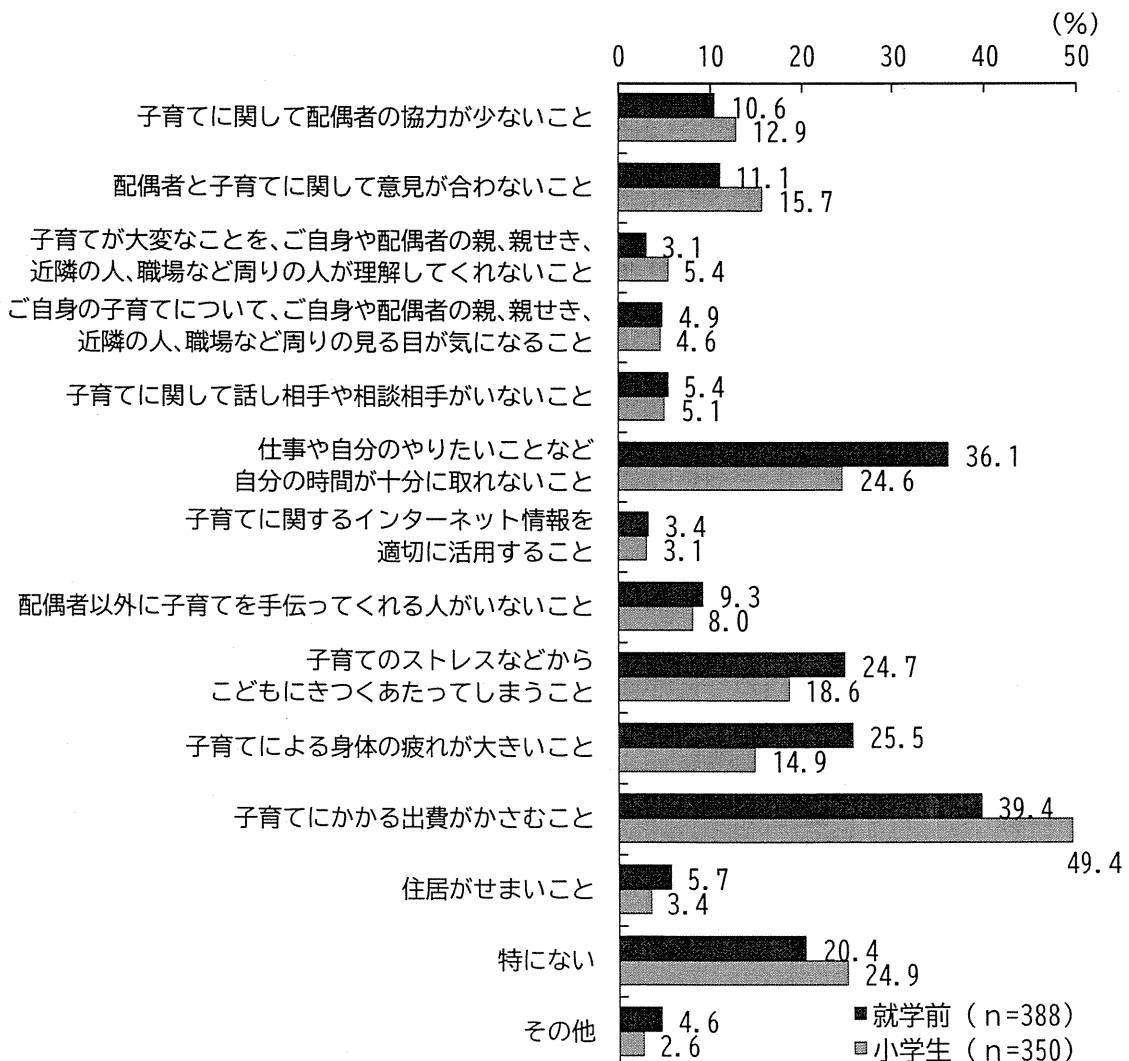


## 【保護者自身に関すること】

就学前児童の子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が39.4%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分に取れないこと」が36.1%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が25.5%、「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が24.7%となっており、「特にない」は20.4%となっています。

小学生の子育てに関して、日常悩んでいること、気になることは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が49.4%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分に取れないこと」が24.6%、「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」が18.6%となっており、「特にない」は24.9%となっています。

■子育てに関して日常悩んでいること・気になること【就学前・小学生：保護者自身に関すること】（複数回答）

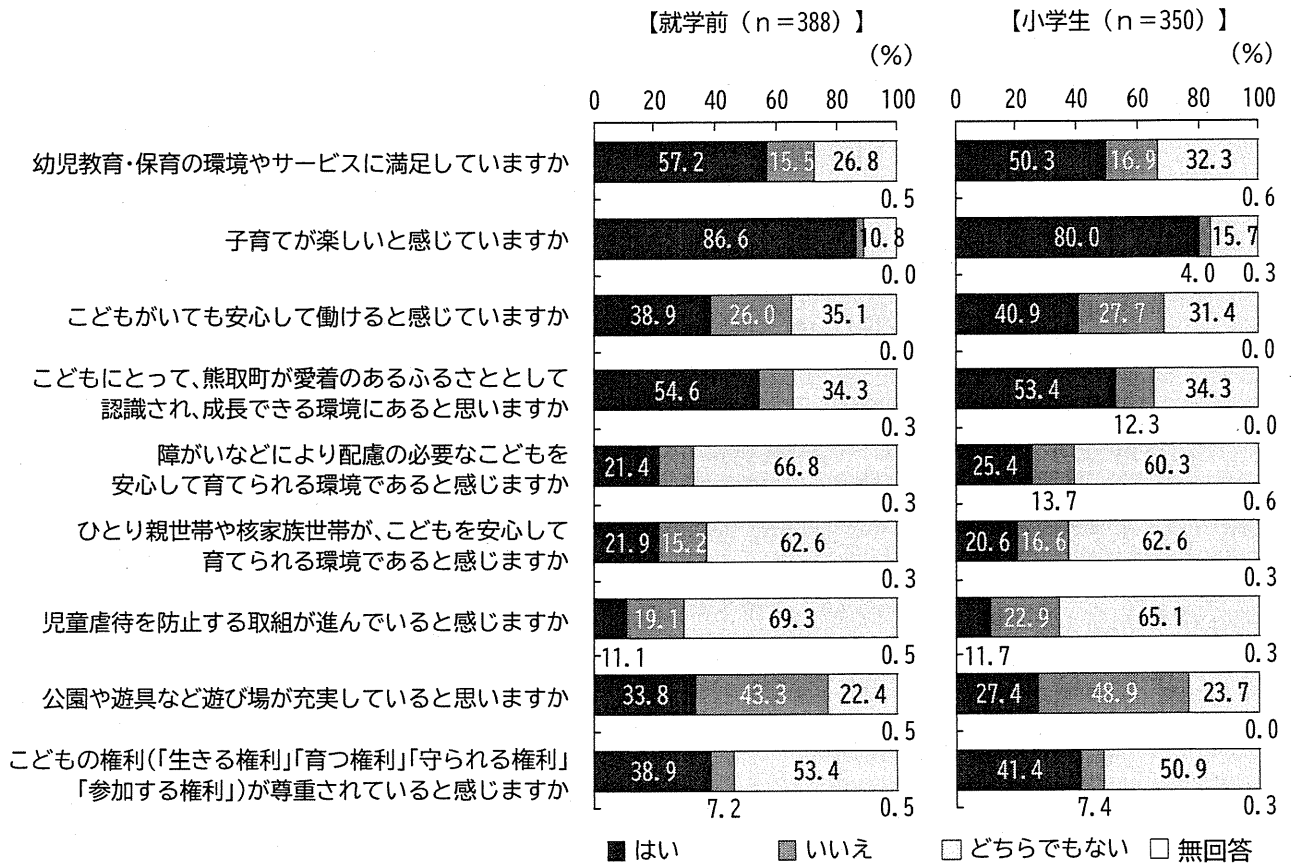




### ⑧熊取町での子育てで感じること

熊取町での子育てで感じることにについて、就学前・小学生の保護者いずれも、「子育てが楽しい」は80%以上、「幼児教育・保育の環境・サービスに満足」や「こどもにとって、熊取町は愛着のあるふるさと」は50%以上が「はい」と答えている一方で、「公園や遊具など遊び場が充実している」は40%以上、「こどもがいても安心して働ける」は25%以上が「いいえ」と答えています。

#### ■熊取町での子育てで感じること【就学前・小学生】（単数回答）



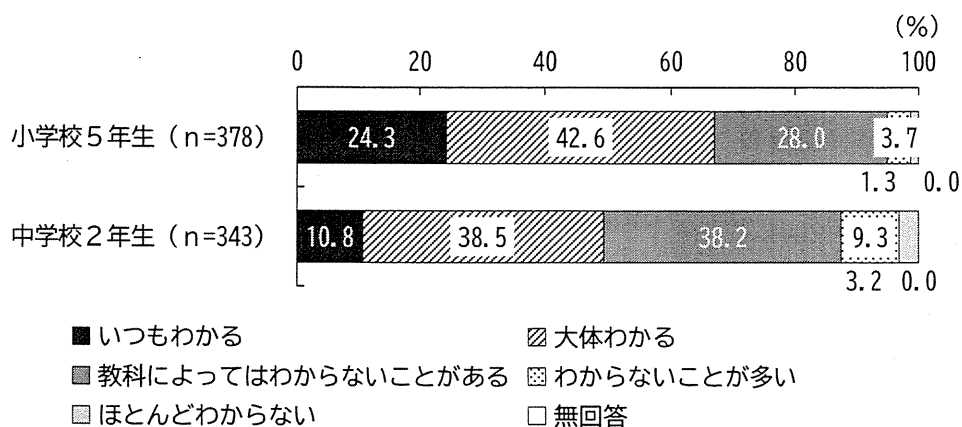
### 3 アンケート調査結果概要（小学校5年生、中学校2年生）

#### ①学校の授業の理解度

学校の授業の理解度について、小学校5年生は、「大体わかる」が42.6%と最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」が28.0%、「いつもわかる」が24.3%となっています。

中学校2年生は、「大体わかる」が38.5%と最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」が38.2%、「いつもわかる」が10.8%となっています。

#### ■学校の授業の理解度【小学校5年生、中学校2年生】（単数回答）

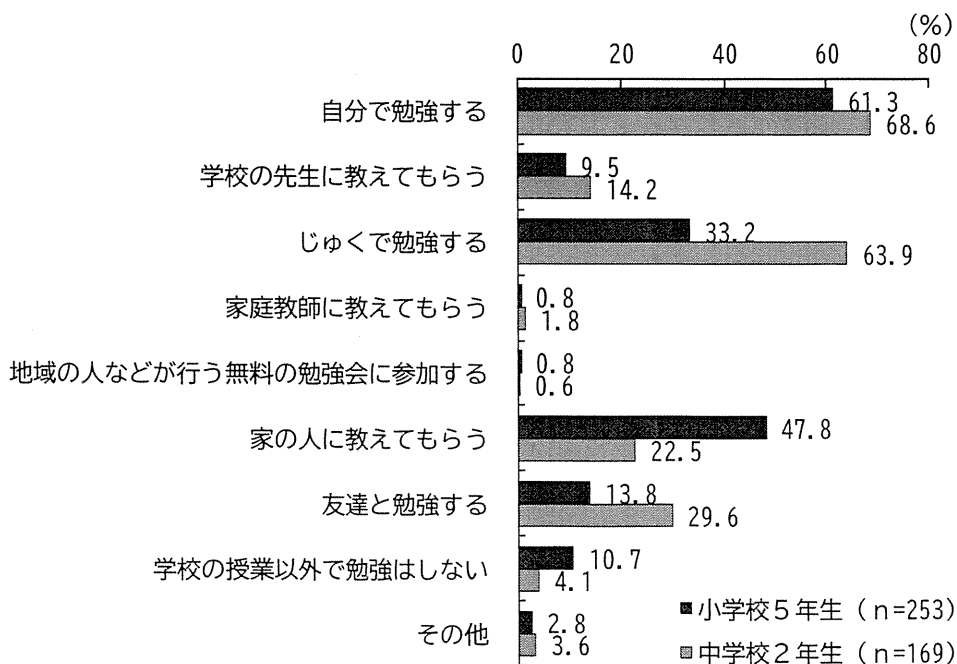


#### ②授業以外での勉強方法

ふだんの学校の授業以外での勉強方法について、小学校5年生は、「自分で勉強する」が61.3%と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」が47.8%、「塾で勉強する」が33.2%となっています。

中学校2年生は、「自分で勉強する」が68.6%と最も高く、次いで「塾で勉強する」が63.9%、「友達と勉強する」が29.6%となっています。

#### ■授業以外での勉強方法【小学校5年生、中学校2年生】（複数回答）



## ③放課後過ごす場所

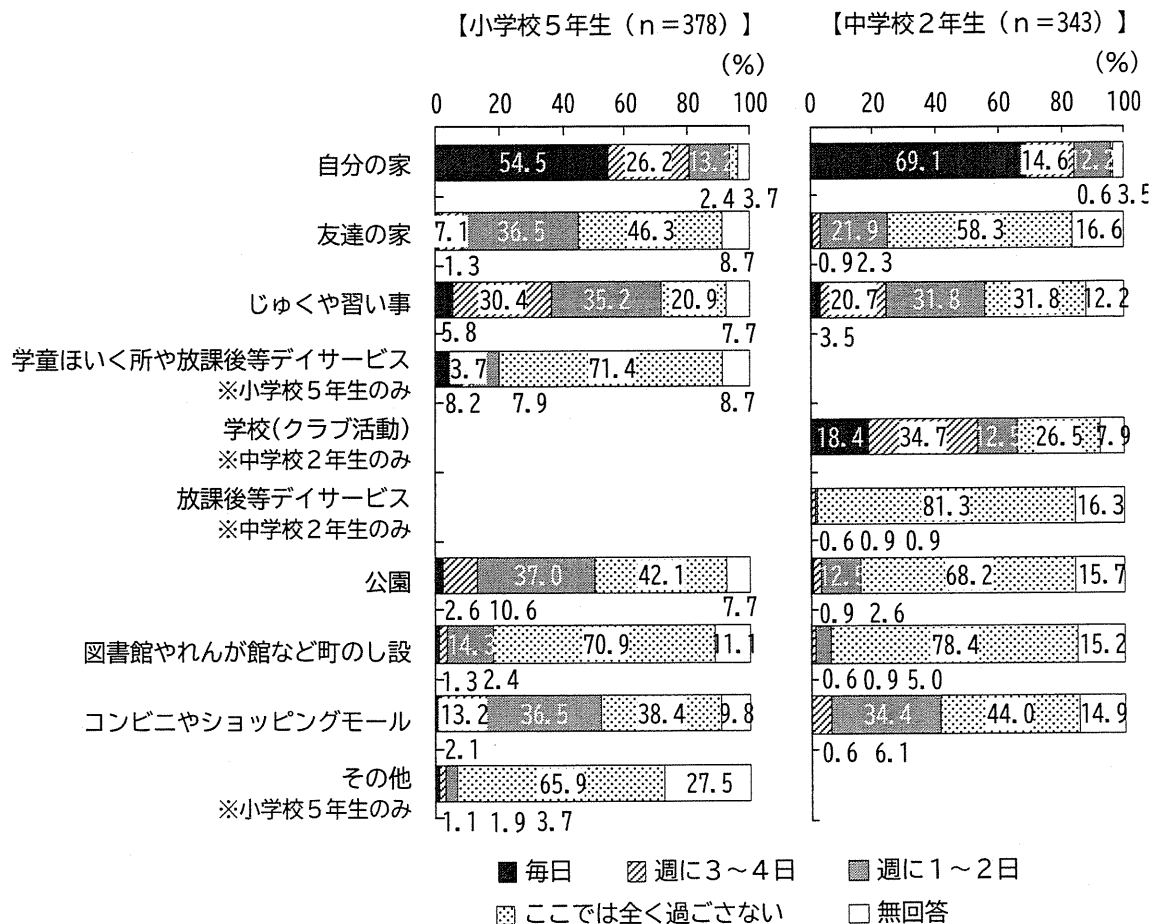
平日の放課後に過ごす場所について、小学校5年生は、「毎日」過ごす場所としては、「自分の家」が54.5%と最も高く、次いで「学童保育所や放課後等デイサービス」が8.2%、「塾や習い事」が5.8%となっています。

「ここでは全く過ごさない」場所としては、「学童保育所や放課後等デイサービス」が71.4%と最も高く、次いで「図書館や煉瓦館など町の施設」が70.9%となっています。

また、中学校2年生は、「毎日」過ごす場所としては、「自分の家」が69.1%と最も高く、次いで「学校(クラブ活動)」が18.4%、「塾や習い事」が3.5%となっています。

「ここでは全く過ごさない」場所としては、「放課後等デイサービス」が81.3%と最も高く、次いで「図書館や煉瓦館など町の施設」が78.4%、「公園」が68.2%となっています。

## ■放課後過ごす場所【小学校5年生、中学校2年生】(単数回答)

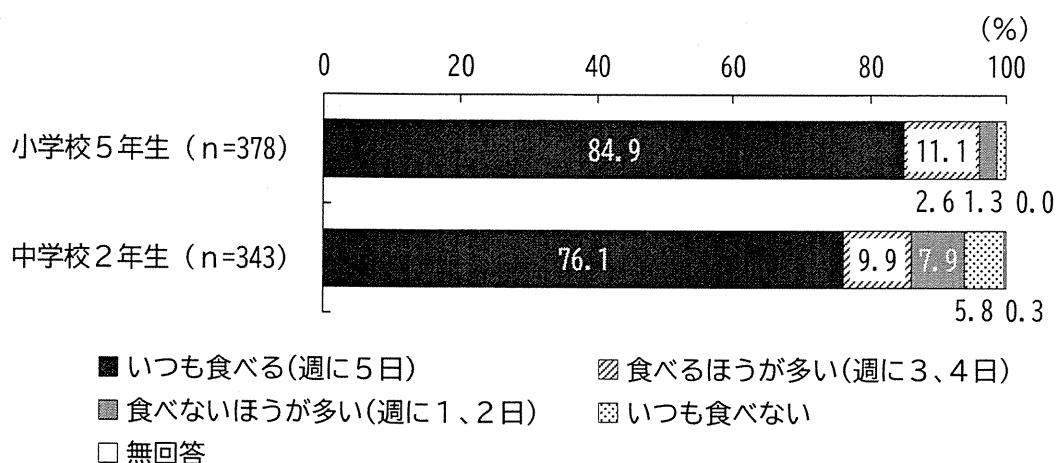


## ④平日の朝ごはん

平日に朝ごはんを食べるかについて、小学校5年生は、「いつも食べる」が84.9%と最も高く、次いで「食べるほうが多い」が11.1%、「食べないほうが多い」が2.6%となっています。

中学校2年生は、「いつも食べる」が76.1%と最も高く、次いで「食べるほうが多い」が9.9%、「食べないほうが多い」が7.9%となっています。

## ■平日の朝ごはん【小学校5年生、中学校2年生】（単数回答）

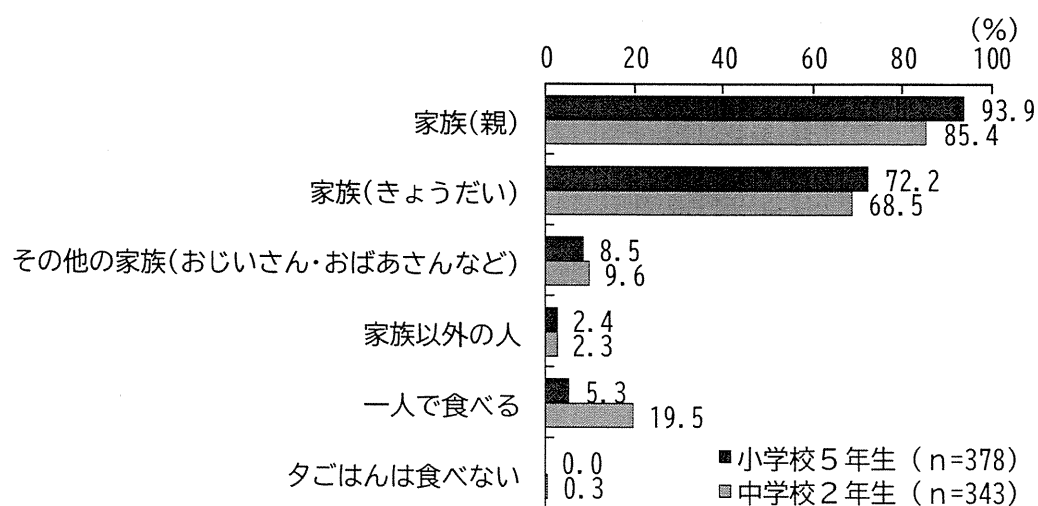


## ⑤平日の夕ごはんを一緒に食べる人

平日に夕ごはんを誰と食べるかについて、小学校5年生は、「家族(親)」が93.9%と最も高く、次いで「家族(きょうだい)」が72.2%、「その他の家族(おじいさん・おばあさんなど)」が8.5%となっています。

中学校2年生は、「家族(親)」が85.4%と最も高く、次いで「家族(きょうだい)」が68.5%、「一人で食べる」が19.5%となっています。

## ■平日の夕ごはんを一緒に食べる人【小学校5年生、中学校2年生】（複数回答）



## ⑥普段している活動

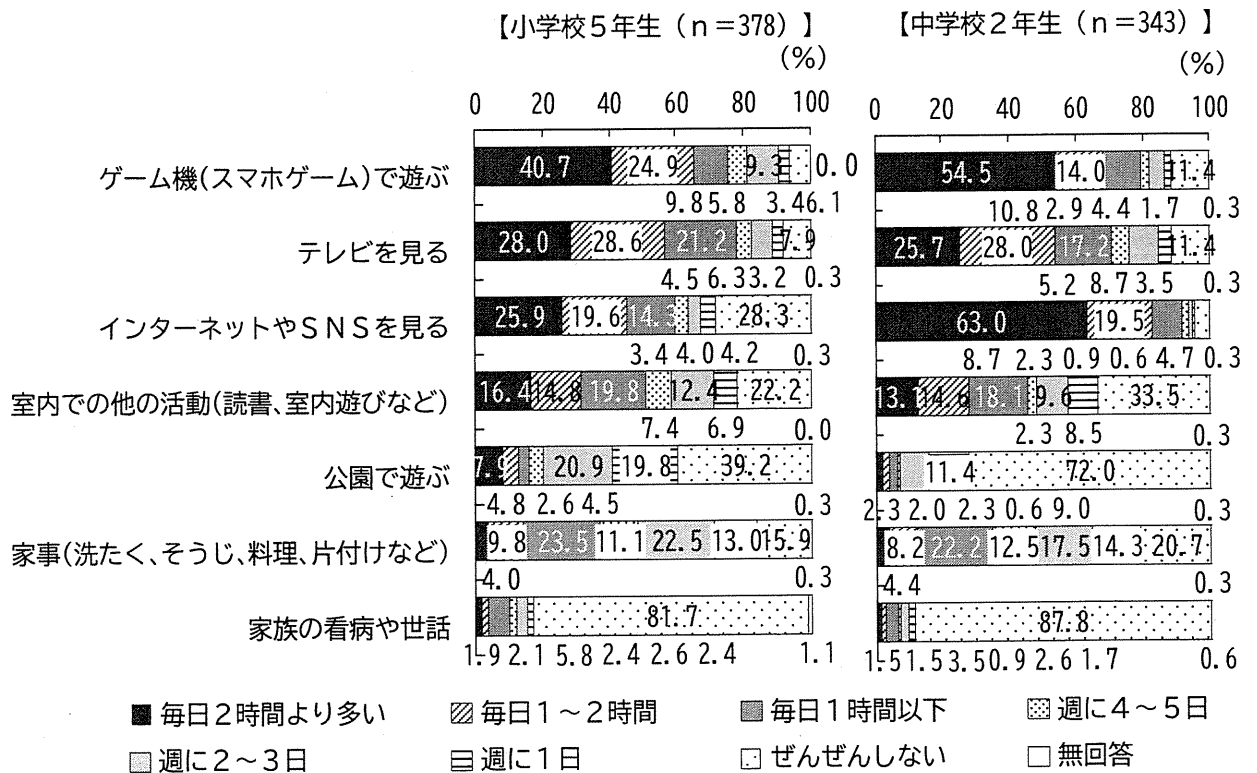
普段どれくらい活動しているかについて、小学校5年生は、「毎日2時間より多い」ものとして、「ゲーム機（スマホゲーム）で遊ぶ」が40.7%と最も高く、次いで「テレビを見る」が28.0%、「インターネットやSNSを見る」が25.9%となっています。

「全然しない」ものとしては、「家族の看病や世話」が81.7%と最も高く、次いで「公園で遊ぶ」が39.2%、「インターネットやSNSを見る」が28.3%となっています。

中学校2年生は、「毎日2時間より多い」としては、「インターネットやSNSを見る」が63.0%と最も高く、次いで「ゲーム機（スマホゲーム）で遊ぶ」が54.5%、「テレビを見る」が25.7%となっています。

「全然しない」としては、「家族の看病や世話」が87.8%と最も高く、次いで「公園で遊ぶ」が72.0%、「室内での他の活動（読書、室内遊びなど）」が33.5%となっています。

## ■普段している活動【小学校5年生、中学校2年生】（単数回答）

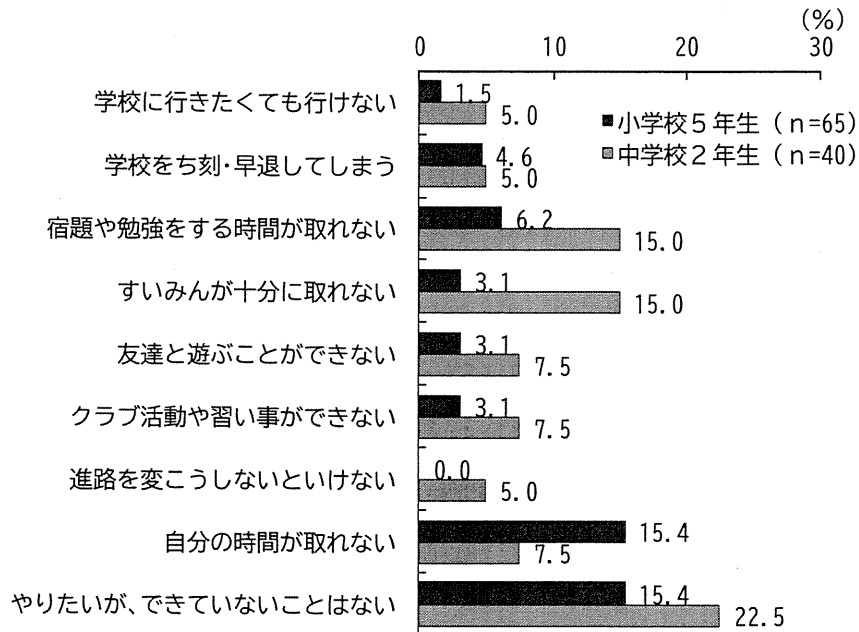


## ⑦家族の世話をすることによる問題の有無

家族のお世話をしていることで、どのような問題があるかについて、小学校5年生は、「自分の時間が取れない」、「やりたいが、できていないことはない」がそれぞれ15.4%と最も高く、次いで「宿題や勉強をする時間が取れない」が6.2%となっています。

中学校2年生は、「やりたいが、できていないことはない」が22.5%と最も高く、次いで「宿題や勉強をする時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」がそれぞれ15.0%となっています。

## ■家族の世話をすることによる問題の有無【小学校5年生、中学校2年生】（複数回答）

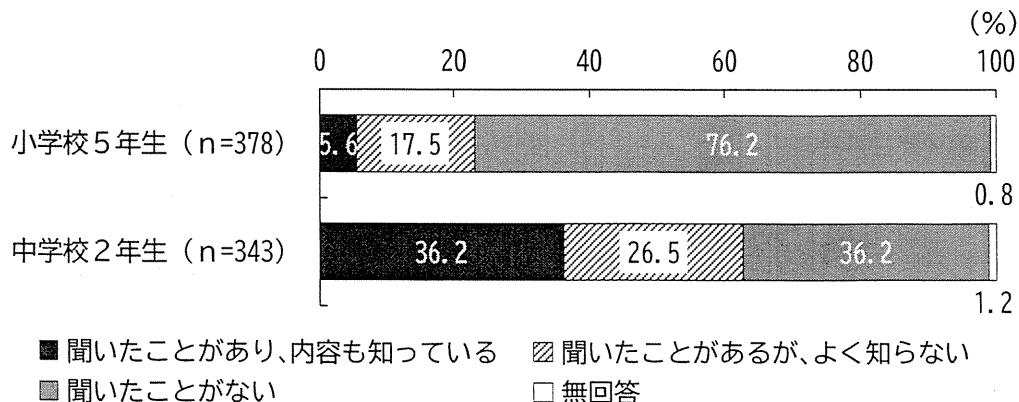


## ⑧ヤングケアラーという言葉の認知度

ヤングケアラーという言葉 これまでに聞いたことはあるかについて小学校5年生は、「聞いたことがない」が76.2%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」が17.5%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が5.6%となっています。

中学校2年生は、「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことがない」がそれぞれ36.2%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、よく知らない」が26.5%となっています。

## ■ヤングケアラーという言葉の認知度【小学校5年生、中学校2年生】（単数回答）

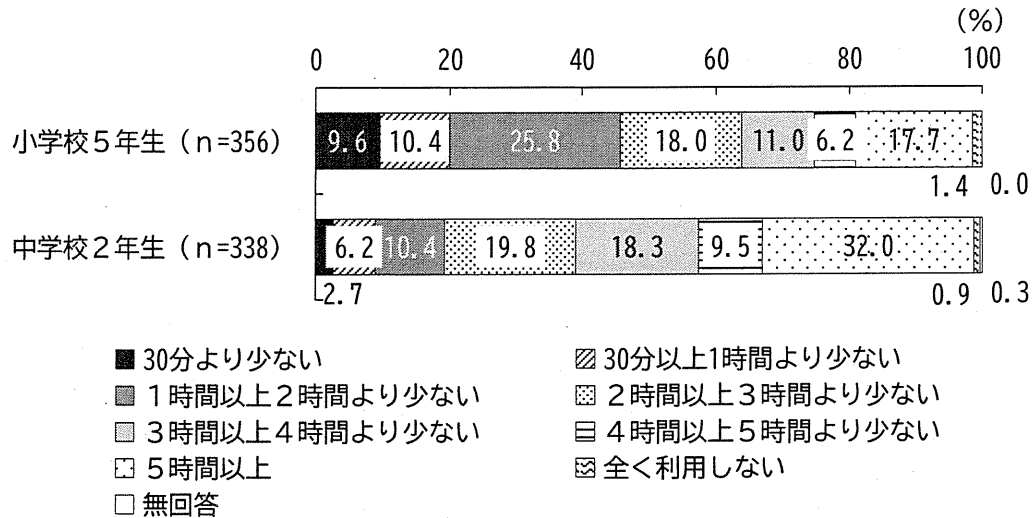


## ⑨ 1日当たりのインターネットの利用時間

1日当たりのインターネットの利用時間について小学校5年生は、「1時間以上2時間より少ない」が25.8%と最も高く、次いで「2時間以上3時間より少ない」が18.0%、「5時間以上」が17.7%となっています。

中学校2年生は、「5時間以上」が32.0%と最も高く、次いで「2時間以上3時間より少ない」が19.8%、「3時間以上4時間より少ない」が18.3%となっています。

## ■ 1日当たりのインターネットの利用時間【小学校5年生、中学校2年生】（単数回答）

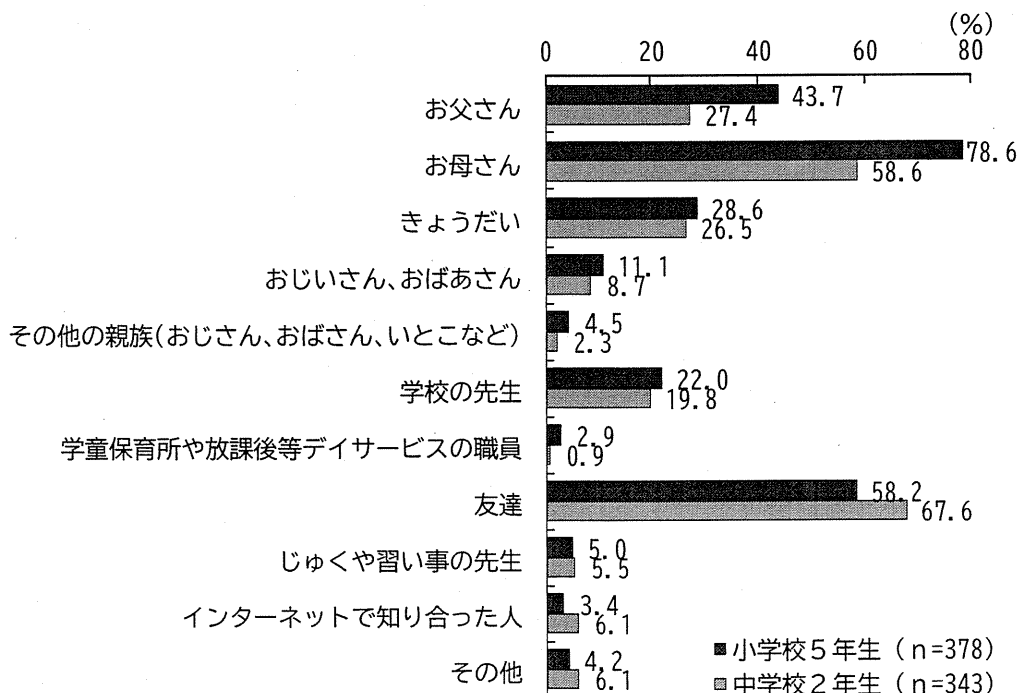


## ⑩ 悩みごとの相談相手

困っていることや悩みごとを誰に相談するかについて小学校5年生は、「母親」が78.6%と最も高く、次いで「友達」が58.2%、「父親」が43.7%となっています。

中学校2年生は、「友達」が67.6%と最も高く、次いで「母親」が58.6%、「父親」が27.4%となっています。

## ■ 悩みごとの相談相手【小学校5年生、中学校2年生】（複数回答）



## ⑪ 思いや気持ち

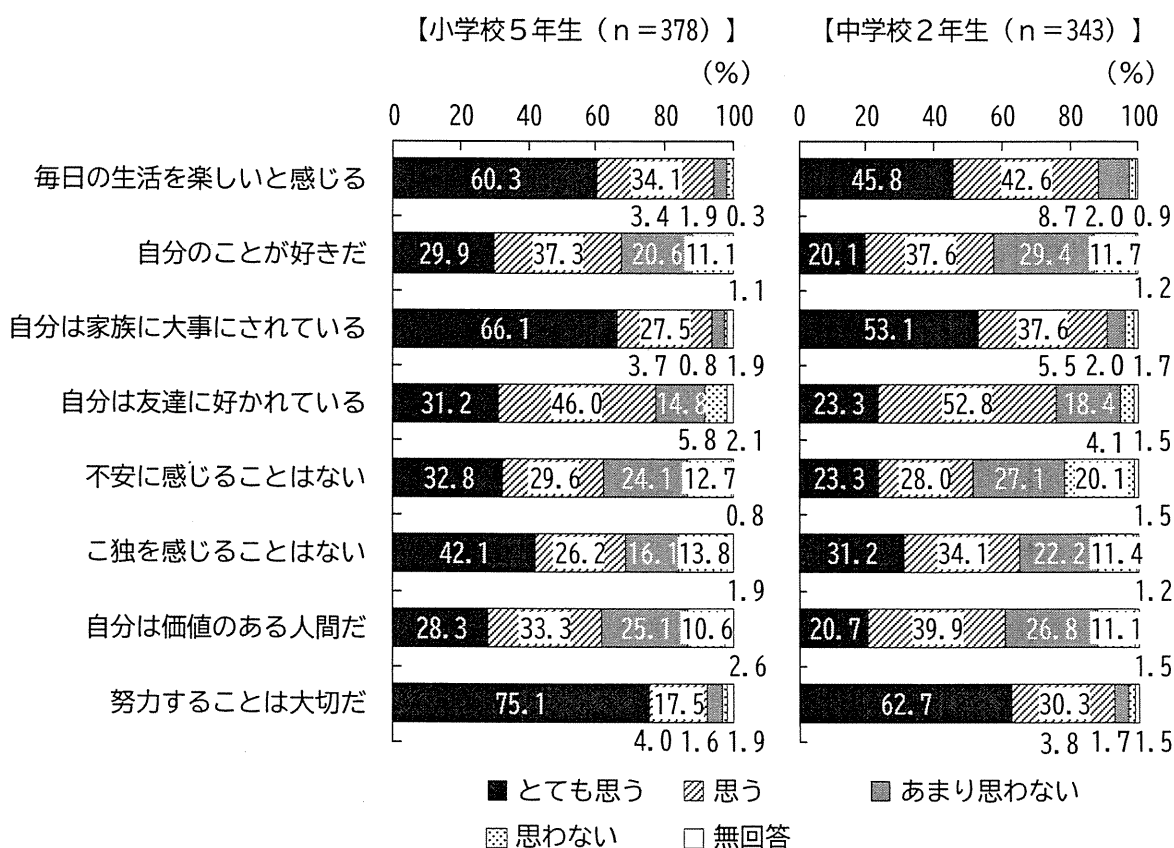
小学校5年生が、「とても思う」こととしては、「努力することは大切だ」が75.1%と最も高く、次いで「自分は家族に大事にされている」が66.1%、「毎日の生活を楽しんでいる」が60.3%となっています。

「思わない」こととしては、「孤独を感じることはない」が13.8%と最も高く、次いで「不安を感じることはない」が12.7%、「自分は価値のある人間だ」が10.6%となっています。

中学校2年生が、「とても思う」こととしては、「努力することは大切だ」が62.7%と最も高く、次いで「自分は家族に大事にされている」が53.1%、「毎日の生活を楽しんでいる」が45.8%となっています。

「思わない」こととしては、「不安を感じることはない」が20.1%と最も高く、次いで「自分のことが好きだ」が11.7%、「孤独を感じることはない」が11.4%となっています。

## ■ 思いや気持ち【小学校5年生、中学校2年生】（単数回答）





## 4 若者調査結果概要（16 歳から 39 歳の若者）

---

作業中

## 5 ニーズ調査等の結果からみえる課題

### (1) ニーズ調査（就学前児童及び小学生の保護者）

#### ●平日、定期的に利用している施設やサービスについて

就学前児童の保護者が定期的にご利用している施設やサービスについては、「認可保育所（園）」が約4割、「認定こども園」が2割以上となっています。また、平日の利用希望については、「認可保育所（園）」が4割以上、「認定こども園」が3割以上となっていますが、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が約3割、「幼稚園の預かり保育」も約2割が利用を希望しています。

一方、不定期な預かり保育等のサービスの利用について、就学前児童の保護者の8割は「利用していない」となっており、「幼稚園の預かり保育」や「一時預かり」の利用は1割前後となっています。

そのため、「認可保育所（園）」、「認定こども園」はもちろんのこと、「幼稚園」や「幼稚園の預かり保育」などの施設やサービスも充実させ、延長保育・休日保育等幅広いニーズに対応できるようにしていくことが求められます。

#### ●病気等の際のサービスについて

また、こどもが病気やけがをした際の対処方法については、就学前児童及び小学生の保護者いずれも、親が仕事を休んだり、親族・知人にみてもらったりして対処している割合が8割程度と高くなっています。また、こどもが病気やけがをした際について、「病児保育室」の利用意向は就学前児童の保護者で約5割、小学生の保護者で約2割となっています。

このため、こどもが病気等になった際の様々な家庭の事情に対応できる環境を整え、支援を行えるように取り組んでいくことが求められます。

#### ●放課後の過ごし方について

放課後の時間を過ごさせたい場所について、就学前児童の保護者では、就学後の1～3年生（低学年）の期間は「自宅」に次いで「学童保育所」が高く、さらに「学童保育所」を選んだ方の7割以上が「長期の休暇期間中の利用を希望する」として、前回調査から大きく上昇しています。また、小学生の保護者でも「自宅」や「習い事」に次いで、「学童保育所や放課後等デイサービス」が高くなっています。

このため、今後も学童保育所等の利用ニーズについて、放課後だけでなく、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に関しても適切な把握に努め、放課後等の児童の安全・安心な居場所づくりを引き続き進めていくことが求められます。

### ●熊取町の子育て施策全般について

本町での子育てで感じることにについて、「幼児教育・保育の環境やサービス」については、就学前児童・小学生の保護者ともに半数程度が満足に感じている一方で、「公園や遊具など遊び場の充実」や「こどもがいても安心して働ける環境」は、あまり高くありません。

また、子育てが地域の人に支えられていると感じる割合は、就学前児童・小学生の保護者ともに前回調査の約8割から約6割へ低下しています。

このため、全てのこどもが健やかに成長できるよう、子育て家庭への支援はもちろんのこと、地域や町全体で子育てを支える環境づくりが求められています。

### ●子育ての悩みや喜びなどについて

子育てに関して日常悩んでいること・気になることにについて、こどもに関することでは、就学前児童・小学生の保護者ともに、「こどもの教育に関すること」が最も高く、今回追加した「こどものインターネットの利用に関すること」も高くなっています。保護者自身に関することでは、就学前児童・小学生の保護者ともに、「子育てにかかる出費がかさむこと」が最も高く、どちらも前回調査から大きく上昇しています。

そのほかにも、多くの項目で前回調査より上昇しており、子育て家庭において多様な悩み、気になることを抱えていることがうかがえます。

このため、多くの回答のあった悩み・気になることにに対する支援だけでなく、様々な悩みなどを抱えるこどもや子育て家庭に寄り添った支援を行っていくことが求められます。

### ●子育ての環境や支援について

自由意見では、公園や道路に関しては、狭い道路や歩道による危険性、低年齢児向けの遊具のある公園が少ないことなどが挙げられています。

また、学童保育所に関しては、施設の充実や、長期休暇期間中だけの利用、一時的な利用を希望する意見がみられます。

さらに、子育て環境に関して、施設の利用時間や屋内の安全な遊び場の整備、子育て支援に関する取組の充実を要望する意見がみられます。また、女性が働きながら子育てをしているための支援の必要性なども挙げられています。

このように、子育て支援に関して、多数の意見だけではなく、多様な意見の把握に努め、優先度なども踏まえながら、全てのこどもの育ちと全ての子育て家庭の支援につながるような取組を進めていくことが求められます。

## (2) アンケート調査（小学校5年生、中学校2年生）

### ●勉強について

学校の授業の理解度について、「ほとんどわからない」と「わからないことが多い」、「教科によってはわからないことがある」の合計は、小学5年生で約3割、中学2年生で約5割となっています。

また、放課後過ごす場所について、「塾や習い事では全く過ごさない」が小学5年生は2割、中学2年生は3割となっていますが、授業以外での勉強方法として「地域の人などが行う無料の勉強会に参加する」はほとんどいません。

そのため、こども、家庭の状況にかかわらず、全てのこどもが質の高い教育を受け、一人ひとりのこどものニーズに基づいて能力や可能性を最大限に伸ばしていけるように、生活実態や学習環境の把握に努め、幼児期から高等教育段階まで切れ目のない、継続的な支援を受けることができる環境づくりを進めていくことが求められます。

### ●普段の悩みなどについて

思いや気持ちのうち、「不安に感じることはない」の項目について、「思わない」と「あまり思わない」の合計は、小学5年生で3割後半、中学2年生で5割近くになっています。また、悩みごとの相談相手については、どちらも「母親」と「友達」が上位となっているなど、家族や友達の割合が高くなっていますが、その他の回答の中には「相談できない」、「いない」といった回答もみられます。

このため、不安を抱えるなどした場合に、誰でも気軽に相談できる窓口を整えていくことが求められます。また、こうした場については、気軽におしゃべりをするような感覚で話ができる相手や相談場所としたり、多様な利用手段を用意したりするなど、利用しやすくなるよう検討していくことも求められます。

### ●ヤングケアラーについて

普段している活動のうち、家族の看病や世話について、「毎日行っている」割合はどちらも1割未満となっていますが、世話をする事により、自分の時間が取れない、勉強する時間が取れないなど、こどもへの影響が出ることも懸念されます。また、「ヤングケアラー」という言葉については、小学5年生の7割以上、中学2年生の3割以上が「聞いたことがない」としています。

このため、ヤングケアラーについての啓発とともに、支援を必要としている人の把握に努め、ヤングケアラー本人だけでなく、その家族も含め、適切に支援できるよう取り組んでいくことが求められます。

**●生活習慣について**

平日の朝ごはんを「いつも食べない」や、平日の夕ごはんを「一人で食べる」は、いずれも小学5年生よりも中学2年生の方が高くなっています。また、1日当たりのインターネットの利用時間についても、「5時間以上」は小学5年生が2割近く、中学2年生は3割以上となっており、インターネットの利用時間が増えることで、就寝時間が遅くなるなど、睡眠への影響も考えられます。

このため、不規則な生活習慣により身体的、精神的な面に影響の出ることがないように、子どもが規則正しい生活習慣を身に付けるための取組が求められます。

**(3) 若者調査(16歳から39歳の若者)**

作業中

## 6 第2期計画の評価・課題

第2期計画の施策の柱となった8つの取り組みについての評価及び本計画に向けた課題は、次のとおりです。

### 【1】安心して生み育て、こどもが健やかに育つための支援

#### ●評価

すくすくステーションでは、妊娠届出時に全ての妊婦と保健師が面接を行うことにより、支援の必要な妊産婦等を早期に把握し、妊娠期からの切れ目のない支援の充実に取り組んできました。顔のみえる関係づくりを大切に、孤立することなく妊婦が妊娠期を安心して過ごし、出産を迎え、子育てに取り組むことができるよう、子育て支援団体やNPO法人などと連携・協働しながら、「ホームスタート事業」や「ファミリー・サポート・センター事業」、「産後ケア事業」など必要な支援を届けています。

加えて、令和4年8月からは、産前・産後ヘルパー派遣事業を開始し、令和6年4月からは、助産師を常時配置し、妊娠8か月時に電話または手紙の送付を行うとともに、出生後8か月には、ご自宅を訪問するなど、子育て家庭の状況に応じて必要なサポートを届けられるよう、寄り添い支援の一層の強化を図っています。

これら子育て支援の取り組みとあわせて、経済的な支援として、妊産婦健診費用や乳児一般・後期健診費用、新生児聴覚健診費用、こども医療費助成のほか、支援を必要とする、ひとり親家庭医療費及び重度障がい者（児）医療費の助成などを行ってきました。さらには、令和5年度から妊娠届出後と出生届出後にそれぞれ5万円を給付する出産・子育て応援ギフト事業を実施し、妊娠・出産・子育てにおける経済的な負担の軽減を図りました。

また、子育て家庭を対象とした様々な教室・相談・講座の実施にあたっては、親同士の交流や体験の機会を重視し、子育てに対する不安の軽減、親子の愛着形成や親育ち・子育てに寄与したほか、各保育所（園）の園庭開放を行うことにより、身近な地域において親子で安心して遊べる場を提供してきました。

#### ◎課題

令和6年4月に「こども支援センター（こども家庭センター）」を子育て支援課内に設置し、母子保健部門と児童福祉部門の連携強化の重要性を再認識しているところですが、虐待予防等に対しチームで切れ目のない家庭支援に取り組むことができるよう、日頃から地域の関係機関との情報共有・連携を密にし、関係づくりに努めることが重要です。

また、ニーズ調査結果より、こどもたちに一番身につけさせたいと思うものは、前回から変わりにくく、「基本的な生活習慣」や「人と関わる力」を望む割合が高い一方で、インターネットの利用に関する悩みが多くみられました。スマートフォンなどのIT機器は今や生活に欠かせないものであり、こどもをあやす媒体としての存在感は大きくなっています。便利なものではありませんが、対面での相互のコミュニケーションに変わるものではなく、乳児期からの「こどもの育ちに必要なこと」について改めて伝える機会の工夫が必要と考えます。

## 【2】地域における子育て支援

### ●評価

就学後の子育て世帯に対する仕事と子育ての両立支援としての役割を果たしている放課後児童健全育成事業（学童保育事業）については、共働き家庭の増加などのため、保育需要が年々高まっており、待機児童対策として支援の単位（クラブ）を増設したほか、父母等にとってより利用しやすくするため長期休業期間と土曜日の開所時刻を午前8時に前倒しました。また、老朽施設の更新やトイレの洋式化を順次進めたり、夏休みなど学校の長期休業期間のみ保育に欠ける児童を受け入れる長期休業期間限定学童保育所を開設するなど、学童保育サービスの拡充を行いました。

また、主に乳幼児期の親子交流や相談を行う地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）や、放課後や週末（土曜日）に子どもの体験・交流活動や学習支援を行う放課後こども教室（くまとり元気広場）は、令和2年度～令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少しましたが、令和5年度から令和6年度にかけて、戻りつつある状況です。

こども食堂は、住民協働事業として、平成29年度に南小学校区、令和4年度に中央小学校区、令和6年度に西小学校区で開設され、食事の提供だけでなく、会食を通じて、参加者同士、参加者と地域の方がつながる機会にもなっています。

さらに、令和6年5月には、不登校の児童・生徒の支援を行う教育支援センターが開設され、一人ひとりに応じた支援や相談、学習活動や体験活動など、社会的な自立を支援するプログラムを実施し、不登校児童等の居場所づくりを進めています。

### ◎課題

放課後児童健全育成事業（学童保育事業）については、校区によってややばらつきはあるものの、全体としては、第2次計画の見込みを超える保育需要の高まりにより、施設や職員の確保が課題となっています。そのため、今後の小学校児童数の推移予測を踏まえつつ、条例の基準を満たせるよう、既存施設の有効活用や新たな施設整備も含めた対策を検討し、実行していく必要があります。また支援員の確保対策については、全国的な課題となっており、支援員の待遇改善について、国に要望するとともに、人員確保については、町と指定管理者が協力して、様々な取り組みを行うことが重要です。

地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）、放課後こども教室（くまとり元気広場）、こども食堂については、いずれにおいても、女性や高齢者の就労率の高まりにより、運営スタッフの確保が課題となっています。

教育支援センターについては、児童、生徒が、学校や家庭以外に安心して過ごすことができる場、学校以外に学習保障ができる場となるよう、開設日数の増加やプログラムの充実などを検討する必要があります。

## 【3】多様な保育サービスの充実

### ●評価

子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを促進するため、町立と民間の保育施設等が連携・協力し、長時間保育を行う延長保育や、父母等

が休日に就労しているなどの理由により休日に保育に欠ける児童に対する休日保育、突発的な事情や社会参加などのため、一時的に家庭での保育が困難になった児童に対する一時預かり、民間医療機関への委託による病氣中または病氣からの回復途中の児童を預かり看護師等が保育を行う病児・病後児保育などを実施しました。

また、こども達の多様性を尊重し、すべてのこどもが共に学び成長する環境を提供するインクルーシブ保育を推進するため、配慮が必要なこどもに保育士を加配し、個別に計画を立てて支援を行い、医療的ケアが不可欠なこどもについても受入れ態勢を整えたほか、外国につながる児童に対して家庭の状況に応じた支援を行うなど、保育施設においてすべてのこどもが個々に必要な支援を受けられるよう努めました。

さらに、より安全・安心な保育環境を整えるため、保育士に対する研修を充実させるとともに、町立・民間の保育士が参加し、保育に関する様々な分野の研鑽を行う各種保育所部会を設置し、保育士の資質の向上を図ったほか、町立保育所ではICT（保育業務支援システム）を導入し、保育士がこどもと向き合う時間を増やすことで保育の質の向上を図り、不審者侵入の未然防止やこどもの見守りを補完するカメラを設置することで、保育環境の安全性の向上を図りました。

加えて、父母等の負担軽減等を図るため、使用済み紙おむつの保育所での処分を開始したほか、子育て世帯への経済的支援として、小学校就学前の範囲内で第2子保育料を無償化し、父母等が安心してこどもを産み育てることができる環境づくりを推進しました。

#### ◎ 課題

保育の現場では父母等からのニーズが複雑化・多様化しており、これらに対応していくため、保育士の人材確保が重要です。また、事業を継続するために必要な財源を確保していく必要があります。

今後は町内保育施設間での連携をはじめ、多角的にこどもの成長を支えるために必要に応じて医療そのほかの機関と連携したり、遊びを通して学ぶ幼児期の教育活動から教科学習が中心の小学校以降の教育活動への円滑な移行を目指して、小学校との連携を強化していくことが必要です。

### 【4】障がい児への支援

#### ● 評価

幼少期からこども一人ひとりの成長や発達に配慮し、療育が必要なこどもに対して適切な支援が行き届くように、母子保健部門と連携をとりながら、療育、障がい児保育の拠点として、すこやか一むの充実を図ってきました。すこやか一むでは、専門職のアドバイスをもとに個々の成長発達に応じた療育を行い、父母等の育児不安の軽減を行ってきました。

保育所や幼稚園においても、専門職による巡回相談を実施し、保育士の加配を進めるなど、様々な個性や成長発達に応じた日々の保育を積み重ねられるよう、インクルーシブ保育の実践を図ってきました。さらに、在園中や就園、就学に際しては、きずなシート（個別の教育支援計画）を作成し、こどもの成長に応じた切れ目のない支援を行っています。

また、こども相談ネットワーク会議における障がい実務者会議では、障がいの早期発見、早期療育、インクルーシブ保育や支援教育の実施、福祉サービスの活用、医療的ケア児支援など、配慮が必要な児童のライフステージに合わせた支援について、関係機関で総合的な支援に取り組んできました。



## ◎課題

父母等の気持ちや家庭状況により、療育利用につながらない場合もあることから、母子保健部門と連携を取りながら早期に療育が受けられるよう、父母等の気持ちに寄り添った丁寧な説明を行い、理解、促進に努めることが重要です。

また、インクルーシブ保育の理念のもと、父母等が希望する保育施設への受け入れが実践されるよう、各保育所での必要な支援や助言、情報共有のほか、保育所巡回においては、状況に応じて巡回回数を増やすなどの検討を行っていく必要があります。

## 【5】子ども青少年の社会的養護

## ●評価

子どもの虐待、養護、障がい、不登校、いじめなどについて相談援助を行うスクールソーシャルワーカーを、令和5年度より町立小・中学校全校に配置しました。子育て支援課内に設置した「こども支援センター」においては、中学校区ごとに児童相談員を配置するとともに、指導的役割を担うスーパーバイザーを置き、困難ケースへの対応力の強化を行いました。

また、福祉の総合相談窓口であるCSW（コミュニティソーシャルワーカー）については、複雑化、複合化する支援ニーズに対応するため、令和5年度より4名に増員し、相談者の属性、世代、相談内容に関わらない包括的な相談支援体制の充実を図りました。

また、こどもの権利を守るため、地域社会や行政が果たすべき役割を定めた、「子どもの権利に関する条例」を令和4年4月に施行しました。条例の制定にあたっては、子ども・子育て会議に「条例検討部会」を設置し、小・中学生アンケートや学生オブザーバーも交え、協働・当事者性を大切にしたプロセスですすめました。条例に定める「子どもの権利月間」である11月には、小・中学校へのリーフレットの配布をはじめ、講演会の実施等様々な啓発活動を行ってきました。

## ◎課題

こどもや子育て家庭をとりまく環境は、大きく変化し、こどもの不登校や自殺、虐待、いじめ、さらには、家族の介護や家事に追われている若年層であるヤングケアラーや、こどもの貧困についての支援も課題となっています。このような課題に対応するには、子どもの権利保障の視点を大切にしながら、専門的、長期的な視点で、課題全体を捉えて関わっていくことが必要となっており、こども・子育て支援に関係する部署、専門機関がこれまで以上に連携を密にし、協力して支援を行う必要があります。

## 【6】子ども青少年の心身の健やかな成長を支える教育環境の整備

## ●評価

個をいかす教育の充実として加配教員を配置し、指導方法の工夫改善を行いながら個に応じた学習支援に取り組んできました。さらには、放課後に担当者会を実施し、各校で取り組んでいる実践の共有も行ってきました。また、地域人材を活用し、体験活動も取り入れながら、キャリア教育の充実に努めてきました。

支援を要する児童・生徒の教育の充実として、一人ひとりの個性や能力、障がいの程度や状況などの把握に努め、適切な学習カリキュラムの整備に取り組んできました。さらには、支援学校との連携や介助員の配置、教職員研修等を通じて、児童・生徒の特性と能力に応じた支援教育の充実に努めました。

また、全小中学校に学校図書館司書を配置し、児童・生徒の読書活動の充実と学校図書館の機能改善を進めてきたほか、外国青年英語指導助手（ALT）を小中学校に配置し、英語教育の充実に取り組んできました。さらに、学習支援ボランティアをすべての学校に配置することで、学習支援を行ってきました。

児童・生徒の健全育成としては、公認心理師、臨床心理士、教育相談コーディネーター、さらには、全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童・生徒の悩みや不安に寄り添った支援を行ってきました。

親と子がコミュニケーションをとる大切さを伝える方法として、絵本の活用を案内するブックスタートを地域団体と関係機関が連携し実施しました。さらに、絵本やわらべうた、音楽を通して子育てを支援する事業も実施しました。

### ◎課題

一人ひとりの教育的ニーズに的確に応える指導を提供できるよう、通常の学級や通級による指導、支援学級が連携し、連続性のある多様な学びの場の充実を図るとともに、個に応じた指導と集団における指導をバランス良く行い、こどもの学びの充実を図る必要があります。

外国青年英語指導助手（ALT）や学習支援ボランティア、図書館司書など、学校に配置されている人材や地域人材を活用し、児童・生徒の豊かな心を育む様々な取組みを行っていく必要があります。

児童・生徒が抱える不安や悩み等課題が複雑化しているため、心理の専門家をはじめとして関係機関と連携し、児童・生徒の課題はもちろん、親からの悩み等に対応していく必要があります。

## 【7】子ども青少年の社会参画への芽生えのための支援

### ●評価

こども相談ネットワーク会議（要保護児童対策地域協議会）において、関係機関が集まって情報共有を行い、支援を必要とする要保護児童、要支援児童及び特定妊婦の早期発見と適切な対応に取り組んできました。また、所属機関への定期的な巡回訪問やモニタリングを行い、こどもとその家庭について、適宜、状況把握に努めてきました。

地域の支え合いによって子育て家庭の負担を軽減するファミリー・サポート・センター事業については、育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人を結び、生活場面において子育て支援活動を進めてきました。また、就学前児童のいる家庭には、研修を受けたボランティアが訪問し、家事や育児をともに行うホームスタート事業に取り組んできました。

教育現場においては、学校協議会を開催し、地域住民と連携しながら、開かれた学校づくりに努めてきました。また、里山体験などの自然体験や環境センターの見学、福祉施設の見学など環境教育や福祉教育の充実にも取り組んできました。さらに、各中学校の部活動へ外部指導者を派遣し、学校と地域における協働を行ってきました。

このほか、毎月8日を「こども安全デー」と定め、こども見まもり隊や安全パトロール隊などの

声かけやあいさつなどを通して、学校と地域が連携して登下校時の見守り活動を行ってきました。

#### ◎課題

こどもを取り巻く様々な環境の変化や、こどもの成長に応じて切れ目のない支援につなげることが重要です。これまで以上に母子保健機能と児童福祉機能が連携し、個々のケース毎に支援を行っていく必要があります。

さらに、子育て支援については、SOSを出せる場や地域とつながることができる場を積極的に情報提供するとともに、恒常的に支えられる体制づくりが重要です。

そのため、様々な活動を通して地域と協働し、地域とともに学校づくりを推進する必要があります。部活動支援事業については、部活動においてより専門的な指導を求める傾向があるほか、こどもの安全を見守るボランティア団体等の高齢化・なり手不足の解消を図っていく必要があります。

### 【8】子ども青少年の安全の確保

#### ●評価

こども自身が虐待、誘拐など様々な暴力から身を守る力を身につけるための予防教育プログラム（CAP プログラム）のほか、避難訓練や不審者侵入対応訓練、交通安全対応教育を実施してきました。さらに、学校防犯システムにより校門のセンサーと連動した防犯カメラを設置し、学校における安全対策の強化に努めてきました。

さらに、警察等関係機関と連携し、通学路、校区内の見まもり活動、パトロールに取り組んできました。

町内基盤整備としては、道路などにおける事故防止のため、転落防止策やガードレールなどの安全施設を計画的に整備したほか、通学路及び歩行者の多数発生する道路に歩道を設置するとともに、車椅子利用者や視覚障がい者が通行しやすい歩道の整備を進めてきました。

防犯上の取組みとしては、自治会と調整しながら、定期的に剪定を行い、公園の安全性の確保に努めてきたほか、警察と連携の上、自治会と協議しながら効果の高い箇所へ防犯カメラの設置に取り組んできました。

#### ◎課題

こどもたちの安全対策に関しては、現状の課題に沿った内容となっているかを検討しながら進めていくほか、危機管理マニュアルの点検により、安全対策の強化に努めることが重要です。

また、道路などにおける事故を防止するため、施設の維持管理を適切に行っていく必要があります。

このほか、既設の防犯カメラの更新を行う一方、自治会等と協議の上、効果の高い箇所へ防犯カメラの設置を検討していく必要があります。

## 第5章 基本理念と施策体系

### 1 基本理念

#### <将来像>

多様な「こども・若者の育ち」や「暮らし」を認め合い、  
支え合う、対話的まちづくり

第2期計画では、「子どもの最善の利益」、「子どもと親の育ち」、「住民協働」といった視点で、こどもにとって何が大切で、何が必要かを意識しながら、関係機関同士の「対話的」まちづくりを進めることで、子育てに関する喜びが共有され、こどもを産みたい・育てたいと思えるまち、さらには、愛着や誇りの持てるまちづくりを推進してきました。

しかしながら、少子高齢化や核家族化は依然として進行しており、共働き世帯、ひとり親世帯の増加に伴い、家庭においてこどもを見守る目が十分ではない状況になっており、育児と仕事の両立など、余裕のない環境の中、子育てへの不安や負担が増えています。また、社会全体でIT・デジタル化が進み、利便性が高くなる一方、デジタル機器への依存が強くなっており、それに伴う生活習慣の乱れや対面によるコミュニケーションの減少、こども・若者の人とやりとりする力の低下が懸念されています。

さらに、家族の形態やライフスタイル、価値観が多様化する中、児童相談についてもより一人ひとりの状況に寄り添った対応が必要となっており、「(第1期－第2期)計画」から受け継いできた理念に沿った取組が今後必要となっています。

本計画では、こどもから若者まで「一人ひとりを権利の主体」として、「自分らしく生きる」ことができ、その育ちについて「地域全体で支え」、「切れ目なく支援する」視点で、ライフステージに合わせて支えていくとともに、地域の関係団体等と連携しながら、こども・若者が将来に向けて自立した存在として、安心・安全な環境のもと、他者との関りを通じて経験を育むことができるまちづくりを目指します。

## 2 計画の体系

### <将来像>

多様な「こども・若者の育ち」や「暮らし」を認め合い、  
支え合う、対話的まちづくり

### <基本理念を実現するための4つの視点>

- ①こども・若者一人ひとりを権利の主体として尊重し、こども・若者の最善の利益を第一に考える
- ②こども・若者が家庭の状況に左右されることなく、自分らしく生きることができるよう支援する
- ③家庭、地域、行政、関係機関等が“協働”し、地域全体でこども・若者の育ち、親の育ちを支える
- ④妊娠期から若者期にかかる多様な取組をライフステージに応じて切れ目なく推進する

### <基本理念を実現する施策の展開>

- 1 健やかな成長を支える教育環境の整備
- 2 配慮が必要なこども・若者への支援
- 3 こども・若者の社会参画・自立のための支援
- 4 安心して生み育て、こどもが健やかに育つための支援
- 5 多様な保育サービスの充実
- 6 支援を必要とする家庭への援助
- 7 地域における子育て支援
- 8 安全・安心なまちづくり

### <主な取組（第6章）>

### 3 基本理念を実現するための4つの視点

以下の4つの視点は、施策を展開するにあたり、すべてに共通するものです。

①こども・若者一人ひとりを権利の主体として尊重し、こども・若者の最善の利益を第一に考える

こども・若者を多様な人格を持った個として尊重し、その権利を保障するため、こども・若者の最善の利益を第一に考え、支援を行います。こどもや若者が自分の意見を持ち、社会に参加できるよう、意見を持つための環境や意見を表明する機会を提供するよう努めます。

②こども・若者が家庭の状況に左右されることなく、自分らしく生きることができるよう支援する

困難な状況にあるこども・若者や家庭に対して、その特性や支援ニーズに応じてきめ細かい支援を行います。

またこども・若者が、人格と個性を尊重されながら成長する中で、自己肯定感や自己有用感を高める、幸せな状態で、自分らしく社会生活を営むことができるよう支援します。

③家庭、地域、行政、関係機関等が“協働”し、地域全体でこども・若者の育ち、親の育ちを支える

こども・若者にかかわる関係機関等が交流を通じて、機関ごとの違いや特色を認め合い、“協働”して、地域全体で課題の解決に取り組みます。連携を密にするため、情報共有や意見交換の場を大切にし、熊取町らしい協働体制を一層強化するための取り組みをすすめます。

④妊娠期から若者期にかかる多様な取組をライフステージに応じて切れ目なく推進する

「子育て」とは、妊娠期から始まり、乳幼児期の後も学童期、思春期、青年期を経て、おとなになるまで続くものと認識し、こども・若者、子育て家庭に対する支援が、特定の年齢で途切れることがないように切れ目なく支援を行います。

## 第6章 基本理念を実現する施策の展開

### こども・若者

(※)・・・地域子ども・子育て支援事業(地域の実情に応じ、市町村子ども・子育て支援事業計画に実施する事業)

(◎)・・・貧困対策計画

(★)・・・若者計画

### 1. 健やかな成長を支える教育環境の整備

No		事業名	事業内容	主担課
1		ふれあい教室(小・中学生への性(生)教育)	小中学校に保健師が出向き、赤ちゃん人形の抱っこやオムツ交換など体験交流型の授業を行う。	子育て支援課
2	★	こども・若者向け講座の充実	こどもや若者向け講座を企画・実施し、学習活動を通じて、こどもの健全育成に努める。	生涯学習推進課
3	★	社会教育施設の活用の推進	こどもの育ちや親の子育てを支援する拠点として、また、若者の学習支援の拠点としてかむかむプラザや図書館をはじめとする社会教育施設の活用を推進する。	生涯学習推進課
4	◎	スクールソーシャルワーカー活用事業	学校へスクールソーシャルワーカーを配置し、こどもの虐待、養護、障がい、不登校、いじめなどについて、関係機関とも連携しながら相談援助を行う。	学校教育課
5		個に応じた教育の充実	個に応じた学習を展開するため、少人数習熟度別指導など指導方法の工夫改善に努める。担当者会を定期的に行い、各校において個に応じた学習を効果的に進める。インターンシップ事業及び学習支援ボランティア事業として、教員を目指す大学生等を小中学校に配置し、授業補助及び児童生徒の学習支援活動を行うとともに、将来の人材育成を図る。	学校教育課
6		支援教育の充実	支援教育コーディネーターを育成し、コーディネーターを核とした組織的な校内支援体制の充実をめざす。一人ひとりの教育的ニーズを的確につかみ、社会参加と自立をめざす適切なカリキュラムを整備する。支援学校とも連携し、指導に生かすための研究を推進する。	学校教育課
7		地域人材の活用	ゲストティーチャーに地域の人々を迎えるなど、学校におけるこどもの調べ学習や体験活動の推進に努める。	学校教育課

No	事業名	事業内容	主担課
8	体験活動の充実	発達段階に応じた体験活動を通じて、自分と他者との関係や自己の生き方について考えようとする態度を養う。	学校教育課
9	キャリア教育の充実	児童・生徒一人ひとりが勤労観を育てる教育を発達段階に応じて系統的に展開する。中学校区別に発達段階に応じたキャリア教育全体指導計画を適宜更新していく。	学校教育課
10	図書館教育・読書指導の充実	全小・中学校に学校図書館司書と司書教諭を配置し、児童・生徒の読書活動の充実を図るとともに、こどもの豊かな心の育成に努める。	学校教育課
11	学校図書館環境整備事業	児童・生徒が楽しんで意欲的に読書し、また、自主学習・問題解決学習に取り組む場として、図書館を機能させるため、図書館の環境整備を関係機関と連携しながら行う。	学校教育課
12	国際理解教育の充実	外国青年指導助手(ALT)を活用しながら、英語教育の充実を図るとともに、地域の外国人との交流を通じて、外国の文化に触れ、お互いの違いを理解し、ともに生きていこうとする態度を養う。	学校教育課
13	文化活動の充実	各小学校においては、校内作品展や学習発表会の開催、各中学校において、全校生徒の協力によるビッグアートの制作や文化祭での演劇活動や運動会での表現活動などを通じて、仲間づくりをすすめ、学校や地域を愛する心を養う。	学校教育課
14	情報教育の推進	学習の基盤となる情報活用能力を育むための情報教育を推進し、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度を養う。	学校教育課
15	人権教育の充実	人権問題、ジェンダー平等、障がい者理解、平和学習などのさまざまな人権教育を積極的に推進し、差別をしない、許さない実践力を身につけた児童・生徒の育成に努める。人権学習の成果を地域にも発信し、さらなる人権教育の充実に努める。	学校教育課
16	豊かな心を育む教育の充実	全ての教育活動を通じて、人間としての基本的な倫理観や規範意識を育成し、よりよく生きるための道徳教育の充実に努める。	学校教育課



No		事業名	事業内容	主担課
17		生徒指導体制の充実	全児童・生徒の健全育成を図るため、チーム学校で児童生徒支援を行うとともに、カウンセリングや相談窓口体制の充実、多様な支援・対策を講じる。課題を抱える児童生徒の把握に努め、関係機関とも連携しながら支援を行う。	学校教育課
18		学校における食育の充実	計画的な学校給食調理用施設・設備の充実・更新を進め、衛生管理に努めるとともに、児童生徒が望ましい食習慣を身につけるため、健康3原則を徹底し、自らの生活習慣の改善を図るよう指導に努める。	学校教育課
19	★	年齢に応じた図書館での行事の開催	住民の年齢や成長段階、ライフステージ等に合わせた行事を開催する。	図書館
20	★	こどもの本のコーナーや YA (ヤングアダルト) コーナーの蔵書の充実	こどもの年齢や興味・関心に応じた展示や、テーマ別の本棚の設置など、本の配置を工夫するとともに、蔵書の充実に努める。	図書館
21	★	若者が自分らしく社会生活を送るための情報提供や蔵書の充実	若者が自分らしく生き、自分らしい社会生活を送れるよう、資格取得や就職に関する本を集めたコーナーを充実するとともに、生き方など多様な情報提供に努める。	図書館
22		保育施設等への支援	絵本がもっと身近になるように、団体貸出や「絵本こぐま便」の利用を推進し読書環境を整える。また、保護者にも絵本の大切さが理解され、家庭での絵本等の読み聞かせにつながる方策を保育施設等と連携して取り組む。	図書館
23		学校図書館への支援	児童・生徒の学びや読書意欲を支えるため、学校図書館と町立図書館が連携を図り、授業に必要な資料の貸出しや、こどものリクエストに応えるなどの支援を行う。	図書館
24		子ども読書活動推進計画に基づく取組みの推進	町内のすべての子どもが読書に親しむ機会を持てるよう、十分な読書環境を整えるため、「熊取町第4次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進する。	図書館

## こども・若者

### 2. 配慮が必要なこども・若者への支援

No	事業名	事業内容	主担課
25	障がい児保育等の保育の充実	障がいや発達の遅れ等により個別配慮の必要なこどもに、それぞれの状況に応じて必要な支援を行う等により、保育施設での集団生活のなかで社会性を養うことができるように努める。	保育課
26	外国につながるこどもへの保育の配慮	外国につながるこどもが保育施設等で円滑な集団生活を送ることができるよう、こどもと保護者に異なる言語、文化、習慣等に対して社会資源の活用やボランティアの協力、調整など必要な支援につなげるよう努める。	町立保育所
27	子ども相談ネットワーク会議（障がい実務者会議）の運営	障がいの早期発見・早期療育、インクルーシブ保育や支援教育の実施、福祉サービスの活用など、障がい児のライフステージに合わせた支援に関する様々な課題を総合的に検討し、企画・立案する場として部会を開催する。	子育て支援課
28	療育拠点機能の充実	一人ひとりのこどもの障がいや特性を踏まえた質の高い療育・統合保育の実施を目指し、療育・障がい児保育の支援拠点としての「すこやか一む」の充実を図る。保育士、幼稚園教諭や保護者に対して子育て相談員による勉強会を行う。	子育て支援課
29	きずなシートの作成と連携の強化	個別配慮の必要なこどもの就園や就学に際し、保護者とともに「きずなシート（個別の教育支援計画）」を作成し、個々のニーズの把握、切れ目ない支援を行うとともに、申し送りにより保育所、幼稚園、学校の連携を強化する。	子育て支援課
30	すこやか教室	療育援助の必要なこどもとその保護者を対象に療育事業を実施する。また、保護者に対して子育て相談員による勉強会や育児相談を行うとともに、専門職からこどもの発達についてアドバイスを行う。	子育て支援課
31	おやこ教室	育児不安を抱える親や発達面において支援を必要とするこどもとその保護者を対象に教室を実施する。また、保護者に対して子育て相談員による勉強会や育児相談を行う。	子育て支援課

No	事業名	事業内容	主担課
32	インクルーシブ保育	全てのこどもが個々に必要な援助を受けながら、みんなが同じ場で保育を受けるというインクルーシブ保育の理念のもと、こども一人ひとりの個性や発達状況などを的確に把握し、配慮の必要なこどもの受け入れ体制の充実や加配保育士を確保し、個別に適切な保育を実施する。 また、医療的ケア児の受入にも柔軟に対応する。	保育課
33	保育施設等心理巡回	保育施設等に発達相談員などが巡回し、個別支援を必要とすることもと保護者や保育士に対して助言を行う。	子育て支援課
34	障がい児通所支援等の円滑な実施	対象児の障がいの状況や発達の過程・特性等に十分配慮し、障がい児相談支援、児童発達支援、放課後等デイサービスに関する周知と適正な支給決定を行う。 また、大阪府発達障がい児療育拠点における個別プログラムによる療育や児童発達支援センターの支援が必要な障がい児の利用体制を維持するため、運営費の一部について補助を行う。	障がい福祉課
35	医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場(泉佐野保健所管内小児在宅医療ケア連絡会)の設置	医療的ケア児とその家族がより健やかに在宅生活をおくることができるよう、保健・医療・福祉・教育・その他の関係機関と意見交換、情報共有の会議を定期的に行っている。今後も地域において必要な支援を円滑に受けられることができる体制づくりに努める。	障がい福祉課
36	難聴児補聴器購入等助成事業	軽度の難聴児に対して、補聴器の購入等に要する費用の一部について助成を行う。	障がい福祉課
37	障がい児福祉手当	20歳未満であって、重度の障がいの状態にあるため日常生活において常時の介護が必要な障がい児(者)に対して手当を支給する。	障がい福祉課
38	図書館利用に支援が必要なこども・若者への読書環境の整備	障がいのあるこども・若者の図書館利用を促進し、日本語を母語としないこどもや本を手にする機会がない親子・若者に向けて、一人ひとりの状況にあわせた多様な資料を提供し、関係部局や団体との連携により、団体貸出や出前講座などの支援を行う。	図書館

No		事業名	事業内容	主担課
39		障がいのある児童のレクリエーション	障がいのある児童と保護者が、学生ボランティアの協力のもと、仲間といっしょに楽しむレクリエーションを実施する。	社会福祉協議会
40		ヤングケアラーの早期発見と支援	家族の介護や家事に追われている若年層であるヤングケアラーの早期発見や支援につなげられるよう、ケアマネージャーへの研修会を開催するなど、関係機関と連携しながら対応を行う。	介護保険課 子育て支援課

## こども・若者

### 3.こども・若者の社会参画・自立のための支援

No		事業名	事業内容	主担課
41	★	若者世代に向けた情報発信	ホームページなどの行政からの情報だけでなく、プッシュ型の SNS を活用し、住民と行政の双方向のコミュニケーションを通じた情報発信を行う。また、広報くまとりにも若者世代に向けた特集記事の掲載に取り組んでいく。	広報戦略課
42	★	若者の期日前投票立会人	若い世代の政治や選挙に関する関心を深めることを目的とし、町内在住の18歳から29歳の若者を対象に募集を行う。	総務課
43	★	選挙出前授業・模擬投票イベント	将来の有権者であるこどもや若者の政治や選挙に関する関心を深めることを目的とし、町内の小・中学校等や町主催イベントにおいて、選挙の体験型プログラムを実施する。	総務課
44	★	消費者教育の推進	町立小学校の5年生と町立中学校の1年生を対象とした出前講座や連続ミニ講座、依頼のあった地域や団体向けの出前講座など各種講座を通して、スマートフォンによるトラブル未然防止など、被害に遭わないための消費者教育を推進する。	産業振興課

No		事業名	事業内容	主担課
45	★	創業支援の推進	創業意欲のある若者に対し、産業活性化基金を活用して創業支援を補助することで、開業時の資金負担を軽減し、新規開業の促進に取り組む。	産業振興課
46	★	就労支援の推進	障がい者、ひとり親家庭の親、中高年齢者や若者などの就労困難者を対象に就労相談を実施することで、就労阻害要因の克服や就労意欲の助長を図り、就労支援につなげていく。	産業振興課
47		「子どもの権利に関する条例」の周知	子どもの権利に関する条例について、より多くの方に関心や理解を深めてもらえるよう、子どもの権利月間等において啓発活動を行う。	子育て支援課
48		福祉・環境教育の充実	福祉施設の見学、高齢者との交流や介護の体験、里山体験や自然体験などを通じて、地域の福祉問題や環境問題について学び、ボランティア活動に進んで取り組もうとする態度を養う。	学校教育課
49		世代間交流事業	高齢者と子ども達が昔遊びなどの催しを通して交流を行う。	社会福祉協議会
50		ボランティア体験プログラム	夏休み期間中、こどもから社会人・高齢者など、誰もがボランティア活動のプログラムに参加し、さまざまな人々とのふれあいの中から、自分以外の他者や社会について関心と共感を持ち、「ともに生きる」豊かな心を学び、福祉へ理解を深めることを目的とし、実施する。	社会福祉協議会
51	★	ひきこもり支援ふらっとルーム	ひきこもり状態の本人や家族が安心して出かけられる「居場所」づくりを促進し、必要な支援を必要な時期に届けることができるよう、相談体制の充実を図る。	社会福祉協議会

## 子育て家庭

### 4.安心して生み育て、こどもが健やかに育つための支援

No		事業名	事業内容	主担課
52		紙おむつ使用世帯への一般廃棄物処理手数料の減免	満2歳未満の乳幼児がいる世帯に20リットル用指定袋を無料配付する。(申請のあった月から満2歳になる前日までの月数に10を乗じた枚数を助成)	環境課

No		事業名	事業内容	主担課
53	※	こども家庭センター(名称:こども支援センター)の運営	母子保健機能(すくすくステーション=利用者支援事業)(※)と児童相談機能を統合した「こども家庭センター(こども支援センター)」において、支援を要するこども等へのサポートプランに基づき、出産前から子育て期にかかる切れ目のない支援を行う。	子育て支援課
54		母子健康手帳交付	届出のあった妊婦に対し、妊娠・出産・育児に関する健康記録として交付する。交付時には、保健師による全数面接を行い、地区担当保健師を紹介し相談窓口であることを伝えたとともに、すくすくサポートプラン(個別支援計画)を作成し、若年者などハイリスクケースの早期把握・支援を行う。	子育て支援課
55		父子健康手帳・まご育て応援手帳の配布	母子健康手帳の届出があった妊婦の配偶者や祖父母などに対し、父子健康手帳やまご育て応援手帳を配布し、協力して育児を楽しめるよう、妊婦・育児への理解や教室等への参加を促す。	子育て支援課
56		不妊・不育治療への支援	不妊・不育の治療にかかる費用に対して助成を行うほか、不妊・不育相談機関の情報を提供するなど、不妊・不育に悩む方への支援を行う。	子育て支援課
57	※	妊婦健康診査(※)・妊婦歯科健康診査・産婦健康診査	妊婦健康診査に加え、妊婦歯科健康診査、産婦健康診査にかかる費用について助成を行う。	子育て支援課
58		妊産婦への保健指導・サポート	若年者などのハイリスク妊婦に対し、訪問指導や相談を継続するほか、産婦健康診査時には、エジンバラ産後うつ問診票による問診を実施し、産後うつ病の予防・早期支援に努める。また、必要に応じて出産後の支援体制の充実に努める。	子育て支援課
59		プレママ教室	妊婦とそのパートナーを対象に、保健師・助産師・管理栄養士が沐浴指導及び栄養指導、妊婦同士の交流を実施し、安心して出産を迎えられるよう努める。	子育て支援課



No		事業名	事業内容	主担課
60		産前・産後ヘルパー派遣事業	妊娠中または産後1歳未満で、体調不良等のため家事や育児が困難であり、親族等から援助が受けられない世帯を対象にヘルパー派遣を行う。	子育て支援課
61	※	産後ケア事業	家族などから十分な支援が受けられない、体調不良や育児不安のある方を対象に、ショートステイ(宿泊)・デイサービス(日帰り)・短時間デイサービス(2時間程度)の利用にかかる費用について助成を行う。また、アウトリーチ型サービスの導入について検討を行う。	子育て支援課
62	※	妊婦等包括相談支援事業	妊娠届出時、出生届出時の保健師面談に加え、助産師による妊娠8か月頃の電話及び訪問などにより、妊産婦等に対する、相談・支援の強化を図る。 また、その一環として「くまっ子ギフト」(出生届出時のスタイセット、8か月児訪問のタオルセット)を手渡す。	子育て支援課
63		妊婦のための支援給付	妊娠届出時、出生届出時に妊産婦と面談及び各5万円の支給を行い、身体的・精神的・経済的負担の軽減のための総合的な支援を行う。	子育て支援課
64		低出生体重児届出	届出のあった方に対し、全数面接を行い、母子の状況の確認と、担当保健師の訪問などの支援を行う。	子育て支援課
65		新生児聴覚検査・乳児一般健康診査・乳児後期健康診査	主に乳児の1か月健診と9か月から1歳未満(後期)に対する乳幼児健診に加え、新生児に対する聴覚スクリーニング検査にかかる費用について助成を行う。結果通知を受け必要に応じて乳児の保護者に必要な相談や支援を行う。	子育て支援課
66		乳幼児健康診査(4か月児健診、1歳7か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳6か月児健診)	一般健康診査(診察、保健相談、栄養相談など)に加え、(4か月)母乳相談、(1歳7か月)心理相談、歯科予防事業、(2歳6か月)歯科予防事業、(3歳6か月)心理相談、歯科予防事業、視聴覚健診、尿検査を実施する。虐待予防の視点を持ち合わせながら、成長段階に応じた子育て相談を行う。 乳幼児健診デジタル問診票を活用し、健診結果をアプリで確認することが出来るなど、保護者の利便性の向上を図る。	子育て支援課

No		事業名	事業内容	主担課
67		経過観察健診(児童相談)	経過観察が必要なこども(発育・発達・疾病など)への健診・相談を行うとともに、こどもの健全な成長を促すために、特性に応じた適切なアドバイスをを行う。	子育て支援課
68		精密健康診査	乳幼児健康診査にて精密健康診査が必要なこどもに対し、紹介状を交付し、医療機関において必要な検査につなげる。	子育て支援課
69		予防接種	各種予防接種の的確な情報提供及び接種勧奨を行い、接種率の維持向上に努める。	子育て支援課
70		事故防止への啓発	乳幼児に多発する様々な事故の防止について、各種健診を通じてパンフレットの配布などを行い啓発する。	子育て支援課
71		健(検)診の受診勧奨	ハガキや SNS などを活用し、健診やがん検診、歯科健診等の受診を促すなど、親世代への健康づくりに努める。	健康・いきいき高齢課
72	★	こころの健康づくり	こころの相談窓口の周知と、メンタルチェックシステム「こころの体温計」の運用と活用促進の周知に努める。	健康・いきいき高齢課
73		子ども医療費の助成	高校3年生まで(18歳に達する日以後の最初の3月31日まで)の子どもについて、通院・入院時医療費(食事療養費を含む)を助成する。(要申請)	保険年金課
74		未熟児養育医療費の給付	未熟児または体重2,000グラム以下で生まれた新生児などで、指定医療機関での入院医療が必要な場合に、医療費を給付する。(所得制限なし、要申請)	保険年金課
75		育児相談・栄養相談	電話及び窓口にて随時保健師、助産師、栄養士による育児相談を行う。	子育て支援課
76		子育て相談	「つどいの広場(地域子育て支援拠点)」利用者や保育施設等の在籍児童にかかる子育てにおいて、関係機関と連携しながら相談支援を行う。	子育て支援課 保育所



No		事業名	事業内容	主担課
77		すくすく相談	保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士による相談、助産師による母乳相談、体重測定、保育士による手遊びなどを行う。	子育て支援課
78		こども家庭相談(総合相談)	こどもの虐待、養護、障がい、不登校、いじめなどについて、児童相談員による相談を行う。	子育て支援課
79		専門相談・教育相談	専門職(公認心理師、教育相談コーディネーター)による専門相談を行う。また、福祉部局の専門職(医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)とも連携し、相談援助を行う。	子育て支援課
80		巡回相談	関係機関と連携しながら、児童相談員、保健師、医師、発達相談員などが、保育所等や学校を巡回し相談を行う。	子育て支援課
81		進路選択支援事業	こどもたちの進路選択について、相談活動を行い支援するとともに、情報の提供に努める。	学校教育課
82	※	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を助産師などが訪問し、乳児家庭の孤立を防ぐとともに、乳児の健全な育成環境の確保を図るため、様々な不安や悩みを聞き、親子の心身の状況や養育環境などの把握に努める。また、育児に関する助言、子育て支援に関する情報提供などを行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげる。	子育て支援課
83	※	養育支援訪問事業	こんにちは赤ちゃん訪問やこどもの育ち相談などから、継続的な訪問相談が必要な家庭に対し、児童福祉司などが訪問し支援を行う。	子育て支援課
84		保育施設等における子育て支援	保育施設等に入所している児童やその保護者を対象に家庭状況に応じて個別に支援し、必要な場合は関係機関と連携する。	保育課
85		保健師による訪問指導	乳幼児健診などにおいて、こどもの発育・発達など継続的な訪問指導が必要な家庭に対し、保健師が訪問し支援を行う。	子育て支援課

No		事業名	事業内容	主担課
86	★	次世代の人材育成 (親や若者の自主活動支援)	親が子育てについて話し合う参加型学習会を開催するほか、学習会を通じた参加者同士の交流を図り、自主活動を支援する。	生涯学習推進課
87	★	子育て学習会(にっこり教室・くまちゃん教室など)	子育てに関して適切な情報を学ぶ場として、テーマ別に学習会を行う。参加者同士の交流や育児相談を行う。	子育て支援課
88	★	親支援プログラム(初めての赤ちゃんプログラムなど)	初めて子育てしている親と子(2～5か月児)を対象に、学びや交流を通して、親自身の気づきや子育てしていく力を引き出す小グループでのプログラムを行う。	子育て支援課
89		地域の乳幼児、保護者等に対する子育て支援(子育てひろば)	乳幼児とその保護者を対象に、園庭開放や保育所体験、子育て相談などを実施する。	保育課
90		子育て支援保育士事業	規定の地域子育て支援事業を実施する民間保育所に対し、事業の運営などにかかる費用について助成を行う。	保育課
91		離乳食講習会	離乳食の栄養指導実演・調理体験・試食を内容とした体験型の講習会を行う。	子育て支援課
92		食育の推進	管理栄養士・保健師が中心となり、関係各課や「熊取町食生活改善推進協議会」など関係団体と連携し、料理教室や各種講座など、食育推進に取り組む。	健康・いきいき高齢課
93		子育てサークル支援	町内で活動している子育てサークルに対し、活動場所の提供や学習や交流を通じた親育ちの支援をする。	子育て支援課
94		保育士の講師派遣	福祉委員会や子育てサークルなど地域の依頼に応じ、子育ての仕方やこどもの育ち等に関する勉強会に講師として派遣する。	保育課
95		多世代間交流を図る体験講座の開催	親子や多世代が参加できる体験講座を開催し、参加者同士の交流を図る。	生涯学習推進課

No		事業名	事業内容	主担課
96		二次救急医療体制の整備 (小児救急医療体制の整備)	泉州医療圏(高石市以南 8 市 4 町)における小児救急医療支援体制の整備を図る。	健康・いきいき高齢課
97		休日診療体制の整備 (泉州南部初期急病センターへの事務委託)	泉佐野市以南の 3 市 3 町で泉州南部初期急病センターを開設し、休日及び夜間における初期救急体制の確保に努める。	健康・いきいき高齢課
98		周産期医療体制の確保 (泉州広域母子医療センター事業への参画)	りんくう総合医療センターを「周産期センター」、市立貝塚病院を「婦人科医療センター」とする「泉州広域母子医療センター事業」に参画(貝塚市以南 4 市 3 町が参画)し、泉州地域における周産期医療体制の確保に努める。	子育て支援課
99	※	子育て短期支援事業(ショートステイ)	保護者の病気、出産、家族の介護、冠婚葬祭など家庭において養育が困難になった場合に一定期間乳幼児を預かる。	子育て支援課
100	※	子育て短期支援事業(トワイライトステイ)	ひとり親家庭などで親の残業などのために恒常的に帰宅が遅くなる場合、児童を夕方から夜にかけて預かり、夕食や入浴を提供する。	子育て支援課
101		ファミリー・サポート・センター利用料減免	ファミリー・サポート・センターの利用料について、こどもの人数や世帯所得による減免を行う。	子育て支援課
102		ブックスタート	図書館、子育て支援課、熊取文庫連絡協議会、NPO 法人ホームビジット・とんとんが連携し、4 か月児健診時に赤ちゃんへの語りかけや親子のふれあいの大切さを伝えるため、個々に絵本の紹介や子育てについての相談などを受け、ブックスタートパック(絵本や行事案内など)を手渡す。	図書館
103		乳幼児健診などにおける読書支援	健診の待ち時間に絵本が読めるように、ふれあいセンター内に絵本棚を設置。こどもの年齢にあった絵本の紹介などを掲載したリーフレットを年齢別(出生時、4 か月児、1 歳 7 か月児、3 歳 6 か月児)に配布し、家庭において親子で絵本を楽しむふれあいの時間が持てるように、保護者への働きかけを行う。	図書館

No		事業名	事業内容	主担課
104		子育て支援講座	図書館で、ブックスタートのフォローアップ事業として、赤ちゃんとその保護者を対象に、「あかちゃんの時間」、「親子でリミック」を実施。わらべうたや絵本などを通して、親子のふれあいを楽しんでもらう。また町の子育てアプリ「くまっ子ナビ」や町ホームページを活用した情報発信を行い、親子が気軽に集える場となるように努める。	図書館
105		専門性の向上	子育て支援課は「児童福祉」「障がい福祉」「保育」「幼児教育」「学校教育」「生涯学習」「母子保健」など様々なこども関連施策に関する知識を必要とし、求められる技術についても「相談援助」「コーディネート」など多岐に渡る部署であるため、研修や学習の場を確保し、その専門性の向上に努める。	子育て支援課
106	※	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)	概ね生後2か月から小学校6年生までのこどもの育児援助を受けたい人と援助を行いたい人をネットワークで結び、生活場面において子育てを応援する。	子育て支援課
107		ホームスタート事業	就学前のこどもや妊産婦のいる家庭に、研修を受けたボランティアが訪問し、家事や育児を共に行いサポートする。	子育て支援課
108		障がい児をもつ家庭の支援(親の会への支援)	障がい児を持つ親の会の活動について相談・支援を行う。障がい児を持つ親の会…たんぽぽの会	子育て支援課
109		子育てに関する情報の提供	健診、予防接種だけでなく、親子のコミュニケーションの取り方なども含めた、こどもの育ちに必要なこと、子育てに関する様々な情報を、広報、SNS、ホームページの他あらゆる媒体(子育てアプリなど)を活用して、広く、分かりやすく提供する。	子育て支援課

## 子育て家庭

### 5.多様な保育サービスの充実

No		事業名	事業内容	主担課
110		子育て支援の拠点としての保育施設運営	こどもの育ちにおける基盤づくりの最も大切な時期である就学前のすべてのこどもの育ちと親の子育てを支援する身近な拠点として、保育施設機能を最大限に生かした保育施設運営に努める。	保育課

No		事業名	事業内容	主担課
111		公民合同所長・園長会による 保育施設運営の拡充	町立保育所と民間保育施設が共に情報共有、連携協力しながら、保育内容や保育施設運営の充実に努め、熊取町全体の保育施設の在り方を考え、町全体の保育の質を高めることを目的に、公民合同所長・園長会を実施する。	保育課
112		保育所部会による保育内容の 資質向上	多様化・複雑化するニーズに対応するため、目的別の会議である保育所部会を設置し、各施設で共通する課題の共有・交流を図り保育内容の資質向上に努める。	保育課
113		民間保育施設等の運営に対する助成	民間保育施設等の運営、子育て支援施策推進事業に対し民間保育所等補助金などで助成を行う。	保育課
114		保育施設等と小学校の連携	保育施設や幼稚園、小学校との会議を開催し、連携を強化し幼児教育の充実を図るとともに、架け橋プログラムの作成を行う。	保育課 学校教育課
115		通常保育	保育に欠ける家庭の児童の保育を実施する。	保育課
116	※	時間外保育(延長保育)	町立では 19 時まで、民間では最長 22 時までの時間外(延長)保育を実施する。	保育課
117		休日保育	就労などにより、休日の保育に欠ける家庭を対象に実施する。	保育課
118	※	一時預かり事業	保護者や家族が急な外出や病気のために、こどもをみられなくなった際に、一時的に預かる。	保育課
119		人材の育成と確保	各保育施設等で共通する課題を把握し、保育及び地域の子育て支援に関する専門性の向上を目的に、保育士を対象とした研修を充実するとともに幼児教育アドバイザー育成に努める。また、民間保育施設等と連携し、保育士の確保に努める。	保育課

No		事業名	事業内容	主担課
120	※	病児・病後児保育事業	病児・病後児を看護師などが一時的に保育などを行う事業を民間医療機関との連携等により実施する。また、利用者の費用負担軽減にも努める。	保育課
121		こどものための教育・保育給付事業	子ども・子育て支援新制度に基づき、認定こども園、幼稚園、保育所を通じ、給付を行う。	保育課
122	※	こども誰でも通園	家庭と異なる経験をつむことのできる場所を提供することでこどもの育ちを応援するとともに、子育て家庭の育児負担軽減、孤立化解消することを目的に、保育に欠ける児童のみでなく町内の未就園児を保育施設等で一定日数預かる。	保育課
123		子育てのための施設等利用給付事業	新制度未移行の私立幼稚園、認可外保育施設の利用料および保育施設等の預かり保育を利用することも持つ保護者の経済的負担を軽減するため、子ども・子育て支援法に基づき、給付を行う。	保育課

## 子育て家庭

### 6.支援を必要とする家庭への援助

No		事業名	事業内容	主担課
124		保育施設入所要件の弾力化	こどもの虐待など、養育上保育施設入所が望ましいと判断された場合などの入所に対し柔軟に対応する。	保育課
125	※ ◎	実費徴収に係る補足給付を行う事業	子ども子育て支援新制度(H27.4 施行)未移行の幼稚園を利用することの保護者が支払うべき副食の食料費にかかる実費徴収額に対し、低所得世帯や第3子以降の多子世帯のこどもを対象に補助を行う。	保育課
126	◎	児童扶養手当	ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を目的として、手当を支給する。	生活福祉課
127		特別児童扶養手当	障がいのある児童を養育している家庭に対し、児童の福祉の増進を図ることを目的として手当を支給する。	生活福祉課



No		事業名	事業内容	主担課
128	◎	就学援助事業・特別支援教育 就学奨励費制度	経済的な理由により就学が困難な児童・生徒に対して、学用品費、給食費などを援助し、義務教育を円滑に実施する。 また、経済的困難を有し、町立小中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、学習に必要な費用の一部を援助する。	学校教育課
129	◎	生活援助サービスの充実	ひとり親家庭における家事・育児などを手助けする日常生活支援事業の周知に努める。	生活福祉課
130	◎	福祉の総合相談窓口の周知と 状況に応じた支援へのつなぎ	CSW(コミュニティソーシャルワーカー)が実施する生活福祉相談や生活困窮者自立支援法に基づき大阪府が実施する「はーと・ほっと相談室」の周知を図る。また状況に応じて、必要な支援(居住確保、就労支援、緊急的な衣食住の確保、家計再建支援、こどもの学習・生活支援等)へのつなぎを行う。	生活福祉課
131	◎	遺児福祉年金	義務教育終了前の遺児(父母の死亡、ひとり親家庭、両親のいない家庭)に、月額 1,000 円(ひとり親)、2,000 円(両親のいない家庭)を支給する。	生活福祉課
132	◎	就学経費などの助成	15 歳以上 18 歳未満で、ひとり親、両親がいない、生活保護受給、身体障がい者手帳か療育手帳の交付を受けていて支援学校・支援学級などへ通学しているなどに該当する就学者に、月額 1,000 円を支給する。	生活福祉課
133		ひとり親家庭医療費の助成	18 歳まで(18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日まで)の子とその子を監護するひとり親家庭の父又は母、もしくは養育者に、医療費を助成する。(所得制限あり、要申請)	保険年金課
134		重度障がい者(児)医療費の 助成	①身体障がい者手帳 1・2 級、②療育手帳 A 判定、③療育手帳 B1 判定で、身体障がい者手帳の 3 級以下を併せ持つ方、④精神障がい者保健福祉手帳 1 級、⑤特定医療費(指定難病)受給者証または特定疾患医療受給者証をお持ちの方で、障がい年金(特別児童扶養手当)1 級第 9 号に該当される方のいずれかの要件に該当する場合に、医療費を助成する。(所得制限あり、要申請)	保険年金課

No		事業名	事業内容	主担課
135		子ども相談ネットワーク会議 (要保護児童対策地域協議会)	要保護児童、要支援児童及び特定妊婦の早期発見とその適切な対応について、関係機関のネットワークにより相談援助活動を行う。また、所属機関への定期的な巡回訪問やモニタリングを行い、こどもの状況把握に努める。	子育て支援課

## 地域社会

### 7.地域における子育て支援

No		事業名	事業内容	主担課
136		PTA研修活動の充実	熊取町小・中学校PTA連絡協議会・教育委員会・青少年指導員連絡協議会の三者が共催でこどもの健全育成に資する教育講演会を実施する。	生涯学習推進課
137		高齢者とのふれあい促進	保育施設等における運動会、クリスマス会などの行事や体験活動を通じて、児童と高齢者との交流を図る。	保育課
138	★	町内大学との連携事業の推進	町内3大学及び1研究所との連携強化を図るとともに、地域課題解決のため、若者と一緒に様々な分野において大学等と連携した取組を実施する。	企画財政経営課
139		地域教育協議会の実施	地域・学校・家庭が連携しこどもを育てる、地域教育コミュニティを構築するために、各中学校区(ブロック)ごとの地域教育協議会活動の充実を図る。	生涯学習推進課
140		小地域ネットワーク活動の推進	子育てサロンや世代間交流など、子育て中の親子が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を推進する。	社会福祉協議会
141	★	小中高生の居場所づくり事業	小中高生の主体性を育み自立を支援するため、各学校の支援体制の充実を図り、関係機関とも連携しながら、児童生徒の居場所づくりに努める。	学校教育課



No		事業名	事業内容	主担課
142	★	不登校などのこどもの居場所づくり事業	教育支援センター等を活用し、長期欠席児童生徒や不登校児童生徒の相談や学習を支援できる居場所づくりに努める。	学校教育課
143	※	地域子育て支援拠点事業	主として乳幼児(0～3歳)を持つ子育て中の親がうち解けた雰囲気の中で気軽に集い交流するとともに、子育ての相談に応じる居場所づくりを行う。	子育て支援課
144		保育施設等の活用の推進	こどもの育ちと親の子育てを支援する拠点として、保育施設等の機能の活用を推進する。	保育課
145		保育所施設・設備の整備	計画的な保育所施設の改修、設備の更新などを進め、快適な保育環境の維持改善に努める。	保育課
146	※	放課後児童健全育成事業(学童保育事業)	放課後や小学校の長期休業期間の保育に欠ける児童の受け入れとしての学童保育事業の充実を図る。	保育課
147		放課後子ども教室(くまとり元気広場)	放課後や週末における、こどもたちの安全・安心な居場所づくりとして、体験活動や学習支援など、地域と連携した放課後子ども教室(くまとり元気広場)を実施する。	生涯学習推進課
148		赤ちゃんの駅設置事業	外出中に気軽に立ち寄り、授乳やおむつ交換ができる「赤ちゃんの駅」を公共施設や協力民間施設に設置し、安心して外出できる環境を整える。	子育て支援課
149	★	野外活動ふれあい広場の活用の推進	野外活動ふれあい広場を活用して、自然への親しみや学び、レクリエーション活動の場を提供するとともに、隣接する和田山ベリーパークの利用を通じて、ブルーベリー狩りなど貴重な収穫体験の機会を提供する。	産業振興課
150	◎	子ども食堂の推進	住民提案協働事業制度等の活用により、こどもたちが地域の人たちと一緒に楽しく食事をし、心が満たされて安心して過ごすことができる場を提供することで、豊かな心を育み、成長できる居場所づくりに取り組む団体を支援する。	子育て支援課

No		事業名	事業内容	主担課
151		こどもと本をつなぐ活動を行う 住民グループや子育て支援に 関わる団体(NPO法人など) への支援	こどもと本をつなぐ活動をしているボランティア(熊取文 庫連絡協議会など)や子育て支援に関わる団体(NPO 法人など)に対して、団体貸出などを行い、活動を支援 する。	図書館
152		子ども・子育て会議	地域ネットワーク力を活かした子育て支援施策の総合 的な推進を目的に会議を開催する。	子育て支援 課
153		保育施設拠点ネットワーク	保育施設を乳幼児期の全てのこどもと親を支援する拠 点と位置づけ、地域の関係機関や団体とのネットワーク を活かした保育施設運営に努める。	保育課
154		放課後児童健全育成事業(学 童保育事業)施設・設備の整 備	計画的な施設の改修、設備の更新などを進め、快適な 環境の維持改善に努める。	保育課
155		食生活改善推進員の育成・支 援	食育推進の住民組織の育成・支援を行う。	健康・いき いき高齢課
156	★	地域人材の活用	地域の人材が登録された「くまとり人材バンク」などの周 知を行い、親子で集まる場で活用できるよう努める。	生涯学習推 進課
157	★	部活動支援事業	中学校における部活動の充実を図ることを目的に、各 中学校の部活動へ部活動指導員や外部指導者を派遣 する。また、部活動の地域移行を進めていく。	学校教育課 生涯学習推 進課
158		学校と地域との連携	「学校運営協議会」や「学校協議会」における取組みを 契機とし、小・中学校と地域が一体となって子どもたちを 育む地域とともにある学校づくりを推進する。	学校教育課
159		おとなとこどもの地域あいさつ 運動	各学期の始業日から7日間、「おとなとこども」が地域で あいさつを交わすことで、コミュニケーションを図り、心を 通わせ、家庭教育を援助する。	社会福祉協 議会
160	◎	生活福祉資金の貸付	大阪府社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付 の窓口として周知を図る。また生活困窮者自立支援制 度に基づき、就労支援や家計支援などへのつながを行 う。	社会福祉協 議会

## 地域社会

### 8.安全・安心なまちづくり

No		事業名	事業内容	主担課
161		安全・安心な公園づくり	遊具の安全点検・整備を促進し、こどもから高齢者までが安全で安心して憩える公園づくりを目指す。	道路公園課
162	★	青少年の健全育成の推進	青少年指導員が中心となり、啓発活動や夜間の巡回指導などにより、こどもの健全育成に取り組む。	生涯学習推進課
163		子ども安全デーの実施	毎月8日を「子ども安全デー」と定め、学校と地域が協働してこどもを守る大人のスクラムを組み、こどもの安全のため、まち全体で運動を推進する。	学校教育課 生涯学習推進課
164		子ども見まもり隊の実施	地域教育協議会の事業の一つとして、登下校時の家の前や交差点、校外学習において、こどもの見守りを実施する。	生涯学習推進課
165		安全パトロールの実施	専門的知識を有する嘱託員とボランティアにより、毎日、通学路の安全確保や青少年の非行防止、ひったくり、空き巣の警戒などを目的としたパトロールを実施する。	自治・防災課
166		防犯灯の適正管理	防犯上必要な箇所に、自治会と調整のうえ、防犯灯を計画的に設置するとともに、町管理分については適正に維持管理を行い、自治会管理分については電気料金の全額を補助する。	自治・防災課
167		こども110番の家運動の推進	地域住民や事業所の協力を得て、こどもが危険な状況に遭遇した場合に、安全を確保できる場として「こども110番の家」の取組を推進する。	生涯学習推進課
168		交通安全教室の実施	各小・中学校、保育所、民間保育園、認定こども園、幼稚園において、警察を交えた交通安全教室を実施する。	道路公園課
169		交通安全街頭指導の実施	春・秋の交通安全運動の一環として、通学路において朝の通学時間帯の街頭指導をする。	道路公園課

No	事業名	事業内容	主担課
170	学校における安全対策及び安全指導の実施	小中学校において、避難訓練や不審者侵入対応訓練、交通安全教育、CAPプログラム(児童虐待防止)の実施など、安全指導を実施する。学校の安全環境点検の実施、危機管理マニュアルの作成など、学校における安全対策の強化に努める。	学校教育課
171	防犯対策の充実	学校防犯システムにより、校門のセンサーと連動したモニターで安全管理を行うとともに、新小学一年生に対し、祝品として防犯ブザーの贈呈を行う。	学校教育課
172	通学路などにおける安全パトロールの実施	教職員、教育委員会、PTA、警察、安全パトロール隊、子ども見まもり隊などが、こどもの通学路、校区内においてパトロールの実施や警戒を行う。	自治・防災課
173	道路における交通安全施設の整備	道路における交通事故を防止するため、転落防止柵やガードレールなどの交通安全施設の整備を行う。	道路公園課
174	公園における安全対策	既存の都市公園の植栽については、外部から死角にならないよう、定期的に剪定を行い、公園内の安全性を高める。	道路公園課
175	防犯カメラの適切な運用	泉佐野警察と連携のうえ、防犯カメラを適切に運用し、犯罪抑止に努め、安全安心なまちづくりを推進する。	自治・防災課
176	町営住宅における防犯対策	町営住宅において、エレベーターに設置している防犯カメラなどにより、安全確保に努める。	まちづくり計画課
177	道路などにおける放置自転車等対策	駅周辺道路などの放置自転車・バイクに対して、街頭指導や撤去を実施し、歩行者等の安全な通行を確保する。	道路公園課
178	福祉に配慮した公共・公益施設の整備促進	インクルーシブ社会の実現に向け、公共施設のユニバーサルデザインなどに取り組む。	まちづくり計画課 ほか
179	歩行者通行帯の整備	通学路等において、歩道の整備や路側帯のカラー化を実施し、通学児童等歩行者の安全対策を図る。	道路公園課

## 第7章 量の見込みと確保方策

本計画では、子ども・子育て支援法に基づき、各年度における幼児教育・保育の量の見込みと地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、及び提供体制の確保内容を計画に記載する必要があります。

量の見込みについては、これまでの実績や今後の人口推計を勘案して見込みの調整を行いました。その算出結果を基に確保方策を検討して、各事業の量の見込みと確保の内容を設定しました。

### 1 教育・保育提供区域の設定

保護者やこどもが居宅より容易に移動することができ、質の高い教育・保育及び子育て支援の提供を受けることができるよう、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、現在の教育・保育の利用状況、教育・保育を提供するための施設の整備の状況などを総合的に考慮して、教育・保育提供区域について町全域を1区域として設定します。

### 2 就学前児童への教育・保育事業の量の見込みと確保方策

就学前児童への教育・保育事業については、こどもの年齢や保育の必要性の状況に応じて、以下の3区分に認定してサービスを提供します。

#### ■人口の推移（推計）

認定区分	年齢	保育の必要性	提供施設（確保方策）
1号	3～5歳	保育の必要性に該当しない	幼稚園・認定こども園
2号	3～5歳	保育の必要性に該当	保育所・認定こども園
3号	0～2歳		保育所・認定こども園・地域型保育事業

### (1) 1号認定(3～5歳／幼稚園・認定こども園を利用)

現在、町内には幼稚園が1か所(私立1)、認定こども園が2か所(私立2)あります。引き続き、1号認定のこどものための提供体制の確保に取り組めます。

#### ■ 1号認定(3～5歳)の量の見込みと確保の内容

(単位:人)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
必要利用定員総数(推計値)	301	297	289	285	277
確保の内容	301	297	289	285	277
(参考) 第2期計画 中の実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	421	392	390	334	301

### (2) 2号認定(3～5歳／保育所・認定こども園を利用)

現在、町内には保育所は7か所(公立4、私立3)、認定こども園は2か所(私立2)あります。本町の子ども人口は減少傾向にありますが、近年の共働き世帯の増加や教育・保育の無償化による保育ニーズに応えるため、今後も適切なサービスの提供に努めます。

#### ■ 2号認定(3～5歳)の量の見込みと確保の内容

(単位:人)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
必要利用定員総数(推計値)	775	764	745	734	713
確保の内容	775	764	745	734	713
(参考) 第2期計画 中の実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	730	742	756	764	775

### (3) 3号認定(0～2歳／保育所・認定子ども園・地域型保育事業を利用)

0歳児保育は、保育所は7か所(公立4、私立3)、認定子ども園2か所(私立2)となっています。2号認定同様、保育ニーズの高まりに応えるため、今後も適切なサービスの提供に努めます。

#### ■3号認定(0歳)の量の見込みと確保の内容

(単位:人)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
必要利用定員総数(推計値)		102	101	98	97	94
確保の内容	保育所 認定子ども園	102	101	98	97	94
	地域型保育事業	0	0	0	0	0
(参考) 第2期 計画 中の 実績値		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	保育所 認定子ども園	96	83	91	96	102
	地域型保育事業	0	0	0	0	0

#### ■3号認定(1歳)の量の見込みと確保の内容

(単位:人)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
必要利用定員総数(推計値)		208	205	200	197	191
確保の内容	保育所 認定子ども園	208	205	200	197	191
	地域型保育事業	0	0	0	0	0
(参考) 第2期 計画 中の 実績値		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	保育所 認定子ども園	193	192	186	180	208
	地域型保育事業	0	0	0	0	0

■ 3号認定（2歳）の量の見込みと確保の内容

（単位：人）

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
必要利用定員総数（推計値）		212	209	204	201	195
確保の内容	保育所 認定子ども園	212	209	204	201	195
	地域型保育事業	0	0	0	0	0
（参考） 第2期 計画 中の 実績値		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 （見込み）
	保育所 認定子ども園	220	224	217	214	212
	地域型保育事業	0	0	0	0	0

※「地域型保育事業」とは、定員がおおむね19人以下の小規模な施設で、対象年齢は0～2歳児です。家庭的保育事業、小規模保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業の4つの事業区分があります。（熊取町では地域型保育事業は実施していません。）



### 3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

本町が地域の実情に応じて計画に記載し実施する地域子ども・子育て支援事業については、次のとおりであり、各々の事業について、量の見込みと確保方策を定めます。

#### ■地域子ども・子育て支援事業の種類

	対象事業
地域子ども・子育て支援事業	(1) 利用者支援事業
	(2) 地域子育て支援拠点事業
	(3) 妊婦健康診査
	(4) 乳児家庭全戸訪問事業
	(5) 養育支援訪問事業
	(6) 子育て短期支援事業
	(7) ファミリー・サポート・センター事業
	(8) 一時預かり事業
	(9) 延長保育事業
	(10) 病児・病後児保育事業
	(11) 放課後児童健全育成事業（学童保育所）
	(12) 妊婦等包括相談支援事業
	(13) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）
	(14) 産後ケア事業

《次ページ以降の表の単位について》

- ・「人」・・・・・・・・その事業を利用する「実人数」を表しています。
- ・「人日（回）」・・・・その事業を1人の利用者が1年間に利用する日（回）数を表しています。

例えば、1年間に10日（回）利用する人が10人いる場合は、10日（回）×10人＝100人日（回）となります。

## (1) 利用者支援事業

### 【事業概要】

こどもやその保護者、又は妊娠している方が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業などを円滑に利用できるような相談に応じ、情報提供や助言、関係機関との連絡調整など行う事業です。

### 【確保方策】

引き続き、きめ細やかな相談支援や情報提供など、利用者支援機能の維持向上を図ります。

### ■利用者支援事業の量の見込みと確保の内容

(単位：か所)

母子保健型	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
確保の内容	1	1	1	1	1
(参考) 第2期計画中的実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	1	1	1	1	1

## (2) 地域子育て支援拠点事業

### 【事業概要】

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行う事業です。

### 【確保方策】

親子がより身近な場所に集う場として、町内3か所で事業を実施します。

### ■地域子育て支援拠点事業の量の見込みと確保の内容

(単位：人回)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	4,874	4,779	4,638	4,543	4,393
確保の内容	4,874	4,779	4,638	4,543	4,393
(参考) 第2期計画中的実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	2,565	2,983	3,896	4,926	4,900

### (3) 妊婦健康診査

#### 【事業概要】

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、健康状態の把握、検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

#### 【確保方策】

今後も母子健康手帳の交付時に受診券（14回分及び補助券）を配布して助成を継続し、健康診査の受診を啓発・勧奨していきます。

#### ■妊婦健康診査の量の見込みと確保の内容

(単位：人、回)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	対象人数	330	325	317	312	304
	健診回数	2,500	2,464	2,404	2,367	2,302
(参考)第2期計画 中の実績値		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	対象人数	426	392	423	335	330
	健診回数	3,453	3,034	3,403	2,544	2,500

### (4) 乳児家庭全戸訪問事業

#### 【事業概要】

生後4か月までの乳児のいる世帯全ての家庭を助産師などが訪問し、子育てに関する情報提供や養育環境の把握、相談・助言などの援助を行う事業です。

#### 【確保方策】

産後うつのアンケート、計測や母乳の相談、育児相談等を行い、特に継続支援が必要な家庭に、訪問や相談等につなげます。

#### ■乳児家庭全戸訪問事業の量の見込みと確保の内容

(単位：人)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み		229	225	218	214	207
(参考)第2期計画 中の実績値		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
		225	212	261	231	230

## （５）養育支援訪問事業

### 【事業概要】

児童への虐待や育児不安を抱えているなど、養育支援が特に必要な家庭を保健師、社会福祉士、助産師、保育士などが訪問し、養育に関する指導・助言などを行うことにより、家庭での適切な養育を確保する事業です。

### 【確保方策】

全てのこどもの健やかな育ちが約束されるよう、支援を要する家庭の早期把握と適切な支援に結びつけます。

### ■養育支援訪問事業の量の見込みと確保の内容

(単位：人)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	110	108	106	104	101
確保の内容	110	108	106	104	101
(参考) 第2期計画中的実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	125	99	139	79	110

## （６）子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）

### 【事業概要】

ショートステイは、保護者の疾病・出産・看護・事故などでこどもの養育が一時的に困難になった場合、児童福祉施設などで一定期間（おおむね一週間）預かり、養育・保護を行う事業です。

また、トワイライトステイは、ひとり親などの保護者が仕事などにより平日の夜間又は休日に不在となり、家庭において児童を養育することが困難となった場合、児童福祉施設などで生活援助を行う事業です。

いずれも町外の児童養護施設や乳児院に事業を委託して実施しています。

### 【確保方策】

利用希望者の事情を十分に踏まえ、引き続き5か所で事業を実施します。

■子育て短期支援事業（ショートステイ）の量の見込みと確保の内容

(単位：人日)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	7	7	7	7	6
確保の内容	7	7	7	7	6
(参考) 第2期計画中的実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	0	8	0	7	7

■子育て短期支援事業（トワイライトステイ）の量の見込みと確保の内容

(単位：人日)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	1	1	1	1	1
確保の内容	1	1	1	1	1
(参考) 第2期計画中的実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	0	0	0	0	0

(7) ファミリー・サポート・センター事業（就学児対象）

【事業概要】

ファミリー・サポート・センターは、子育ての援助を受けたい人と子育ての援助を行いたい人からなる地域での子育てを相互援助する会員組織です。

保育所等・幼稚園等への送迎、帰宅後の預かり等を援助内容としています。

【確保方策】

安定した協力会員の確保のため、広報活動を引き続き充実するとともに、安心安全な援助活動につなげるため、協力会員への研修の充実に取り組みます。

■ファミリー・サポート・センター事業の量の見込みと確保の内容

(単位：人日)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	115	112	109	107	104
確保の内容	115	112	109	107	104
(参考) 第2期計画中的実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	321	283	116	116	115

## (8) 一時預かり事業

### 【事業概要】

家庭で保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、幼稚園、保育所等で一時的に預かります。一時預かり事業には幼稚園における在園児を対象とした預かり保育と、幼稚園における預かり保育以外の一時預かりがあります。

幼稚園における在園児を対象とした預かり保育は、幼稚園において通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合の事業です。

幼稚園における預かり保育以外の一時預かりは、幼稚園において通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合の事業です。

### 【確保方策】

幼児教育、保育の無償化の影響による需要の動向、保護者の育児ニーズの変化に柔軟に対応できるよう預かり保育の充実と安定的な提供体制の構築に努めます。

### ■幼稚園における在園児を対象とした預かり保育の量の見込みと確保の内容

(単位：人日)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	4,200	4,140	4,039	3,977	3,867
確保の内容	4,200	4,140	4,039	3,977	3,867
(参考) 第2期計画 中の実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	5,993	5,633	5,135	4,999	4,200

■幼稚園における預かり保育以外の一時預かりの量の見込みと確保の内容

(単位：人日)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	25,822	25,453	24,835	24,453	23,772
確保の内容	25,822	25,453	24,835	24,453	23,772
(参考) 第2期計画中的実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	7,604	29,672	30,282	23,216	26,049

(9) 延長保育事業

【事業概要】

保育の必要性の認定を受けたこどもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、保育所等で保育を実施する事業です。

【確保方策】

共働き家庭・ひとり親家庭などの保育ニーズに適切に応えられるよう、引き続き、延長保育事業の適切な運営と安定的な提供体制の構築に努めます。

■延長保育事業の量の見込みと確保の内容

(単位：人)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	624	617	604	597	582
確保の内容	624	617	604	597	582
(参考) 第2期計画中的実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	395	646	555	620	622

## (10) 病児・病後児保育事業

### 【事業概要】

こどもが発熱などの急な病気となったときや、その回復期に、保育所等の専用スペースで保育を行う事業です。

この事業は、保育中に体調不良となった児童を保育所内において看護師などが緊急的に対応を行う「体調不良児対応型」と、回復期にある病気のこどもを専用施設（スペース）で一時的に保育する「病児・病後児対応型」があります。

### 【確保方策】

育児と仕事の両立に寄与できるよう、体調不良児対応型に加え、新たに「病児・病後児対応型」の実施を検討し、当該保育ニーズに対応します。

### ■病児・病後児保育事業の量の見込みと確保の内容

(単位：人日)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	3,305	3,345	3,351	3,388	3,382
確保の内容	3,305	3,345	3,351	3,388	3,382
(参考) 第2期計画 中の実績値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
	1,048	1,989	1,889	3,135	3,219

## (11) 放課後児童健全育成事業（学童保育所）

### 【事業概要】

保護者が仕事で昼間に自宅にいないなど、放課後にこどもだけで過ごす状況にある小学生を預かり、生活の場や適切な遊びの場を提供するサービスです。本町には各小学校区に学童保育所があります。

### 【確保方策】

共働き世帯やひとり親家庭のいわゆる「小1の壁」の打破と、小学生児童が放課後を安心・安全に過ごし多様な体験や活動ができるよう、今後も待機児童を出さないよう、学童保育所の施設の確保と内容の充実に努めていきます。また、保護者からのニーズの高い長期休暇期間中の利用希望への対応を行っていきます。



■放課後児童健全育成事業の量の見込みと確保の内容

(単位：人)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	1年生	155	158	152	139	153
	2年生	158	160	162	156	142
	3年生	155	144	146	149	144
	4年生	97	109	97	95	93
	5年生	83	74	83	74	73
	6年生	68	73	65	73	65
計		716	718	705	686	670
確保の内容	1年生	155	158	152	139	153
	2年生	158	160	162	156	142
	3年生	155	144	146	149	144
	4年生	97	109	97	95	93
	5年生	83	74	83	74	73
	6年生	68	73	65	73	65
計		716	718	705	686	670
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込み)
(参考)第2期計 画中の実績値	1年生	146	143	143	169	148
	2年生	150	125	136	137	164
	3年生	109	137	111	120	129
	4年生	89	76	105	95	99
	5年生	67	62	54	84	67
	6年生	29	48	48	43	64
計		590	591	597	648	671

## (12) 妊婦等包括相談支援事業 令和7年度から実施予定

(以前から行っている事業であるが、令和7年度から地域子ども・子育て支援事業へ位置づけられる)

### 【事業概要】

妊婦等に対して面談等を行い、妊婦等の心身の状況や置かれている環境等の把握を行うほか、母子保健及び子育てに関する情報の提供や相談等の援助を行う事業です。

### 【確保方策】

●●●●

作業中

### ■妊婦等包括相談支援事業の量の見込みと確保の内容

(単位: )

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	●	●	●	●	●
確保の内容	●	●	●	●	●

## (13) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度） 令和8年度から実施予定

### 【事業概要】

保育所に入所していない満3歳未満の乳幼児に適切な遊び及び生活の場を与えるとともに、保護者との面談により乳幼児や保護者の心身の状況及び養育環境の把握、保護者への子育てに関する情報提供、助言等の援助を行う事業です。

### 【確保方策】

●●●●

作業中

### ■乳児等通園支援事業の量の見込みと確保の内容

(単位: )

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	●	●	●	●	●
確保の内容	●	●	●	●	●

# (14) 産後ケア事業 令和7年度から実施予定

(以前から行っている事業であるが、令和7年度から地域子ども・子育て支援事業へ位置づけられる)

## 【事業概要】

産後ケアを必要とする退院直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポート等のきめ細かい支援を行う事業です。

実施方法として、病院、助産所等の空きベッドの活用等により、宿泊による休養の機会の提供等を行う「宿泊型」、個別・集団で支援を行える施設において、日中、来所した利用者に対して行う「デイサービス型」があります。

## 【確保方策】

●●●●

作業中

## ■産後ケア事業の量の見込みと確保の内容

(単位: )

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
量の見込み	●	●	●	●	●
確保の内容	●	●	●	●	●

## 第8章 計画の推進体制

1

2

3

作業中

## 資料編

1

2

作業中

3

4



**(仮称) 熊取町こども計画**

令和7年3月発行

編集・発行：熊取町 健康福祉部 子育て支援課

〒590-0451

大阪府泉南郡熊取町野田1丁目1番8号

T E L 072-452-6814

F A X 072-453-7196

## (仮称) 熊取町こども計画の策定について

(計画期間：令和7年～令和11年度)

## 1. 位置づけ

令和5年4月1日施行のこども基本法第10条第2項に基づく、「市町村こども計画」とする。

策定は努力義務であるが、策定する場合は、令和5年12月22日に閣議決定された「こども大綱」(資料10)を勘案する必要がある。

## 2. 計画の内容

子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」を核として、「こども大綱」に含まれる内容を含み、次世代育成支援行動計画、子ども・若者計画、子どもの貧困対策計画と一体的に策定する。

## 3. 策定スケジュール

令和5年度	1月	・令和5年度 第2回 子ども・子育て会議 (議題：ニーズ調査、アンケート調査の内容について)
	2月～ 3月	・就学前児童・小学生児童の保護者向けニーズ調査の実施 ・小5、中2向けアンケート調査の実施
令和6年度	5月17日	・令和6年度 第1回 子ども・子育て会議 (議題：ニーズ調査等の結果、若者向けアンケート調査の内容について)
	6月28日～ 7月16日	・若者(16～39歳)向けアンケートの実施
	8月 9日	・令和6年度 第2回 子ども・子育て会議 (予定議題：第2期計画の令和5年度実績、若者向けアンケートの結果について)
	8月31日	・関係団体のヒアリング
	10月 8日	・令和6年度 第3回 子ども・子育て会議 (予定議題：ヒアリング結果、計画案(1回目)について)
	11月 上旬 ～中旬	・子ども・子育て会議 部会 ・役場若手職員ヒアリング
	12月 3日	・令和6年度 第4回 子ども・子育て会議 (予定議題：計画案(2回目)について)
	12月 中旬頃	・パブリックコメント実施
	1月 28日	・令和6年度 第5回 子ども・子育て会議 (予定議題：計画最終案について)
	2月 中旬	・議員全員協議会
	3月	・(仮称) 熊取町こども計画 策定



## 子ども・子育て会議委員名簿

令和6年6月17日現在

	所 属 等	氏 名	備考
住民代表 (1号委員)	自治会連合会 会長	西野 洋	
	熊取町小・中学校PTA連絡協議会	中谷 省吾	
	熊取町小・中学校PTA連絡協議会	江藤 佐友里	
	就学前児童の保護者(公募委員)	折笠 知佳	
	就学前児童の保護者(公募委員)	中塚 香織	
	若者(公募委員)	大幸 虎太郎	
	若者(公募委員)	平田 柊哉	
保育・教育・福祉関係者 (2号委員)	熊取町校長会 代表	亀井 勝弘	
	町立保育所 代表	赤坂 佐和子	
	熊取町民間保育園・こども園協議会(民間保育園代表)	野中 泉	
	熊取町民間保育園・こども園協議会(認定こども園代表)	小浪 利夫	
	熊取みどり幼稚園 主事	池浦 祐介	
	NPO 熊取こどもとおとなのネットワーク 理事長	高橋 淳	
	NPO法人 くまとり子育てWA・輪・和 理事長	出口 儉二	
	特定非営利活動法人 地域支援センターくまとりロンド 理事長	大谷 悟	
	NPO法人 ホームビジット・とんとん 理事長	坂本 百合	
	泉佐野泉南医師会(熊取担当)	桑原 秀樹	
	熊取町人権協会 会長	勘六野 朗	
	熊取町社会福祉協議会 会長	前田 美穂子	
	熊取町民生委員児童委員協議会 主任児童委員長	棚村 千鶴	
	熊取町青少年指導員連絡協議会 会長	梅田 康雄	
	熊取文庫連絡協議会 代表	寺島 宜重	
	熊取町スポーツ少年団 本部長	北本 雅朗	
学識経験者 (3号委員)	大阪観光大学 理事長	山本 健慈	会長
	和歌山信愛大学 教育学部 子ども教育学科 教授	森下 順子	副会長

## 子ども・子育て会議 部会 名簿

令和6年6月17日現在

## 保育所・幼稚園部会

	所 属 等	氏 名
	就学前児童の保護者（公募委員）	折笠 知佳
副部会長	町立保育所 代表	赤坂 佐和子
部会長	熊取町民間保育園・こども園協議会（民間保育園代表）	野中 泉
	熊取町民間保育園・こども園協議会（認定こども園代表）	小浪 利夫
	熊取みどり幼稚園 主事	池浦 祐介
	泉佐野泉南医師会（熊取担当）	桑原 秀樹

## 放課後児童健全育成部会

	所 属 等	氏 名
副部会長	熊取町小・中学校PTA連絡協議会	中谷 省吾
	熊取町小・中学校PTA連絡協議会	江藤 佐友里
部会長	熊取町校長会 代表	亀井 勝弘
	熊取町スポーツ少年団 本部長	北本 雅朗
	NPO 熊取こどもとおとなのネットワーク 理事長	高橋 淳 ※

## 子育て支援部会

	所 属 等	氏 名
副部会長	就学前児童の保護者（公募委員）	中塚 香織
	NPO法人 くまとり子育てWA・輪・和 理事長	出口 俊二
部会長	特定非営利活動法人 地域支援センターくまとりロンド 理事長	大谷 悟
	NPO法人 ホームビジット・とんとん 理事長	坂本 百合
	熊取町民生委員児童委員協議会 主任児童委員長	棚村 千鶴
	熊取文庫連絡協議会	寺島 宜重
	NPO 熊取こどもとおとなのネットワーク 理事長	高橋 淳 ※

## 地域・若者支援部会

	所 属 等	氏 名
	自治会連合会 会長	西野 洋
副部会長	若者（公募委員）	大幸 虎太郎
部会長	若者（公募委員）	平田 柊哉
	熊取町人権協会 会長	勘六野 朗
	熊取町社会福祉協議会 会長	前田 美穂子
	熊取町青少年指導員連絡協議会 会長	梅田 康雄

	大阪観光大学 理事長	山本 健慈
	和歌山信愛大学 教育学部 子ども教育学科 教授	森下 順子

## 子ども・子育て会議規則

## (趣旨)

第1条 この規則は、附属機関条例（平成25年条例第1号）第2条の規定に基づき、子ども・子育て会議の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

## (所掌事務)

第2条 子ども・子育て会議は、次に掲げる事項について処理する。

- (1) 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第72条第1項各号に規定する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、本町の子ども・子育て支援施策に関する重要事項その他町長が必要と認める事項

## (組織)

第3条 子ども・子育て会議は、委員25名以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 住民代表
- (2) 保育・教育・福祉関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 前各号に掲げる者のほか、町長が特に必要があると認める者

## (任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

## (会長及び副会長)

第5条 子ども・子育て会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選により選出し、副会長は会長が指名する。
- 3 会長は、議事その他の会務を総理し、子ども・子育て会議を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

## (会議)

第6条 子ども・子育て会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

- 2 子ども・子育て会議は、委員の2分の1以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 子ども・子育て会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

## (部会の設置)

第7条 特別な事項を調査審議するため、会長が必要と認めるときは、子ども・子育て会議に部会を置くことができる。

- 2 部会は、子ども・子育て会議の委員の中から、会長が指名する委員で組織する。
- 3 前2条の規定は、部会について準用する。この場合において、「子ども・子育て会議」とあるのは「部会」と、「会長」とあるのは「部会長」と、「副会長」となるのは「副部会長」と読み替えるものとする。
- 4 部会長は、部会における審議の状況及び結果を子ども・子育て会議に報告しなければならない。

(意見の聴取等)

第8条 会長は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 子ども・子育て会議の庶務は、子育て支援主管課において行う。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、子ども・子育て会議の運営に関し必要な事項は、会長が子ども・子育て会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成25年10月1日から施行する。  
(次世代育成支援対策協議会規則の廃止)
- 2 次世代育成支援対策協議会規則(平成25年規則第20号)は、廃止する。

附 則 (令和5年3月28日規則第5号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

